

平成 22 年度
美濃加茂市市民満足度調査

報告書

平成 23 年 6 月

美濃加茂市

目次

調査の概要

1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査項目	1
4	回収状況	1
5	集計方法	2
6	報告書の見方	3

調査分析のまとめ

1	基本属性	5
2	くらし向き	8
3	定住意向	22
4	第5次総合計画について	31
5	重要度・満足度調査	38
1	重要度・満足度の得点化	38
2	ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価	44
2. - 1	“みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち”における事業の重要度・満足度評価	48
2. - 2	“産業の振興により新たな価値のあるまち”における事業の重要度・満足度評価	53
2. - 3	“安心して暮らせるまち”における事業の重要度・満足度評価	56
2. - 4	“快適でこちよく定住できるまち”における事業の重要度・満足度評価	65
2. - 5	“美しい風景が残るまち”における事業の重要度・満足度評価	76
2. - 6	“市役所の経営方針”における事業の重要度・満足度評価	82

参考資料

美濃加茂市市民満足度調査 アンケート調査票

調査の概要

1 調査目的

市民の暮らし向きや定住意向をつかむとともに、美濃加茂市の施策における市民の評価を重要度・満足度について質問することにより、市民の施策に対するニーズを把握し、それらの結果を今後の市政運営に反映させるための基礎資料として活用することを目的としています。

2 調査方法

調査地域	美濃加茂市全域
調査対象	美濃加茂市に在住する満 18 歳以上の人
抽出方法	住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
配布数	1,500 票
配布方法	郵送配布、郵送回収
実施期間	平成 23 年 3 月 2 日～3 月 22 日
有効回収数（率）	663 標本（44.2%）

3 調査項目

基本属性	回答者の性別、年代、居住地域、家族構成、同居している子どもの状況、居住年数、住まいの状況、職業について 8 項目。
暮らし向き	今の暮らしの状況などを把握する 4 項目。
定住意向	美濃加茂市の住みよさなどを把握する 3 項目。
第 5 次総合計画について	第 5 次総合計画の認知度などを把握する 2 項目。
重要度・満足度調査	総合計画における共通目標と 4 つの基本目標及び市の経営方針に位置づけられ、平成 22 年度に実施した事業のなかから、市民の評価を求めたい事業について 31 項目。

4 回収状況

（1）性別回収状況

性別	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
男性	745 票	309 票	41.5%	309 票	41.5%
女性	755 票	332 票	44.0%	332 票	44.0%
不明・無回答	-	23 票	-	22 票	-
全体	1,500 票	664 票	44.3%	663 票	44.2%

(2) 年代別回収状況

年代	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
10歳代	41 票	14 票	34.1%	14 票	34.1%
20歳代	209 票	51 票	24.4%	51 票	24.4%
30歳代	272 票	81 票	29.8%	81 票	29.8%
40歳代	238 票	81 票	34.0%	81 票	34.0%
50歳代	220 票	100 票	45.5%	100 票	45.5%
60歳代	240 票	144 票	60.0%	144 票	60.0%
70歳代	167 票	117 票	70.1%	117 票	70.1%
80歳代以上	113 票	60 票	53.1%	60 票	53.1%
不明・無回答	-	16 票	-	15 票	-
全体	1,500 票	664 票	44.3%	663 票	44.2%

(3) 地域別回収状況

地区	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
太田	322 票	126 票	39.1%	126 票	39.1%
古井	447 票	180 票	40.3%	180 票	40.3%
山之上	70 票	41 票	58.6%	41 票	58.6%
蜂屋	187 票	84 票	44.9%	84 票	44.9%
加茂野	247 票	107 票	43.3%	107 票	43.3%
伊深	40 票	13 票	32.5%	13 票	32.5%
三和	23 票	16 票	69.6%	16 票	69.6%
下米田・牧野	164 票	76 票	46.3%	76 票	46.3%
不明・無回答	-	21 票	-	20 票	-
全体	1,500 票	664 票	44.3%	663 票	44.2%

有効回収数とは、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数です。

5 集計方法

単純集計に加え、基本属性によるクロス集計を行いました。クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。なお、クロス集計については、質問ごとに特徴的な項目のみ本報告書に掲載しました。

6 報告書の見方

- ・グラフに表示されている n 値とは、標本数のことを示しています。また、() 内の数字は回答数の内訳を示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計(全体)の回答数が合致しないことがあります。
- ・くらし向き、定住意向項目のクロス集計の表では、最も高い割合のものを■で網かけをしています。(その他、特になし、無回答を除く)
- ・職業別のクロス集計において、団体職員については有効回答数が少ないためコメントを差し控えます。
- ・標本誤差については、下記算出式より算出します。

$$= \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

: 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本数
 p : 回答比率
 : 信頼率による変数

信頼率による変数 は、信頼率 95%では 1.96、信頼率 99%では 2.58 と定義されています。

今回のアンケート調査における信頼率を 95%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなります。

標本数	回答比率 (%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
663	±2.27	±3.02	±3.46	±3.70	±3.78

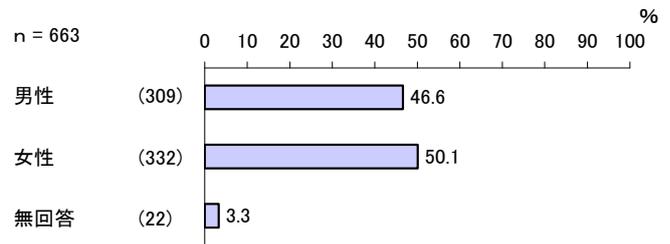
これは、ある設問において「A」という回答の割合が 50%であれば、18 歳以上の美濃加茂市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95%の確率で ±3.78%の範囲内 (46.22% ~ 53.78%) にあることを示しています。

調査分析のまとめ

1 基本属性

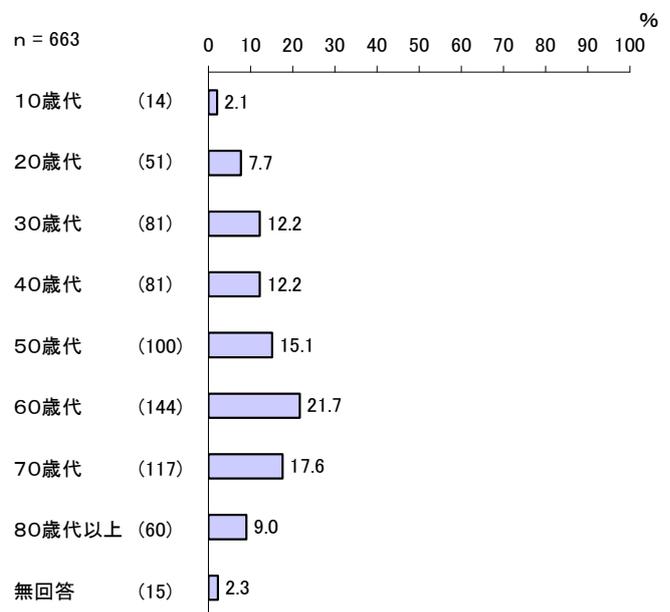
問1 . 性別

「男性」の割合が46.6%、「女性」の割合が50.1%となっています。



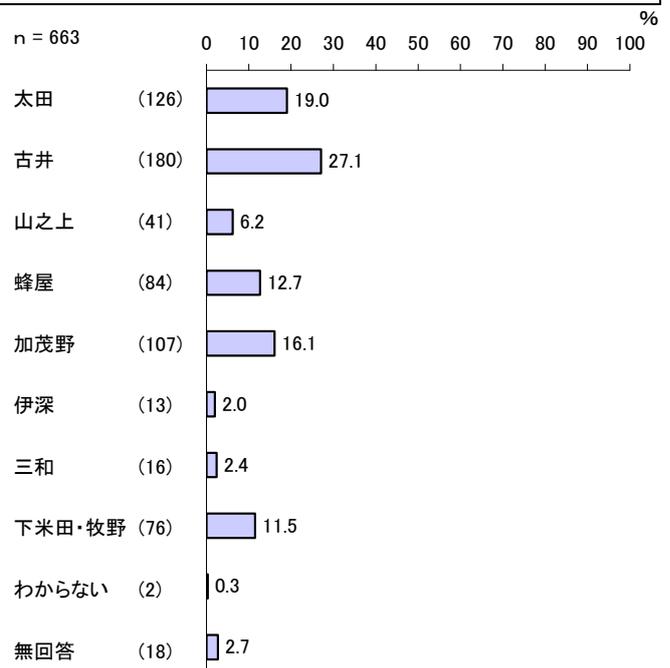
問2 . 年代

「60歳代」の割合が21.7%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が17.6%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



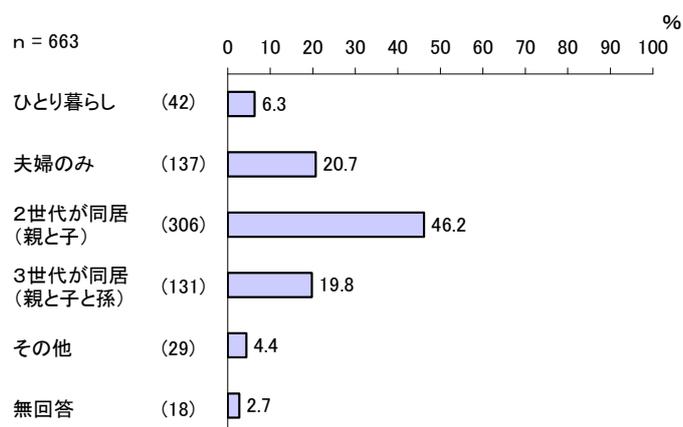
問3 . 居住地域

「古井」の割合が27.1%と最も高く、次いで「太田」の割合が19.0%、「加茂野」の割合が16.1%となっています。



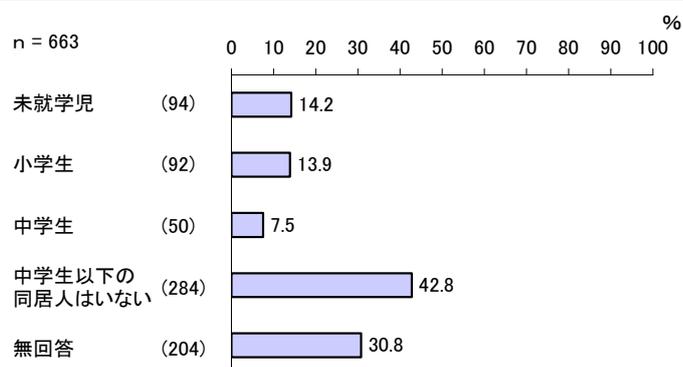
問4．家族構成

「2世代が同居（親と子）」の割合が46.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が20.7%、「3世代が同居（親と子と孫）」の割合が19.8%となっています。



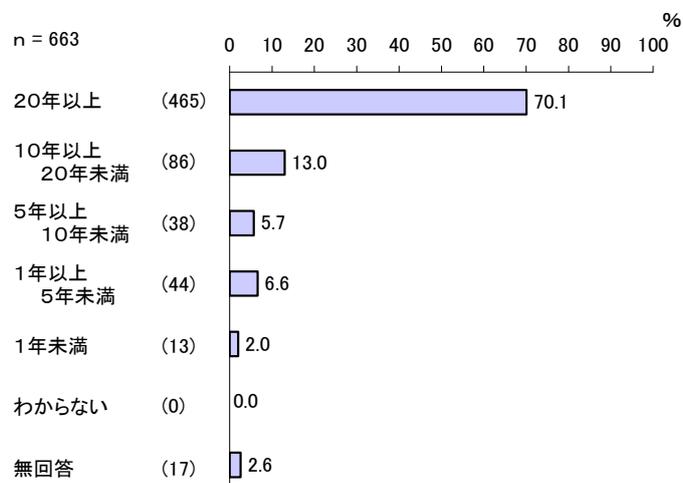
問5．同居している子どもの状況

「中学生以下の同居人はいない」の割合が42.8%と最も高く、次いで「未就学児」の割合が14.2%、「小学生」の割合が13.9%となっています。



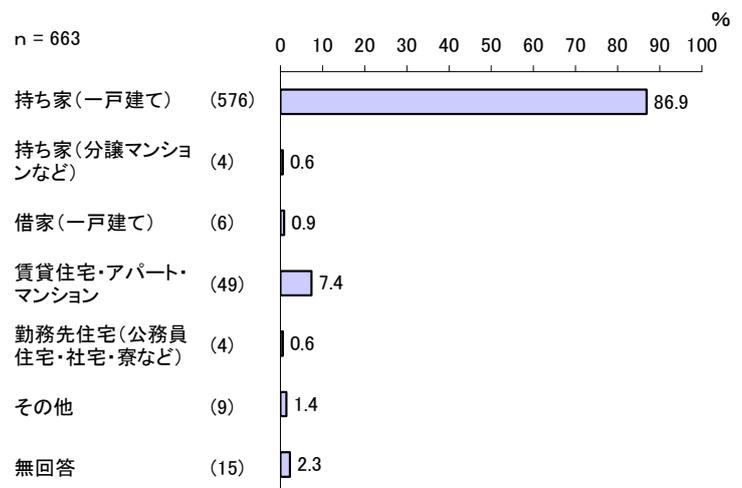
問6．居住年数

「20年以上」の割合が70.1%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が13.0%、「1年以上5年未満」の割合が6.6%となっています。



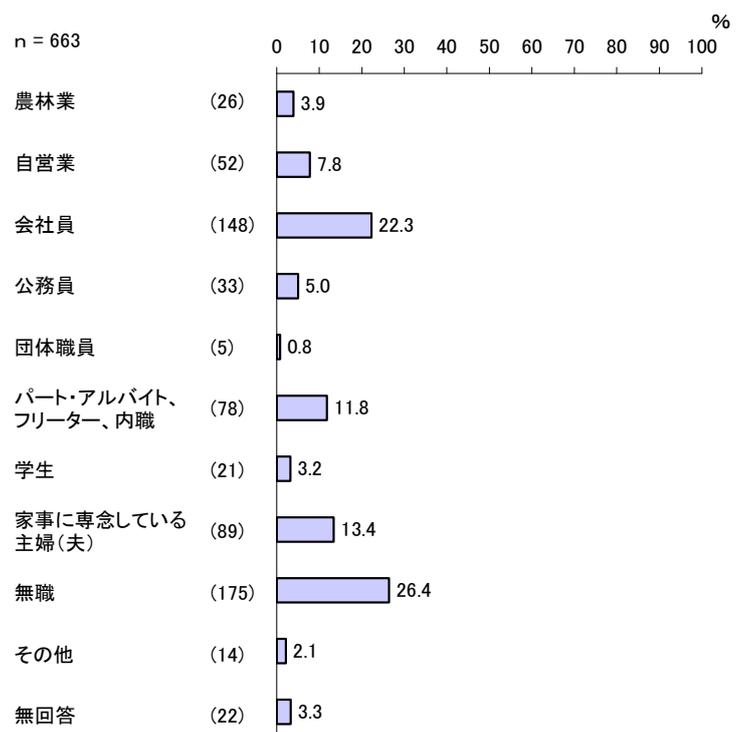
問7. 住まいの状況

「持ち家（一戸建て）」の割合が86.9%と最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート・マンション」の割合が7.4%、「借家（一戸建て）」の割合が0.9%となっています。



問8. 職業

「無職」の割合が26.4%と最も高く、次いで「会社員」の割合が22.3%、「家事に専念している主婦(夫)」の割合が13.4%となっています。

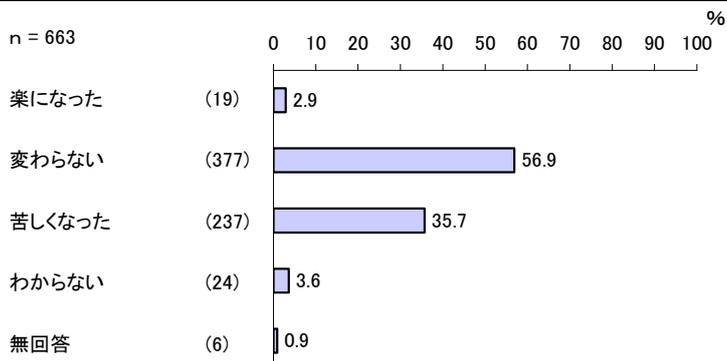


2 暮らし向き

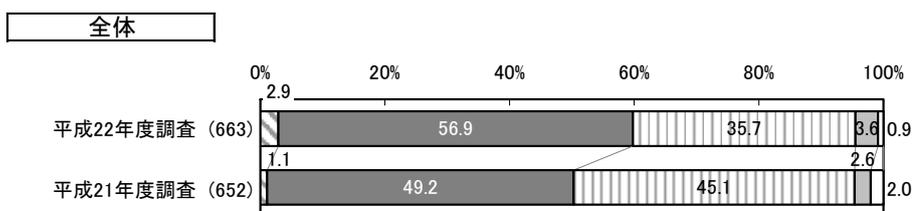
問9 . 去年の暮らしとの比較

「変わらない」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「苦しくなった」の割合が 35.7%、「わからない」の割合が 3.6%となっています。

前回調査と比較すると、「苦しくなった」が 9.4 ポイント減少しています。また、「変わらない」が 7.7 ポイント増加しています。



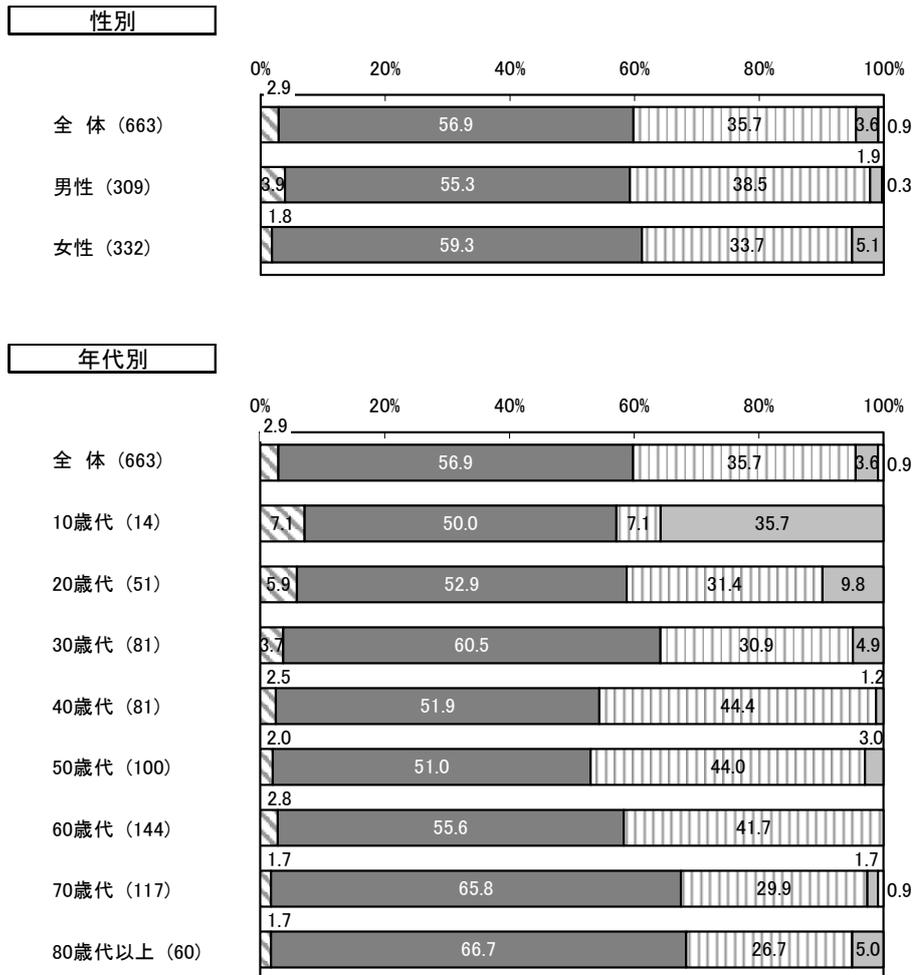
■ 楽になった ■ 変わらない □ 苦しくなった ■ わからない □ 無回答



性別・年代別

性別で見ると、大きな差異はみられません。

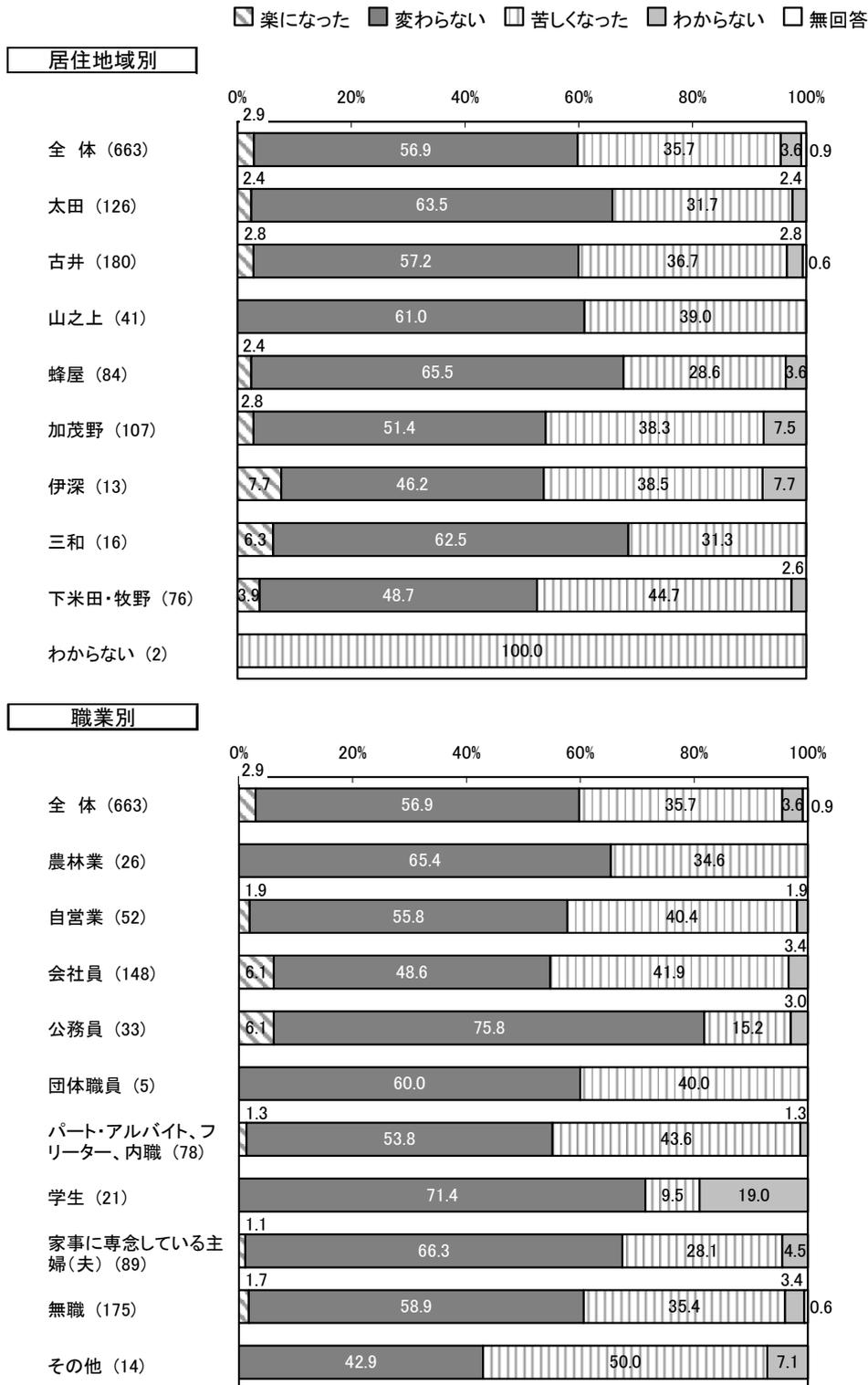
年代別で見ると、40歳代、50歳代、60歳代で「苦しくなった」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。また、30歳代及び70歳代以上で「変わらない」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。



居住地域別・職業別

居住地域別でみると、下米田・牧野で「苦しくなった」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。また、太田、山之上、蜂屋、三和で「変わらない」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。

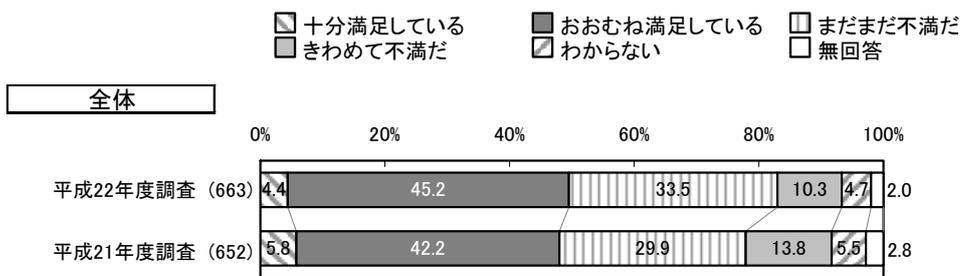
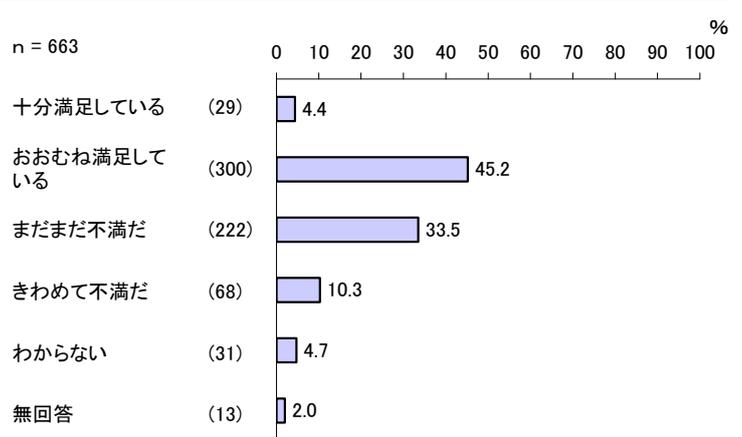
職業別でみると、自営業、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で「苦しくなった」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。また、公務員、学生で「変わらない」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。



問 10 . 今の暮らしについて思うこと

「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた今の暮らしについて満足している人の割合が49.6%、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた今の暮らしについて不満を感じている人の割合が43.8%となっています。

前回調査と比較すると、「おおむね満足している」の割合が3.0ポイント増加し「きわめて不満だ」の割合が3.5ポイント減少しています。

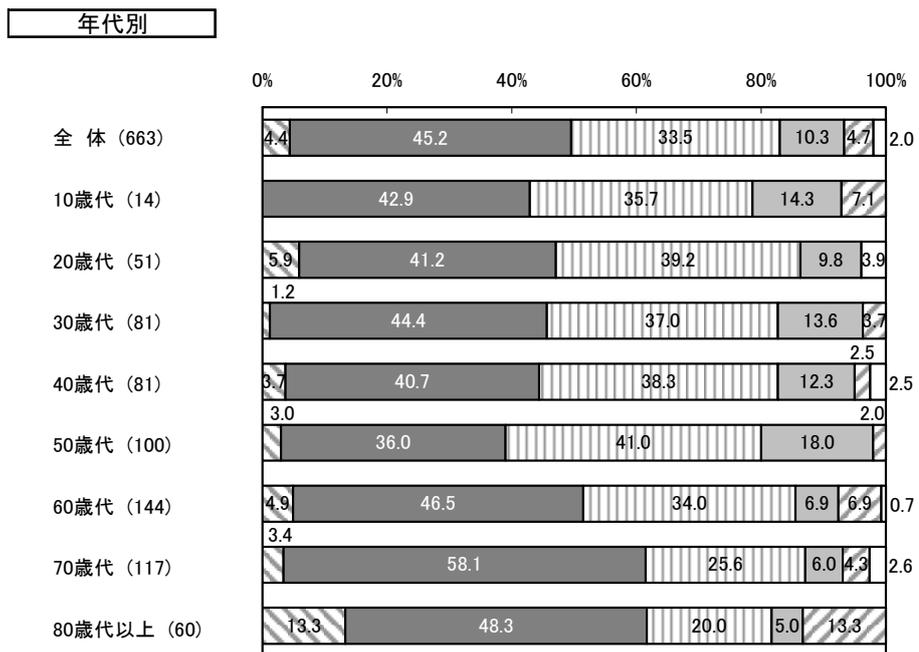
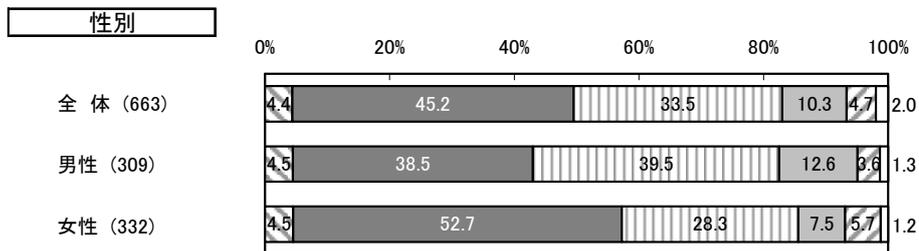


性別・年代別

性別で見ると、男性で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別で見ると、10歳代から50歳代で今の暮らしについて不満を感じている人の割合がおおむね5割を超えています。特に、50歳代で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が59.0%となっており、他に比べて高くなっています。一方、70歳代、80歳代以上で今の暮らしについて満足している人の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。

十分満足している
 おおむね満足している
 まだまだ不満だ
 きわめて不満だ
 わからない
 無回答

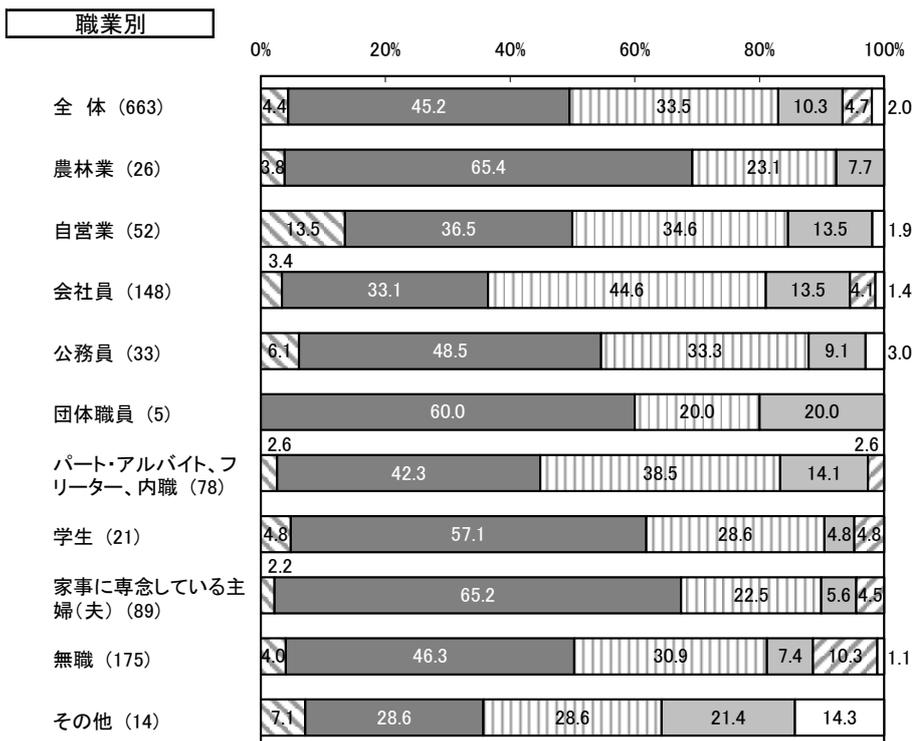
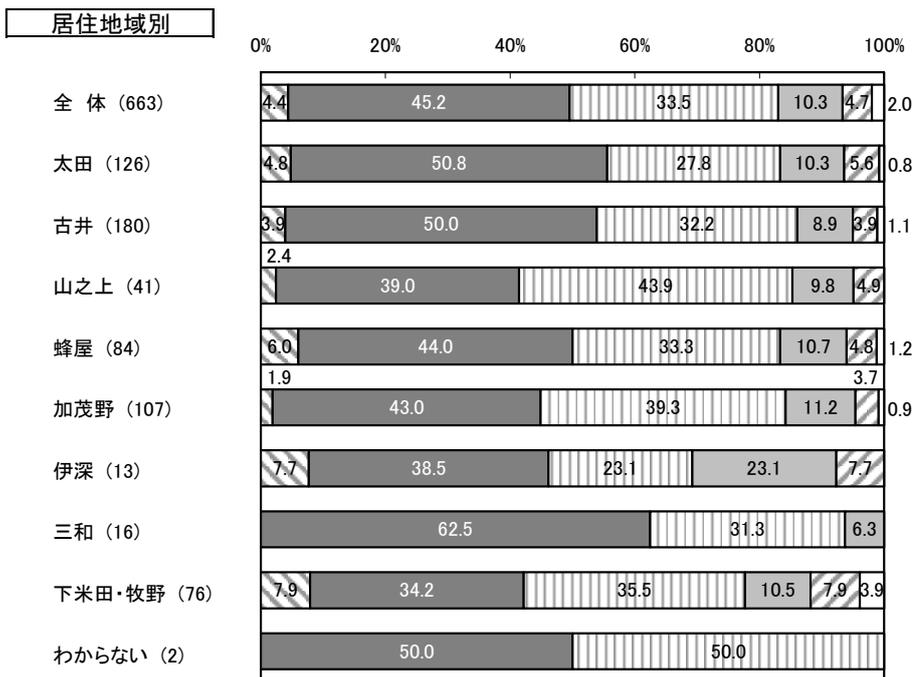


居住地域別・職業別

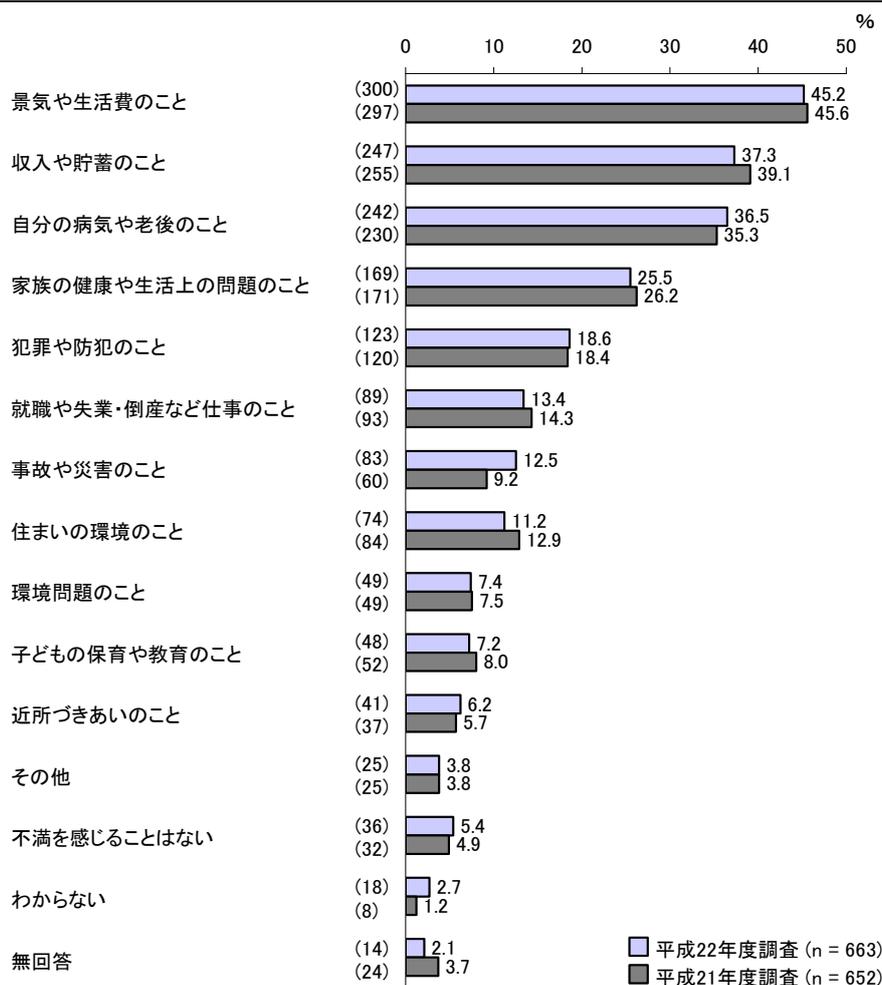
居住地域別でみると、山之上、加茂野で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。また、三和で今の暮らしについて満足している人の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。

職業別でみると、農林業、学生、家事に専念している主婦(夫)で今の暮らしについて満足している人の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。また、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。

十分満足している おおむね満足している まだまだ不満だ
 きわめて不満だ わからない 無回答



問 11 . 日ごろの暮らしの中で不満を感じていること



「景気や生活費のこと」の割合が45.2%と最も高く、次いで「収入や貯蓄のこと」の割合が37.3%、「自分の病気や老後のこと」の割合が36.5%となっています。

前回調査と比較すると、「事故や災害のこと」の割合が3.3ポイント増加しています。

性別・年代別

性別でみると、男性で「収入や貯蓄のこと」、「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が女性に比べて高くなっています。

年代別でみると、10歳代を除き、年代が低くなるにつれ、「収入や貯蓄のこと」、「景気や生活費のこと」の割合が高くなる傾向にあります。特に20歳代で6割を超えており、他に比べて高くなっています。また、10歳代、30歳代で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合、10歳代、20歳代で「住まいの環境のこと」の割合が、30歳代で「子どもの保育や教育のこと」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。年代が高くなるにつれ、「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなる傾向にあります。

単位：%

		有効回答数(件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		663	37.3	45.2	13.4	25.5	36.5	7.2	6.2
性別	男性	309	42.4	46.9	16.8	27.8	36.9	6.1	7.4
	女性	332	33.1	43.1	10.8	23.5	35.8	8.4	5.1
年代別	10歳代	14	42.9	42.9	28.6	14.3	-	-	7.1
	20歳代	51	68.6	60.8	13.7	13.7	2.0	15.7	7.8
	30歳代	81	48.1	48.1	28.4	18.5	12.3	24.7	9.9
	40歳代	81	49.4	53.1	21.0	19.8	13.6	13.6	7.4
	50歳代	100	41.0	53.0	16.0	32.0	42.0	3.0	9.0
	60歳代	144	34.0	43.1	9.7	29.2	50.0	2.8	4.2
	70歳代	117	21.4	35.9	3.4	32.5	60.7	-	4.3
	80歳代以上	60	13.3	30.0	6.7	23.3	51.7	1.7	3.3

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.2	7.4	18.6	12.5	3.8	5.4	2.7	2.1
性別	男性	12.0	8.1	17.5	11.3	4.5	3.6	1.3	1.3
	女性	11.1	6.6	19.9	13.9	3.3	7.5	4.2	1.5
年代別	10歳代	21.4	14.3	7.1	14.3	-	-	14.3	-
	20歳代	21.6	3.9	9.8	5.9	5.9	5.9	-	-
	30歳代	12.3	4.9	25.9	8.6	3.7	4.9	1.2	-
	40歳代	9.9	13.6	28.4	13.6	3.7	3.7	-	-
	50歳代	13.0	11.0	18.0	11.0	6.0	3.0	2.0	-
	60歳代	11.8	5.6	14.6	13.9	2.8	5.6	2.1	2.1
	70歳代	6.0	7.7	18.8	17.1	5.1	7.7	2.6	3.4
	80歳代以上	8.3	3.3	18.3	13.3	-	10.0	10.0	3.3

居住地域別

居住地域別でみると、山之上で「家族の健康や生活上の問題のこと」の割合、伊深で「景気や生活費のこと」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。また、三和で「就職や失業・倒産など仕事のこと」、「近所づきあいのこと」、「環境問題のこと」の割合が、他に比べて高くなっています。

単位：％

		有効回答数(件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		663	37.3	45.2	13.4	25.5	36.5	7.2	6.2
居住地域別	太田	126	33.3	40.5	15.1	19.8	38.1	7.9	4.0
	古井	180	32.2	43.9	13.3	26.1	36.7	8.3	7.2
	山之上	41	34.1	39.0	14.6	43.9	36.6	14.6	12.2
	蜂屋	84	44.0	50.0	14.3	29.8	36.9	6.0	2.4
	加茂野	107	43.9	48.6	15.0	17.8	35.5	4.7	8.4
	伊深	13	46.2	69.2	15.4	23.1	46.2	-	7.7
	三和	16	18.8	31.3	25.0	25.0	31.3	-	18.8
	下米田・牧野	76	43.4	47.4	7.9	30.3	35.5	6.6	3.9
	わからない	2	100.0	100.0	-	-	-	50.0	-

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.2	7.4	18.6	12.5	3.8	5.4	2.7	2.1
居住地域別	太田	13.5	10.3	22.2	12.7	4.0	6.3	-	1.6
	古井	5.6	6.7	23.3	15.0	2.8	7.8	3.3	1.1
	山之上	14.6	7.3	14.6	9.8	4.9	-	-	4.9
	蜂屋	11.9	7.1	14.3	7.1	3.6	3.6	4.8	1.2
	加茂野	14.0	3.7	24.3	18.7	2.8	2.8	2.8	-
	伊深	-	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	-	7.7
	三和	18.8	18.8	6.3	12.5	12.5	12.5	-	-
	下米田・牧野	14.5	9.2	7.9	7.9	5.3	6.6	5.3	1.3
	わからない	50.0	-	-	-	-	-	-	-

職業別

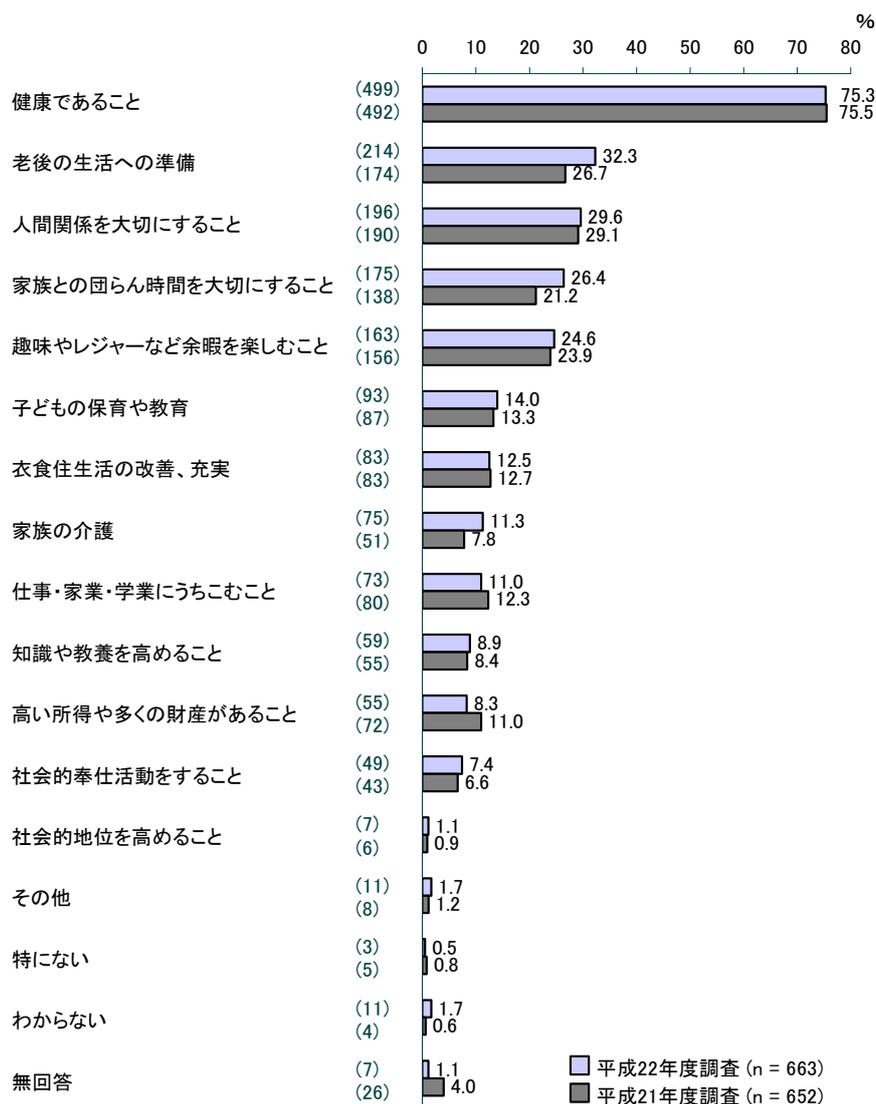
職業別でみると、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で「収入や貯蓄のこと」の割合、会社員、学生で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合、パート・アルバイト、フリーター、内職で「景気や生活費のこと」の割合、学生で「住まいの環境のこと」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。また、無職で「自分の病気や老後のこと」の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。一方、農林業で「不満を感じることはない」の割合が1割を超えており、他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
全 体		663	37.3	45.2	13.4	25.5	36.5	7.2	6.2
職業別	農林業	26	38.5	30.8	3.8	46.2	38.5	3.8	3.8
	自営業	52	38.5	44.2	17.3	23.1	34.6	1.9	7.7
	会社員	148	51.4	52.7	20.3	24.3	19.6	14.2	9.5
	公務員	33	30.3	39.4	9.1	24.2	27.3	9.1	12.1
	団体職員	5	40.0	60.0	-	-	20.0	20.0	-
	パート・アルバイト、フリーター、内職	78	50.0	60.3	12.8	25.6	33.3	7.7	5.1
	学生	21	38.1	47.6	38.1	19.0	-	4.8	4.8
	家事に専念している主婦(夫)	89	36.0	39.3	15.7	31.5	36.0	11.2	3.4
	無職	175	23.4	38.3	7.4	24.0	60.6	0.6	4.6
	その他	14	28.6	50.0	7.1	21.4	35.7	7.1	7.1

		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
全 体		11.2	7.4	18.6	12.5	3.8	5.4	2.7	2.1
職業別	農林業	3.8	11.5	11.5	-	-	15.4	-	7.7
	自営業	17.3	15.4	25.0	5.8	-	5.8	-	-
	会社員	14.2	6.1	25.0	8.1	2.7	5.4	-	0.7
	公務員	18.2	12.1	18.2	21.2	9.1	3.0	-	-
	団体職員	-	-	-	-	20.0	-	-	-
	パート・アルバイト、フリーター、内職	9.0	7.7	15.4	12.8	3.8	3.8	2.6	2.6
	学生	23.8	14.3	4.8	14.3	-	4.8	9.5	-
	家事に専念している主婦(夫)	9.0	6.7	16.9	15.7	5.6	5.6	2.2	1.1
	無職	9.1	5.1	17.1	17.1	4.0	4.6	6.3	1.1
	その他	7.1	7.1	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-

問 12 . 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと



「健康であること」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「老後の生活への準備」の割合が 32.3%、「人間関係を大切にすること」の割合が 29.6%となっています。

前回調査と比較すると、「老後の生活への準備」の割合が 5.6 ポイント、「家族との団らん時間を大切にすること」の割合が 5.2 ポイント、「家族の介護」の割合が 3.5 ポイント増加しています。

性別・年代別

性別でみると、男性で「高い所得や多くの財産があること」、「健康であること」の割合が女性に比べて高くなっています。また、女性で「人間関係を大切にすること」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「高い所得や多くの財産があること」、「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が低くなる傾向にあります。また、10歳代、70歳代で「人間関係を大切にすること」の割合、20歳代から40歳代で「子どもの保育や教育」の割合、40歳代で「衣食住生活の改善、充実」の割合、50歳代、60歳代で「老後の生活への準備」の割合、60歳代で「健康であること」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
全 体		663	8.3	1.1	11.0	8.9	75.3	32.3	11.3	26.4
性別	男性	309	12.0	2.3	11.3	9.4	79.6	33.3	12.6	26.2
	女性	332	5.1	-	10.8	9.0	71.7	31.3	10.8	27.4
年代別	10歳代	14	28.6	-	42.9	14.3	85.7	-	-	7.1
	20歳代	51	23.5	5.9	25.5	17.6	49.0	9.8	2.0	35.3
	30歳代	81	18.5	-	21.0	13.6	63.0	8.6	3.7	44.4
	40歳代	81	12.3	1.2	17.3	17.3	63.0	28.4	7.4	35.8
	50歳代	100	8.0	1.0	10.0	8.0	80.0	49.0	16.0	19.0
	60歳代	144	0.7	0.7	4.2	6.3	89.6	45.1	14.6	18.1
	70歳代	117	1.7	0.9	2.6	3.4	83.8	37.6	16.2	25.6
	80歳代以上	60	3.3	-	5.0	1.7	76.7	30.0	15.0	23.3

		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		14.0	12.5	24.6	7.4	29.6	1.7	0.5	1.7	1.1
性別	男性	12.0	14.6	24.6	7.8	26.2	1.6	0.3	0.3	0.6
	女性	16.6	11.1	25.0	7.5	32.5	1.8	0.6	3.0	-
年代別	10歳代	7.1	14.3	14.3	-	42.9	-	-	-	-
	20歳代	37.3	13.7	23.5	5.9	35.3	-	-	2.0	-
	30歳代	49.4	9.9	25.9	3.7	25.9	1.2	-	-	-
	40歳代	29.6	24.7	21.0	4.9	17.3	1.2	-	-	-
	50歳代	4.0	18.0	24.0	10.0	27.0	2.0	1.0	-	-
	60歳代	0.7	11.8	34.7	12.5	21.5	-	-	1.4	0.7
	70歳代	1.7	6.8	23.1	8.5	47.0	4.3	-	0.9	0.9
	80歳代以上	1.7	3.3	11.7	1.7	35.0	3.3	3.3	11.7	-

居住地域別

居住地域別でみると、山之上で「高い所得や多くの財産があること」の割合、加茂野、三和で「家族との団らん時間を大切にすること」の割合、伊深で「家族の介護」の割合、三和で「人間関係を大切にすること」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
全 体		663	8.3	1.1	11.0	8.9	75.3	32.3	11.3	26.4
居住地域別	太田	126	11.1	0.8	11.1	10.3	80.2	27.8	7.1	20.6
	古井	180	4.4	1.1	10.6	8.9	80.0	31.1	14.4	22.8
	山之上	41	19.5	2.4	4.9	9.8	70.7	19.5	9.8	34.1
	蜂屋	84	13.1	1.2	11.9	10.7	67.9	36.9	11.9	27.4
	加茂野	107	8.4	1.9	15.9	6.5	70.1	34.6	7.5	38.3
	伊深	13	-	-	7.7	-	84.6	30.8	23.1	23.1
	三和	16	-	-	12.5	18.8	81.3	37.5	18.8	37.5
	下米田・牧野	76	3.9	-	9.2	6.6	76.3	42.1	13.2	22.4
	わからない	2	50.0	-	-	-	100.0	-	-	50.0

		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		14.0	12.5	24.6	7.4	29.6	1.7	0.5	1.7	1.1
居住地域別	太田	17.5	11.1	24.6	7.1	27.0	2.4	-	4.0	0.8
	古井	12.8	12.2	26.7	10.0	36.1	1.7	-	0.6	0.6
	山之上	17.1	19.5	26.8	12.2	26.8	-	-	-	-
	蜂屋	15.5	10.7	25.0	6.0	26.2	2.4	-	1.2	-
	加茂野	17.8	13.1	20.6	5.6	21.5	0.9	0.9	1.9	-
	伊深	23.1	15.4	23.1	-	30.8	7.7	-	7.7	-
	三和	-	12.5	25.0	-	43.8	-	-	-	-
	下米田・牧野	5.3	11.8	26.3	7.9	35.5	1.3	2.6	1.3	-
	わからない	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-

職業別

職業別でみると、会社員、公務員、家事に専念している主婦（夫）で「子どもの保育や教育」の割合、公務員で「知識や教養を高めること」、「趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと」の割合、パート・アルバイト、フリーター、内職で「老後の生活への準備」の割合、学生で「高い所得や多くの財産があること」、「仕事・家業・学業にうちこむこと」、「人間関係を大切にすること」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。

単位：%

		有効回答数 (件)	高い所得や 多くの財産が あること	社会的地位を 高めること	仕事・家業・ 学業にうちこむ こと	知識や教養を 高めること	健康であること	老後の生活への 準備	家族の介護	家族との団らん 時間を大切に すること
全 体		663	8.3	1.1	11.0	8.9	75.3	32.3	11.3	26.4
職業別	農林業	26	7.7	-	15.4	3.8	76.9	42.3	15.4	26.9
	自営業	52	3.8	1.9	13.5	5.8	82.7	40.4	17.3	28.8
	会社員	148	17.6	2.0	14.9	10.8	73.6	25.0	6.8	35.8
	公務員	33	9.1	3.0	6.1	24.2	57.6	36.4	12.1	33.3
	団体職員	5	-	-	-	-	80.0	40.0	-	60.0
	パート・アルバイト、 フリーター、内職	78	5.1	-	14.1	9.0	74.4	50.0	12.8	19.2
	学生	21	33.3	4.8	52.4	19.0	57.1	4.8	-	9.5
	家事に専念している主婦（夫）	89	3.4	-	5.6	12.4	75.3	28.1	10.1	25.8
	無職	175	3.4	0.6	4.0	4.0	79.4	33.1	14.3	20.0
	その他	14	7.1	-	14.3	-	100.0	28.6	21.4	35.7

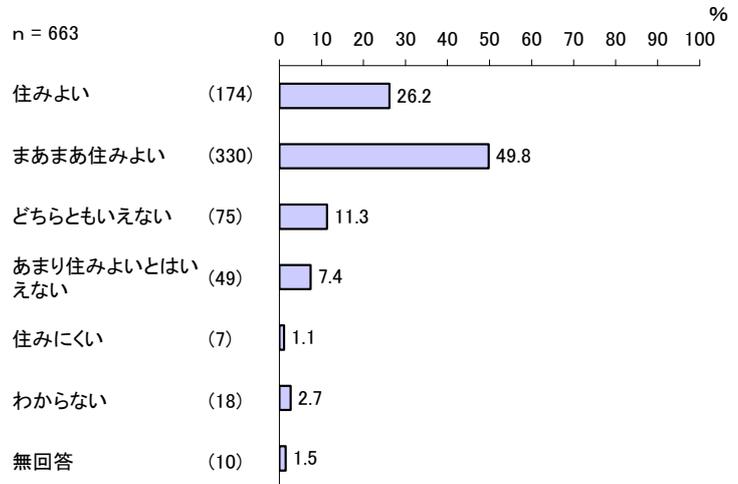
		子どもの保育や 教育	衣食住生活の 改善、充実	趣味やレジャー など余暇を 楽しむこと	社会的奉仕活動 をすること	人間関係を大切 にすること	その他	特にな い	わから ない	無回 答
全 体		14.0	12.5	24.6	7.4	29.6	1.7	0.5	1.7	1.1
職業別	農林業	11.5	11.5	26.9	7.7	30.8	3.8	-	-	-
	自営業	5.8	17.3	21.2	13.5	23.1	1.9	-	-	-
	会社員	25.7	14.2	23.6	6.8	25.7	-	-	-	0.7
	公務員	27.3	6.1	36.4	6.1	39.4	-	-	-	-
	団体職員	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-
	パート・アルバイト、 フリーター、内職	15.4	21.8	26.9	5.1	17.9	2.6	-	1.3	-
	学生	14.3	14.3	14.3	4.8	42.9	-	-	-	-
	家事に専念している主婦（夫）	22.5	12.4	29.2	7.9	33.7	1.1	1.1	1.1	-
	無職	2.3	8.6	21.1	6.3	37.1	2.9	1.1	5.1	0.6
	その他	-	7.1	28.6	21.4	14.3	-	-	-	-

3 定住意向

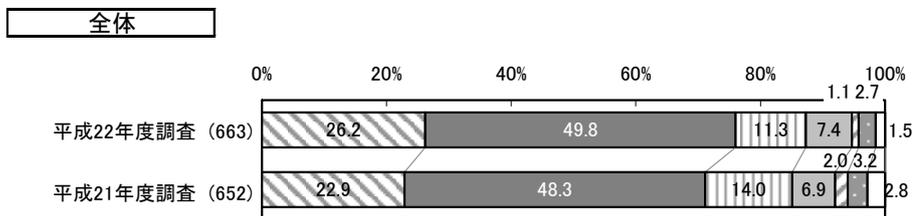
問 13 . 美濃加茂市の住みやすさ

「住みよい」と「まあまあ住みよい」をあわせた住みよいと感じている人の割合が76.0%、「どちらともいえない」の割合が11.3%、「あまり住みよいとはいえない」と「住みにくい」をあわせた住みよいと感じていない人の割合が8.5%となっています。

前回調査と比較すると、「住みよい」の割合が3.3ポイント、「まあまあ住みよい」の割合が1.5ポイント増加し、住みよいと感じている人の割合が4.8ポイント増加しています。



- 住みよい
- まあまあ住みよい
- どちらともいえない
- あまり住みよいとはいえない
- 住みにくい
- わからない
- 無回答



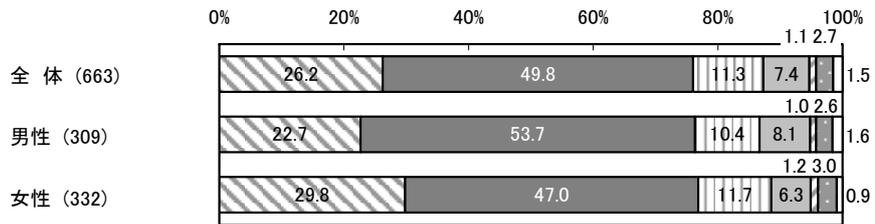
性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

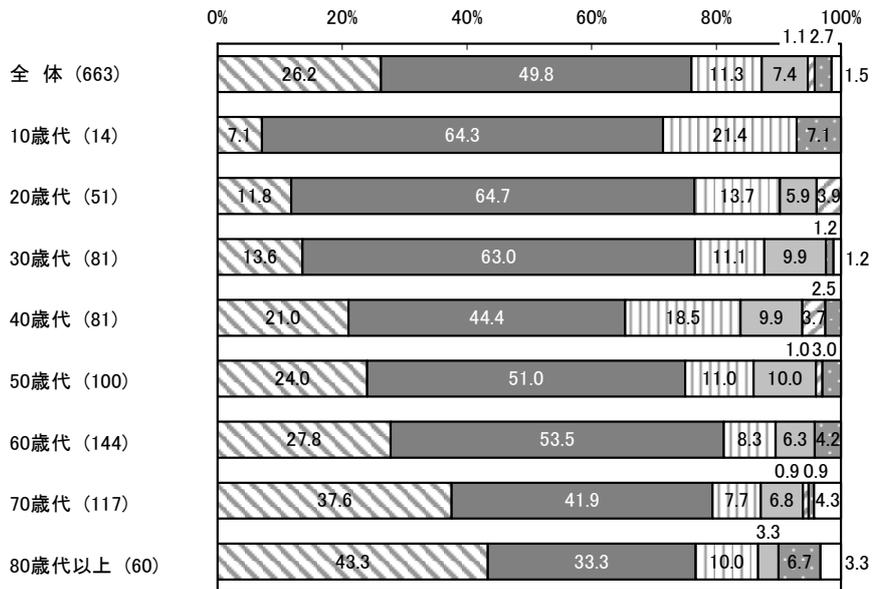
年代別でみると、60歳代、70歳代で住みよいと感じている人の割合が約8割となっており、他に比べて高くなっています。また、年代が高くなるにつれ「住みよい」の割合が高くなっています。

- 住みよい
- どちらともいえない
- 住みにくい
- 無回答
- まあまあ住みよい
- あまり住みよいとはいえない
- わからない

性別

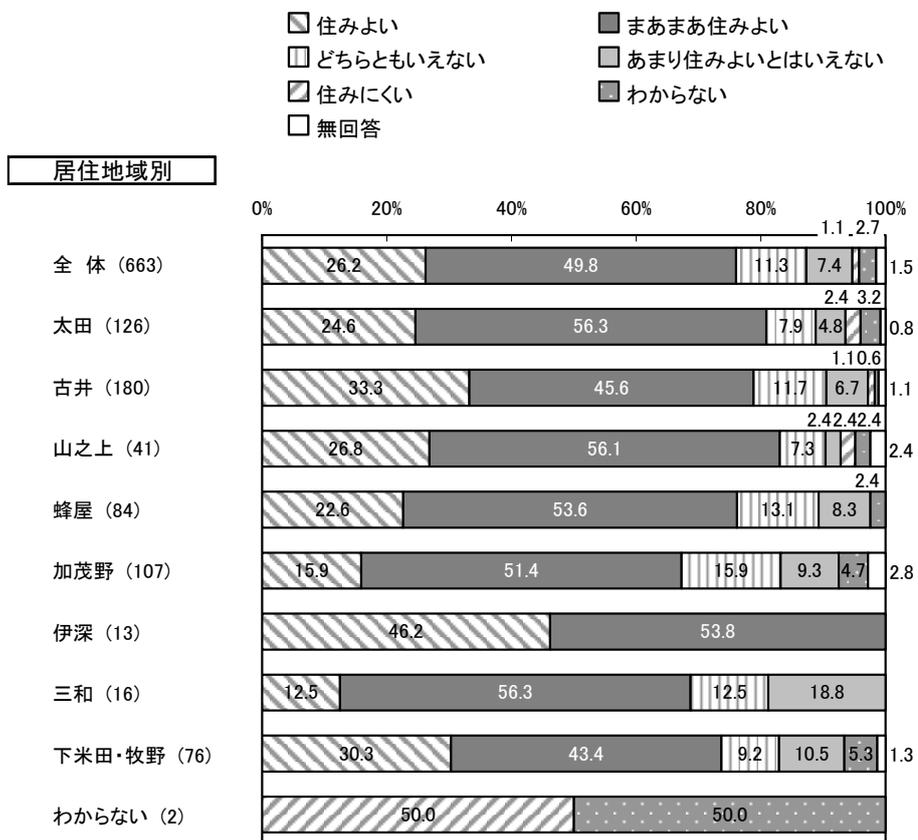


年代別



居住地域別

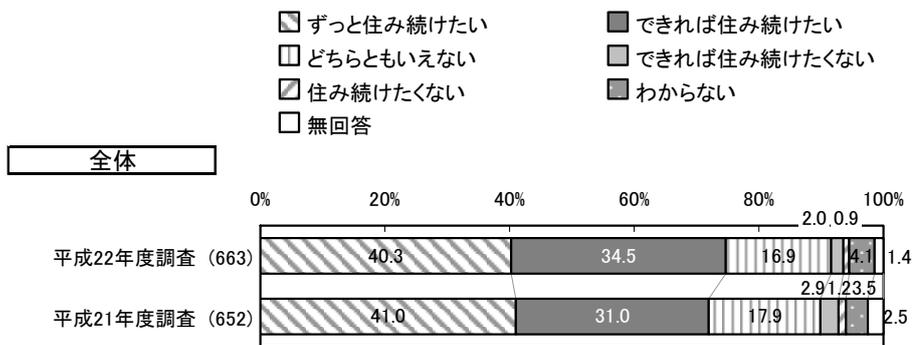
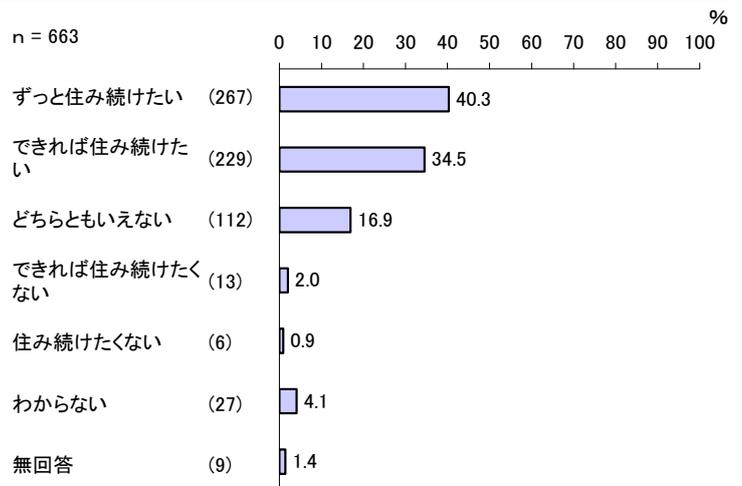
居住地域別でみると、太田、山之上、伊深で住みよいと感じている人の割合が8割を越えており、他に比べて高くなっています。また、三和、下米田・牧野で住みよいと感じていない人の割合が1割を超えており、他に比べて高くなっています。



問 14 . 美濃加茂市に住みたいか

「ずっと住みたい」と「できれば住みたい」をあわせた住みたいと感じている人の割合が74.8%、「どちらともいえない」の割合が16.9%、「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」をあわせた住み続けたくないと感じている人の割合が2.9%となっています。

前回調査と比較すると、「できれば住みたい」の割合が3.5ポイント増加しています。



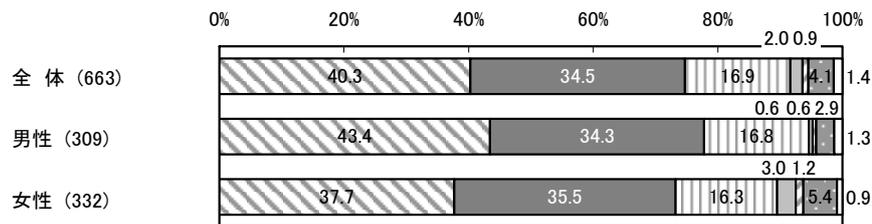
性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

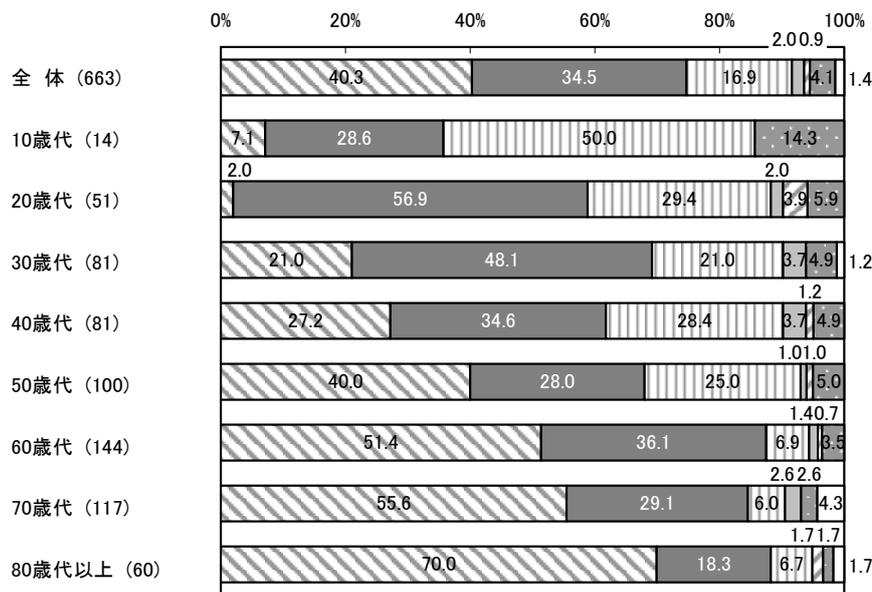
年代別でみると、年代が高くなるにつれ、住み続けたいと感じている人の割合が高くなる傾向にあります。特に60歳代以上で8割を超えており、他に比べて高くなっています。

- ずっと住み続けたい
- できれば住み続けたい
- どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- わからない
- 無回答

性別



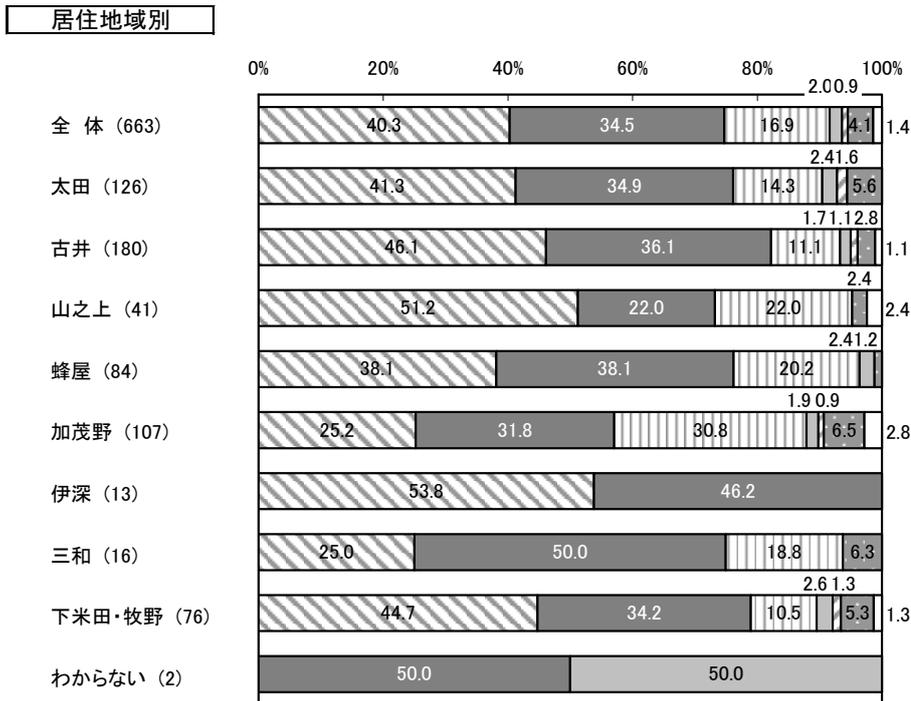
年代別



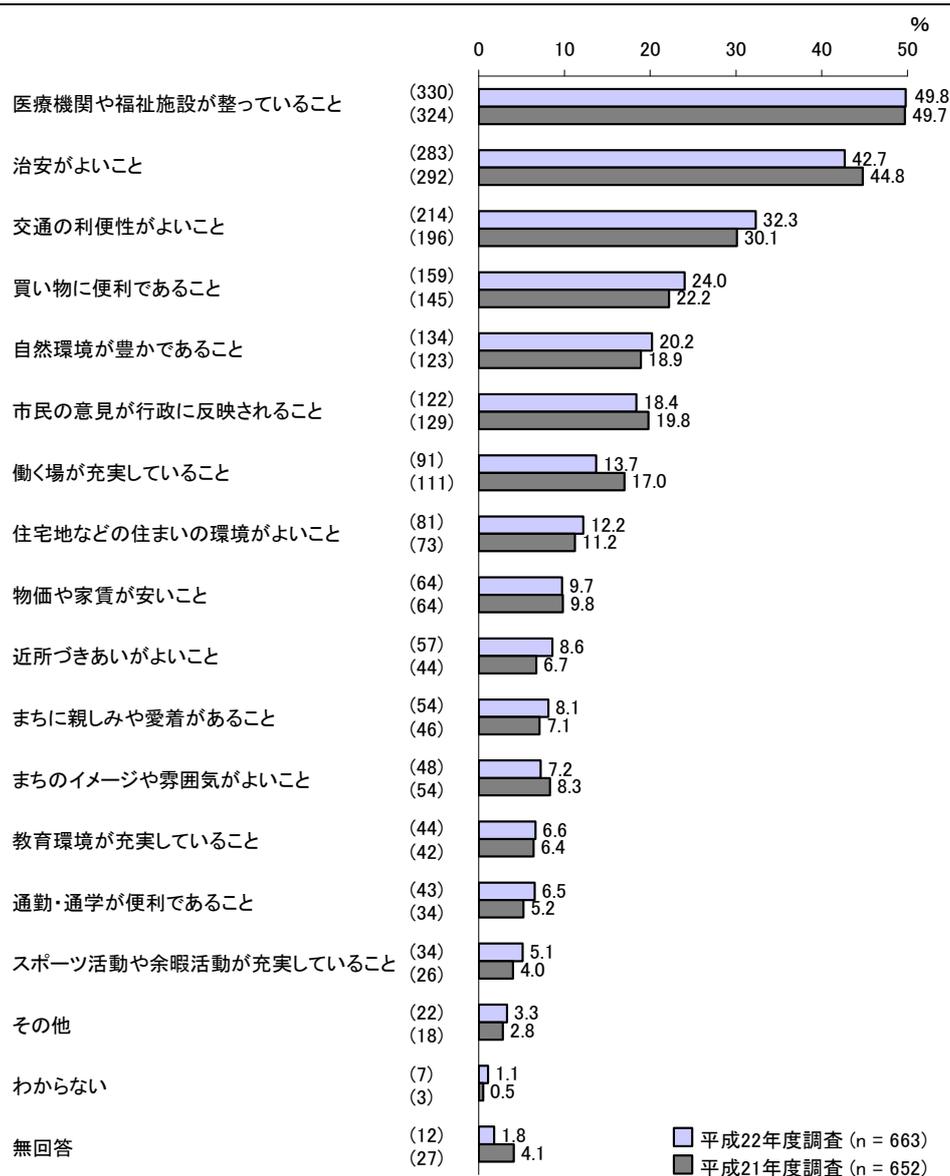
居住地域別

居住地域別でみると、古井、伊深で住み続けたいと感じている人の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、加茂野で住み続けたいと感じている人の割合が6割未満となっており、他に比べて低くなっています。

- ずっと住み続けたい
- できれば住み続けたい
- どちらともいえない
- できれば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- わからない
- 無回答



問 15．美濃加茂市に住み続けるために必要なこと



「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が49.8%と最も高く、次いで「治安がよいこと」の割合が42.7%、「交通の利便性がよいこと」の割合が32.3%となっています。

前回調査と比較すると、「働く場が充実していること」の割合が3.3ポイント減少しています。

性別・年代別

性別で見ると、男性で「住宅地などの住まいの環境がよいこと」、「治安がよいこと」の割合が女性に比べて高くなっています。また、女性で「交通の利便性がよいこと」の割合が男性に比べて高くなっています。

年代別で見ると、10歳代で「働く場が充実していること」、「通勤・通学が便利であること」、「まちに親しみや愛着があること」の割合、20歳代で「交通の利便性がよいこと」の割合、30歳代、60歳代で「治安がよいこと」の割合、30歳代で「通勤・通学が便利であること」、「教育環境が充実していること」の割合、80歳代以上で「買い物に便利であること」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。また、10歳代、20歳代、30歳代で、「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が低くなっています。

単位：%

		有効回答数(件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	住宅地などのこと	まちのイメージや雰囲気が良いこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
全 体		663	20.2	32.3	12.2	7.2	24.0	42.7	8.6	13.7	6.5	
性別	男性	309	21.7	28.8	15.9	9.7	25.2	46.9	8.7	12.6	4.2	
	女性	332	18.4	36.4	9.0	5.1	22.6	40.4	8.1	15.1	8.4	
年代別	10歳代	14	7.1	28.6	-	7.1	21.4	50.0	-	35.7	21.4	
	20歳代	51	13.7	47.1	13.7	15.7	31.4	35.3	7.8	25.5	11.8	
	30歳代	81	11.1	23.5	18.5	8.6	16.0	54.3	7.4	23.5	19.8	
	40歳代	81	13.6	32.1	16.0	2.5	11.1	49.4	3.7	22.2	7.4	
	50歳代	100	15.0	37.0	12.0	12.0	22.0	42.0	7.0	18.0	5.0	
	60歳代	144	29.9	29.9	11.1	4.9	21.5	54.9	6.9	5.6	2.1	
	70歳代	117	23.1	32.5	10.3	5.1	33.3	30.8	16.2	3.4	-	
	80歳代以上	60	28.3	31.7	6.7	5.0	38.3	23.3	11.7	8.3	3.3	

		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	スロースペース活動や安いこと	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
全 体		49.8	6.6	5.1	9.7	8.1	18.4	3.3	1.1	1.8	
性別	男性	50.2	5.2	6.5	8.1	8.7	20.1	4.9	0.6	1.3	
	女性	49.7	8.4	3.9	10.8	6.9	16.9	1.8	1.5	1.8	
年代別	10歳代	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4	-	7.1	-	-	
	20歳代	21.6	9.8	7.8	19.6	13.7	7.8	9.8	-	-	
	30歳代	43.2	22.2	6.2	7.4	2.5	13.6	7.4	-	1.2	
	40歳代	51.9	11.1	6.2	9.9	9.9	27.2	2.5	-	-	
	50歳代	59.0	3.0	8.0	15.0	3.0	19.0	2.0	-	-	
	60歳代	56.9	2.8	2.1	9.0	8.3	19.4	1.4	1.4	1.4	
	70歳代	52.1	1.7	6.0	5.1	9.4	17.1	1.7	2.6	4.3	
	80歳代以上	48.3	3.3	1.7	3.3	8.3	26.7	3.3	3.3	3.3	

居住地域別

居住地域別でみると、山之上で「自然環境が豊かであること」の割合、伊深で「住宅地などの住まいの環境がよいこと」、「近所づきあいがよいこと」、「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合、三和で「まちに親しみや愛着があること」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。

単位：％

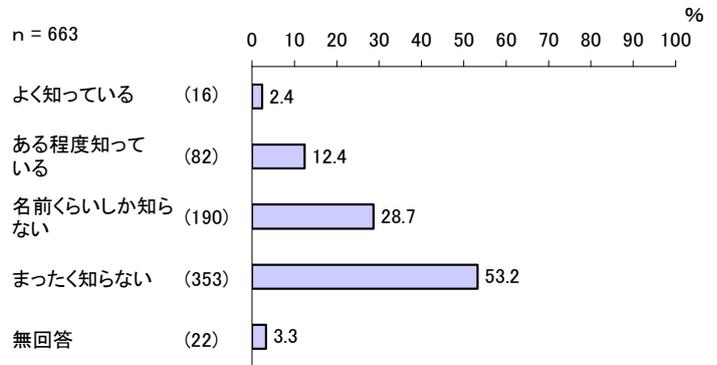
		有効回答数(件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住まいの環境がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちのイメージや雰囲気が良いこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
全 体		663	20.2	32.3	12.2	7.2	24.0	42.7	8.6	13.7	6.5	
居住地域別	太田	126	17.5	31.0	10.3	11.9	27.8	43.7	8.7	13.5	6.3	
	古井	180	17.8	30.0	11.1	9.4	29.4	51.1	9.4	11.1	2.8	
	山之上	41	34.1	26.8	12.2	2.4	19.5	39.0	2.4	9.8	9.8	
	蜂屋	84	20.2	36.9	9.5	1.2	17.9	46.4	7.1	21.4	8.3	
	加茂野	107	16.8	32.7	15.9	5.6	26.2	42.1	6.5	15.0	11.2	
	伊深	13	23.1	30.8	23.1	-	7.7	30.8	23.1	15.4	7.7	
	三和	16	12.5	81.3	12.5	6.3	18.8	25.0	18.8	6.3	6.3	
	下米田・牧野	76	28.9	26.3	14.5	6.6	15.8	31.6	10.5	15.8	2.6	
	わからない	2	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	

		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	余暇活動が充実していること	スポーツ活動や安いのこと	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
全 体		49.8	6.6	5.1	9.7	8.1	18.4	3.3	1.1	1.8	
居住地域別	太田	54.8	7.9	4.8	9.5	10.3	19.8	2.4	0.8	0.8	
	古井	50.0	7.2	6.1	8.9	7.8	20.6	2.8	-	1.1	
	山之上	58.5	9.8	7.3	7.3	9.8	14.6	2.4	-	2.4	
	蜂屋	44.0	4.8	6.0	11.9	6.0	11.9	3.6	2.4	1.2	
	加茂野	44.9	5.6	3.7	12.1	3.7	16.8	2.8	2.8	1.9	
	伊深	61.5	7.7	-	15.4	15.4	23.1	-	-	7.7	
	三和	31.3	-	-	-	18.8	18.8	-	-	-	
	下米田・牧野	50.0	6.6	5.3	5.3	7.9	22.4	9.2	1.3	2.6	
	わからない	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	

4 第5次総合計画について

問 16. 市では、平成22年度から、まちづくりに関する最上位計画である第5次総合計画をスタートさせ、10年後のあるべき姿を、「まあるいまち みのかも」と定めています。あなたは、第5次総合計画をご存知ですか。(はひとつ)

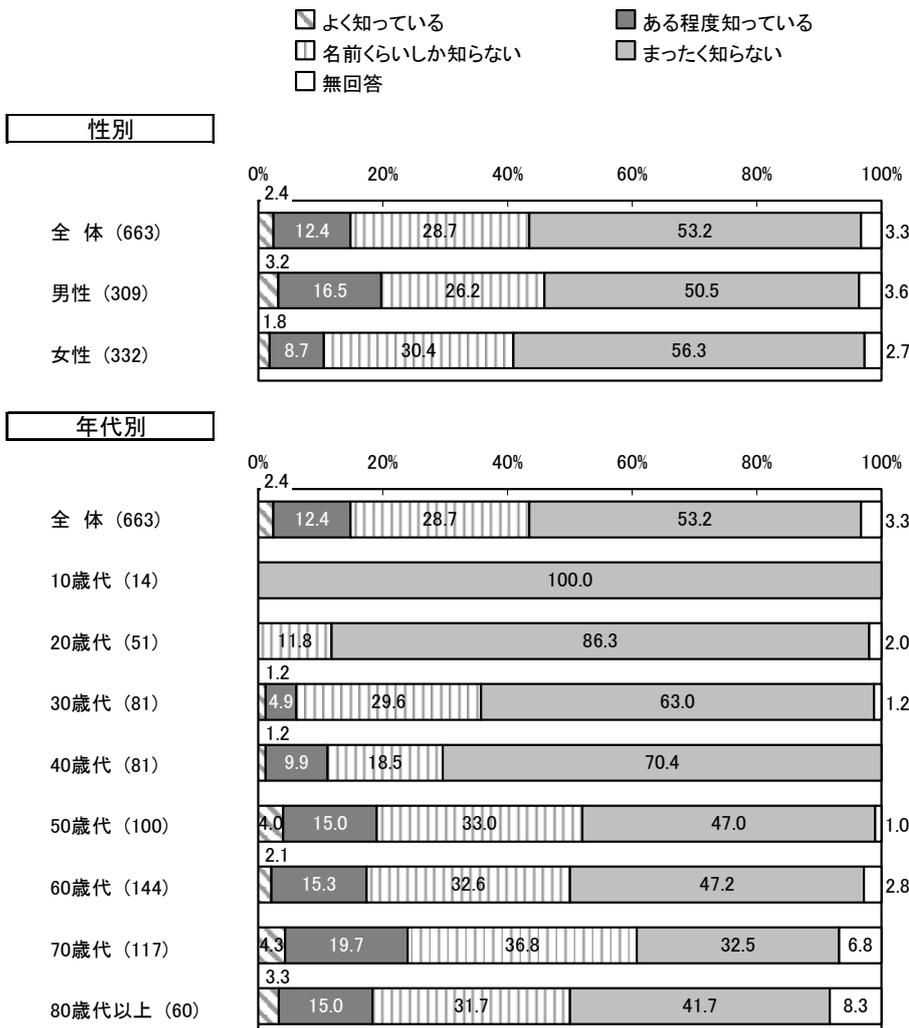
「よく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた第5次総合計画を知っている人の割合が14.8%、「名前くらいしか知らない」と「まったく知らない」をあわせた知らない人の割合が81.9%となっています。



性別・年代別

性別で見ると、男性で第5次総合計画を知っている人の割合が女性に比べ高くなっています。

年代別で見ると、70歳代で第5次総合計画を知っている人の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、10歳代、20歳代、30歳代で知らない人の割合が9割を超えており、他に比べて高くなっています。

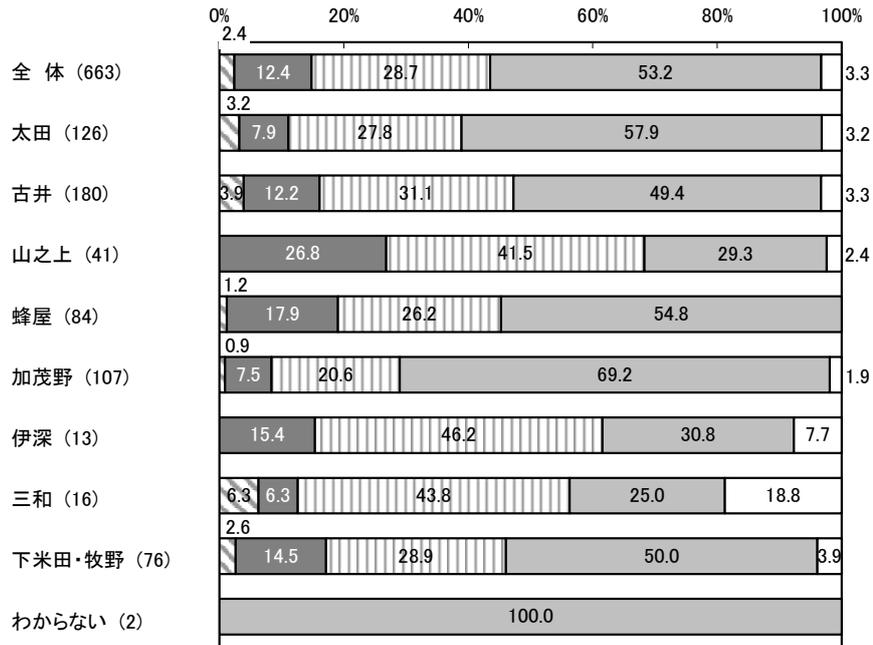


居住地域別

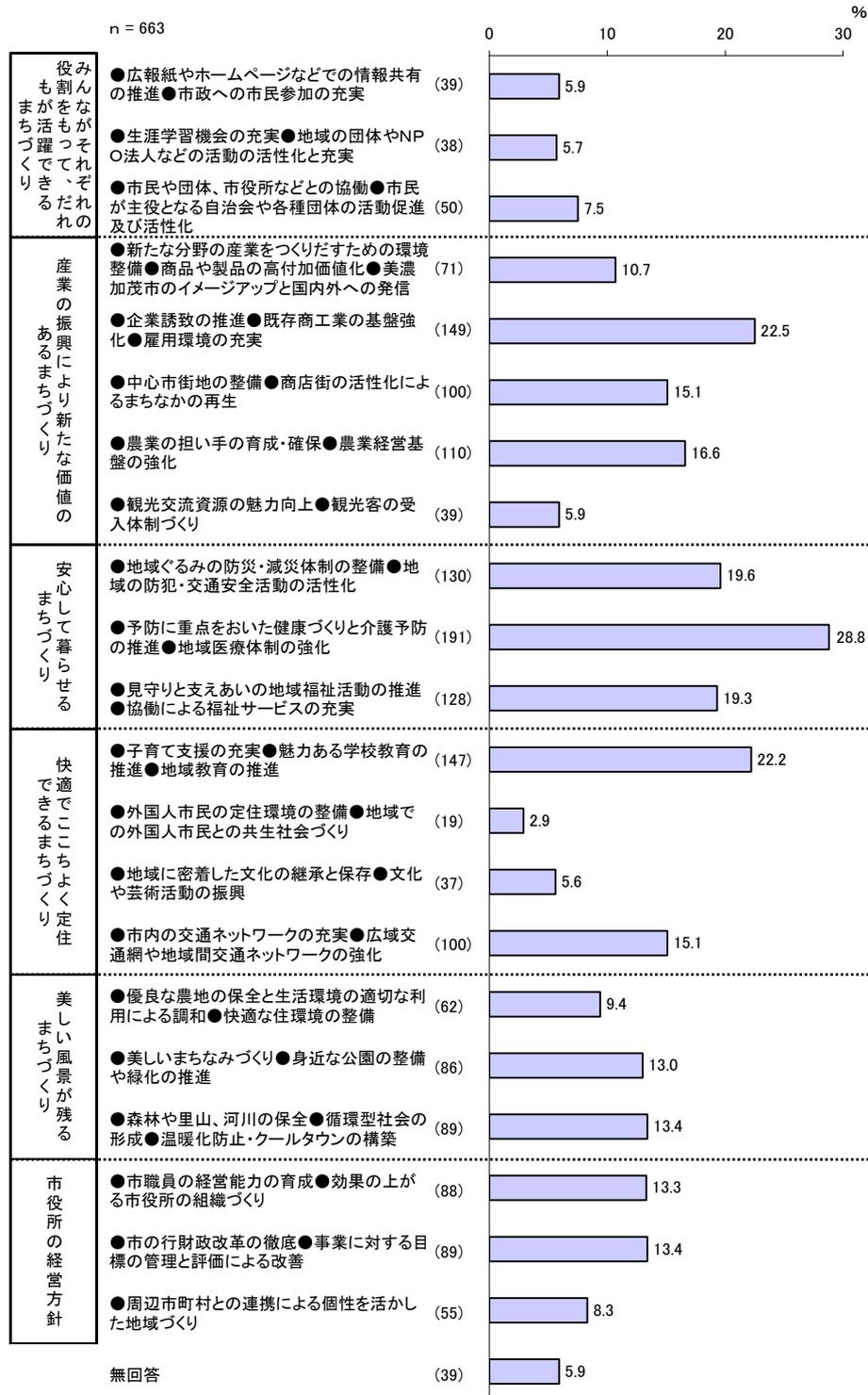
居住地域別でみると、山之上で第5次総合計画を知っている人の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。

- よく知っている
- ある程度知っている
- ▨ 名前くらいしか知らない
- まったく知らない
- 無回答

居住地域別



問 17. 第 5 次総合計画の 10 年後のあるべき姿、「まあるいまち みのかも」をつかっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を に記入してください。(3 つまで)



「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進・地域医療体制の強化」の割合が 28.8% と最も高く、次いで「企業誘致の推進・既存商工業の基盤強化・雇用環境の充実」の割合が 22.5%、「子育て支援の充実・魅力ある学校教育の推進・地域教育の推進」の割合が 22.2% となっています。

性別・年代別

性別で見ると、男性で「市民や団体、市役所などとの協働・市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化」、「企業誘致の推進・既存商工業の基盤強化・雇用環境の充実」、「市の行財政改革の徹底・事業に対する目標の管理と評価による改善」、「周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり」の割合が女性に比べて高くなっています。また、女性で「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進・協働による福祉サービスの充実」、「子育て支援の充実・魅力ある学校教育の推進・地域教育の推進」の割合が男性に比べて高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	広報紙やホームページなどの市民参加の充実	生涯学習機会の充実・地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	市民や団体、市役所などとの協働・市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	新たな分野の産業をつくり出すための環境整備・商品の高付加価値化・美濃市のイメージアップと国内外への発信	企業誘致の推進・既存商工業の基盤強化・雇用環境の充実	中心市街地の整備・商店街の活性化によるまちなかの再生	農業の担い手の育成・確保・農業経営基盤の強化	観光交流資源の魅力向上・観光客の受入体制づくり	地域ぐるみの防災・減災体制の整備・地域の防犯・交通安全活動の活性化	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進・地域医療体制の強化	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進・協働による福祉サービスの充実	
全体	663	5.9	5.7	7.5	10.7	22.5	15.1	16.6	5.9	19.6	28.8	19.3	
性別	男性	309	7.8	4.2	10.4	12.0	25.9	15.2	14.9	6.1	19.7	29.4	16.5
	女性	332	3.9	6.9	4.8	9.3	19.6	14.8	19.0	5.1	19.3	28.6	21.7
年代別	10歳代	14	14.3	-	7.1	21.4	14.3	14.3	14.3	35.7	14.3	21.4	
	20歳代	51	5.9	5.9	2.0	11.8	25.5	25.5	9.8	7.8	13.7	3.9	
	30歳代	81	2.5	7.4	6.2	12.3	25.9	8.6	13.6	4.9	30.9	14.8	
	40歳代	81	7.4	2.5	3.7	9.9	30.9	12.3	14.8	3.7	24.7	28.4	21.0
	50歳代	100	5.0	8.0	14.0	16.0	23.0	18.0	20.0	4.0	21.0	29.0	22.0
	60歳代	144	4.2	2.8	8.3	8.3	20.1	16.7	18.8	5.6	17.4	34.0	22.2
	70歳代	117	9.4	8.5	4.3	9.4	17.1	12.0	21.4	6.8	12.8	35.9	19.7
	80歳代以上	60	5.0	5.0	11.7	3.3	20.0	13.3	11.7	6.7	15.0	26.7	21.7

年代別でみると、10歳代で「周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり」の割合、20歳代で「中心市街地の整備・商店街の活性化によるまちなかの再生」の割合、30歳代で「地域ぐるみの防災・減災体制の整備・地域の防犯・交通安全活動の活性化」の割合、50歳代で「市民や団体、市役所などとの協働・市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化」、60歳代で「優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和・快適な住環境の整備」の割合、20～40歳代で「子育て支援の充実・魅力ある学校教育の推進・地域教育の推進」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっています。

単位：％

		進子育て支援の充実・魅力ある学校教育の推進	外国人市民との共生社会づくり	地域活動の振興	市内の交通ネットワークの充実・広域交通網や地域間ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用	美しいまちなみづくり・身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全・循環型社会の形成・温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成・効果の上がる市役所の組織づくり	市の行政改革の徹底・事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
全 体		22.2	2.9	5.6	15.1	9.4	13.0	13.4	13.3	13.4	8.3	5.9
性別	男性	18.1	2.6	6.1	16.5	11.3	15.2	13.3	14.2	16.5	11.0	3.6
	女性	27.1	3.0	5.1	14.5	8.1	11.4	13.6	12.0	10.2	6.0	7.2
年代別	10歳代	7.1	14.3	7.1	14.3	-	21.4	7.1	7.1	14.3	28.6	-
	20歳代	56.9	7.8	5.9	15.7	5.9	25.5	15.7	11.8	7.8	7.8	-
	30歳代	63.0	3.7	3.7	12.3	3.7	18.5	11.1	3.7	11.1	2.5	1.2
	40歳代	33.3	1.2	4.9	18.5	7.4	14.8	11.1	8.6	19.8	8.6	1.2
	50歳代	15.0	-	3.0	21.0	14.0	10.0	15.0	16.0	15.0	8.0	2.0
	60歳代	7.6	1.4	6.3	16.0	15.3	12.5	16.0	14.6	13.9	8.3	4.9
	70歳代	4.3	1.7	8.5	12.8	10.3	11.1	9.4	16.2	13.7	9.4	12.8
	80歳代以上	10.0	6.7	6.7	8.3	3.3	3.3	18.3	21.7	8.3	10.0	20.0

居住地域別

居住地域別でみると、太田で「中心市街地の整備・商店街の活性化によるまちなかの再生」、
 「外国人市民の定住環境の整備・地域での外国人市民との共生社会づくり」の割合、加茂野で
 「周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり」の割合、三和で「森林や里山、河川
 の保全・循環型社会の形成・温暖化防止・クールタウンの構築」の割合、山之上、伊深、下米
 田・牧野で「農業の担い手の育成・確保・農業経営基盤の強化」の割合がそれぞれ他に比べて
 高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	推進・紙やホームページなどでの市民参加の充実	生涯学習機会の充実・地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	市民や団体、市役所などとの協働・市民が主役となる自治会や各種団体の活動・促進及び活性化	新設・商品の高付加価値化・美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備	企業誘致の推進・既存商工業の基盤強化・雇用環境の充実	中心市街地の整備・商店街の活性化によるまちなかの再生	農業の担い手の育成・確保・農業経営基盤の強化	観光交流資源の魅力向上・観光客の受入体制づくり	地域ぐるみの防災・減災体制の整備・地域の防犯・交通安全活動の活性化	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進・地域医療体制の強化	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進・協働による福祉サービスの充実
全 体	663	5.9	5.7	7.5	10.7	22.5	15.1	16.6	5.9	19.6	28.8	19.3	
居住地域別	太田	126	4.0	4.8	3.2	9.5	23.0	26.2	9.5	5.6	21.4	27.0	19.8
	古井	180	8.9	6.1	8.3	13.9	27.2	14.4	15.6	7.8	22.8	31.1	20.0
	山之上	41	4.9	4.9	7.3	9.8	9.8	7.3	36.6	7.3	7.3	31.7	26.8
	蜂屋	84	6.0	4.8	9.5	9.5	20.2	9.5	17.9	2.4	26.2	28.6	15.5
	加茂野	107	4.7	6.5	5.6	5.6	26.2	15.9	11.2	6.5	20.6	23.4	16.8
	伊深	13	15.4	7.7	15.4	-	7.7	-	30.8	-	7.7	38.5	15.4
	三和	16	-	6.3	6.3	25.0	-	6.3	18.8	12.5	-	50.0	18.8
	下米田・牧野	76	3.9	3.9	10.5	11.8	21.1	9.2	26.3	2.6	13.2	25.0	18.4
	わからない	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0

単位：%

		子育て支援の充実・魅力ある学校教育の推進・地域教育の推進	外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存・文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実・広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和・快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり・身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全・循環型社会の形成・温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成・効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底・事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
全 体		22.2	2.9	5.6	15.1	9.4	13.0	13.4	13.3	13.4	8.3	5.9
居住地域別	太田	24.6	6.3	6.3	9.5	11.9	14.3	14.3	9.5	18.3	5.6	4.8
	古井	17.8	2.2	6.7	13.9	8.9	10.6	12.8	17.2	12.2	8.3	3.9
	山之上	26.8	-	9.8	19.5	14.6	17.1	19.5	7.3	4.9	9.8	4.9
	蜂屋	27.4	-	6.0	15.5	7.1	13.1	14.3	14.3	11.9	7.1	3.6
	加茂野	29.9	3.7	2.8	21.5	5.6	17.8	7.5	12.1	15.0	14.0	6.5
	伊深	23.1	-	7.7	23.1	7.7	-	23.1	7.7	15.4	-	15.4
	三和	12.5	-	-	25.0	12.5	12.5	43.8	6.3	6.3	12.5	6.3
	下米田・牧野	13.2	2.6	5.3	13.2	13.2	10.5	10.5	17.1	11.8	6.6	13.2
	わからない	50.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

5 重要度・満足度調査

1. 重要度・満足度の得点化

31 項目の質問項目について、「重要度」と「満足度」を 3 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

重要度・満足度の得点化の手順

重要度		得点		満足度		得点
重要	→	5 点		満足	→	5 点
どちらともいえない	→	3 点		どちらともいえない	→	3 点
重要ではない	→	0 点		満足ではない	→	0 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

得点の算出式

$\begin{aligned} &5 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)」の回答数} \\ &+ 3 \text{ 点} \times \text{「どちらともいえない」の回答数} \\ &+ 0 \text{ 点} \times \text{「重要(満足)ではない」の回答数} \\ \hline &\text{無回答を除いた設問の回答総数} \end{aligned}$

例えば、仮に全員が「重要」を選んだ場合、その重要度の得点は 5.00 点になります。
得点については、小数点以下第 3 位を四捨五入して表示しています。

算出された重要度・満足度得点をもとに、各事業の重要度・満足度別に順位付けを行いました。

『ごみ袋料金に対する市の負担』については、重要度・満足度ともに上位3位以内に順位付けられています。

一方で『中国語版観光パンフレットの作成と活用』、『スポーツによる自治会親善や地域活性化』については、重要度・満足度ともに下位3位以内に順位付けられています。

重要度・満足度のベスト3とワースト3

重要度		順位	満足度	
事業名	得点		得点	事業名
(9)防犯灯の設置	4.83	第1位	4.19	(29)ごみ袋料金に対する市の負担
(29)ごみ袋料金に対する市の負担	4.67	第2位	4.01	(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収
(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動	4.59	第3位	3.82	(30)事業選択による借金残高の削減
(21)地元出身者の企画展の定期的な開催	3.47	第29位	2.99	(23)あい愛バスの運行
(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化	3.14	第30位	2.95	(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化
(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用	3.06	最下位	2.73	(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用

重要度の上位3位以内に位置付けられた理由としては、(9)防犯灯の設置「市内には公園が多くその分、夜間は暗い。安全を守るためにお願いしたい」、(29)ごみ袋料金に対する市の負担「すべての人に必要なこと」、(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動「まだまだ若者がたむろする場面を屋外で見ます。声かけの機会が増えればよい」などが挙げられています。

一方で、**重要度の下位3位**以内に位置付けられた理由としては、(21)地元出身者の企画展の定期的な開催「元々、文化の森の利用者が少なく、イベントも必要なのかどうか」、(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化「参加者が決まっている」、(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用「市内には観光地が少なく充実していない。他にやる事があるのではないか」などの意見が挙げられています。

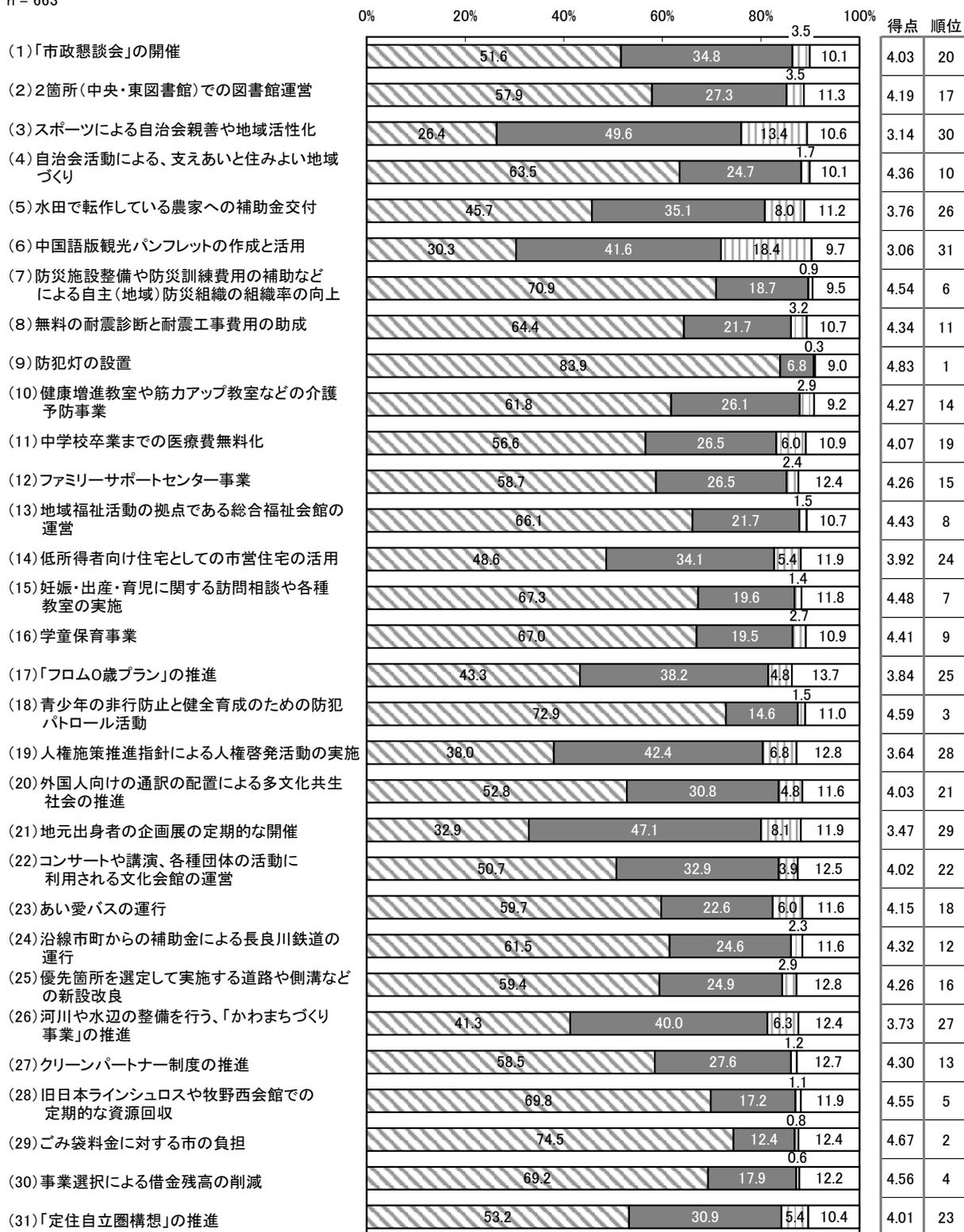
満足度の上位3位以内に位置付けられた理由としては、(29)ごみ袋料金に対する市の負担「負担していただけるのがとてもありがたい事だと感謝しております」、(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収「一度に全てのものが出せて欠かせないものです」、(30)事業選択による借金残高の削減「負債を少なくすることは大切、大賛成」などの意見が挙げられています。

一方で、**満足度の下位3位**以内に位置付けられた理由としては、(23)あい愛バスの運行「本数が少なく使う際不便」、(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化「一人でも多くの人が参加可能なスポーツ活動を推進すべき」、(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用「作成はよいが実績が見込めない」などの意見が挙げられています。

事業別にみた重要度

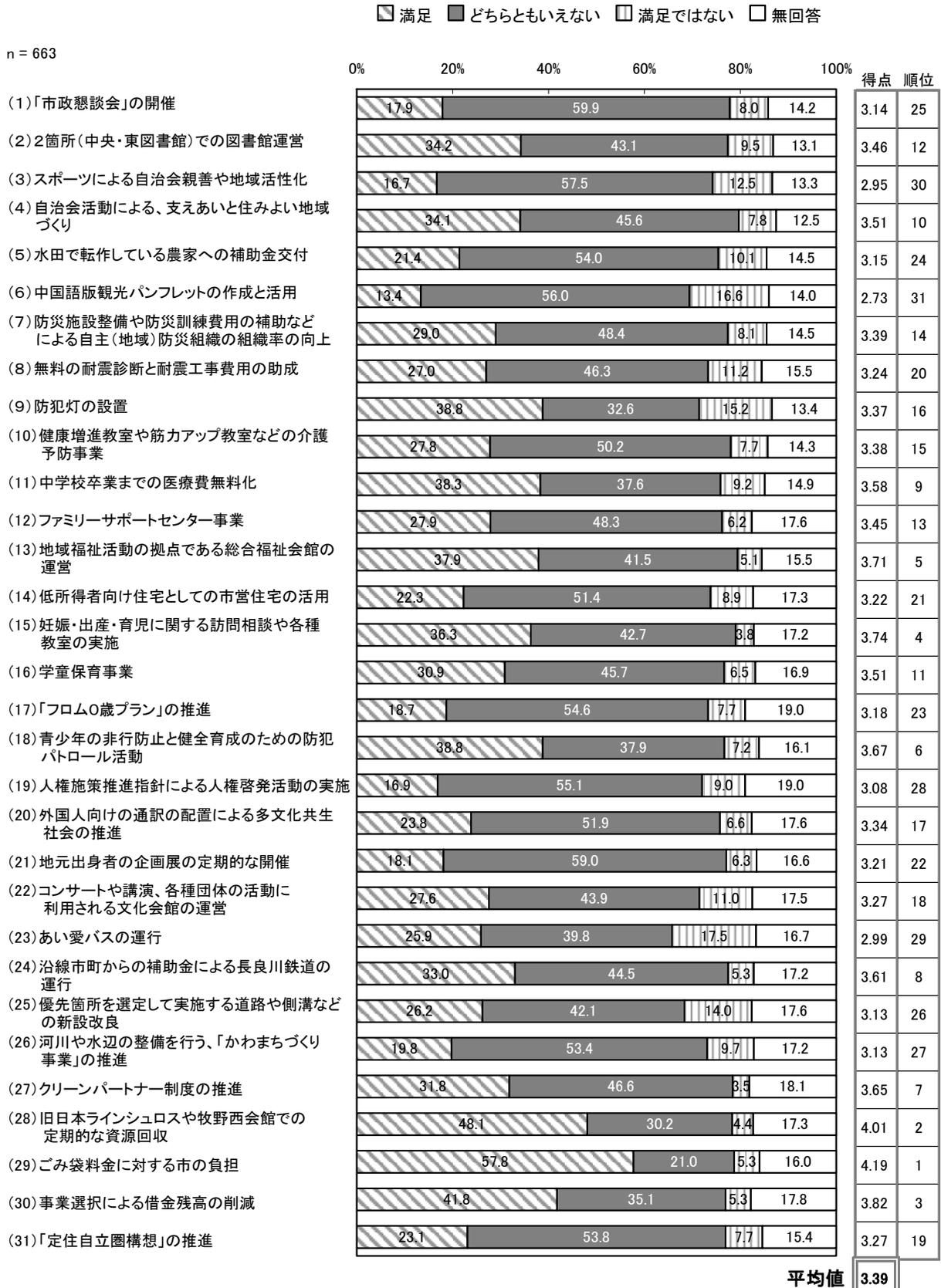
n = 663

重要 どちらともいえない 重要ではない 無回答



平均値 4.14

事業別にみた満足度



重要度の順位

順位	事業名	得点
1	(9)防犯灯の設置	4.83
2	(29)ごみ袋料金に対する市の負担	4.67
3	(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動	4.59
4	(30)事業選択による借金残高の削減	4.56
5	(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収	4.55
6	(7)防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上	4.54
7	(15)妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施	4.48
8	(13)地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営	4.43
9	(16)学童保育事業	4.41
10	(4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり	4.36
11	(8)無料の耐震診断と耐震工事費用の助成	4.34
12	(24)沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行	4.32
13	(27)クリーンパートナー制度の推進	4.30
14	(10)健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業	4.27
15	(12)ファミリーサポートセンター事業	4.26
16	(25)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	4.26
17	(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営	4.19
18	(23)あい愛バスの運行	4.15
19	(11)中学校卒業までの医療費無料化	4.07
20	(1)「市政懇談会」の開催	4.03
21	(20)外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進	4.03
22	(22)コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営	4.02
23	(31)「定住自立圏構想」の推進	4.01
24	(14)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	3.92
25	(17)「フロム0歳プラン」の推進	3.84
26	(5)水田で転作している農家への補助金交付	3.76
27	(26)河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進	3.73
28	(19)人権施策推進指針による人権啓発活動の実施	3.64
29	(21)地元出身者の企画展の定期的な開催	3.47
30	(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化	3.14
31	(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用	3.06
平均値		4.14

平均値以上

平均値以下

満足度の順位

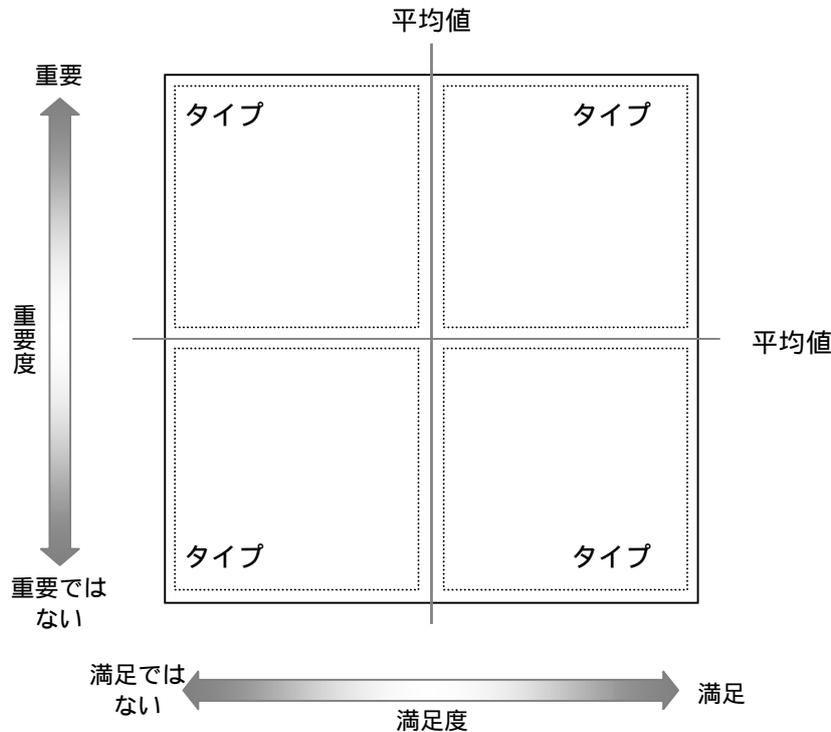
順位	事業名	得点
1	(29)ごみ袋料金に対する市の負担	4.19
2	(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収	4.01
3	(30)事業選択による借金残高の削減	3.82
4	(15)妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施	3.74
5	(13)地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営	3.71
6	(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動	3.67
7	(27)クリーンパートナー制度の推進	3.65
8	(24)沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行	3.61
9	(11)中学校卒業までの医療費無料化	3.58
10	(4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり	3.51
11	(16)学童保育事業	3.51
12	(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営	3.46
13	(12)ファミリーサポートセンター事業	3.45
14	(7)防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上	3.39
15	(10)健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業	3.38
16	(9)防犯灯の設置	3.37
17	(20)外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進	3.34
18	(22)コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営	3.27
19	(31)「定住自立圏構想」の推進	3.27
20	(8)無料の耐震診断と耐震工事費用の助成	3.24
21	(14)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	3.22
22	(21)地元出身者の企画展の定期的な開催	3.21
23	(17)「フロム0歳プラン」の推進	3.18
24	(5)水田で転作している農家への補助金交付	3.15
25	(1)「市政懇談会」の開催	3.14
26	(25)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	3.13
27	(26)河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進	3.13
28	(19)人権施策推進指針による人権啓発活動の実施	3.08
29	(23)あい愛バスの運行	2.99
30	(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化	2.95
31	(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用	2.73
平均値		3.39

平均値以上

平均値以下

2. ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価

各項目の重要度・満足度得点の関係について、重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、重要度・満足度得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。



タイプ

満足度は低い、重要度は高い

今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

タイプ

満足度は高く、重要度も高い

事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

タイプ

満足度は低く、重要度も低い

全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプ。

タイプ

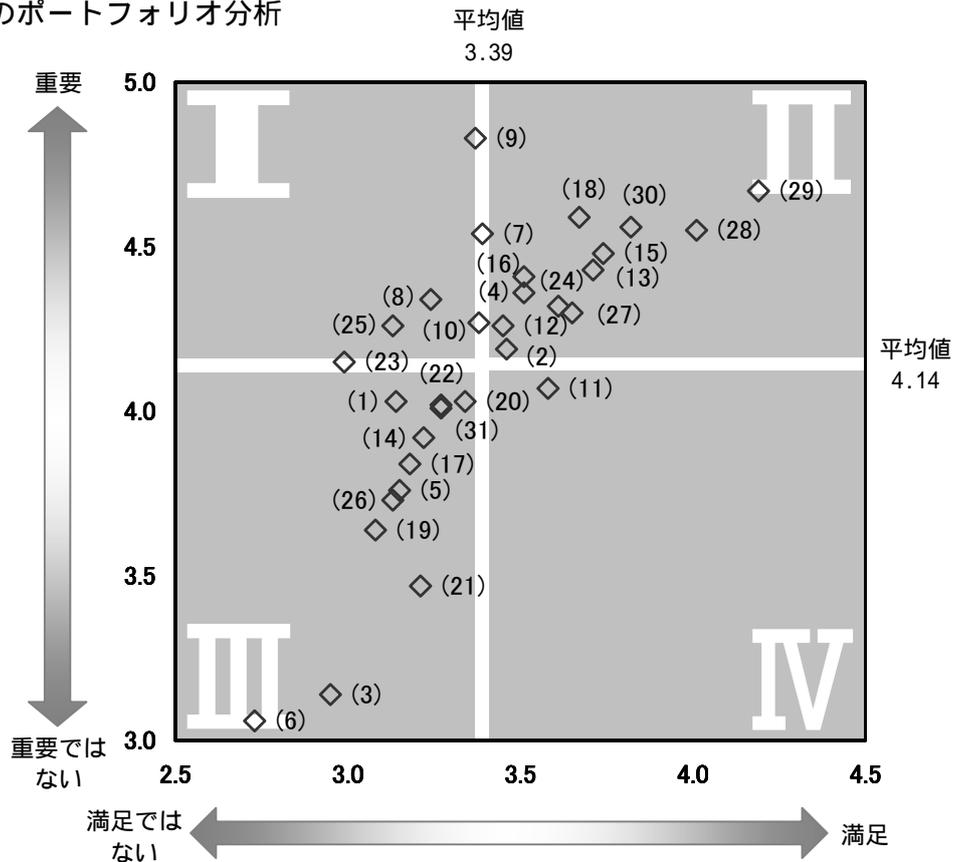
満足度は高い、重要度は低い

これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

事業全体における重要度・満足度の個別評価を行うと同時に、第5次総合計画の基本構想に基づいた共通目標・基本目標ごとについても重要度・満足度の評価を行いました。

事業の多くは、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ と、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプ に分布しています。

全事業のポートフォリオ分析



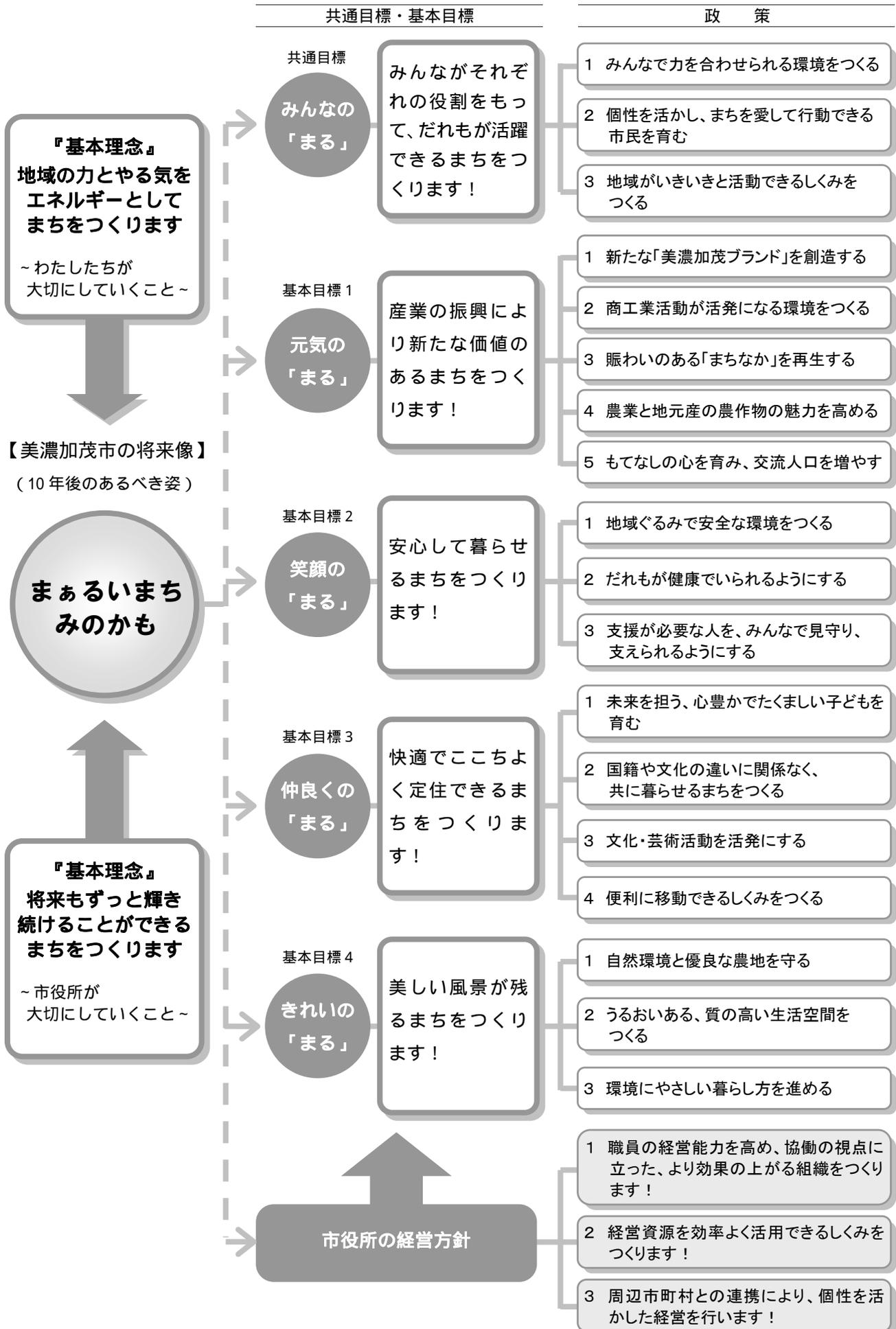
タイプⅠ	タイプⅡ
(8)無料の耐震診断と耐震工事費用の助成 (9)防犯灯の設置 (10)健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業 (23)あい愛バスの運行 (25)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営 (4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり (7)防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上 (12)ファミリーサポートセンター事業 (13)地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営 (15)妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施 (16)学童保育事業 (18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動 (24)沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行 (27)クリーンパートナー制度の推進 (28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収 (29)ごみ袋料金に対する市の負担 (30)事業選択による借金残高の削減
タイプⅢ	タイプⅣ
(1)「市政懇談会」の開催 (3)スポーツによる自治会親善や地域活性化 (5)水田で転作している農家への補助金交付 (6)中国語版観光パンフレットの作成と活用 (14)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用 (17)「フロム0歳プラン」の推進 (19)人権施策推進指針による人権啓発活動の実施 (20)外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進 (21)地元出身者の企画展の定期的な開催 (22)コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営 (26)河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進 (31)「定住自立圏構想」の推進	(11)中学校卒業までの医療費無料化

共通目標・基本目標別事業一覧

第5次総合計画の体系（次頁 図1）をもとに、31項目の事業を共通目標と4つの基本目標及び市役所の経営方針に分類し、各目標ごとに事業の評価・分析を行いました。

●みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち●	
(1)「市政懇談会」の開催	(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営
(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化	(4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり
□産業の振興により新たな価値のあるまち□	
(5)水田で転作している農家への補助金交付	(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用
* 安心して暮らせるまち *	
(7)防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主 (地域)防災組織の組織率の向上	(8)無料の耐震診断と耐震工事費用の助成
(9)防犯灯の設置	(10)健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業
(11)中学校卒業までの医療費無料化	(12)ファミリーサポートセンター事業
(13)地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営	(14)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用
△快適でこころよく定住できるまち△	
(15)妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施	(16)学童保育事業
(17)「フロム0歳プラン」の推進	(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール 活動
(19)人権施策推進指針による人権啓発活動の実施	(20)外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進
(21)地元出身者の企画展の定期的な開催	(22)コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館 の運営
(23)あい愛バスの運行	(24)沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行
◆美しい風景が残るまち◆	
(25)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	(26)河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進
(27)クリーンパートナー制度の推進	(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収
(29)ごみ袋料金に対する市の負担	
◎市役所の経営方針◎	
(30)事業選択による借金残高の削減	(31)「定住自立圏構想」の推進

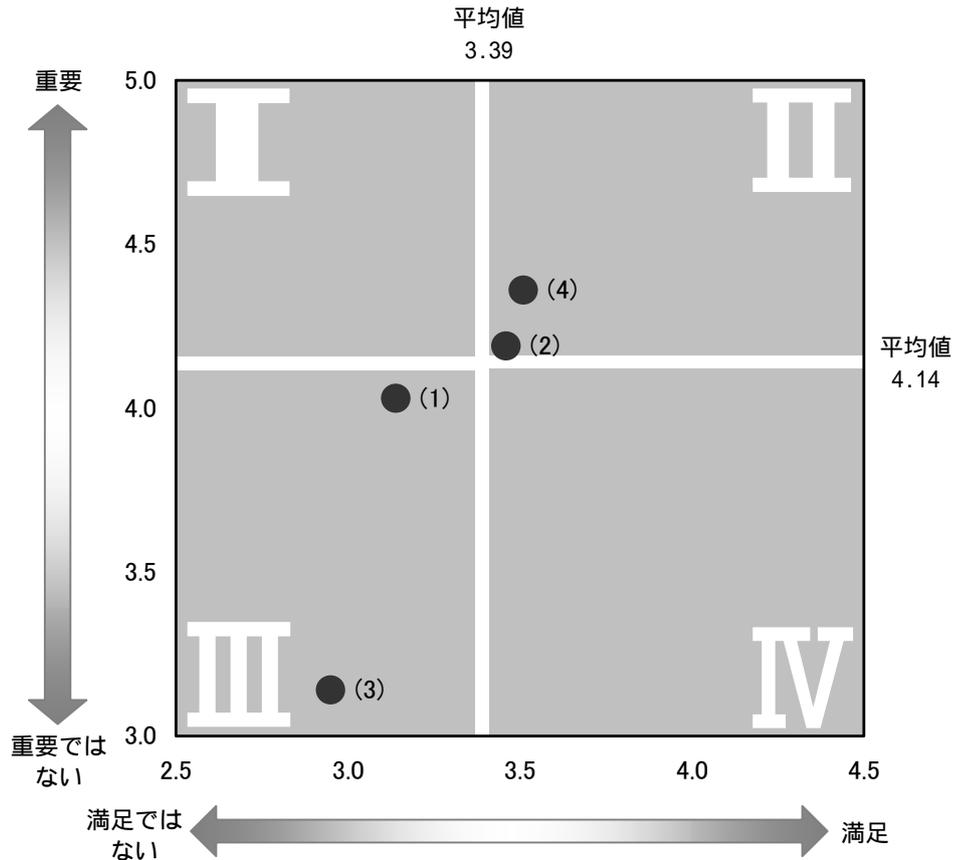
図1. 第5次総合計画 体系図



2. - 1 みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち

『(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営』、『(4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ に分布しています。

『(1)「市政懇談会」の開催』、『(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

●みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち●	
(1)「市政懇談会」の開催	(2)2箇所(中央・東図書館)での図書館運営
(3)スポーツによる自治会親善や地域活性化	(4)自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり

(1)「市政懇談会」の開催

調査項目：今年度から、市長が市内8地区を訪問し、参加された方から意見をもらい、今後の市政運営の参考にするなど、開かれた市役所を進めるために、「市政懇談会」を行いました。

重要度については、「重要」の割合が51.6%、「どちらともいえない」の割合が34.8%、「重要ではない」の割合が3.5%となっています。

満足度については、「満足」の割合が17.9%、「どちらともいえない」の割合が59.9%、「満足ではない」の割合が8.0%となっています。

性別でみると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。また、男性で「満足」の割合が高くなっています。

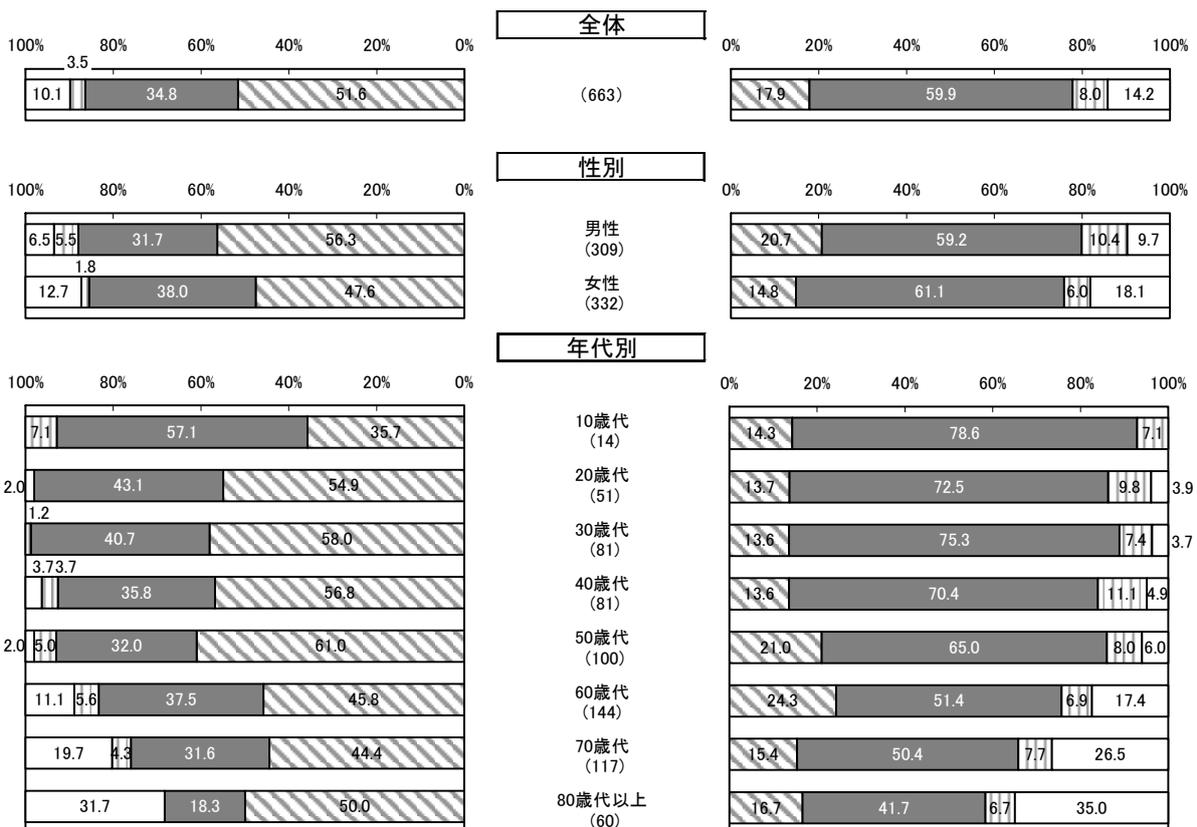
年代別でみると、30歳代、50歳代で「重要」の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。また、50歳代、60歳代で「満足」の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「市民目線の市長で、大変素晴らしい」など事業を評価している意見が27件、「形式的であり、意見が反映されているか疑問である」など事業を評価していない意見が26件、「開催数及び期間が少ないのではないかなど今後の事業の課題についての意見が17件となっています。

（２）２箇所（中央・東図書館）での図書館運営

調査項目：市には、２箇所の図書館（中央、東図書館）があり、本やCDなどの貸し出しやホールの貸し出し及び閲覧機を利用した自習などに利用されています。

重要度については、「重要」の割合が57.9%、「どちらともいえない」の割合が27.3%、「重要ではない」の割合が3.5%となっています。

満足度については、「満足」の割合が34.2%、「どちらともいえない」の割合が43.1%、「満足ではない」の割合が9.5%となっています。

性別でみると、女性で「重要」の割合が男性に比べて高くなっています。

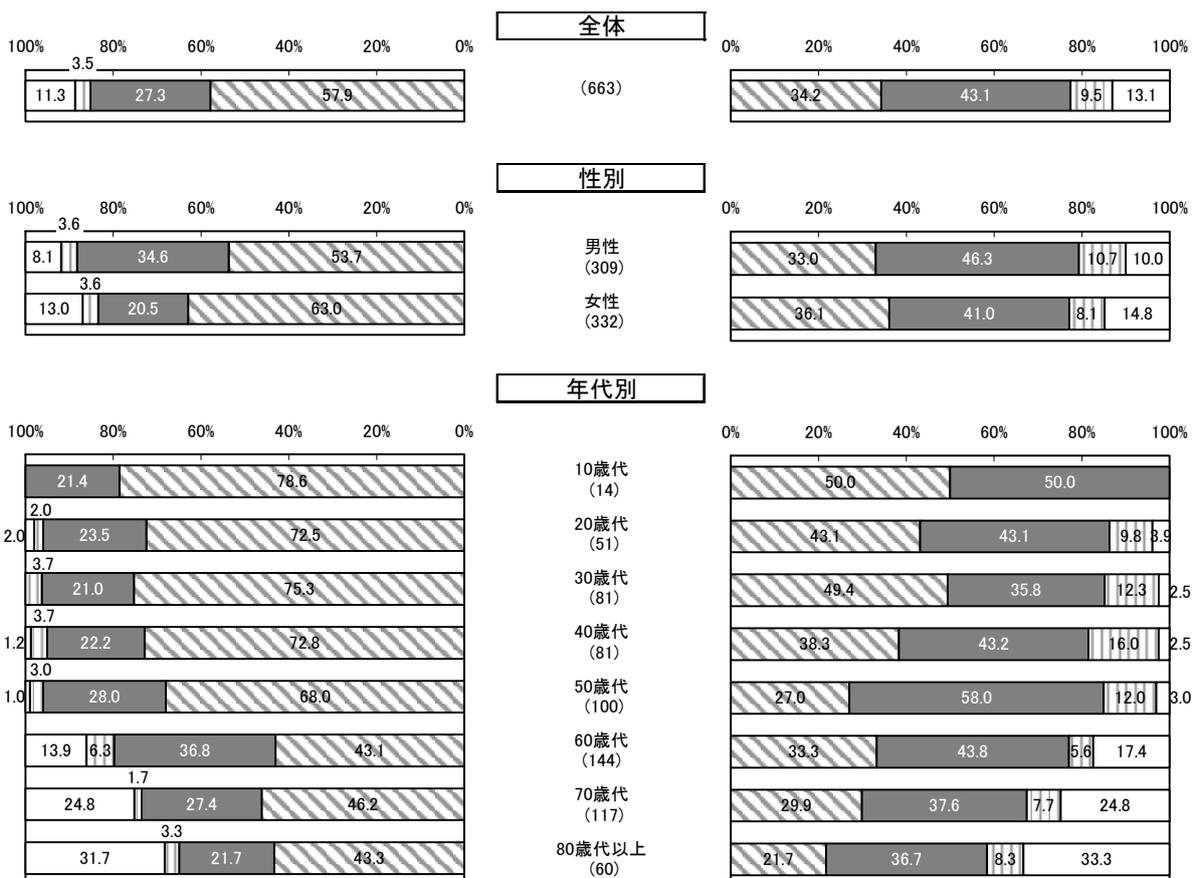
年代別でみると、年代が低くなるにつれ「重要」の割合が高くなる傾向にあります。特に10歳代で約8割となっており、他に比べて高くなっています。また、10歳代、30歳代で「満足」の割合が約5割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「本を買って読む事はなかなか出来ないため、よく利用している」など事業を評価している意見が25件、「交通の便がよいのに、2か所は必要なのか」など事業を評価していない意見が23件、「開館時間を延長してほしい」など今後の事業の課題についての意見が32件となっています。

(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化

調査項目：スポーツにより自治会親善や地域活性化を図るため、1チーム2,000円の参加料をいただき、自治会親善野球大会を開催しています。(レディースソフトボール、バレーボール、ソフトボールも同様の方法で開催しています。)

重要度については、「重要」の割合が26.4%、「どちらともいえない」の割合が49.6%、「重要ではない」の割合が13.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が16.7%、「どちらともいえない」の割合が57.5%、「満足ではない」の割合が12.5%となっています。

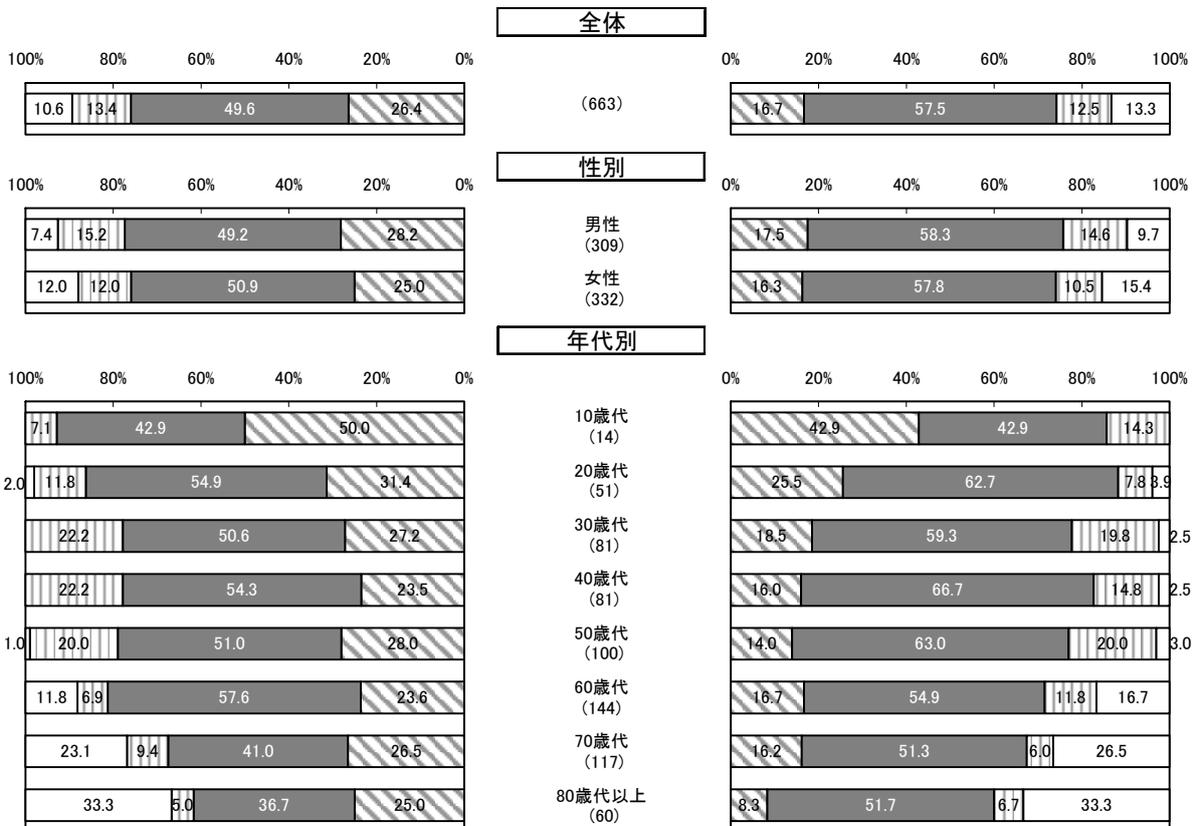
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が5割となっており、他に比べて高くなっています。一方、30歳代から50歳代で「重要ではない」の割合が約2割となっており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、30歳代、50歳代で「満足ではない」の割合が約2割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要 □ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「人々が交流する機会を作るのは良いと思う」など事業を評価している意見が14件、「出席が半強制になっており、体育委員の負担が大きい」など事業を評価していない意見が38件、「卓球など少人数でできるスポーツを、地域でもできるように整備されたい」など今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(4) 自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり

調査項目：自治会では、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフトボール、野球などの体育振興活動により、日常生活の中で住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。

重要度については、「重要」の割合が63.5%、「どちらともいえない」の割合が24.7%、「重要ではない」の割合が1.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が34.1%、「どちらともいえない」の割合が45.6%、「満足ではない」の割合が7.8%となっています。

性別で見ると、男性で「重要」の割合が女性に比べて高くなっています。

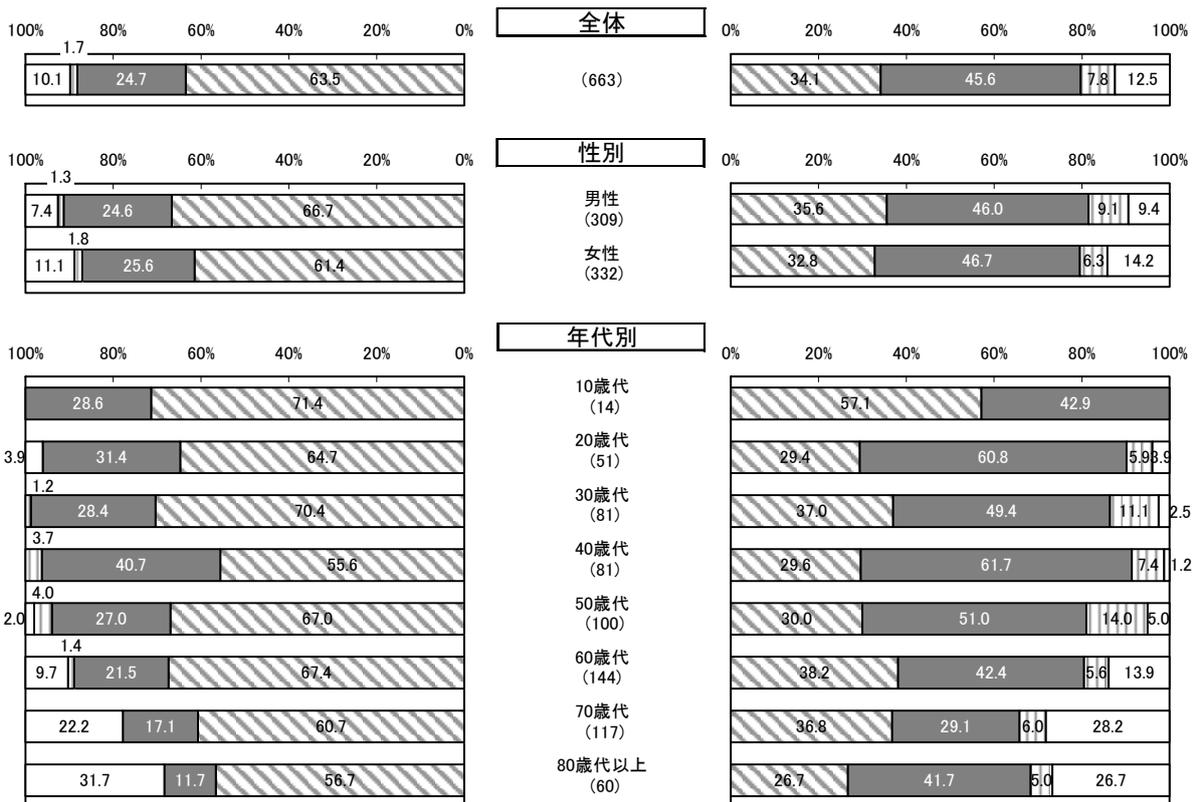
年代別で見ると、10歳代、30歳代で「重要」の割合が約7割となっており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

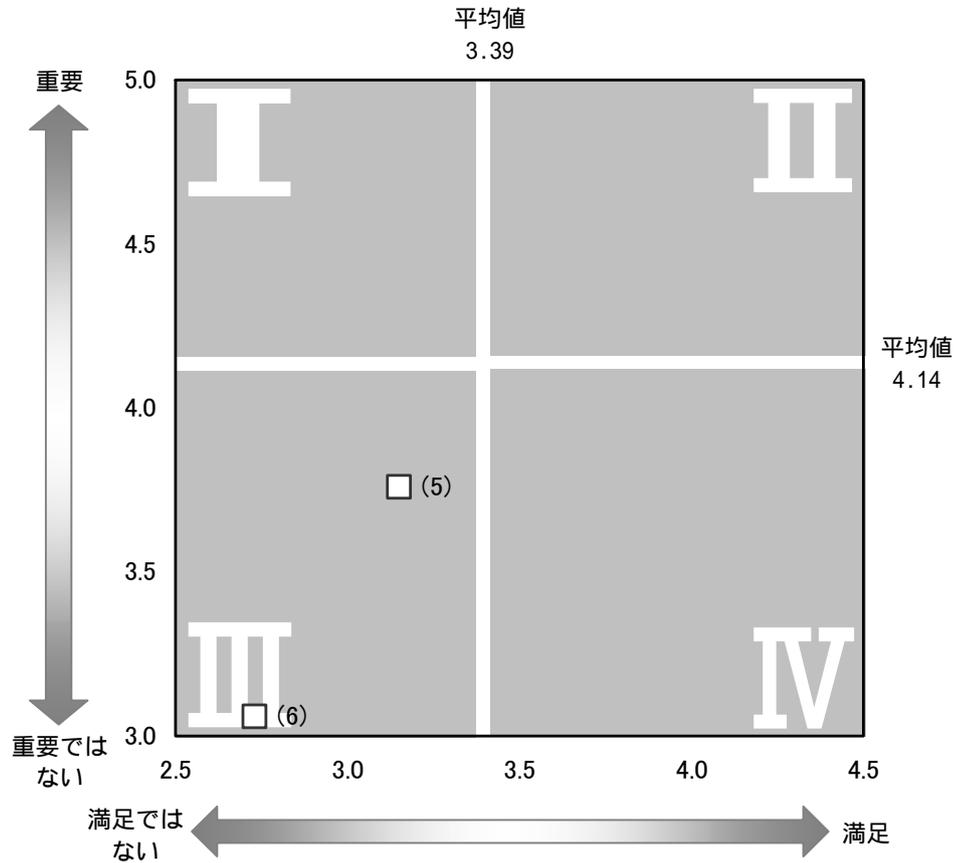
▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「地域での共生は、今後の高齢化社会には不可欠」など事業を評価している意見が17件、「体育振興は若者の少ない地域では負担になるだけである」など事業を評価していない意見が22件、「自治会加入率向上が必要」など今後の事業の課題についての意見が34件となっています。

2. - 2 産業の振興により新たな価値のあるまち

『(5)水田で転作している農家への補助金交付』、『(6)中国語版観光パンフレットの作成と活用』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

□ 産業の振興により新たな価値のあるまち □	
(5) 水田で転作している農家への補助金交付	(6) 中国語版観光パンフレットの作成と活用

(5) 水田で転作している農家への補助金交付

調査項目：水田で米以外の食料を生産し、食料自給率を向上させるために、20,000㎡以上の面積で、大豆や小麦などに転作している農家に補助金を交付しています。

重要度については、「重要」の割合が45.7%、「どちらともいえない」の割合が35.1%、「重要ではない」の割合が8.0%となっています。

満足度については、「満足」の割合が21.4%、「どちらともいえない」の割合が54.0%、「満足ではない」の割合が10.1%となっています。

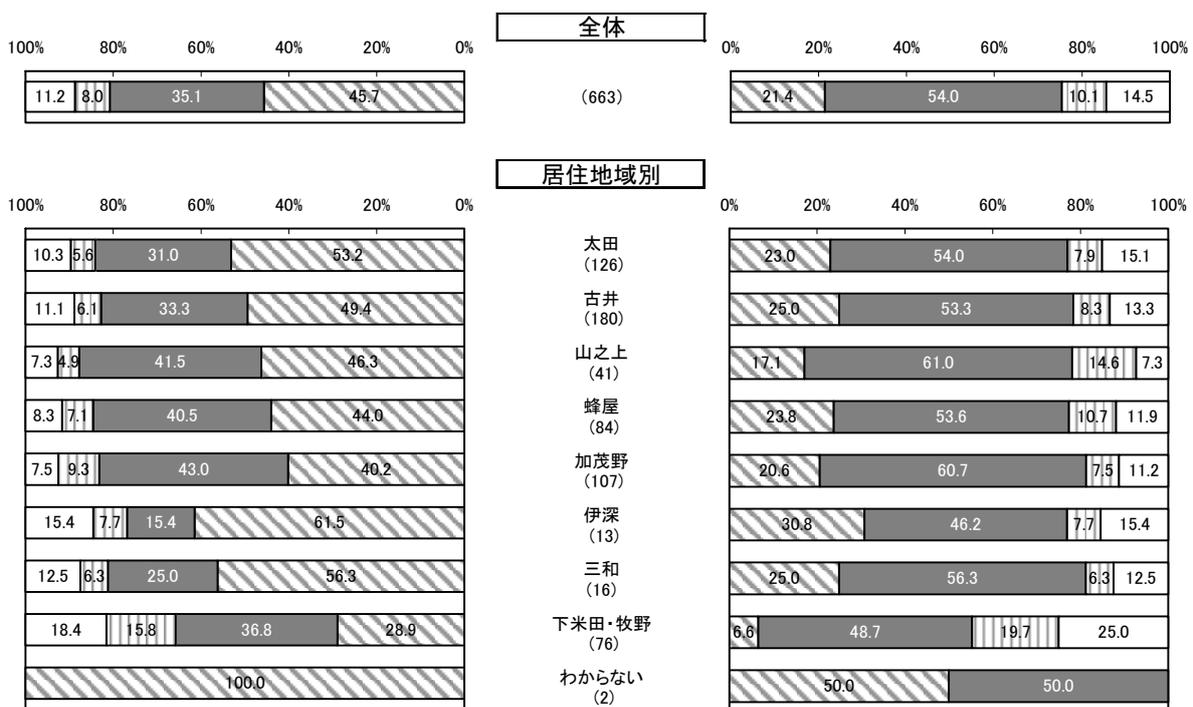
居住地域別でみると、伊深で「重要」の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。次いで、太田、三和で5割を超えています。また、山之上、蜂屋、下米田・牧野で「満足ではない」の割合が1割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「いつか到来する食糧危機を考えて、もっと推奨すべき」など事業を評価している意見が17件、「補助金を貰う為に作っているのではないかと見られる所もあると思う」など事業を評価していない意見が33件、「農家の人に耕作意欲がわくような政策を期待する」など今後の事業の課題についての意見が12件となっています。

(6) 中国語版の観光パンフレットの作成と活用

調査項目：観光客を増やすために、市の観光地を紹介するパンフレットを日本語と英語版で作成しています。今年度は、中国からの観光客を見込み、中国語版の観光パンフレットを作成し、来訪者への配布や中国人ガイド研修資料などで活用しています。

重要度については、「重要」の割合が30.3%、「どちらともいえない」の割合が41.6%、「重要ではない」の割合が18.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が13.4%、「どちらともいえない」の割合が56.0%、「満足ではない」の割合が16.6%となっています。

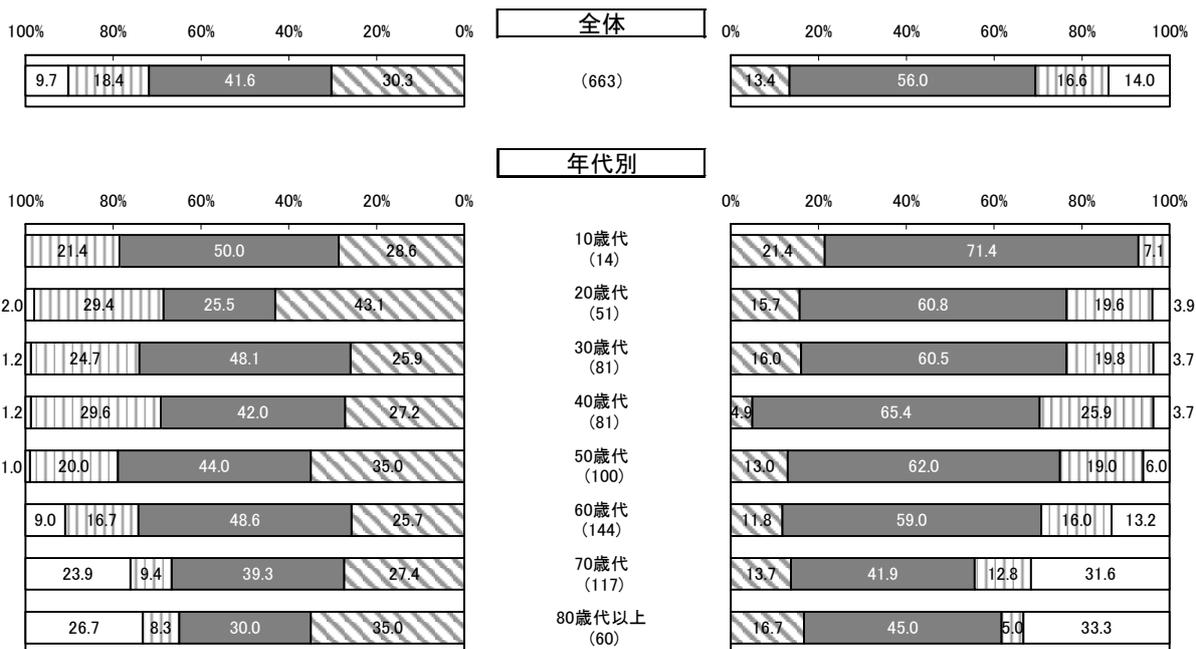
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。また、40歳代で「満足ではない」の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、20歳代、30歳代、50歳代で約2割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

■ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「中国の方が日本を訪れる機会が増えているので、よいと思う」など事業を評価している意見が12件、「市内では観光地らしきところはないような気がします」など事業を評価していない意見が57件、「ライン下りの再構築・昭和村の再構築が必要」など今後の事業の課題についての意見が14件となっています。

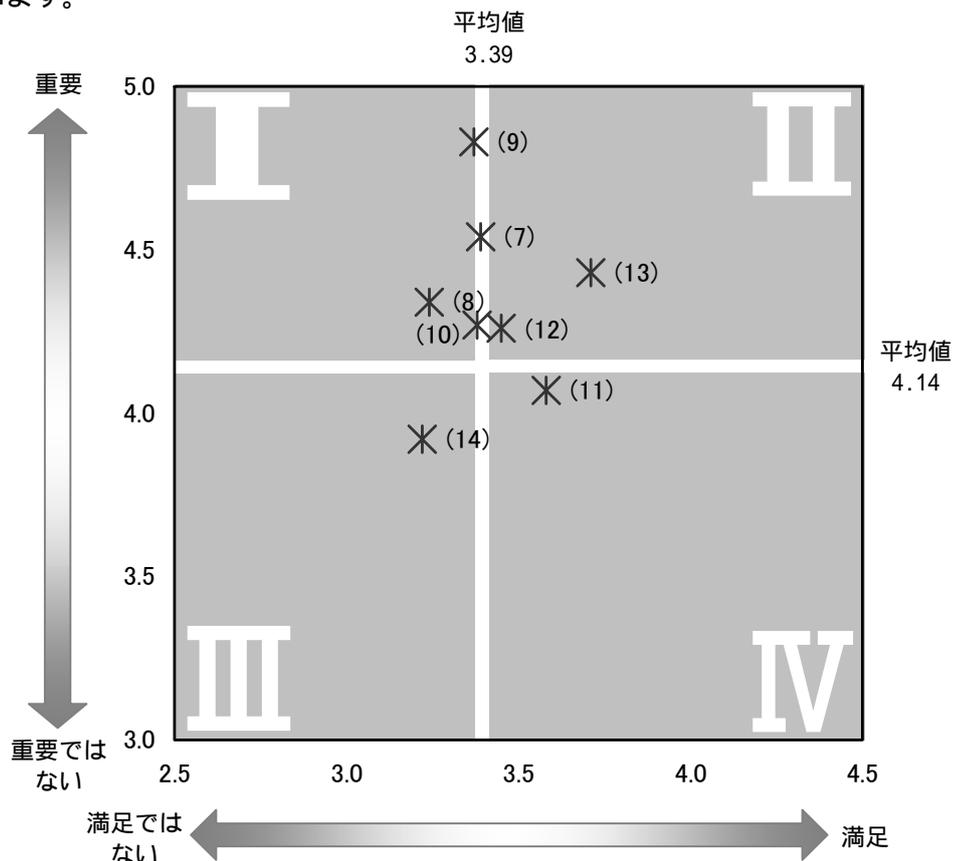
2. - 3 安心して暮らせるまち

『(8)無料の耐震診断と耐震工事費用の助成』、『(9)防犯灯の設置』、『(10)健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプ に分布しています。

『(7)防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上』、『(12)ファミリーサポートセンター事業』、『(13)地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ に分布しています。

『(14)低所得者向け住宅としての市営住宅の活用』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。

『(11)中学校卒業までの医療費無料化』については、重要度では平均値を下回り、満足度では平均値を上回る結果となっており、施策が過剰になっていないか検討が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

* 安心して暮らせるまち *	
(7) 防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上	(8) 無料の耐震診断と耐震工事費用の助成
(9) 防犯灯の設置	(10) 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業
(11) 中学校卒業までの医療費無料化	(12) ファミリーサポートセンター事業
(13) 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営	(14) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

(7) 防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主(地域)防災組織の組織率の向上

調査項目：地域防災施設の整備や地域防災訓練の費用を補助することなどで、災害時に迅速な初期活動が行える地域づくりの支援をして、自主(地域)防災組織の組織率の向上を図っています。

重要度については、「重要」の割合が70.9%、「どちらともいえない」の割合が18.7%、「重要ではない」の割合が0.9%となっています。

満足度については、「満足」の割合が29.0%、「どちらともいえない」の割合が48.4%、「満足ではない」の割合が8.1%となっています。

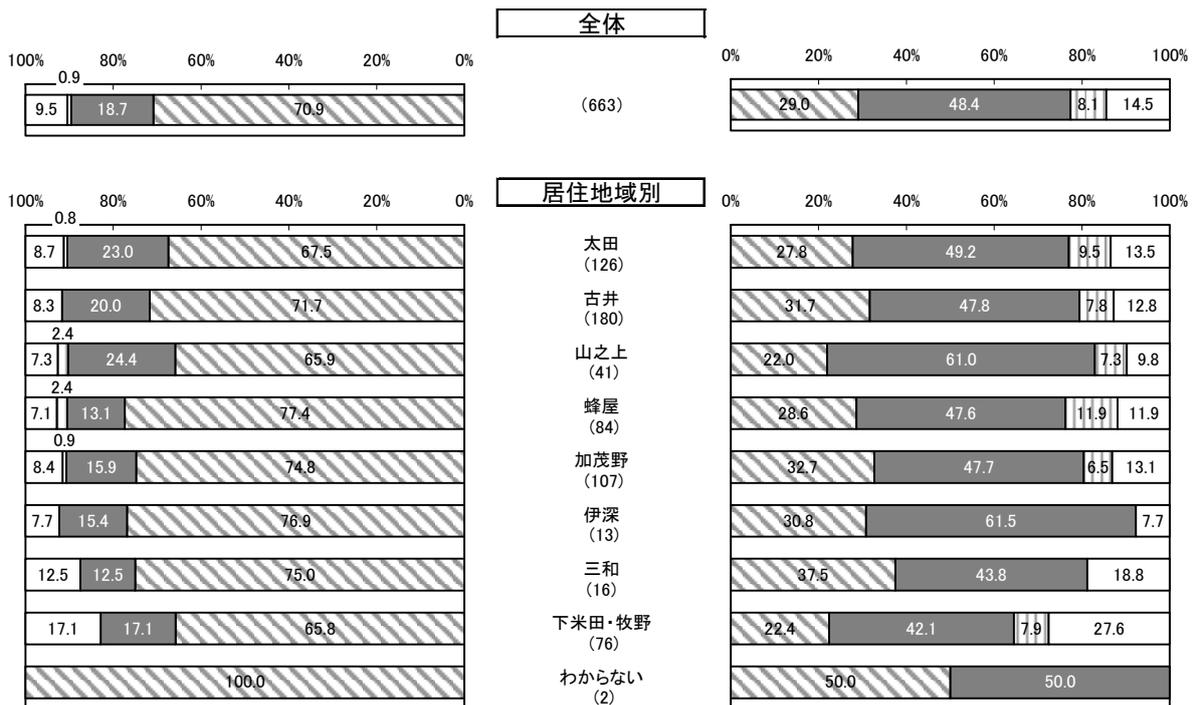
居住地域別でみると、太田、山之上、下米田・牧野で「重要」の割合が7割未満となっており、他に比べて低くなっています。また、古井、加茂野、伊深、三和で「満足」の割合が3割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、太田、蜂屋が約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「高齢者が多くなっているので、災害がおきた時の助け合いが大事だ」というなど事業を評価している意見が14件、「防災訓練を見たことは無い」など事業を評価していない意見が10件、「補助対象の拡大、具体的支援策のPRが必要」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

(8) 無料の耐震診断と耐震工事費用の助成

調査項目：居宅の安全性を確保するため、昭和56年以前の木造住宅を対象に、申込者に無料で耐震診断をして、診断後の耐震工事費用の1/2(60万円を限度)を助成する耐震事業を行っています。

重要度については、「重要」の割合が64.4%、「どちらともいえない」の割合が21.7%、「重要ではない」の割合が3.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が27.0%、「どちらともいえない」の割合が46.3%、「満足ではない」の割合が11.2%となっています。

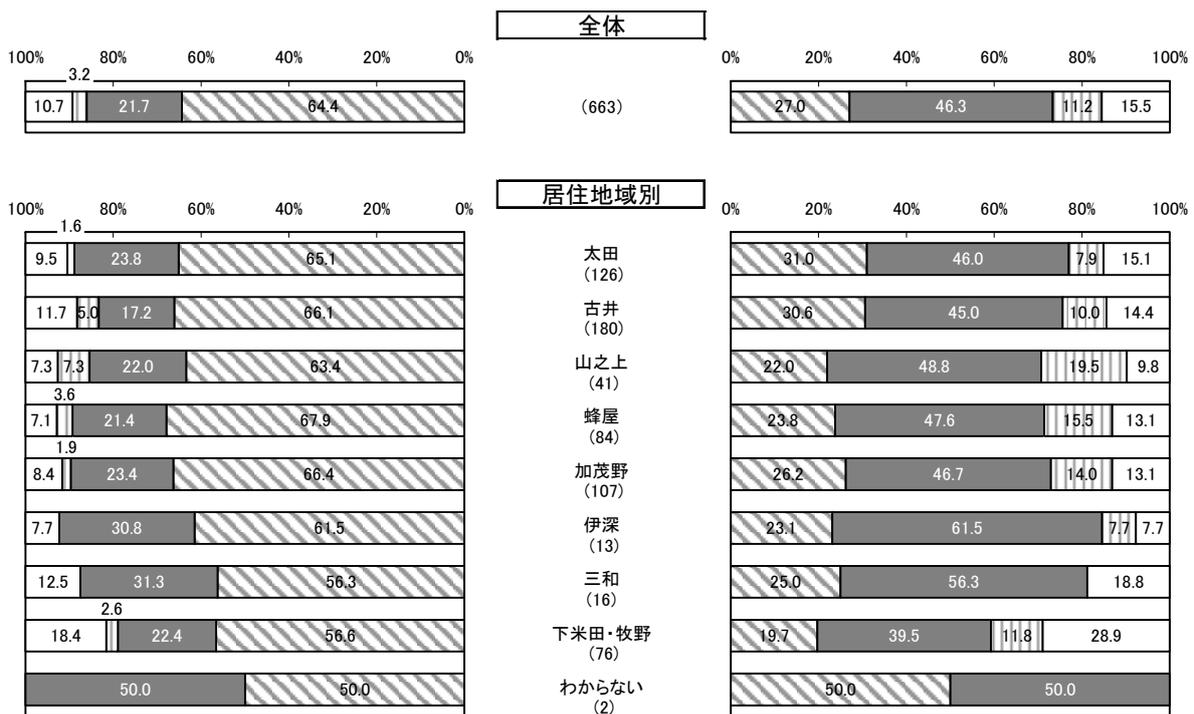
居住地域別でみると、三和、下米田・牧野で「重要」の割合が6割未満となっており、他に比べて低くなっています。また、太田、古井で「満足」の割合が約3割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 □ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「安心して住み続けられるための診断や工事に、市からの助成があるのは大変ありがたいと思う」など事業を評価している意見が7件、「申し込みを知らず、診断を受けていない。もっとPRすべき」など事業を評価していない意見が28件、「診断対象はもっと広くしてほしい」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

(9) 防犯灯の設置

調査項目：犯罪防止や交通事故防止のため、夜間特に暗い場所に防犯灯を設置しています。

(22年度設置基数 = 39基、防犯灯総設置数 = 3,571基)

重要度については、「重要」の割合が83.9%、「どちらともいえない」の割合が6.8%、「重要ではない」の割合が0.3%となっています。

満足度については、「満足」の割合が38.8%、「どちらともいえない」の割合が32.6%、「満足ではない」の割合が15.2%となっています。

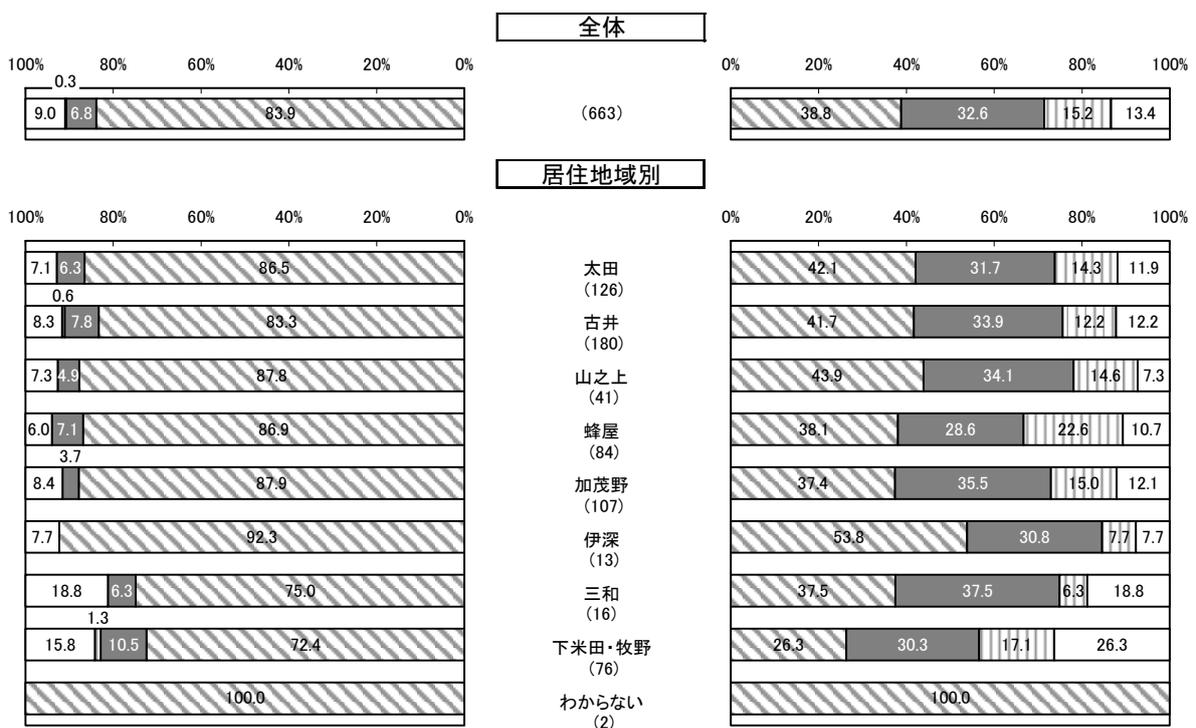
居住地域別でみると、伊深で「重要」の割合が9割を超えており、他に比べて高くなっています。また、伊深で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、太田、古井、山之上で4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「夜遅く帰宅する女の人たちにとってはとてもありがたい」など事業を評価している意見が18件、「希望は出したが防犯灯を設置してもらえなかった、家のまわりは真っ暗です」など事業を評価していない意見が5件、「補修工事をしっかりやってほしい」など今後の事業の課題についての意見が68件となっています。

(10) 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業

調査項目：高齢の方に健康で長生きしていただけるよう、健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業を行っています。

重要度については、「重要」の割合が61.8%、「どちらともいえない」の割合が26.1%、「重要ではない」の割合が2.9%となっています。

満足度については、「満足」の割合が27.8%、「どちらともいえない」の割合が50.2%、「満足ではない」の割合が7.7%となっています。

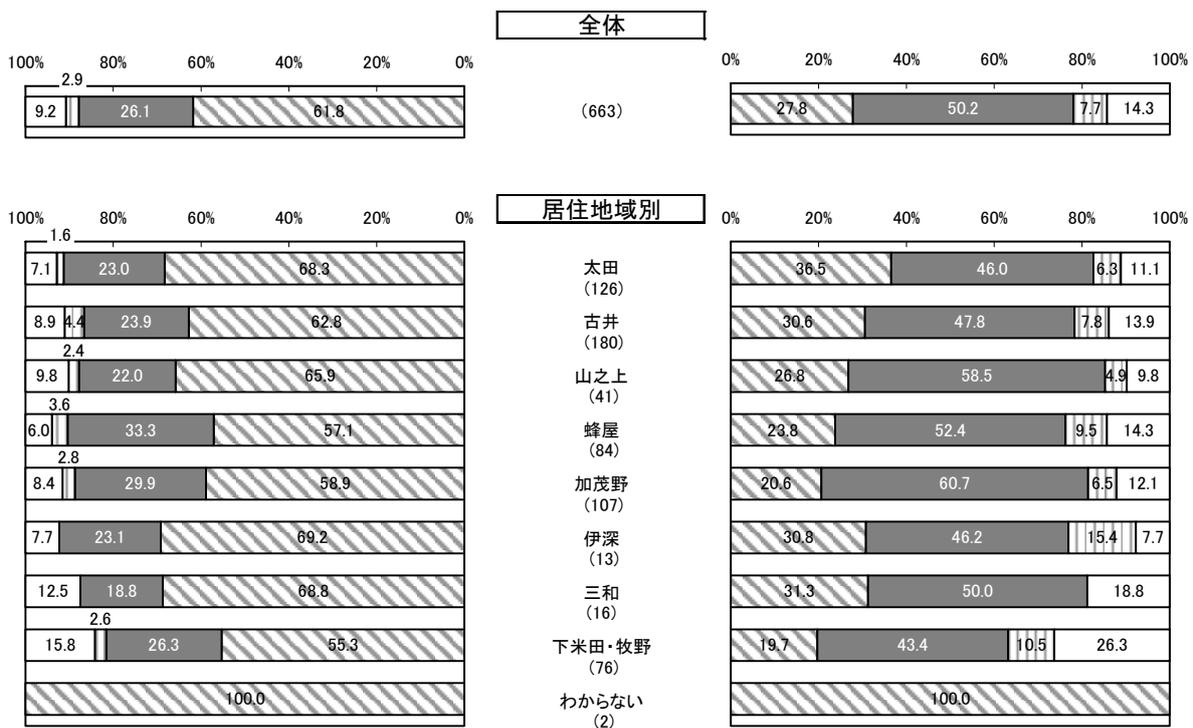
居住地域別でみると、太田、伊深、三和で「重要」の割合が約7割となっており、他に比べて高くなっています。太田で「満足」の割合が3割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、古井、伊深、三和で約3割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「高齢者が元気なまち、素敵なまちになりえると思います」など事業を評価している意見が17件、「参加者数が少ないが、事業費用が高い。内訳が知りたい」など事業を評価していない意見が10件、「あまり聞いたことがない。住民に伝達が不十分」など今後の事業の課題についての意見が32件となっています。

(11) 中学校卒業までの医療費無料化

調査項目：乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに診療できないこともあります。

重要度については、「重要」の割合が56.6%、「どちらともいえない」の割合が26.5%、「重要ではない」の割合が6.0%となっています。

満足度については、「満足」の割合が38.3%、「どちらともいえない」の割合が37.6%、「満足ではない」の割合が9.2%となっています。

年代別でみると、30歳代で「重要」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、10歳代、40歳代で「重要ではない」の割合が1割を超えており、他に比べて高くなっています。また、30歳代で「満足」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、10歳代で「満足ではない」の割合が約2割となっており、他に比べて高くなっています。

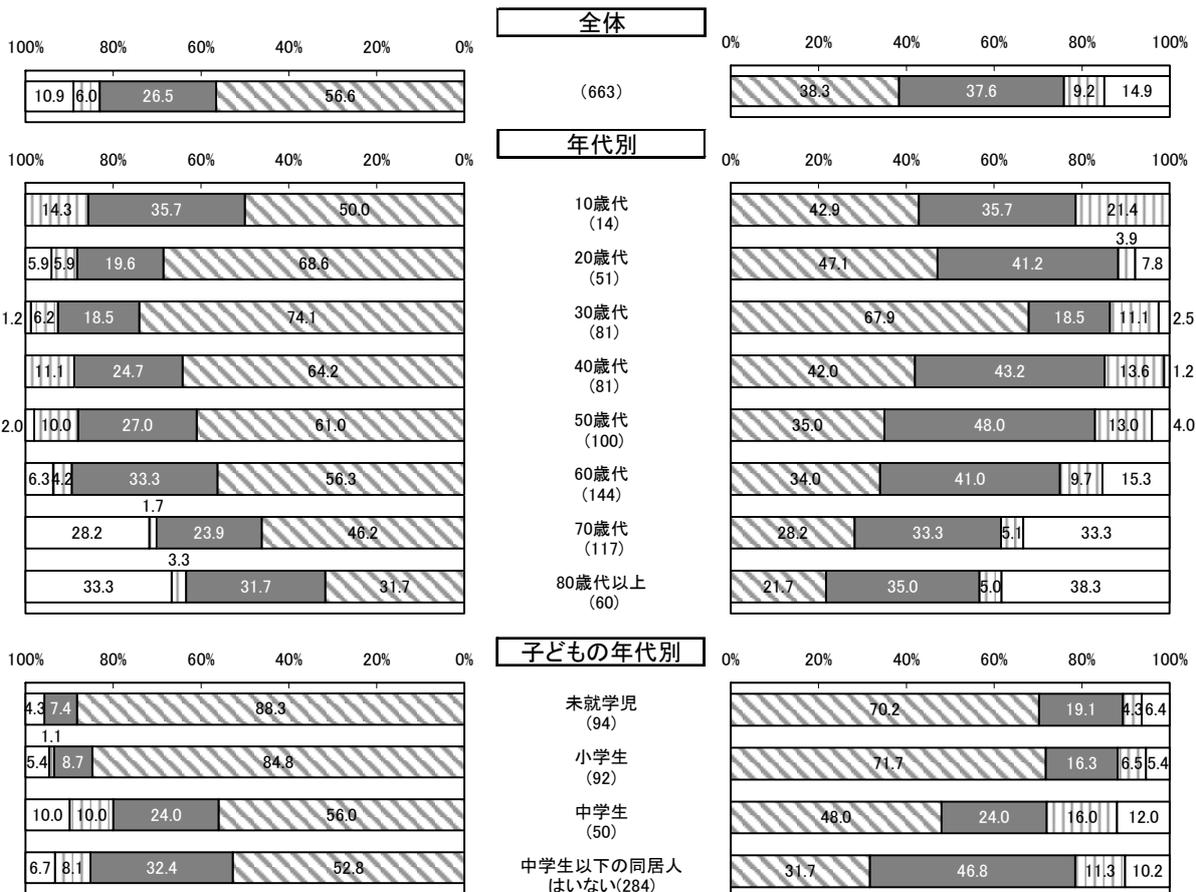
子どもの年代別でみると、年代が低くなるにつれ、「重要」の割合が高くなっており、未就学児、小学生で8割を超えています。また、年代が低くなるにつれ、「満足」の割合が高くなる傾向にあり、未就学児、小学生で約7割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない □ どちらともいえない □ 重要

■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「子育て世代にとって大変助かります」など事業を評価している意見が25件、「安易に受診している」など事業を評価していない意見が34件、「無駄に使う人のチェックを」など今後の事業の課題についての意見が23件となっています。

(12) ファミリーサポートセンター事業

調査項目：ファミリーサポートセンター事業は、子育ての援助をしてほしい人（利用者）と援助をしたい人（サポーター）が会員になり、託児など子育ての連携をしています。
 （利用料金 平日1時間600円、土日・祝日700円）

重要度については、「重要」の割合が58.7%、「どちらともいえない」の割合が26.5%、「重要ではない」の割合が2.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が27.9%、「どちらともいえない」の割合が48.3%、「満足ではない」の割合が6.2%となっています。

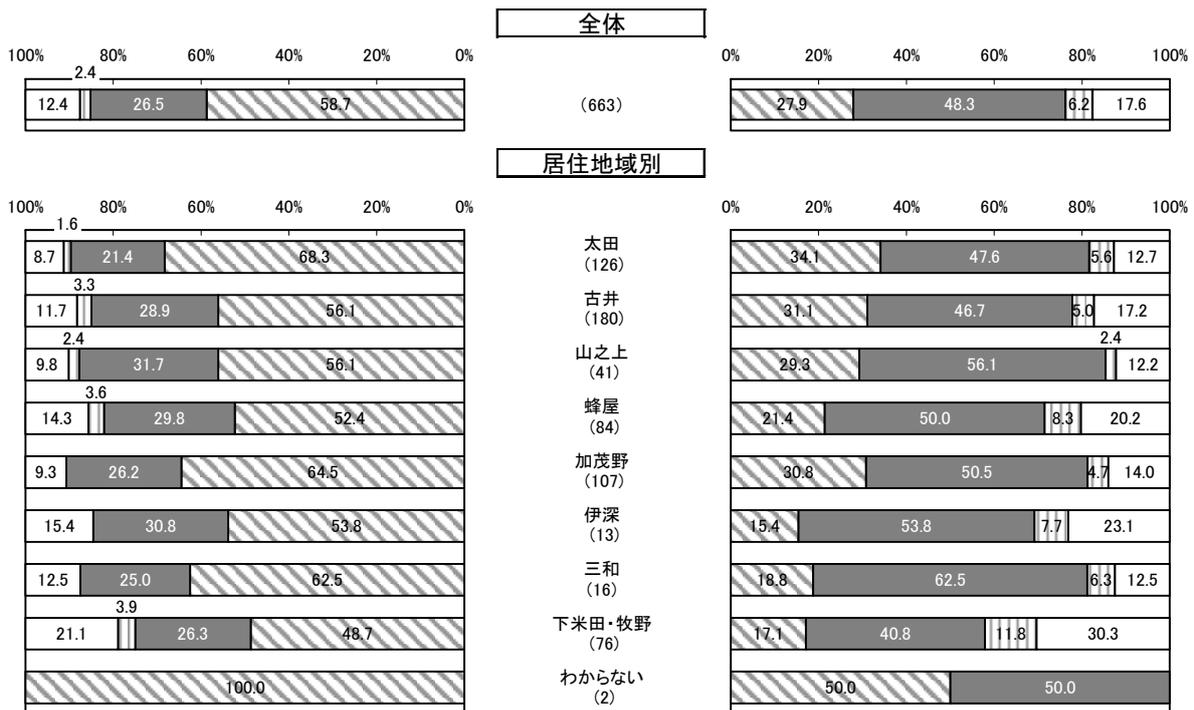
居住地域別でみると、太田、加茂野、三和で「重要」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。また、太田、古井、加茂野で「満足」の割合が3割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「大変ありがたい制度だと思う」など事業を評価している意見が14件、「利用者が少ない」など事業を評価していない意見が8件、「事業費の拡大が必要」など今後の事業の課題についての意見が14件となっています。

(13) 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営

調査項目：総合福祉会館（新池町）は、高齢者をはじめ、障がい者、幼児などが集える地域福祉活動の拠点として整備されて以来、多くの利用者に親しまれています。

重要度については、「重要」の割合が66.1%、「どちらともいえない」の割合が21.7%、「重要ではない」の割合が1.5%となっています。

満足度については、「満足」の割合が37.9%、「どちらともいえない」の割合が41.5%、「満足ではない」の割合が5.1%となっています。

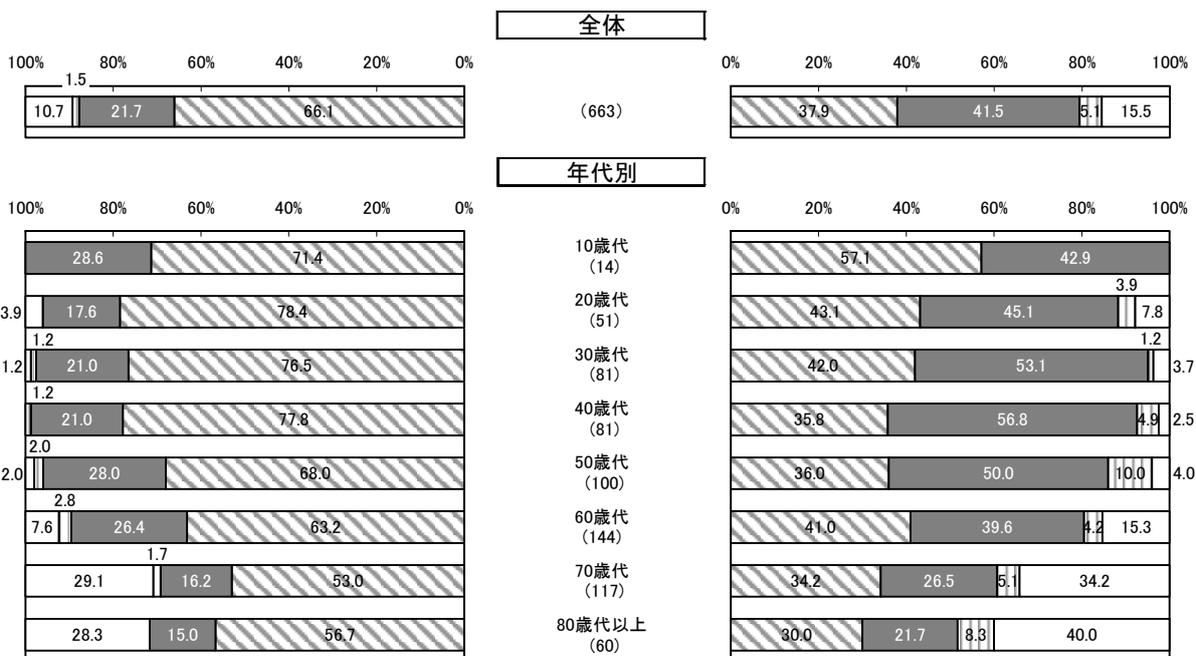
年代別でみると、10歳代から40歳代で「重要」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、20歳代、30歳代、60歳代で4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「地域の憩いの場として、定着してきたと思います」など事業を評価している意見が19件、「原則、利用者の負担がよいのではないかと、利用できる人は限られているということはないか」など事業を評価していない意見が14件、「もっと場所を増やしてほしい」など今後の事業の課題についての意見が19件となっています。

(14) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

調査項目：市内には、12箇所(266部屋)の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。

重要度については、「重要」の割合が48.6%、「どちらともいえない」の割合が34.1%、「重要ではない」の割合が5.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が22.3%、「どちらともいえない」の割合が51.4%、「満足ではない」の割合が8.9%となっています。

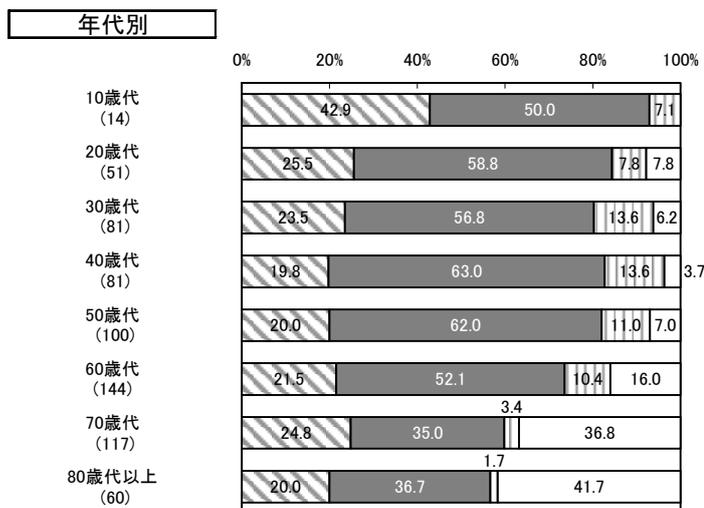
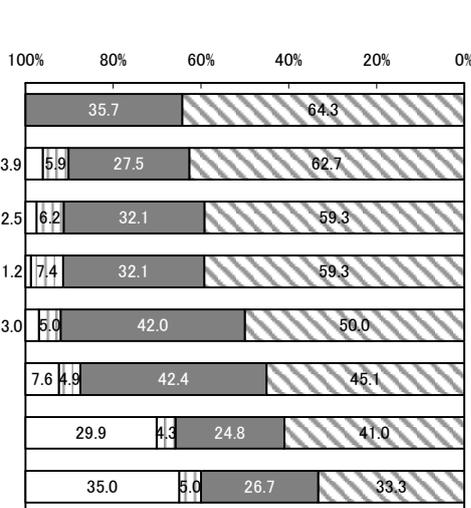
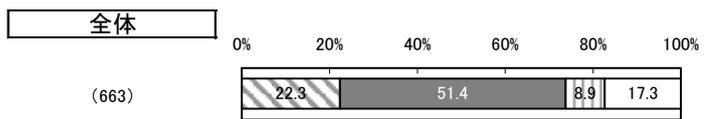
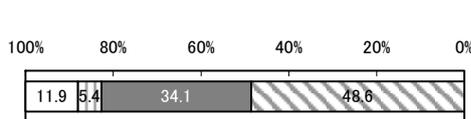
年代別でみると、年代が低くなるにつれ「重要」の割合が高くなっており、10歳代、20歳代で6割を超えています。また、10歳代で「満足」の割合が約4割となっており、他に比べて高くなっています。一方、30歳代から60歳代で「満足ではない」の割合が1割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



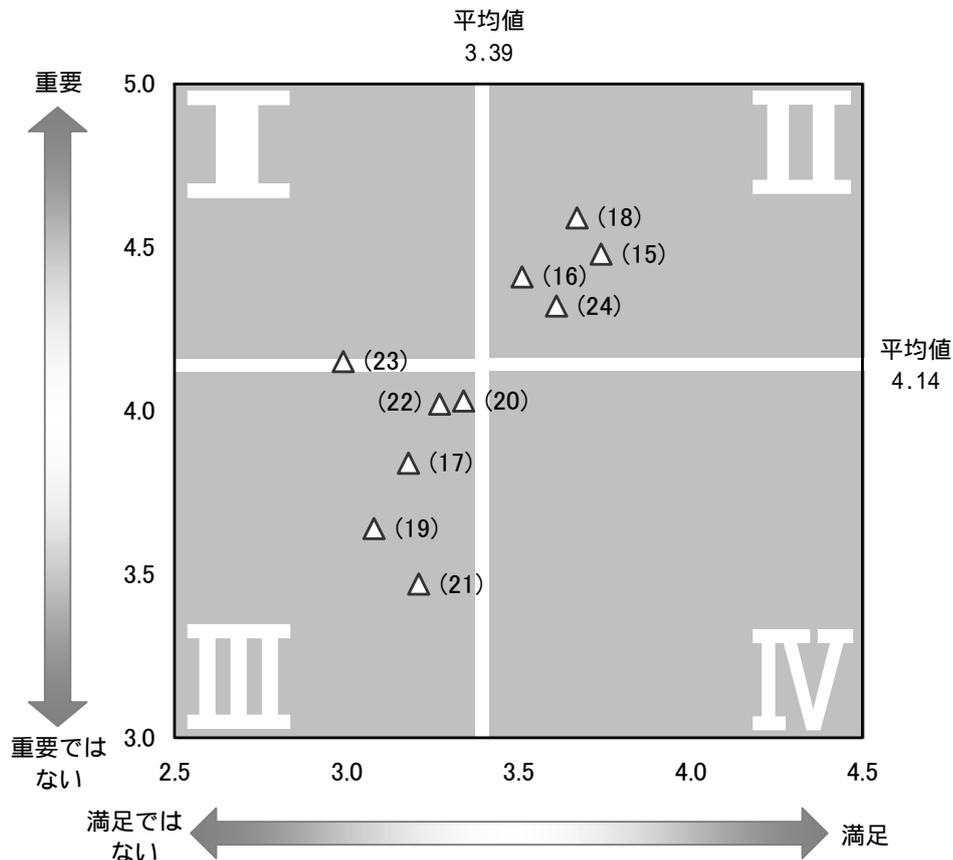
皆さんからの意見では、「現状の景気では、必要不可欠だと考える」など事業を評価している意見が7件、「市の負担が多い」など事業を評価していない意見が25件、「本当の低所得の人に利用してもらえるように考えてほしい」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

2. - 4 快適でこちよく定住できるまち

『(23)あい愛バスの運行』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプ に分布しています。

『(15)妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施』、『(16)学童保育事業』、『(18)青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動』、『(24)沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ に分布しています。

『(17)「フロム0歳プラン」の推進』、『(19)人権施策推進指針による人権啓発活動の実施』、『(20)外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進』、『(21)地元出身者の企画展の定期的な開催』、『(22)コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

△ 快適でこちよく定住できるまち △	
(15) 妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施	(16) 学童保育事業
(17) 「フロム0歳プラン」の推進	(18) 青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動
(19) 人権施策推進指針による人権啓発活動の実施	(20) 外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進
(21) 地元出身者の企画展の定期的な開催	(22) コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営
(23) あい愛バスの運行	(24) 沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行

〔15〕妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施

調査項目：すこやかな子どもを産み、育てるために必要な妊娠・出産・育児に関する正しい知識を普及するために、訪問相談や各種教室を行っています。

重要度については、「重要」の割合が67.3%、「どちらともいえない」の割合が19.6%、「重要ではない」の割合が1.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が36.3%、「どちらともいえない」の割合が42.7%、「満足ではない」の割合が3.8%となっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしで「重要」の割合が約5割となっており、他に比べて低くなっています。また、夫婦のみ、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）で「満足」の割合が3割を超えています。

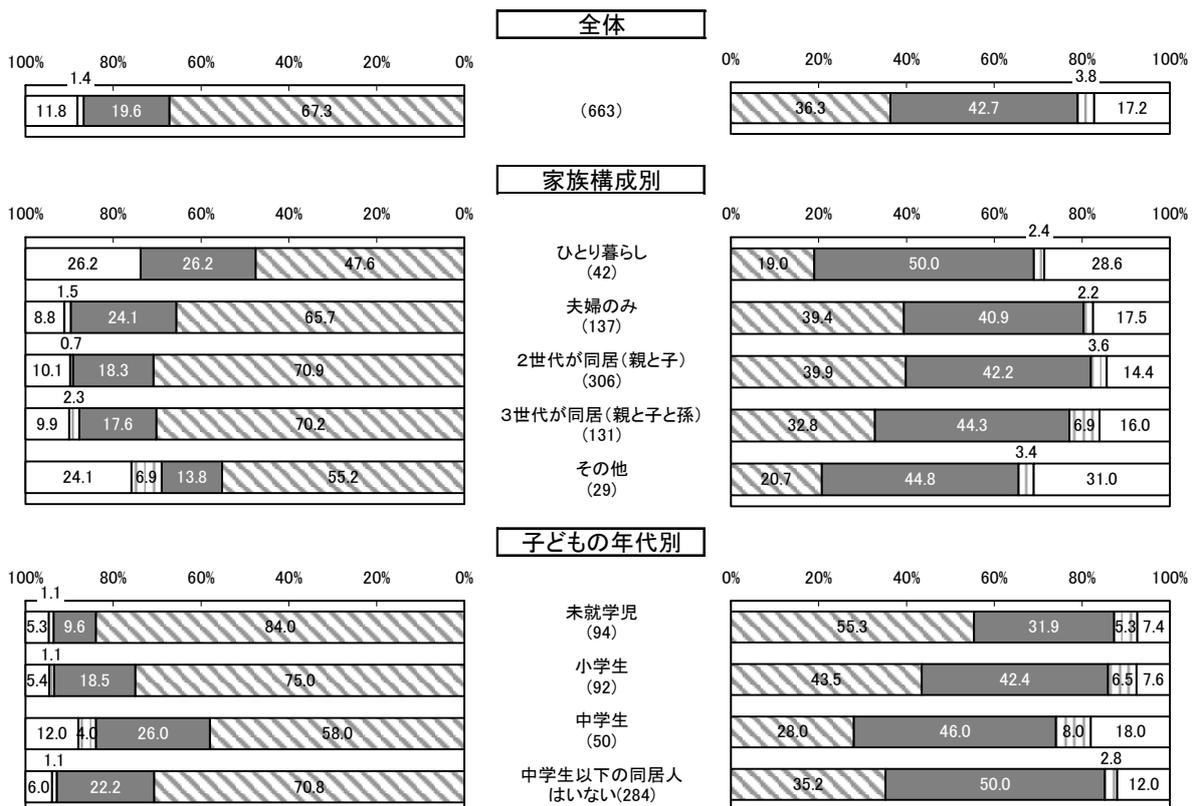
子どもの年代別でみると、未就学児で「重要」の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。また、未就学児で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「地域の方々とも交流が出来るので、教室があつてよかった」など事業を評価している意見が11件、「必要な人だけで良いと思う」など事業を評価していない意見が4件、「子育て経験者と、若い未経験者をペアリングして充実させてほしい」など今後の事業の課題についての意見が5件となっています。

(16) 学童保育事業

調査項目：学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学 1～3 年生の児童に対し、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。
 (利用料金は月曜から金曜日利用の場合、月 5,000 円です)

重要度については、「重要」の割合が 67.0%、「どちらともいえない」の割合が 19.5%、「重要ではない」の割合が 2.7%となっています。

満足度については、「満足」の割合が 30.9%、「どちらともいえない」の割合が 45.7%、「満足ではない」の割合が 6.5%となっています。

家族構成別でみると、3世代が同居(親と子と孫)で「重要」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。また、ひとり暮らしを除き、「満足」の割合が約3割となっています。

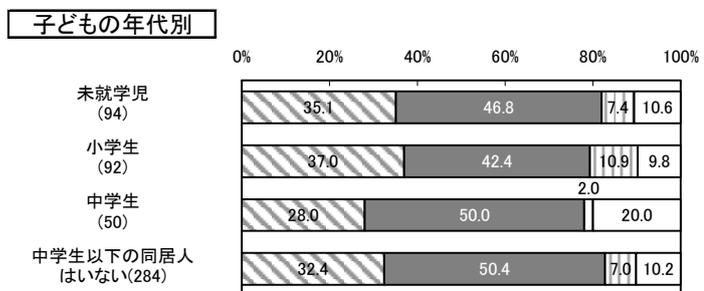
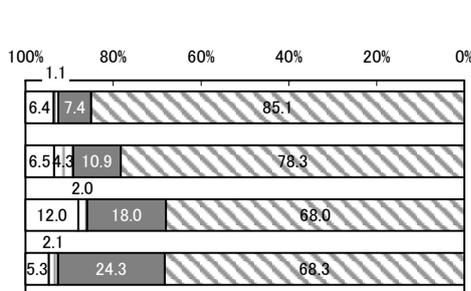
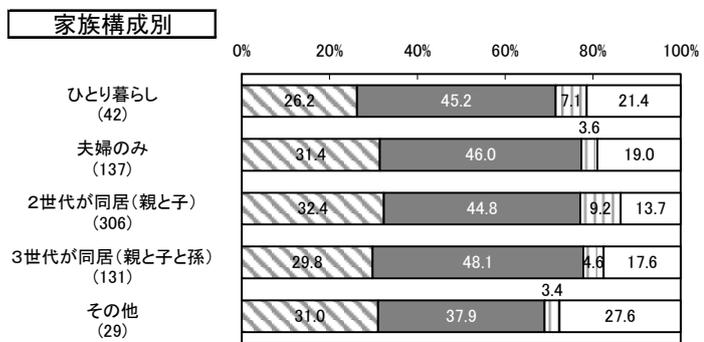
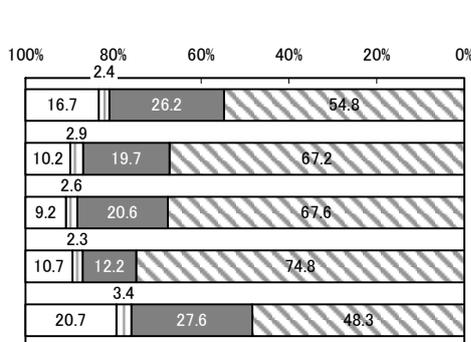
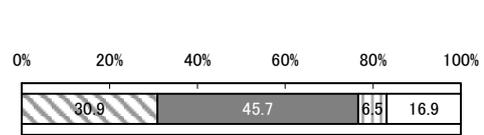
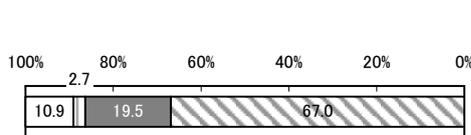
子どもの年代別でみると、未就学児で「重要」の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、小学生で約8割となっています。また、中学生を除き、「満足」の割合が3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「共働きの家庭には助かります」など事業を評価している意見が 12 件、「家庭でみるべきだと思う」など事業を評価していない意見が 11 件、「小学 6 年生まで預かってほしい」など今後の事業の課題についての意見が 32 件となっています。

(17)「フロム0歳プラン」の推進

調査項目：市では、0歳から18歳までの子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。

重要度については、「重要」の割合が43.3%、「どちらともいえない」の割合が38.2%、「重要ではない」の割合が4.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が18.7%、「どちらともいえない」の割合が54.6%、「満足ではない」の割合が7.7%となっています。

年代別でみると、20歳代、30歳代で「重要」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が3割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、20歳代、30歳代で2割を超えています。

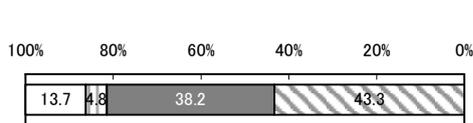
子どもの年代別でみると、未就学児で「重要」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。また、未就学児、小学生で「満足」の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

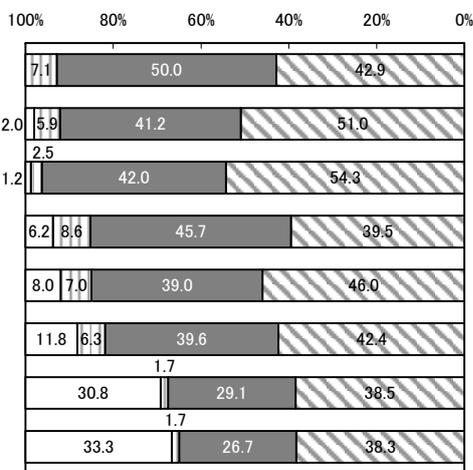
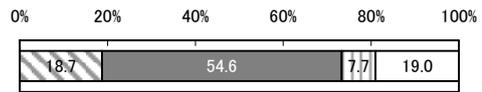
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

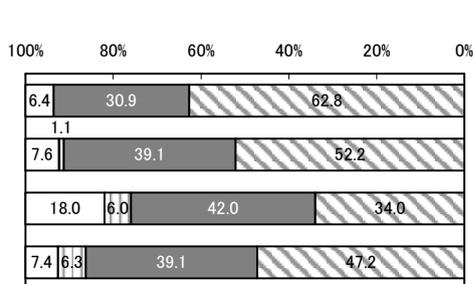
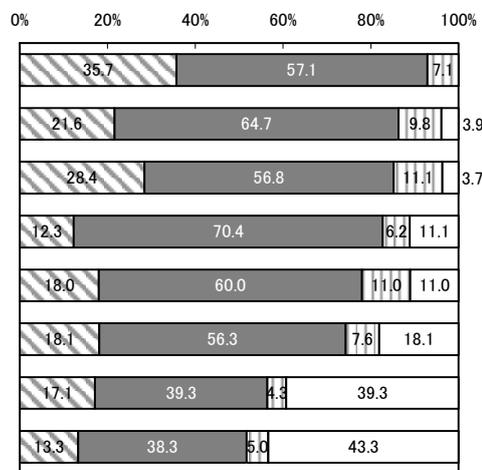
■ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



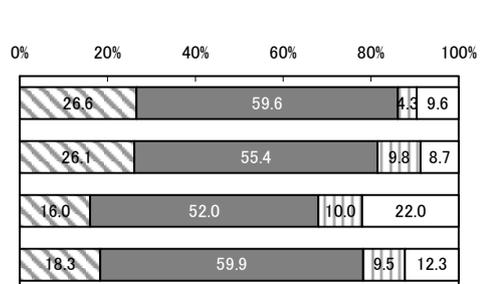
全体
(663)



年代別



子どもの年代別



皆さんからの意見では、「子供やその親にとって、とてもためになる事業だと思う」など事業を評価している意見が4件、「ネーミングはよいが、実態がよく伝わってこない」など事業を評価していない意見が10件、「一般市民の参加機会があるのか、どこでどんな風に行われているのかPRが足りない」など今後の事業の課題についての意見が6件となっています。

（18）青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動

調査項目：地域で青少年の非行防止と健全育成をはかるため、31人の補導委員により、定期的な防犯パトロール活動を行っています。

重要度については、「重要」の割合が72.9%、「どちらともいえない」の割合が14.6%、「重要ではない」の割合が1.5%となっています。

満足度については、「満足」の割合が38.8%、「どちらともいえない」の割合が37.9%、「満足ではない」の割合が7.2%となっています。

居住地域別でみると、山之上、伊深、三和で「重要」の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。また、太田、山之上で「満足」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。

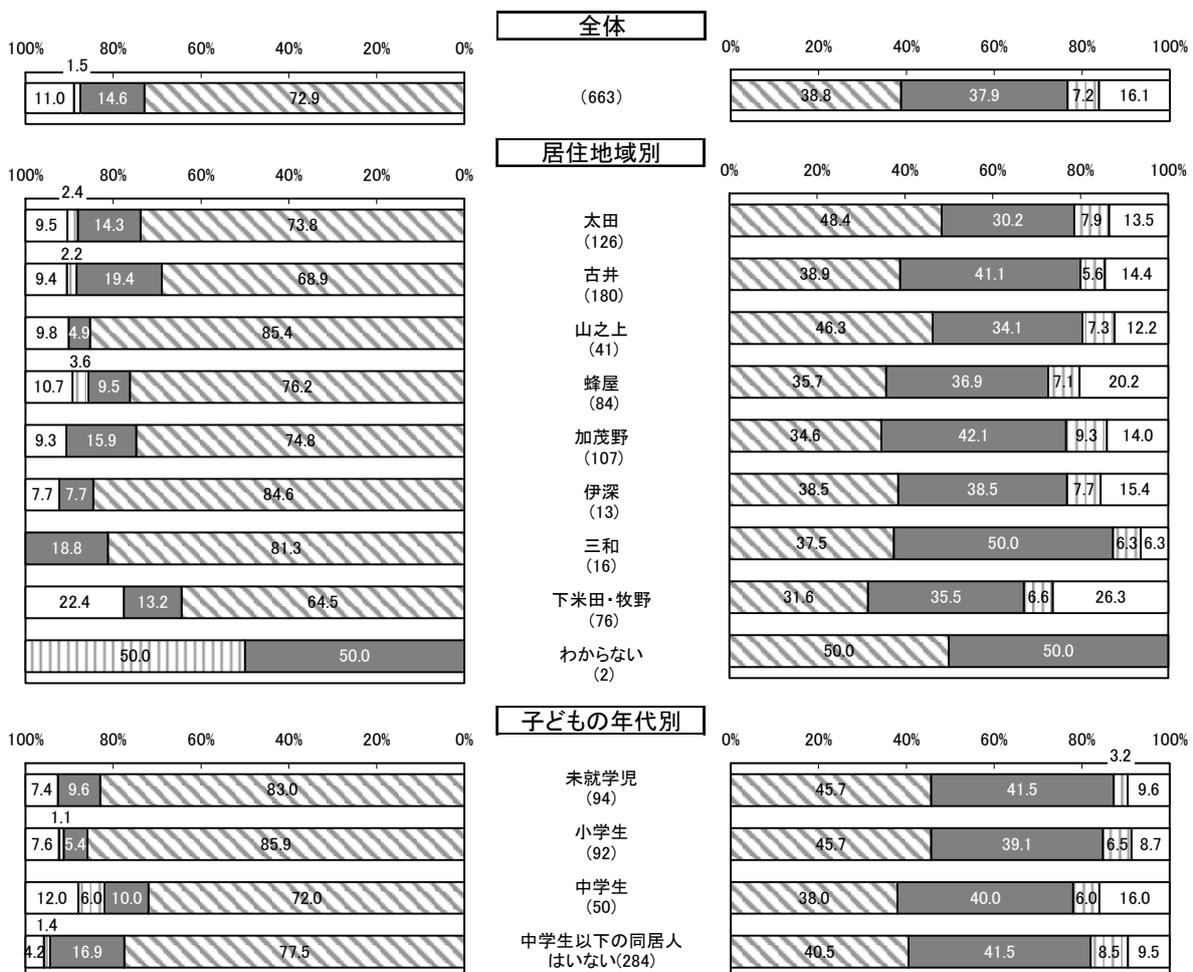
子どもの年代別でみると、未就学児、小学生で「重要」の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。また、中学生を除き「満足」の割合が4割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「親として、とても心強く、ありがたい活動です。ありがとうございます。」など事業を評価している意見が16件、「車で走るだけのパトロールでは意味がない」など事業を評価していない意見が9件、「もっと人数を増やして欲しい」など今後の事業の課題についての意見が16件となっています。

(19) 人権施策推進指針による人権啓発活動の実施

調査項目：一人ひとりが日常生活の中で人権を尊重することの大切さを正しく理解して、あらゆる人の人権に配慮した社会を築くために、「人権施策推進指針」を作り、啓発活動をしています。

重要度については、「重要」の割合が38.0%、「どちらともいえない」の割合が42.4%、「重要ではない」の割合が6.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が16.9%、「どちらともいえない」の割合が55.1%、「満足ではない」の割合が9.0%となっています。

性別でみると、男性で「満足ではない」の割合が女性に比べ高くなっています。

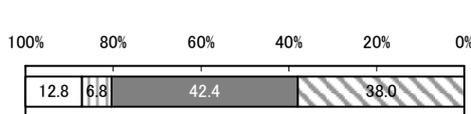
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が5割となっており、他に比べて高くなっています。次いで、20歳代、70歳代、80歳代以上で4割を超えています。また、10歳代で「満足」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

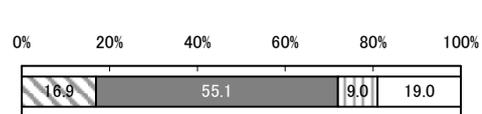
□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない □ 重要

□ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

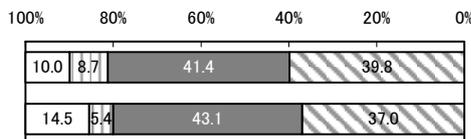


全体

(663)

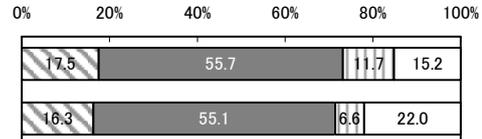


性別

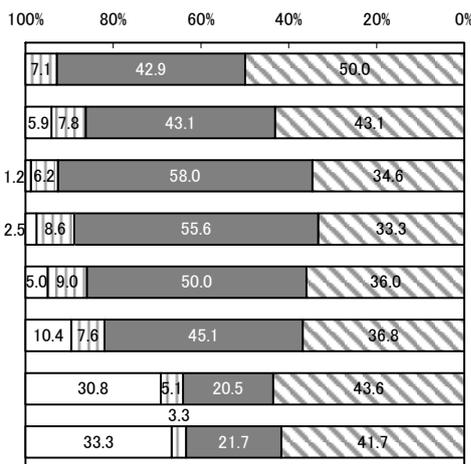


男性 (309)

女性 (332)



年代別



10歳代 (14)

20歳代 (51)

30歳代 (81)

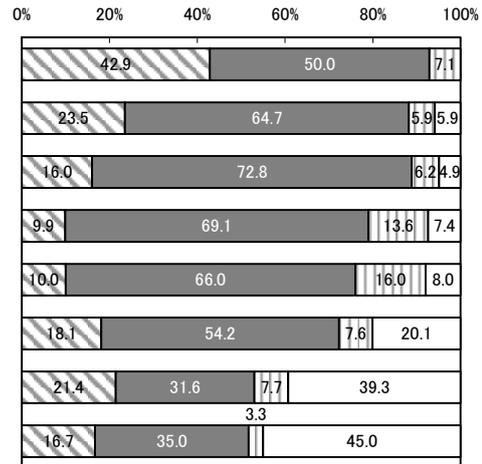
40歳代 (81)

50歳代 (100)

60歳代 (144)

70歳代 (117)

80歳代以上 (60)



皆さんからの意見では、「見えないところですが、ぜひ続けてほしい」など事業を評価している意見が2件、「ポスター貼ったりするだけならやめた方がよい」など事業を評価していない意見が9件、「よく意味が判らない面がある。もっとくだった言葉でPRしてほしい」など今後の事業の課題についての意見が5件となっています。

(20) 外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進

調査項目：多文化共生社会をつくるためには欠かせない、正確な情報を伝えるため、市役所に国際交流員を配置し、外国人住民向けに通訳による相談などを行っています。

重要度については、「重要」の割合が52.8%、「どちらともいえない」の割合が30.8%、「重要ではない」の割合が4.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が23.8%、「どちらともいえない」の割合が51.9%、「満足ではない」の割合が6.6%となっています。

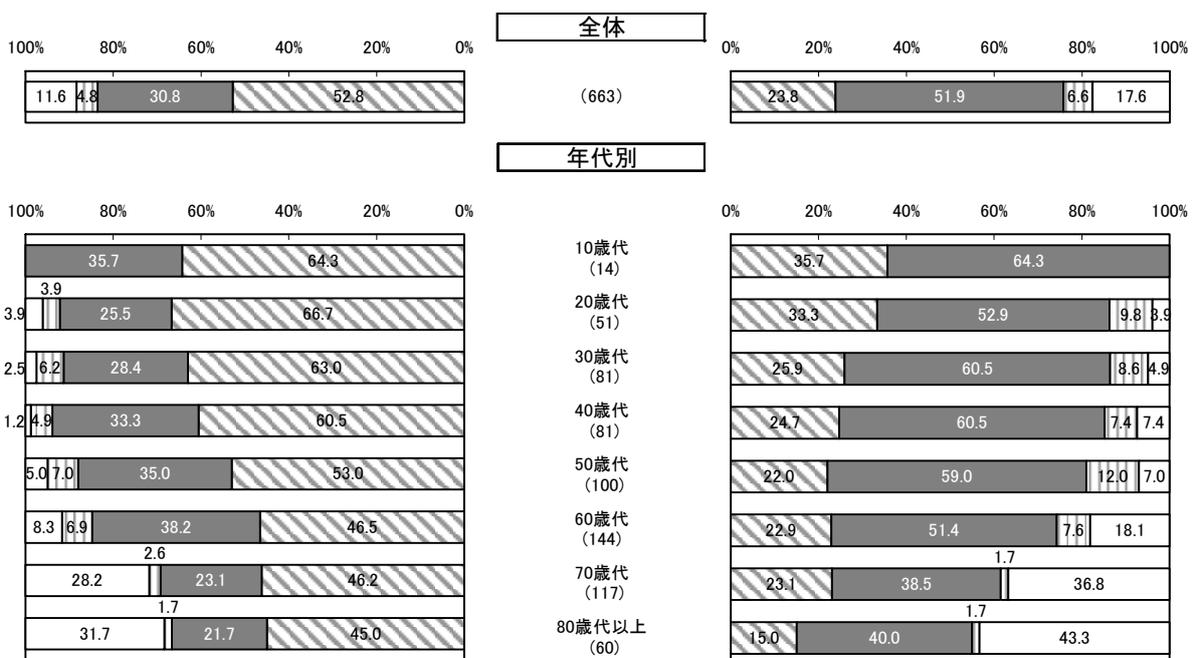
年代別でみると、10歳代を除き、年代が低くなるにつれ、「重要」の割合が高くなる傾向にあります。また、年代が低くなるにつれ、「満足」の割合が高くなる傾向にあり、10歳代、20歳代で3割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「外国人の方との共生は大変大切なことです」など事業を評価している意見が6件、「人件費が多すぎるのではないか」など事業を評価していない意見が10件、「市としては、外国人の就労や定住を望むのか、出産・育児・教育を充実させて、人口増を想定するのかの指針を出してほしい」など今後の事業の課題についての意見が19件となっています。

(21) 地元出身者の企画展の定期的な開催

調査項目：地域への愛着や郷土の理解を深め、育てていただくために、文化の森で地元出身者の企画展を定期的な開催しています。

重要度については、「重要」の割合が32.9%、「どちらともいえない」の割合が47.1%、「重要ではない」の割合が8.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が18.1%、「どちらともいえない」の割合が59.0%、「満足ではない」の割合が6.3%となっています。

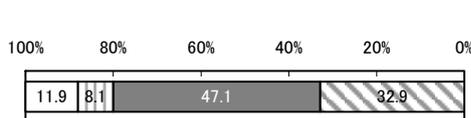
年代別でみると、10歳代で「重要」の割合が5割となっており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が5割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

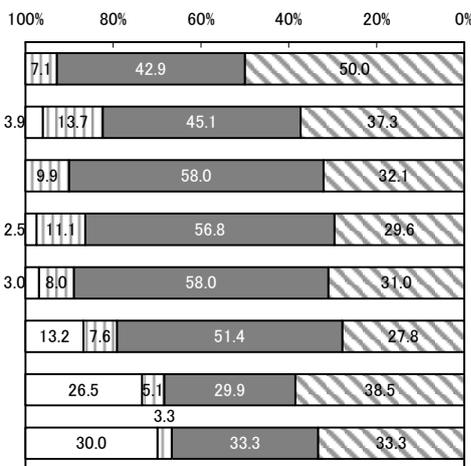
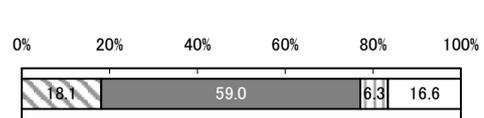
【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

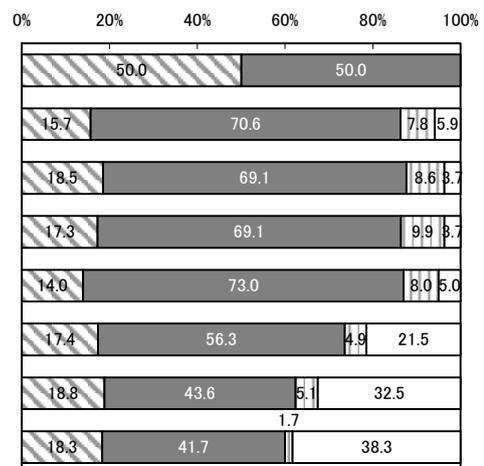


全体
(663)



年代別

10歳代 (14)
20歳代 (51)
30歳代 (81)
40歳代 (81)
50歳代 (100)
60歳代 (144)
70歳代 (117)
80歳代以上 (60)



皆さんからの意見では、「市民の文化意識にはある程度つながる」など事業を評価している意見が8件、「何度も行きたい内容ではない」など事業を評価していない意見が8件、「もっと人が多く集まる場所でやったほうがよいのではないかなど今後の事業の課題についての意見が9件となっています。

(22) コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営

調査項目：文化会館は、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などでコンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。

重要度については、「重要」の割合が50.7%、「どちらともいえない」の割合が32.9%、「重要ではない」の割合が3.9%となっています。

満足度については、「満足」の割合が27.6%、「どちらともいえない」の割合が43.9%、「満足ではない」の割合が11.0%となっています。

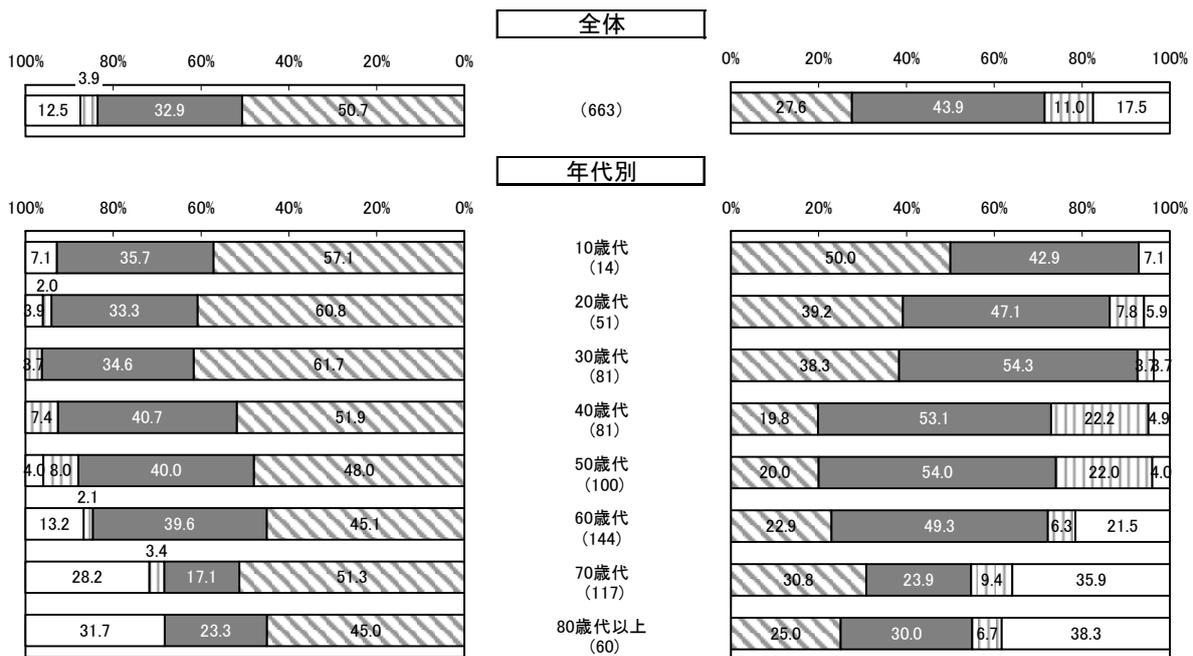
年代別でみると、20歳代、30歳代で「重要」の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。一方、40歳代、50歳代で「満足ではない」の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。また、20歳代、30歳代で「満足」の割合が約4割となっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「地元で、いろいろなコンサートが開かれる事は良いと思う。これからも期待する」など事業を評価している意見が8件、「維持管理費が多い、民間委託などを考えたほうがよい」など事業を評価していない意見が9件、「各種実施されている内容に関するPRが足りない」など今後の事業の課題についての意見が26件となっています。

(23) あい愛バスの運行

調査項目：高齢者をはじめ、移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、2台のあい愛バス(市が運行する路線バス)が11路線で運行しています。

重要度については、「重要」の割合が59.7%、「どちらともいえない」の割合が22.6%、「重要ではない」の割合が6.0%となっています。

満足度については、「満足」の割合が25.9%、「どちらともいえない」の割合が39.8%、「満足ではない」の割合が17.5%となっています。

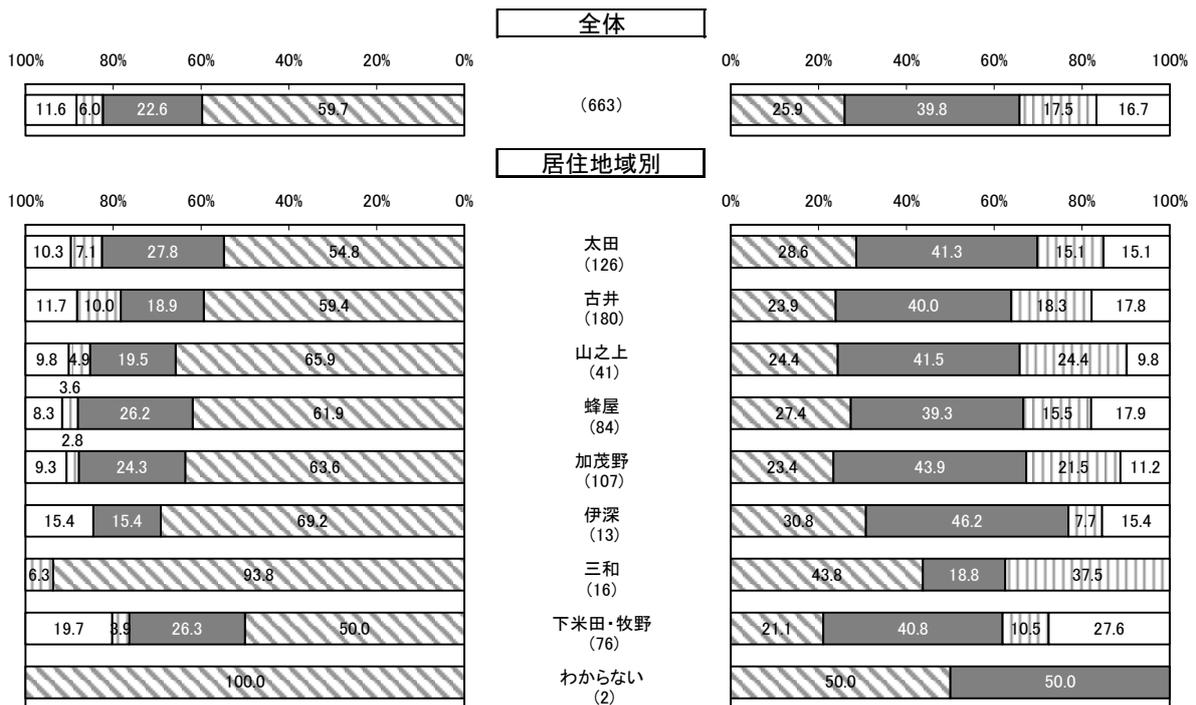
居住地区別でみると、三和で「重要」の割合が9割を超えており、他に比べて高くなっています。また、三和で「満足ではない」の割合が3割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、山之上、加茂野で2割を超えています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「あい愛バスは、老人のために必要だと思います」など事業を評価している意見が11件、「あまり人が乗っていないバスが多い」など事業を評価していない意見が26件、「便数を増やしてほしい」など今後の事業の課題についての意見が44件となっています。

(24) 沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行

調査項目：美濃太田駅から郡上市北濃駅を結ぶ長良川鉄道(延長 72.1km)は、高校生の通学など主に地域住民の交通手段として、沿線の市町から補助金を受けて運行しています。

重要度については、「重要」の割合が 61.5%、「どちらともいえない」の割合が 24.6%、「重要ではない」の割合が 2.3%となっています。

満足度については、「満足」の割合が 33.0%、「どちらともいえない」の割合が 44.5%、「満足ではない」の割合が 5.3%となっています。

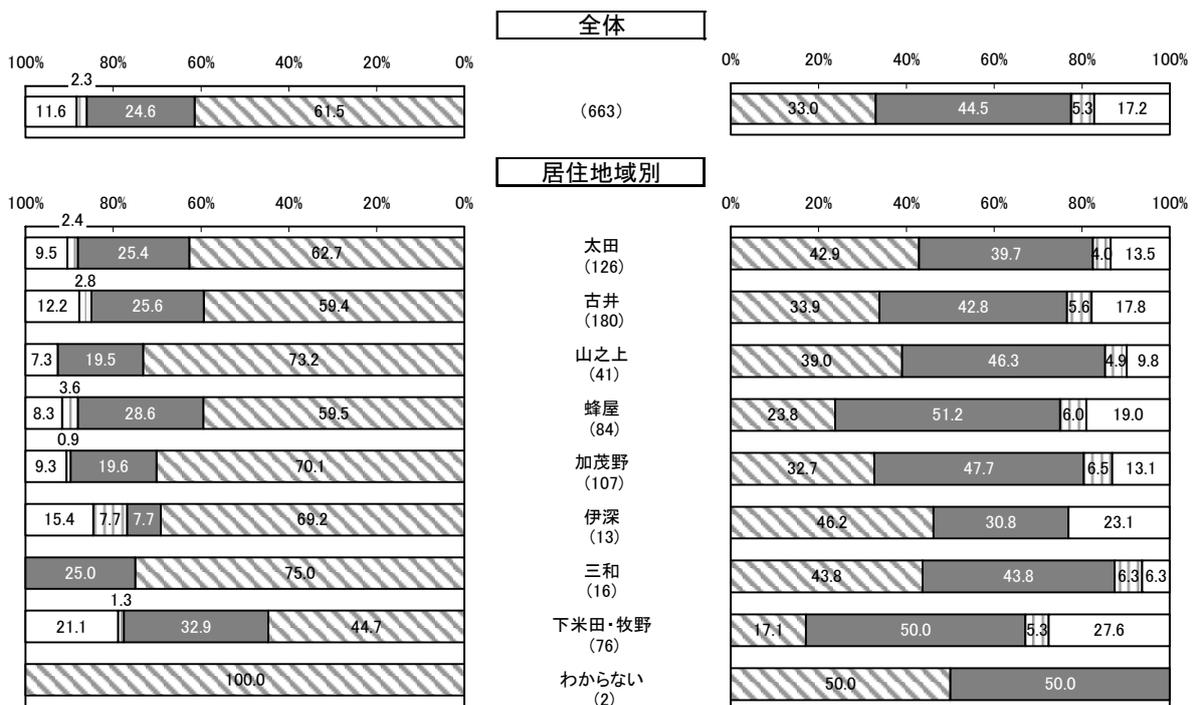
居住地区別でみると、山之上、三和で「重要」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。次いで、加茂野、伊深で約7割となっています。また、太田、伊深、三和で「満足」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



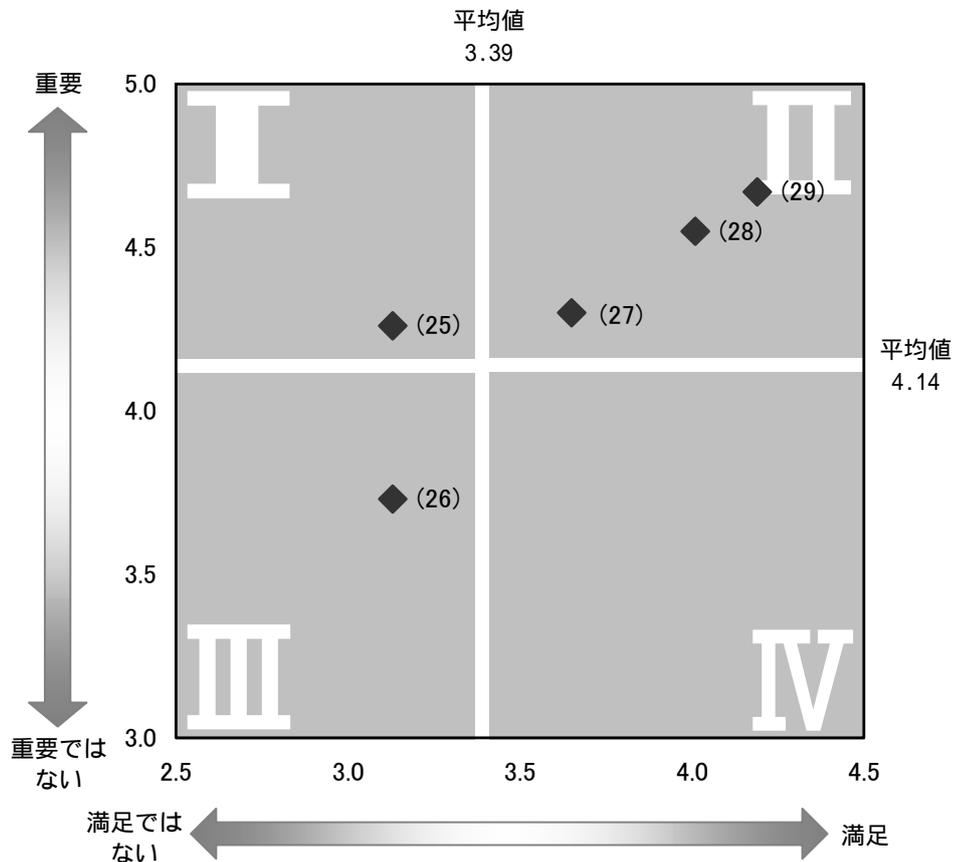
皆さんからの意見では、「大切な事だと思っています。なくてはならない。維持して欲しい」など事業を評価している意見が 15 件、「これだけのお金を使う事がよいことなのか、バスでもよいのでは」など事業を評価していない意見が 8 件、「活性化に向けて努力すべき、沿線でのイベントの広報にもっと工夫できないか」など今後の事業の課題についての意見が 12 件となっています。

2. - 5 美しい風景が残るまち

『(25)優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良』については、重要度では平均値を上回り、満足度では平均値を下回る結果となっており、今後の重点課題として検討が必要なタイプ に分布しています。

『(27)クリーンパートナー制度の推進』、『(28)旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収』、『(29)ごみ袋料金に対する市の負担』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ に分布しています。

『(26)河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

◆美しい風景が残るまち◆	
(25) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	(26) 河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進
(27) クリーンパートナー制度の推進	(28) 旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収
(29) ごみ袋料金に対する市の負担	

(25) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良

調査項目：市の財政状況や市民ニーズの多様化もあり、事業費が縮小傾向の中で、生活道路や側溝などの新設や改良、維持修繕を優先箇所を選定して行い、利便性の向上や交通安全対策の推進をしています。

重要度については、「重要」の割合が59.4%、「どちらともいえない」の割合が24.9%、「重要ではない」の割合が2.9%となっています。

満足度については、「満足」の割合が26.2%、「どちらともいえない」の割合が42.1%、「満足ではない」の割合が14.0%となっています。

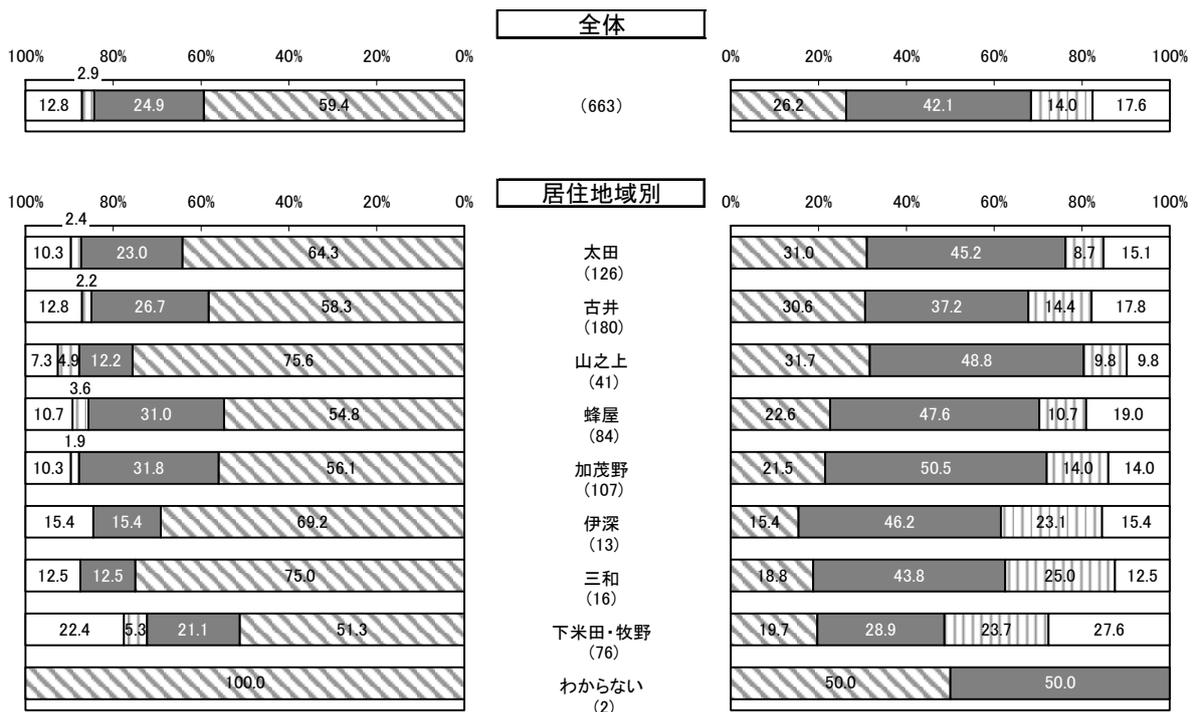
居住地区別でみると、山之上、三和で「重要」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。また、太田、古井、山之上で「満足」の割合が約3割となっており、他に比べて高くなっています。一方、伊深、三和、下米田・牧野で「満足ではない」の割合が2割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない ▨ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「利便性、交通安全を考えたとき、必要だと思う」など事業を評価している意見が4件、「10年前から同じ要望を出しているが、全く進んでいない」など事業を評価していない意見が17件、「優先箇所の選定理由が、『見える』とよいです」など今後の事業の課題についての意見が22件となっています。

(26) 河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進

調査項目：木曾川の景観や文化、観光などを生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。

重要度については、「重要」の割合が41.3%、「どちらともいえない」の割合が40.0%、「重要ではない」の割合が6.3%となっています。

満足度については、「満足」の割合が19.8%、「どちらともいえない」の割合が53.4%、「満足ではない」の割合が9.7%となっています。

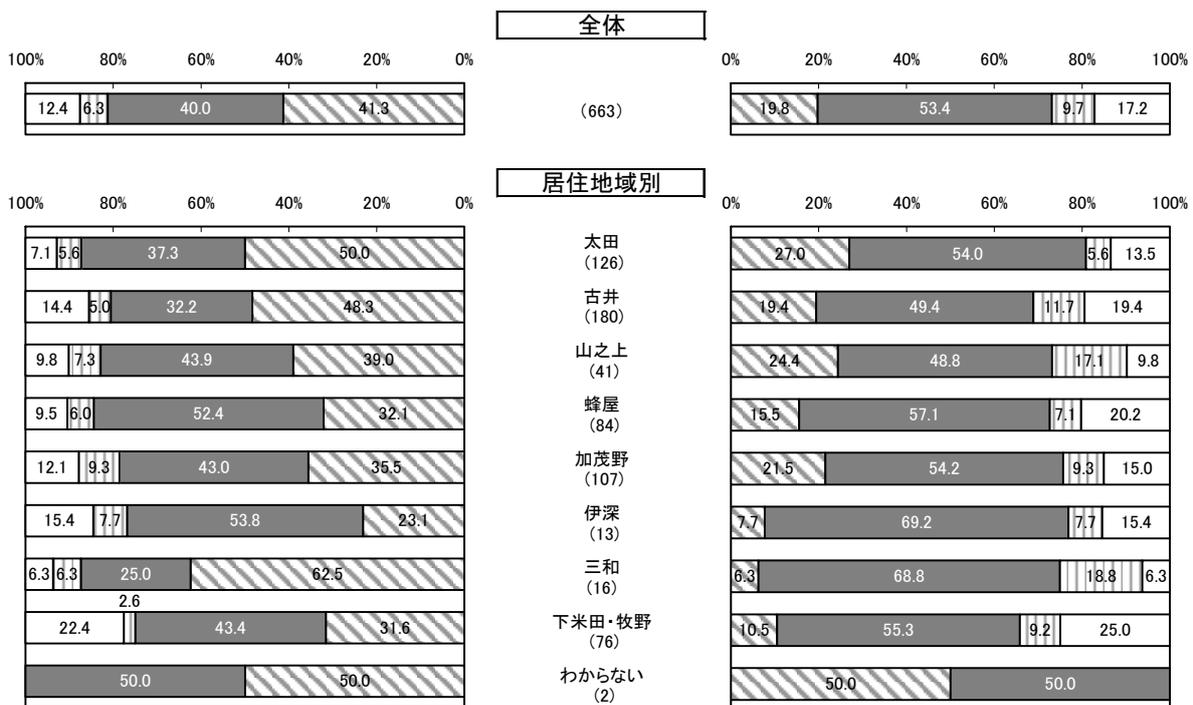
居住地区別でみると、太田、古井、三和で「重要」の割合が4割を超えており、他に比べて高くなっています。また、太田で「満足」の割合が約3割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「より利用者が増えるとなおよいと思う」など事業を評価している意見が4件、「河川・水辺空間はあまり利用されていないように思う」など事業を評価していない意見が14件、「もっとPRしてイベントなどもあったらよい」など今後の事業の課題についての意見が18件となっています。

(27) クリーンパートナー制度の推進

調査項目：ボランティア団体により、身近な公共施設（道路、公園など）をきれいにしてもらい、クリーンパートナー制度（公共施設をわが子に見立て、世話をしてもらい）を推進しています。

重要度については、「重要」の割合が58.5%、「どちらともいえない」の割合が27.6%、「重要ではない」の割合が1.2%となっています。

満足度については、「満足」の割合が31.8%、「どちらともいえない」の割合が46.6%、「満足ではない」の割合が3.5%となっています。

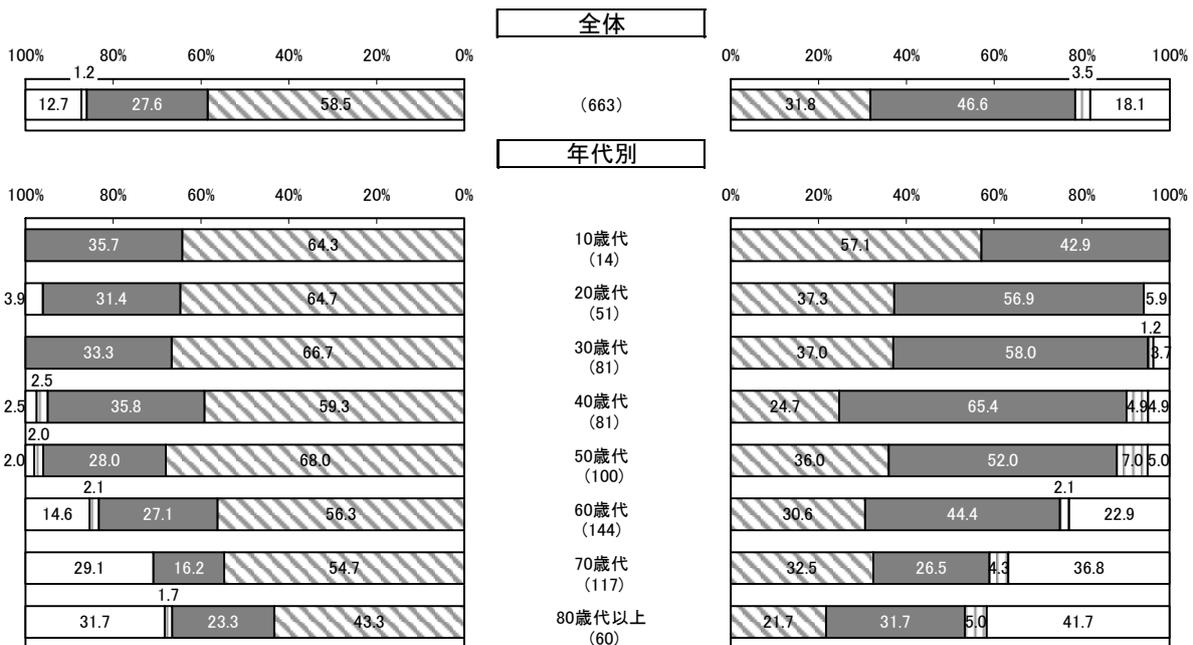
年代別でみると、10歳代から30歳代、50歳代で「重要」の割合が6割を超えており、他に比べて高くなっています。また、10歳代で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「公園などの掃除に頭が下がる思いです」など事業を評価している意見が6件、「費用の使い方が正しいかどうか不明」など事業を評価していない意見が3件、「ボランティアを有効に使用する方針が、今後重要だと思う」など今後の事業の課題についての意見が15件となっています。

(28) 旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収

調査項目：リサイクル推進や環境学習などのために、資源回収を旧日本ラインシュロス駐車場（毎週水曜日と第1日曜日）と牧野西会館駐車場（第2・第4日曜日）で行っています。

重要度については、「重要」の割合が69.8%、「どちらともいえない」の割合が17.2%、「重要ではない」の割合が1.1%となっています。

満足度については、「満足」の割合が48.1%、「どちらともいえない」の割合が30.2%、「満足ではない」の割合が4.4%となっています。

年代別にみると、50歳代以上では年代が高くなるにつれて、「重要」の割合が低くなっています。また、10歳代、20歳代、50歳代、60歳代で「満足」の割合が5割を超えており、他に比べて高くなっています。

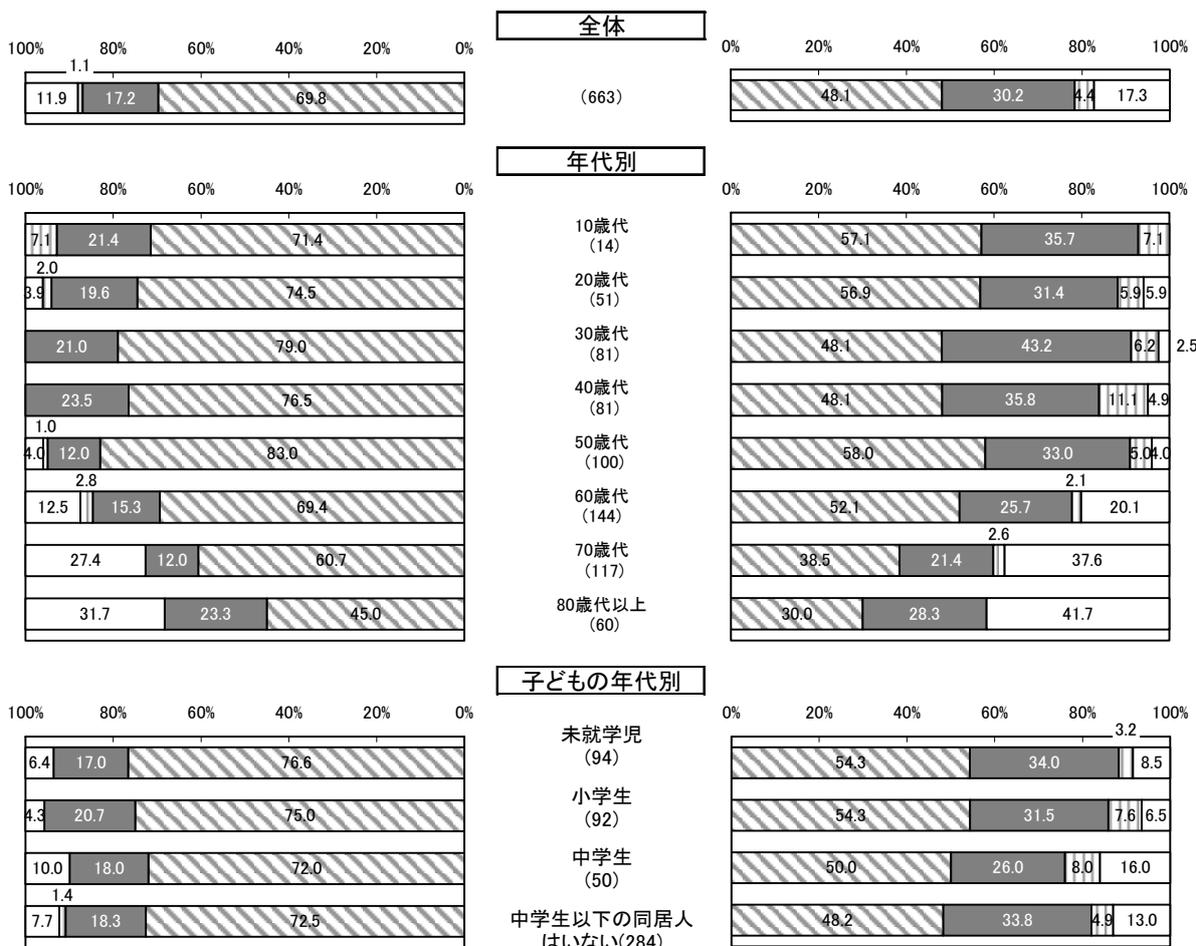
子どもの年代別にみると、大きな差異はみられません。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「評価しています。今後も積極的に実施して頂きたい」など事業を評価している意見が11件、「小、中学校の回収で充分事足りている」など事業を評価していない意見が18件、「もう少し回収場所を増やして欲しい」など今後の事業の課題についての意見が21件となっています。

(29) ごみ袋料金に対する市の負担

調査項目：家庭から出る可燃ごみ1袋(6kg)の処理費用は、405円です。そのうち皆さんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り375円は市が負担しています。

重要度については、「重要」の割合が74.5%、「どちらともいえない」の割合が12.4%、「重要ではない」の割合が0.8%となっています。

満足度については、「満足」の割合が57.8%、「どちらともいえない」の割合が21.0%、「満足ではない」の割合が5.3%となっています。

性別でみると、女性で「満足」の割合が男性に比べ高くなっています。

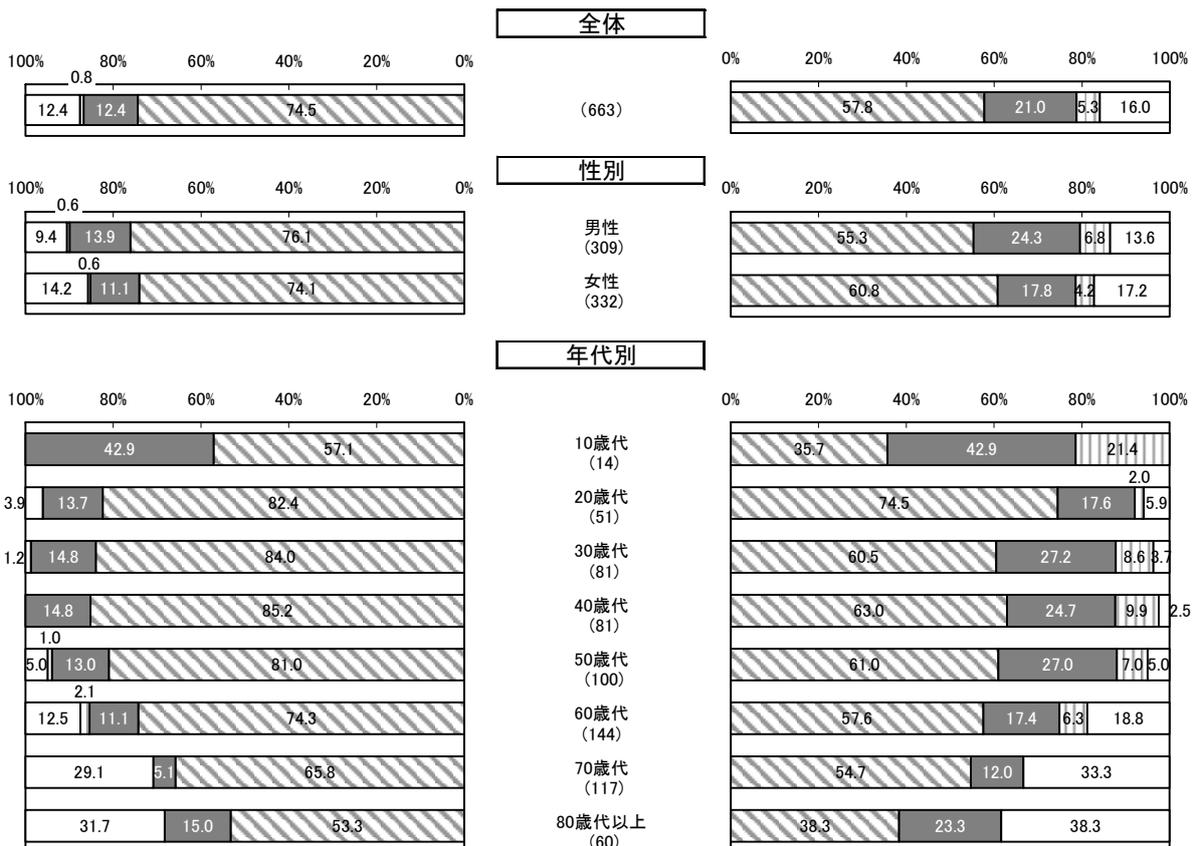
年代別でみると、20歳代から50歳代で「重要」の割合が8割を超えており、他に比べて高くなっています。また、20歳代で「満足」の割合が7割を超えており、他に比べて高くなっています。一方、10歳代で「満足ではない」の割合が約2割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答

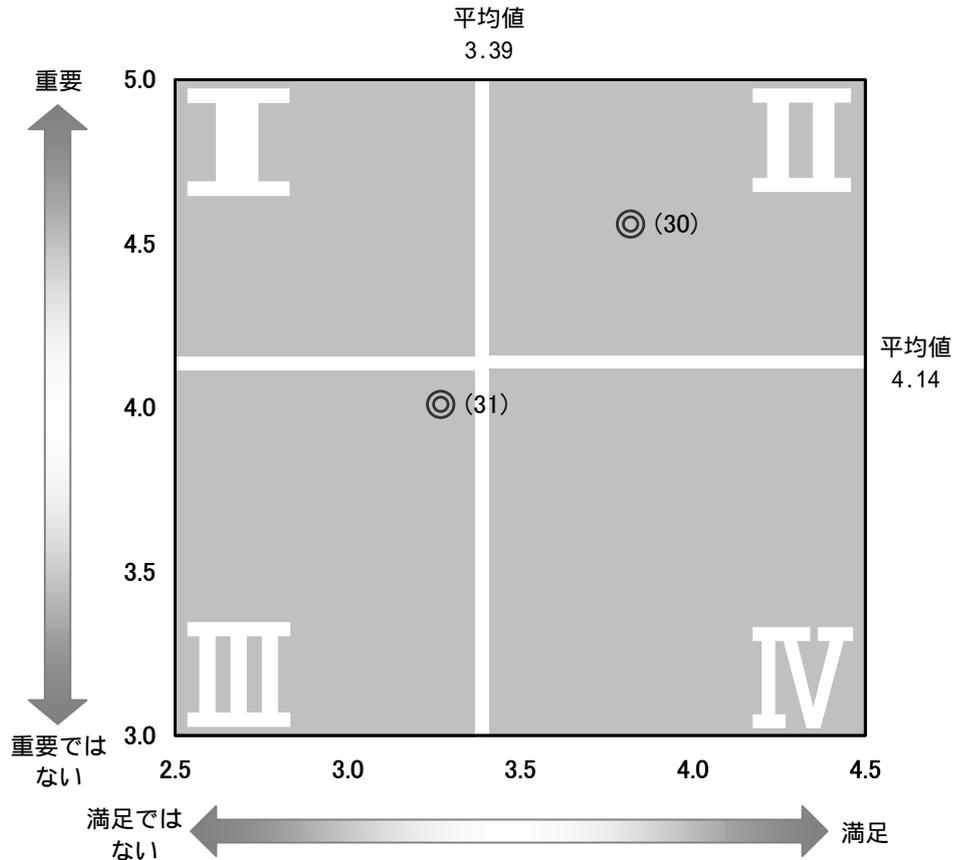


皆さんからの意見では、「ゴミ袋が30円で助かっています。これからも、より一層ゴミ低減に努めていきたい」など事業を評価している意見が12件、「市民負担を近隣市町平均まで上げるべきだ」など事業を評価していない意見が34件、「もっと処理費用が削減できるように、具体的な数字を提示したり、削減方法を知らせてほしい」など今後の事業の課題についての意見が19件となっています。

2. - 6 市役所の経営方針

『(30)事業選択による借金残高の削減』については、重要度・満足度ともに平均値を上回る結果となっており、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ に分布しています。

『(31)「定住自立圏構想」の推進』については、重要度・満足度ともに平均値を下回る結果となっており、満足度および重要度が低い理由について検証が必要なタイプ に分布しています。



ポートフォリオの凡例

◎市役所の経営方針◎	
(30)事業選択による借金残高の削減	(31)「定住自立圏構想」の推進

(30) 事業選択による借金残高の削減

調査項目：市では、道路整備や下水道整備などの事業を借金をして推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。

重要度については、「重要」の割合が69.2%、「どちらともいえない」の割合が17.9%、「重要ではない」の割合が0.6%となっています。

満足度については、「満足」の割合が41.8%、「どちらともいえない」の割合が35.1%、「満足ではない」の割合が5.3%となっています。

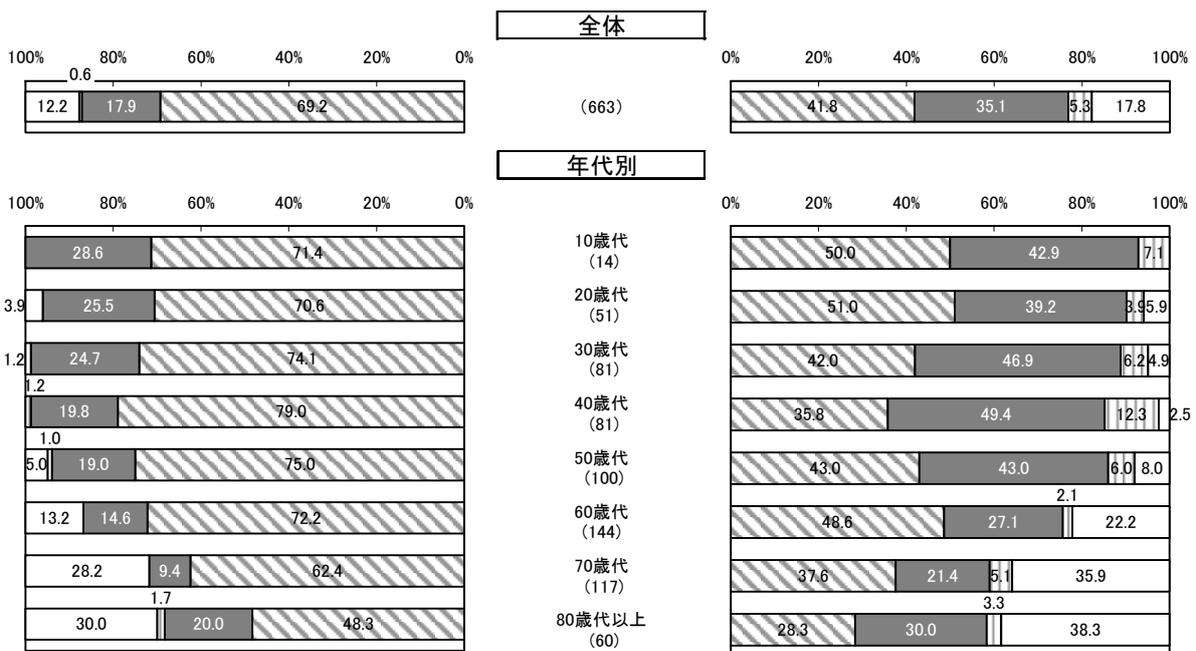
年代別でみると、40歳代で「重要」の割合が約8割となっており、他に比べて高くなっています。次いで、10歳代から30歳代、50歳代、60歳代で7割を超えています。また、10歳代、20歳代、60歳代で「満足」の割合が約5割となっており、他に比べて高くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「負債を少なくすることは大切、大賛成」など事業を評価している意見が22件、「将来よりも現代生きている人が大事では」など事業を評価していない意見が9件、「市のために、個人からもう少し多く徴収して、早く返済をするように」など今後の事業の課題についての意見が17件となっています。

(31)「定住自立圏構想」の推進

調査項目：美濃加茂市が中心になり、坂祝町・川辺町と協定を結び、それぞれの市町が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」（共同で事業を行う）を推進しています。（今後、富加町、七宗町とも協定を結び共同事業を行う予定です。）

重要度については、「重要」の割合が53.2%、「どちらともいえない」の割合が30.9%、「重要ではない」の割合が5.4%となっています。

満足度については、「満足」の割合が23.1%、「どちらともいえない」の割合が53.8%、「満足ではない」の割合が7.7%となっています。

性別でみると、男性で「満足」の割合が女性に比べ高くなっています。

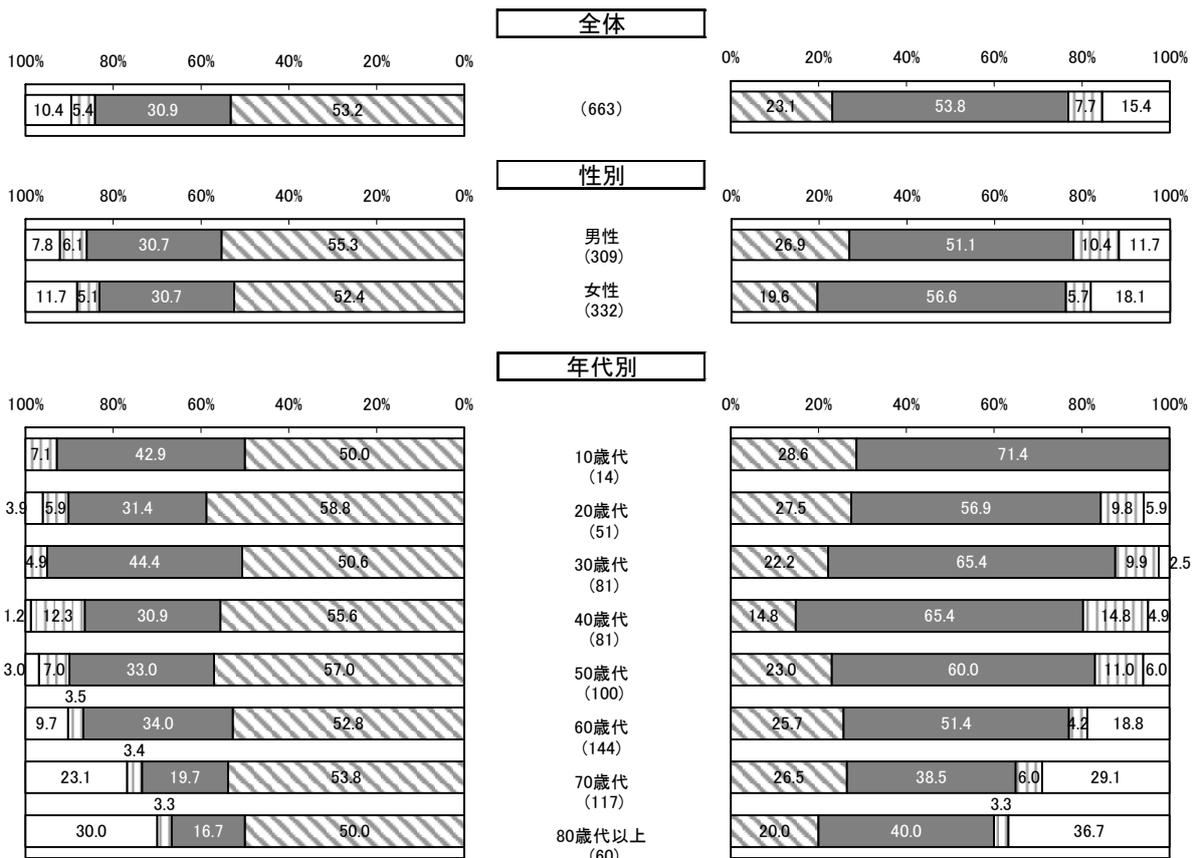
年代別でみると、20歳代で「重要」の割合が約6割となっており、他に比べて高くなっています。また、40歳代で「満足」の割合が2割未満となっており、他に比べて低くなっています。

【重要度】

【満足度】

□ 無回答 □ 重要ではない ■ どちらともいえない ▨ 重要

▨ 満足 ■ どちらともいえない □ 満足ではない □ 無回答



皆さんからの意見では、「生活しやすい、住みよい町になってほしいです」など事業を評価している意見が19件、「なぜ協定を結ぶ必要があったのかわからない、事業費がかかりすぎて」など事業を評価していない意見が12件、「行政の担当者だけでなく、地域住民の意識を高める必要がある」など今後の事業の課題についての意見が20件となっています。

參考資料

みなさんの意見でまちづくりを進めます

～市民満足度調査にご協力ください～

これからのまちづくりにみなさんのご意見を反映して進めていくため、「美濃加茂市市民満足度調査」を行います。

みなさんは、日ごろの生活の中で、市が行っている事業に対してどのように感じてみえますか？「この事業はとても重要だけれど、まだまだ満足できない」とか、「この事業はサービスが手厚すぎる。重要だとは思わない」など、さまざまな考えをお持ちだと思います。

この調査は、そんなお考えやご意見をもとにそれぞれの項目にお答えください。

みなさんのお考えで美濃加茂市を暮らしやすいまちにしていきたいと思います。

ぜひ、ご協力いただきますよう、お願いいたします。

なお、この調査結果は、後日ホームページなどで公表させていただきます。

平成23年 3月

美濃加茂市長 渡辺 直由

ご記入にあたってのお願い

この調査をお願いする方は、美濃加茂市在住の18歳以上の方で住民基本台帳から1,500人を無作為に抽出させていただきました。回答は、**封筒の宛て名のご本人様**がご記入下さい。

この調査は、無記名でご回答いただきますし、他の目的には使用しませんのでご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

質問は、選択式になっておりますのであてはまる番号に、「 」をつけてください。また、質問ごとにご意見等がありましたらご記入ください。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れて、**平成23年3月22日（火）まで**に郵便ポストに投函して下さい。**調査票、返信用封筒ともに無記名**で結構です。また、**切手は不要**です。

（お問い合わせ先）

美濃加茂市役所 経営企画部 市政情報課

担当（渡辺・木村・奥村）

電話 0574-25-2111（内線243・244）

くらしについておたずねします。

問9 あなたのくらしは、去年の今頃と比べていかがですか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 楽になった | 3. 苦しくなった |
| 2. 変わらない | 4. わからない |

問10 あなたは、今のくらしについてどう思われますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 十分満足している | 3. まだまだ不満だ |
| 2. おおむね満足している | 4. きわめて不満だ |
| | 5. わからない |

問11 あなたは、日ごろのくらしの中で、どのようなことに不満を感じていますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 収入や貯蓄のこと | 8. 住まいの環境のこと |
| 2. 景気や生活費のこと | 9. 環境問題のこと |
| 3. 就職や失業・倒産など仕事のこと | 10. 犯罪や防犯のこと |
| 4. 家族の健康や生活上の問題のこと | 11. 事故や災害のこと |
| 5. 自分の病気や老後のこと | 12. その他() |
| 6. 子どもの保育や教育のこと | 13. 不満を感じることはない |
| 7. 近所づきあいのこと | 14. わからない |

問12 あなたが、今後くらしの中で力を入れていきたいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 高い所得や多くの財産があること | 9. 子どもの保育や教育 |
| 2. 社会的地位を高めること | 10. 衣食住生活の改善、充実 |
| 3. 仕事・家業・学業にうちこむこと | 11. 趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと |
| 4. 知識や教養を高めること | 12. 社会的奉仕活動をする事 |
| 5. 健康であること | 13. 人間関係を大切にすること |
| 6. 老後の生活への準備 | 14. その他() |
| 7. 家族の介護 | 15. 特にな |
| 8. 家族との団らん時間を大切にすること | 16. わからない |

今後の定住意向についておたずねします。

問 13 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. あまり住みよいとはいえない |
| 2. まあまあ住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 14 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 4. できれば住み続けたくない |
| 2. できれば住み続けたい | 5. 住み続けたくない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 15 これから美濃加茂市で住み続けていくためには、何があったらよいと思いますか。
(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自然環境が豊かであること | 10. 医療機関や福祉施設が整っていること |
| 2. 交通の利便性がよいこと | 11. 教育環境が充実していること |
| 3. 住宅地などの住まいの環境がよいこと | 12. スポーツ活動や余暇活動が充実していること |
| 4. まちのイメージや雰囲気がよいこと | 13. 物価や家賃が安いこと |
| 5. 買い物に便利であること | 14. まちに親しみや愛着があること |
| 6. 治安がよいこと | 15. 市民の意見が行政に反映されること |
| 7. 近所づきあいがよいこと | 16. その他 () |
| 8. 働く場が充実していること | 17. わからない |
| 9. 通勤・通学が便利であること | |

第5次総合計画についておたずねします。

問 16 市では、平成22年度から、まちづくりに関する最上位計画である第5次総合計画をスタートさせ、10年後のあるべき姿を、「まあるいまち みのかも」と定めています。
あなたは、第5次総合計画をご存知ですか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. よく知っている | 3. 名前くらいしか知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. まったく知らない |

問17 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を下の に記入してください。(3つまで)

1	●広報紙やホームページなどでの情報共有の推進 ●市政への市民参加の充実
2	●生涯学習機会の充実 ●地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実
3	●市民や団体、市役所などとの協働 ●市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化
4	●新たな分野の産業をつくりだすための環境整備 ●商品や製品の高付加価値化 ●美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信
5	●企業誘致の推進 ●既存商工業の基盤強化 ●雇用環境の充実
6	●中心市街地の整備 ●商店街の活性化によるまちなかの再生
7	●農業の担い手の育成・確保 ●農業経営基盤の強化
8	●観光交流資源の魅力向上 ●観光客の受入体制づくり
9	●地域ぐるみの防災・減災体制の整備 ●地域の防犯・交通安全活動の活性化
10	●予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進 ●地域医療体制の強化
11	●見守りと支えあいの地域福祉活動の推進 ●協働による福祉サービスの充実
12	●子育て支援の充実 ●魅力ある学校教育の推進 ●地域教育の推進
13	●外国人市民の定住環境の整備 ●地域での外国人市民との共生社会づくり
14	●地域に密着した文化の継承と保存 ●文化や芸術活動の振興
15	●市内の交通ネットワークの充実 ●広域交通網や地域間交通ネットワークの強化
16	●優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和 ●快適な住環境の整備
17	●美しいまちなみづくり ●身近な公園の整備や緑化の推進
18	●森林や里山、河川の保全 ●循環型社会の形成 ●温暖化防止・クールタウンの構築
19	●市職員の経営能力の育成 ●効果の上がる市役所の組織づくり
20	●市の行財政改革の徹底 ●事業に対する目標の管理と評価による改善
21	●周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり

番号記入欄

→

--	--	--

市の主な施策について「重要度」と「満足度」をおたずねします。

問18 次の各項目の取り組みについて、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。3点満点で評価し、該当する数字を一つずつ○で囲んでください。

No.	調 査 項 目	重 要 度			満 足 度		
		重 要	ど ち ら と も い え な い	重 要 で は な い	満 足	ど ち ら と も い え な い	満 足 で は な い
(1)	今年度から、市長が市内8地区を訪問し、参加された方から意見をもらい、今後の市政運営の参考にするなど、開かれた市役所を進めるために、「市政懇談会」を行いました。	3	2	1	3	2	1
	参加者数	487人					
	開催数及び期間	8回(22年5月7日～31日)					
		上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
(2)	市には、2箇所の図書館(中央、東図書館)があり、本やCDなどの貸し出しやホールの貸し出し及び閲覧機を利用した自習などに利用されています。	3	2	1	3	2	1
		上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
		中央図書館	東図書館				
	21年度本の貸出冊数	116,104冊	148,674冊				
	1冊あたり貸出コスト	564円	422円				
21年度維持管理費	6,544万円	6,270万円					
(3)	スポーツにより自治会親善や地域活性化を図るため、1チーム2,000円の参加料をいただき、自治会親善野球大会を開催しています。(レディースソフトボール、ハレーボール、ソフトバレーボールも同様の方法で開催しています。)	3	2	1	3	2	1
		上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	参加チーム数 参加者数	自治会野球参加料	自治会野球運営費				
90チーム 1,898人	18万円	56万円					
(4)	自治会では、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフトバレー、野球などの体育振興活動により、日常生活の中で住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。	3	2	1	3	2	1
		上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	年度	21年度	22年度				
	自治会加入率	60.4%	60.6%				
一世帯あたり市補助金	1,722円	1,401円					
(5)	水田で米以外の食料を生産し、食料自給率を向上させるために、20,000m以上の面積で、大豆や小麦などに転作している農家に補助金を交付しています。	3	2	1	3	2	1
		上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください					
	補助金額	補助面積	22年度補助金額				
1万円/1,000㎡	530,000㎡	530万円					

(6)	観光客を増やすために、市の観光地を紹介するパンフレットを日本語と英語版で作成しています。今年度は、 中国からの観光客を見込み、中国語版の観光パンフレットを作成し、来訪者への配布や中国人ガイド研修資料などで活用しています。		3	2	1	3	2	1
	作成部数		10,000部					
	半年間の使用部数		800部					
	作成費用		98万円					
上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
(7)	地域防災施設の整備や地域防災訓練の費用を補助することなどで、災害時に迅速な初期活動が行える地域づくりの支援をして、 自主(地域)防災組織の組織率の向上を図っています。		3	2	1	3	2	1
	自主防災組織組織率	21年度補助件数	21年度補助額					
	58.8%	23件	215万円					
上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
(8)	居宅の安全性を確保するため、昭和56年以前の木造住宅を対象に、申込者に 無料で耐震診断をして、診断後の耐震工事費用の1/2(60万円を限度)を助成する耐震事業を行っています。		3	2	1	3	2	1
	年度	21年度	22年度					
	耐震診断数	26件	26件					
	耐震補強工事数	2件	1件					
事業費		261万円	201万円					
上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
(9)	犯罪防止や交通事故防止のため、 夜間特に暗い場所に防犯灯を設置しています。 (22年度設置基数=39基、防犯灯総設置数=3,571基)		3	2	1	3	2	1
	21年野外犯罪確認件数(前年比)	21年侵入犯罪確認件数(前年比)	22年度予算額					
	336件(△24)	108件(+12)	196万円					
上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
(10)	高齢の方に健康で長生きしていただけるよう、 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業を行っています。		3	2	1	3	2	1
	予防事業	脳の健康教室、転倒予防教室、筋力アップ教室など						
	参加者数	328人						
	事業費	1,676万円						
上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								

(11)	乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに診療できないこともあります。		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	年度	20年度	21年度					
	小中学生利用件数	55, 218件	58, 671件					
	助成額合計	1億1, 389万円	1億2, 587万円					
(12)	ファミリーサポートセンター事業は、子育ての援助をしてほしい人（利用者）と援助をしたい人（サポーター）が会員になり、託児など子育ての連携をしています。（利用料金 → 平日1時間600円、土日・祝日700円）		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	21年度利用件数	利用会員	21年度事業費					
	617件	570人	190万円					
(13)	総合福祉会館（新池町）は、高齢者をはじめ、障がい者、幼児などが集える地域福祉活動の拠点として整備されて以来、多くの利用者に親しまれています。		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	21年度利用者数	年間維持管理費	1人あたり市負担額					
	79, 674人	7, 076万円	888円					
(14)	市内には、12箇所（266部屋）の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいています。		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	市が負担する1部屋の年間維持管理費		21年度維持管理費					
	47万9千円	1億2, 500万円						
(15)	すこやかな子どもを産み、育てるために必要な妊娠・出産・育児に関する正しい知識を普及するために、訪問相談や各種教室を行っています。		3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください							
	訪問数及び教室参加者数	4, 094 人						
	相談等1件費用	1, 970 円						
	21年度事業費	806 万円						

(16)	<p>児童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童に対し、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。 (利用料金は、月曜から金曜日利用の場合、月5,000円です)</p>		3	2	1	3	2	1	
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>								
	利用者数(月平均)	1人あたり費用(月平均)	22年度事業費						
	354人	13,600円	5,761万円						
(17)	<p>市では、0歳から18歳までの子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。</p>		3	2	1	3	2	1	
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>								
	主な活動	<p>特色ある学校の教育活動、今日的な課題の教育講演会、子育て講演会など</p>							
	事業費	159万円							
(18)	<p>地域で青少年の非行防止と健全育成をはかるため、31人の補導委員により、定期的な防犯パトロール活動を行っています。</p>		3	2	1	3	2	1	
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>								
	補導委員の活動日数(21年度)	117日							
	補導委員報酬など事業費(21年度)	65万円							
(19)	<p>一人ひとりが日常生活の中で人権を尊重することの大切さを正しく理解して、あらゆる人の人権に配慮した社会を築くために、「人権施策推進指針」を作り、啓発活動をしています。</p>		3	2	1	3	2	1	
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>								
	人権啓発活動及び指針作成事業費	15万円							
(20)	<p>多文化共生社会をつくるためには欠かせない、正確な情報を伝えるため、市役所に国際交流員を配置し、外国人住民向けに通訳による相談などを行っています。</p>		3	2	1	3	2	1	
	<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>								
	21年度相談件数	国際交流員の配置	国際交流員の人件費						
	8,512件	5人	1,600万円						

(21)	地域への愛着や郷土の理解を深め、育んでいただくために、文化の森で 地元出身者の企画展を定期的に開催しています。			3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	21年度実施事業	観覧者数	事業費						
	坪内逍遙生誕150年記念展(42日間)	754人(有料)	71万円						
	佐野和彦の撮った伊深の里山展(31日間)	2,099人(無料)	26万円						
(22)	文化会館は、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などでコンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。			3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	21年度利用者数	年間維持管理費	1人あたり市負担額						
	68,723人	8,645万円	1,258円						
(23)	高齢者をはじめ、移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、 2台のあい愛バス(市が運行する路線バス)が11路線で運行しています。			3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	年度	20年度	21年度						
	利用者数	23,274人	25,423人						
	市事業費	2,107万円	1,950万円						
	利用料収入	368万円	403万円						
(24)	美濃太田駅から郡上市北濃駅を結ぶ 長良川鉄道(延長72.1km) は、高校生の通学など主に地域住民の交通手段として、 沿線の市町から補助金を受けて運行しています。			3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	21年度利用者数	美濃加茂市補助金額	沿線市町補助金計						
	84万人(2,301人/日)	2,873万円	3億6,582万円						
(25)	市の財政状況や市民ニーズの多様化もあり、 事業費が縮小傾向の中で、生活道路や側溝などの新設や改良、維持修繕を優先箇所を選定して行い、利便性の向上や交通安全対策の推進 をしています。			3	2	1	3	2	1
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	年度	21年度	22年度						
	道路・側溝事業費	2億1,359万円	9,829万円						

(26)	木曾川の景観や文化、観光などを生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。		3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	22年度事業内容	かわまちづくり基本計画の作成							
	22年度事業費	233万円							
(27)	ボランティア団体により、身近な公共施設(道路、公園など)をきれいにしてもらい、クリーンパートナー制度(公共施設をわが子に見立て、世話をしてもらい)を推進しています。		3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	21年度までの登録団体数	4団体							
	22年度新規登録見込み団体数	6団体							
	市の支援	活動に必要な材料費、燃料費などの給付							
(28)	リサイクル推進や環境学習などのために、資源回収を旧日本ラインシュロス駐車場(毎週水曜日と第1日曜日)と牧野西会館駐車場(第2・第4日曜日)で行っています。		3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
	利用者数(21年度)	32,467人							
	回収量(21年度)	54万kg							
	主な回収品目	新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・アルミ缶・紙容器							
(29)	家庭から出る可燃ごみ1袋(6kg)の処理費用は、405円です。そのうち皆さんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り375円は市が負担しています。 (ごみ袋1枚の金額: 可児市=30円、関市=60円、富加町=50円、川辺町=75円、東白川村=155円)		3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
		処理費用	うち市負担分						
	21年度可燃ごみ処理費用	6億1,700万円	5億5,800万円						
(30)	市では、道路整備や下水道整備などの事業を借金をして推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。		3	2	1	3	2	1	
	上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください								
		借金残高	一人あたり						
	21年度末残高	約437億円	79.2万円						
	22年度末残高見込み	約431億円	78.2万円						
	26年度末残高見込み	約365億円	66.2万円						

(31)	<p>美濃加茂市が中心になり、坂祝町・川辺町と協定を結び、それぞれの市町が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」(共同で事業を行う)を推進しています。 <small>(今後、富加町、七宗町とも協定を結び共同事業を行う予定です。)</small></p>		3	2	1	3	2	1
	<p>共同実施事業 <small>(事業数は、今後増やしていきます。)</small></p>		<p>上の評価をした理由について、ご意見があればお書きください</p>					
	<p>22年度事業費</p>		<p>1,630万円</p>					

※質問は以上です。

※この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに、

3月22日(火)までにポストに投函してください。

※ご協力、誠にありがとうございました。

平成 22 年度 美濃加茂市市民満足度調査
報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505 - 8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431 - 1

TEL : 0574 - 25 - 2111

FAX : 0574 - 25 - 3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp

平成 22 年度
美濃加茂市市民満足度調査

自由意見報告書

平成 23 年 6 月

美濃加茂市

目 次

(1) 「市政懇談会」の開催	1
(2) 2箇所（中央・東図書館）での図書館運営	5
(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化	9
(4) 自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり	13
(5) 水田で転作している農家への補助金交付	17
(6) 中国語版観光パンフレットの作成と活用	21
(7) 防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主（地域）防災組織の組織率の向上	25
(8) 無料の耐震診断と耐震工事費用の助成	28
(9) 防犯灯の設置	31
(10) 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業	35
(11) 中学校卒業までの医療費無料化	38
(12) ファミリーサポートセンター事業	42
(13) 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営	44
(14) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用	47
(15) 妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施	50
(16) 学童保育事業	52
(17) 「フロム0歳プラン」の推進	55
(18) 青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動	57
(19) 人権施策推進指針による人権啓発活動の実施	59
(20) 外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進	61
(21) 地元出身者の企画展の定期的な開催	63
(22) コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営	65
(23) あい愛バスの運行	67
(24) 沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行	71
(25) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良	73
(26) 河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進	75
(27) クリーンパートナー制度の推進	77
(28) 旧日本ラインショコスや牧野西会館での定期的な資源回収	79
(29) ごみ袋料金に対する市の負担	82
(30) 事業選択による借金残高の削減	85
(31) 「定住自立圏構想」の推進	87

(1)「市政懇談会」の開催

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	蜂屋	行うことはよいことだとは思ふ。
男性	50歳代	太田	直接意見を聞くことが大事だと思う。
男性	50歳代	山之上	参加者が一部なので引き続き開催してください。
女性	80歳以上	伊深	いろいろな人の意見を聞き市政に役立ててほしい。
男性	40歳代	古井	今後も継続を望む。
男性	80歳以上	太田	今後も拡大してほしい。
女性	50歳代	古井	市民の声を生で聞くことは重要。
男性	30歳代	古井	市民の声が届きにくかった現状のハードルを下げて、同じ座でそうした場を提供した市長はすごいと思います。
男性	60歳代	太田	生の声が届き市政に生かしていただけると期待できる。
男性	80歳以上	下米田・牧野	市長もいろいろな方の意見を聞いておられると思いますが、一般の市民の声が一番大切だと思います。
男性	30歳代	蜂屋	市民目線の市長で、大変素晴らしい取り組みです。続けてほしい。
男性	40歳代	加茂野	直接意見が伝えられる場合は今後も必要。
女性	60歳代	古井	一応、皆の意見を幅広く聞くということは、大事なこともかもしれません。
男性	40歳代	伊深	参加者が偏らないよう考慮が必要。今回の調査は、多くの意見を集約するには大変よい。
女性	10歳代	古井	直接、市長と話す機会を設けることは、とてもよいと思う。
女性	50歳代	古井	市民の意見を聞くことは大切。
男性	40歳代	蜂屋	市民の声を聞くことは重要。
女性	70歳代	古井	市長は市民の声を聞く機会が無いから、有効だと思う。
女性	70歳代	三和	市民のために必要な事だと思う。
男性	40歳代	加茂野	生の声を聞くことはよいことだ。
男性	60歳代	蜂屋	市政は開かれていた方がよい。
女性	60歳代	古井	市役所があって市民がいて、市民がいるから市役所があるのだから、とてもよいことだと思います。役所は身近にあってほしいと思います。
女性	70歳代	古井	家の中にいると市政のことなど、わからないことばかりだから、どんどん参加したい。
男性	60歳代	下米田・牧野	当然です。市長が市民との懇談会は当たり前。
男性	50歳代	蜂屋	直接首長の生の声が聞くことができ、考え方が少しでも理解できてよかった。
男性	20歳代	古井	第三者の意見は大切なものだと思う。続けてほしい。
男性	50歳代	太田	市長が直接市民と懇談されるのは、市の向上につながると思う。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	古井	参加者数が少ない。
男性	40歳代	蜂屋	参加された方の意見が市民の意見かは疑問。
男性	80歳以上	山之上	参加者が全く少ない。何故か。
男性	60歳代	下米田・牧野	本音が話せないから。
女性	60歳代	加茂野	参加者数が少なすぎる。
女性	30歳代	太田	懇談会が行われたことによって、市政にどう影響されたのかが明確ではない。
男性	70歳代	太田	どんな話題、どんな発展があったか知らない。これは市のPR不足か、個人の学習能力不足か。
男性	30歳代	蜂屋	意見を言っても市政に反映されない
男性	50歳代	蜂屋	5万人の中の487人ではあまり意味がない。おそらく487人の中のかなりの人数は市の職員であると考えられる。
女性	30歳代	太田	市政懇談会があることは、皆知らない。
女性	70歳代	古井	あまり細かい事業について意見を聞いていると、大きなことを見失いがち。
男性	60歳代	加茂野	結果がわからない。
男性	40歳代	蜂屋	十分語り合えたとは言えない部分がある。
女性	60歳代	蜂屋	市長より、市議の方がよいのではないか。
男性	40歳代	太田	形式的。意見が反映されているか。
女性	50歳代	加茂野	参加していない、又参加したとしても意見を言う勇気が無い。
女性	20歳代	太田	行われている事を知らなかった。どのような意見が出たのかわからない。
女性	70歳代	古井	参加した人に聞いた結果ですが、一方的な会であつたらしく、懇談会ではなかったようだ。
女性	20歳代	太田	8地区も必要か。
男性	40歳代	無回答	市長に本当に自分の意見を言えるのか疑問。
男性	30歳代	蜂屋	形式だけで中身が無さそう。
女性	30歳代	古井	参加しにくいです。
男性	60歳代	古井	参加数が少ない。
男性	60歳代	古井	市議の仕事だと思う。
女性	60歳代	古井	市政懇談会の開催結果など周知されていない。
男性	60歳代	古井	参加者が少なすぎる、人集めに力を入れるかやめてもいい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	蜂屋	聞いただけということはないですか。反映されるのでしょうか。
男性	50歳代	加茂野	懇談会の存在すら知らない。PR不足。
男性	60歳代	下米田・牧野	意見をどのように判断し、予算化、優先度・重要度・難易度などにより反映するかが問題。
女性	20歳代	蜂屋	開催数及び期間が少ないのではないか。
女性	50歳代	古井	懇談会に参加する人というのは意見の言える人だと思うので、その場にはいない人の意見も重要だと思う。
女性	50歳代	古井	市政のために進んで、市長には動いてもらいたい。
男性	60歳代	下米田・牧野	回数を増やしてください。
男性	60歳代	古井	総花的な懇談会ではなく、できればテーマを絞った方がよい。なお、陳情の為の懇談会では意味がない。
女性	20歳代	山之上	ただし、やらせでなければ。意見を自由に発言できるべきと考える。事前に参加者をしぼるのはいかがか。
男性	60歳代	古井	市長ばかりの答弁ではなく、副市長も、部長級も回答してもよいと思う。
女性	50歳代	下米田・牧野	市報を見ていなかったのか、知らなかった。市民にわかりやすく。目的をきちんと説明し知らせるべき。
女性	60歳代	下米田・牧野	各地区とも、もう少し一般の人が行くとよい(自治会の役員が多いのでは。)
女性	60歳代	古井	どのようなことが参考になったのか、具体的に説明が欲しい。
男性	70歳代	古井	重要であるが、参加のPR不足あり。
男性	80歳以上	古井	参加者の評価は。
女性	20歳代	下米田・牧野	意見だけを聞くで終わってほしくない。
男性	60歳代	加茂野	意見を聞く事は大切だと思います。その後どうなったのかも知りたいです。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	どこで開催されたか知りませんでした。
女性	70歳代	蜂屋	参加していないのでわかりません。
女性	30歳代	古井	難しくあまりよくわからない。
男性	50歳代	下米田・牧野	当日参加していないので満足度はわかりません。
女性	50歳代	下米田・牧野	活動を知らなかった。
女性	70歳代	蜂屋	高齢者にはよくわかりません。
女性	30歳代	下米田・牧野	実施されていることを知らなかった。
女性	40歳代	加茂野	全く知らなかった。
女性	80歳以上	古井	過保護になりすぎると心配。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	20 歳代	古井	どのようにして参加するのですか。
無回答	無回答	無回答	そのような会があったこと、あることを知らなかったのです。
男性	20 歳代	太田	市政懇談会を知りませんでした。
男性	70 歳代	古井	市政懇談会の内容が不明(広報などの読み落としがあればすみません)。
男性	70 歳代	伊深	開催年月日を知らなかった。
女性	60 歳代	古井	参加者が少人数のため、どちらともいえないように思う。
男性	30 歳代	太田	見ていないと内容がわからないから。
女性	20 歳代	山之上	よく分かりません。
女性	20 歳代	古井	懇談会があったことを知りませんでした。
男性	40 歳代	古井	狭い。職員の愛想が悪い。

(2) 2箇所(中央・東図書館)での図書館運営

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	太田	読書、及びちよつとした調べものでも便利だと思います。
女性	30歳代	加茂野	豊かな読書量は充実した生活や知的な生活につながるもの。関心は高いが、実際に利用したことはないの、満足度は2。
女性	80歳以上	伊深	本を読むことにより、いろいろ気付かされることもあり、必要な場所だと思います。
女性	20歳代	蜂屋	1冊あたりの貸出コストの算出方法がわからない。本を借りたくても交通の便が悪いために行けない人がいる。
男性	20歳代	下米田・牧野	本の量が多いと思いますが、更なる充実をお願いします。
女性	20歳代	加茂野	私も学生時代はよく活用しました。今も時間があるときは行きます。
女性	70歳代	蜂屋	子どもを持つ親にしてみれば、とてもよいことと思います。
男性	60歳代	太田	岡本一平展など企画はよい。
男性	20歳代	古井	中高生が利用する。
男性	30歳代	蜂屋	とても充実して大変よいと思います。
男性	40歳代	加茂野	文教は重要であるので、継続してほしい。
女性	70歳代	古井	私自身読んでみたい本は買っているが、市民の文化意識を高めるためには仕方ないのかも。
女性	20歳代	加茂野	子どものために図書館などもっと充実させてほしい。
女性	10歳代	古井	受験勉強で静かな環境が保たれており、とても集中しやすかった。
女性	50歳代	古井	高校生の娘がテスト勉強によく利用させていただいています。
女性	70歳代	古井	多くの費用が必要で、大変だけどやはりあってほしい。時々利用するけど、ありがたいと思っている。
女性	70歳代	三和	よいことだと思います。
男性	40歳代	加茂野	よく利用しています。
女性	60歳代	古井	本を買って読むことはなかなかできませんし、家中本だらけも困るので、私はとてもありがたく利用させてもらっています。特に老後のボケ防止にうれしいです。
女性	50歳代	加茂野	時々利用している。
女性	70歳代	古井	時代においていかれないために、どんどん本を読みたいです。
女性	20歳代	古井	自習してもよいというのを知りませんでした。活用したいです。
男性	60歳代	加茂野	退職してからよく利用させてもらっています。
女性	70歳代	太田	時々利用していますが、大変助かっています。
女性	20歳代	山之上	勉強できる所がある。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	利用者が少ないのに管理費がかかりすぎている。
男性	80歳以上	三和	図書館まで16kmもあり利用しにくい。
男性	80歳以上	山之上	重要であると思うが、最重要課題ではない。
男性	80歳以上	蜂屋	市民の出版物をおろそかにしている。ある人が、個人の出版した書籍を職員が受付を断った。
女性	60歳代	加茂野	利用者が限られており、郊外の人には利用度が低い。
女性	50歳代	太田	なぜそんなに管理費が必要なのですか。
男性	40歳代	古井	市に2つの図書館が必要だろうか。
女性	30歳代	加茂野	1か所でもよいのではないか。
男性	70歳代	古井	読書離れの時代だからこそ重要と思うが、利用率が下がれば必要なし。
男性	60歳代	太田	少ない。CD貸出不可。1週間前の新聞すら係員に言わないと見られない。近隣の図書館と比較評価してほしい。
女性	50歳代	山之上	管理費が思ったより高いです。
女性	40歳代	蜂屋	車など足のある人はよいが、足のない人は、行きたくてもなかなか行けない。
女性	40歳代	加茂野	利用経験なし。どちらも遠い。1冊あたりの貸出コスト高いと思う。
女性	20歳代	山之上	交通の便がよいのに、2箇所は必要なのか。集中化による効率アップを望む。
女性	50歳代	下米田・牧野	中央しかない時にカードを作ったが、子どもが大きくなって、しばらく行かなかつたら、カードをなくしてしまい、無のまま、東図書館に行ったが、カードを発行しないと無理と言われた。何故すぐできないのか。それ以来行っていない。
男性	60歳代	蜂屋	経費の事を考えると、統合して一か所にした方が、維持管理費の低減になると思います。
女性	20歳代	太田	小さい子を連れて行くと「うるさいから入らないで」と言われたという話を聞いた。
男性	60歳代	加茂野	必要ないと思います。
女性	70歳代	加茂野	関市図書館は、本が豊富に有り、関に行く方が多い。
女性	60歳代	古井	維持管理費が多いので少し心配。
女性	50歳代	山之上	一冊あたりのコストが高すぎるような気がします。
男性	50歳代	蜂屋	経費がかかるなら1か所ではダメか。
女性	20歳代	下米田・牧野	小さい頃に使っただけ。ムダな金を使うなら減らすか、もっとわかりやすく市報に載せて。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	下米田・牧野	図書館も大事ですが、維持管理費をこれだけ使うなら、もっと多数の市民が利用できるような工夫がほしいです。
男性	40歳代	蜂屋	自習机に仕切りがほしい。
男性	10歳代	古井	自習スペースが少ないと感じる。
女性	30歳代	太田	本の数が少ない。
女性	70歳代	蜂屋	東図書館ではビデオが借りられますが、新作に乏しいです。
男性	30歳代	加茂野	専門書をより充実させてほしい。
男性	50歳代	太田	低年齢は半額でよい。
男性	50歳代	山之上	2か所の有意義な活用。
男性	50歳代	蜂屋	利用者に偏りがあると思われる。より多くの市民が利用できるよう考えてもらいたい。
女性	50歳代	古井	必要時には利用させてもらっています。ありがたいですが、高い管理費を使っているのでもっと多目的に利用できる機会もあるとよいと思います。
男性	20歳代	蜂屋	自習のスペースをもっと広げ、学生がより利用しやすい環境にしてほしい。
女性	50歳代	古井	伊深町の方にもあるとよい。
女性	20歳代	蜂屋	仕事が終わってからだと、閉館してしまっているのでもっと開いている関の図書館の方をよく利用している。
男性	20歳代	古井	週一日の休日が中央図書館の閉館日と重なっており、一度も利用できていない。
女性	60歳代	太田	開館時間を延長してほしい。休館日を少なくしてほしい。
女性	30歳代	太田	あまり利用しない。利用したいと思うが、読みたい本がない。
女性	20歳代	太田	中央図書館に行きました。大きいですが少し入りにくい雰囲気がありました。
女性	40歳代	加茂野	子ども用の本をもっと置いてほしい(新しいもの)。
無回答	無回答	無回答	小さい子どもづれで行くには、抵抗があります(うるさくなると申し訳ない)。もう少しオープンな(開放的な)感じだとよいと思います。
女性	30歳代	古井	CDの貸出は東図書館だけです。中央は多数見ることはできますが、CDの貸出をもっと多く扱ってほしいです。本のように予約したら手元に届いてほしいです。東図書館で何回か利用していますが、アニメのもあったり、手軽に借りられて、よいシステムだと思います。種類が少ないのが残念です。
女性	40歳代	加茂野	加茂野・蜂屋で使える場所がほしい。
女性	80歳以上	加茂野	開館時間を早くしてほしい。8:30(9:00)
男性	40歳代	太田	利用者の拡大。
男性	70歳代	山之上	小説類が少ないし、入替、追加がされていない。
女性	20歳代	太田	旅行・職業に関する本がリアルタイムではない。(10年前)
女性	20歳代	下米田・牧野	本が少ない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	無回答	レンタル料があってもよいと思う。
女性	30歳代	古井	東図書館を利用しますが、人員が多すぎます。もったいないと思います。
女性	50歳代	古井	図書館へは1か月に1回くらい行きますが、職員の中に少々問題のある方がみえます。
男性	60歳代	加茂野	本が作家別になっていない所が少しあり、探すのに迷います。(ジャンル別になっているものもあり)
無回答	70歳代	古井	CDの数が少ない。
男性	40歳代	山之上	本の量が少ない。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	図書館は利用しているが、閲覧机は利用したことがないのでわからない。
男性	60歳代	下米田・牧野	利用している人には重要であり、個人により異なる。私は利用していないので不明。
男性	60歳代	下米田・牧野	利用したことがないから。
女性	30歳代	太田	利用したことがないので、自分にとっては必要ないが、個々によると思う。
男性	70歳代	太田	利用していないのでなんともいえない。
男性	80歳以上	古井	利用したことがないのでわかりません。
男性	30歳代	蜂屋	重要とは思いますが自分が使っていないので満足度はわからない。
男性	40歳代	太田	あれば利用したいが、存在自体知らなかった。
女性	50歳代	下米田・牧野	利用したことがない。
男性	40歳代	加茂野	図書館が遠方なので利用することがない。
男性	60歳代	太田	あまり利用していない。
女性	70歳代	下米田・牧野	図書館に行ったことがない。
女性	60歳代	山之上	最近は行っていない。20年位前は、週3回くらい行っていました。
女性	40歳代	山之上	利用したことが無いため。
女性	60歳代	蜂屋	情報も無く、利用したことがないのでわかりません。
女性	60歳代	蜂屋	利用していません。
女性	70歳代	古井	あまり利用してないので、どちらともいえません。
男性	30歳代	蜂屋	他の市町村の数値がわからないので、客観的な判断のしようがない。
男性	50歳代	蜂屋	図書館を利用する時間がない。必要かどうかよくわからない。
男性	20歳代	古井	本、CDの内容によって意見がかわる、と大口をたたいていますが、図書の仕組みを知らないので、何ともいえません。

(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	加茂野	より多くの競技で実施してほしい。
男性	50歳代	山之上	できるだけ参加しています。
男性	80歳以上	古井	結構なことだと思います。
男性	70歳代	古井	市民の交流の一環としてよいことと思う。
女性	70歳代	蜂屋	若い人には、健康のためと、人付き合いのためによいと思います。
男性	60歳代	太田	町内の親睦及び交流の場として有効である。
男性	30歳代	蜂屋	スポーツ・文化の推進は、年齢を超えて、親睦を図れてよい。
男性	40歳代	古井	子どもが小さかった時、よく利用させていただきました。
女性	70歳代	古井	スポーツを生きがいにしている人もあるので、値上げをしてでも続けてしてほしい。
女性	70歳代	三和	体力をつけることはよいことだと思う。
男性	40歳代	太田	市民参加事業、費用は拡大してもよい。
女性	70歳代	古井	身体づくりのため、どんどん参加していきたい。
女性	20歳代	下米田・牧野	人々が交流する機会を作るのはよいと思う。
女性	80歳以上	太田	スポーツ行事に参加できる人は特定の人に限られることもあるがそれでも継続していただきたい。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	市民全員が参加できないから。
女性	70歳代	蜂屋	参加者はいつも決まっていて、子どもが独立していない場合わからない。
男性	50歳代	下米田・牧野	野球大会でなければならないのか。
男性	60歳代	下米田・牧野	高齢者が参加するものが少ない。
男性	50歳代	加茂野	行事が多すぎる。
女性	30歳代	太田	興味ないのでよくわからないが、いつも同じメンバーで行われていると思う。
男性	30歳代	蜂屋	出席が半強制になっている。体育委員の負担が大きい。
女性	30歳代	蜂屋	活性化という意味では重要かもしれないが、それで、無理やり参加という形になっていることも事実です。
男性	80歳以上	太田	自治会でなく、スポーツとして独立して個々で。
男性	60歳代	下米田・牧野	参加料の趣旨がわからず、自治会の負担増になっている。
女性	20歳代	太田	参加者が決まっている。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	参加者を集めるために苦労している者(体育委員)もいます。
男性	50歳代	加茂野	喜んで参加している人ばかりではない。頼まれてやむを得ず参加している人もみえる。
男性	40歳代	加茂野	体育委員の負担が重く、早急に廃止すべき。行政は物理的な場所の提供で十分。
女性	40歳代	蜂屋	自治会によっては、人数や年齢そろわずに、参加できない所もある。これからもっと高年齢化して難しいのでは。
女性	30歳代	下米田・牧野	付き合いでやらされている感じがあり、はっきり言って面倒。
女性	40歳代	加茂野	親善といいつつ、参加したくない人も人数が足りず、強制的に参加しなければならないことがある。必要なし。
女性	20歳代	山之上	行事ありきで、参加者には、イヤイヤ参加している者が多数を占めている。
女性	50歳代	下米田・牧野	参加する体力がない。
女性	30歳代	太田	参加者は多くないのでは。
男性	30歳代	加茂野	いつも同じ人が参加しているだけ。そのスポーツをやっている人しか参加しない。子どもからお年寄りまで、男女の区別無く参加できるイベントをやった方がよい。
女性	70歳代	古井	趣味は人それぞれ、自分のことは自分の責任で行ってほしい。これだけのことに大切なお金は不要。
男性	40歳代	伊深	一人でも多くの人に参加可能なスポーツ活動を推進すべきだ。
女性	50歳代	下米田・牧野	ソフト・ソフトバレーも、20代～40代までがメインになっていて参加しにくい。60歳や70歳になってもできるものがなぜないのか。リスクのせいかな。
女性	50歳代	古井	参加者負担で行うのがよい。
女性	40歳代	加茂野	若い頃、選手として無理やり出されていたことがあり、スポーツの苦手な者には、苦痛だけでしたので、重要性は感じていません。
女性	40歳代	加茂野	ソフトボールは、やめてほしい。熱中症とか、ダメ。
女性	60歳代	古井	参加する人が少ないため、人数集めに苦労されている。
男性	60歳代	加茂野	中止してほしい。
女性	70歳代	古井	一部の人だけの参加のようだし、それよりは、市民の大勢のためになる、体力づくりに費用を使ってほしい。
男性	70歳代	古井	参加者は一部の人に限られている。
男性	40歳代	無回答	野球が好きならよいが、付き合いのために出かける人も多いような気がする。激しいスポーツをするのはケガが心配。
男性	30歳代	蜂屋	不要。ムダ。
女性	30歳代	古井	自治会での参加も人数不足のために、取りやめになってしまった。
女性	50歳代	古井	自治会という事で、体育委員の負担が大変だと思います。ソフトバレーの場合、当初の目的は、子どもからお年寄りまで気軽にできるスポーツとして始めたはずだったが、今はもう全然違います。地域活性化を図るためというなら、趣旨に反していると思うのですが。
男性	60歳代	加茂野	今は参加していないのですみません。しかし、参加者を集めるのに役員さん苦労されているみたいです。
女性	60歳代	蜂屋	同じ人ばかりで他の人は誘わない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40 歳代	山之上	無理な参加をお願いすることになり役員負担も大きい。時期的に熱中症の恐れもあり廃止してほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80 歳以上	蜂屋	卓球など少人数でできるスポーツを、地域でもできるように整備されたい。
男性	60 歳代	太田	老年スポーツの親善大会を企画したらどうですか。例えば、グラウンドゴルフ・ゲートボール・ボーリングで 70 才以上とかなど。No (10)とも関連します。
男性	20 歳代	古井	バレーボールをやりたいが、近くの体育館も月曜日の休みなので利用できない。
女性	30 歳代	太田	もっと個人でも参加できる、いろいろなスポーツのクラブの充実の方がよいと思う。
男性	30 歳代	下米田・牧野	野球ではなく、ソフトボールにして久しぶりにやる人にもやさしい大会にしてほしい。
男性	60 歳代	蜂屋	参加することに意義があると思いますので、参加費の値上げ(500 円くらい)もよいと思う。
女性	50 歳代	山之上	全額参加者負担でもよい気がします。
男性	50 歳代	蜂屋	自治会体育事業等の出費が多くなり、参加チームの縮小も検討中(ソフトバレー)。参加料の見直し(半額の 1,000 円ではどうか。)
男性	20 歳代	古井	このような情報を町中にまわして、足を運びやすくすれば、利用者が増えると思う。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60 歳代	下米田・牧野	参加する年代でないから。
女性	50 歳代	下米田・牧野	スポーツをしない。
女性	50 歳代	古井	地域住民の健康や、コミュニケーションのためにはよいと思うが、自分は参加していないので実際の活動がどうなっているのかわからない。
女性	40 歳代	太田	参加者がなく試合に出たことがない。
男性	40 歳代	三和	参加していないのでわかりません
女性	20 歳代	蜂屋	自分は参加していないので、よくわかりません。
男性	70 歳代	古井	内容がわからない(計画、実績、評価など)。
男性	60 歳代	加茂野	高齢者は該当しない。
女性	30 歳代	古井	ソフトバレーの試合に出たいですが、メンバーは反対が多い。
女性	60 歳代	蜂屋	参加しないのでわかりません
女性	20 歳代	下米田・牧野	誰でも参加できるのか、限られた方だけなのか、何も知らない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	20歳代	山之上	なぜ野球なのか。
男性	60歳代	下米田・牧野	参加する年代でないから。
女性	50歳代	下米田・牧野	スポーツをしない。

(4) 自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	さらに向上を希望します。
女性	80歳以上	伊深	お互いに協力することが必要。ふれあいの場が持てるのでよい。
女性	30歳代	太田	自治会の活動は現状維持でよいと思う。
男性	70歳代	古井	市民の交流の一環としてよいことと思う。
女性	70歳代	蜂屋	よいことだと思います。
男性	60歳代	太田	皆が参加することが第一です。
女性	50歳代	山之上	自治会でできることはどんどん協力するべき。高齢化・少子化にて参加者が少なくなった。
男性	40歳代	三和	よいことだと思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	ゴミ集積場管理、清掃活動は重要だと思う。
女性	70歳代	古井	ゴミ・防犯などは行ってほしい。
女性	40歳代	加茂野	運動会以外の日常生活の住民の協力、支えあいは必要性を感じます。
女性	70歳代	古井	ありがたいと思っています。
女性	70歳代	三和	これからも続けてほしい。
女性	70歳代	古井	公園の清掃、ゴミ置き場の網掛け整理をしています。
男性	30歳代	蜂屋	地域での共生は、今後の高齢化社会には不可欠。
男性	50歳代	蜂屋	当自治会では、子ども会、老人会との連携で住みよい地域づくり、人間関係づくりに日々努力している。
女性	80歳以上	太田	住民が地域の問題に関心を持つことは大切なことだ。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	太田	私達の地区では自治会加入のメリットが認められず、退会する方があります。自治会役員、清掃等、回ってこなくて良いという意見さえ聞かれます。
男性	40歳代	蜂屋	住民が減って体育活動が大変です。
女性	30歳代	山之上	体育活動で参加できないと近所の人がるさくてよけいに関係が悪くなる。どうしても仕事が優先になってしまうので。
女性	30歳代	古井	新しく引っ越してきたものにとって地区名とか、書かれてもどこを指しているのかわからず参加できていない。自治会ももう一度見直してほしい。本町だと遠い(森山町に住んでいるが)。
男性	50歳代	下米田・牧野	体育振興(活動)振興会とは、いかなる圧力団体か。
男性	30歳代	蜂屋	体育行事がなくても近所づきあいはある。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	古井	自治会の活動は現状維持でよいと思う。加入率が低い。
女性	50歳代	下米田・牧野	健常者のみの活動です。
男性	60歳代	古井	ゴミ集積場の管理を、自治会に任せっきりのはいかなものか。自治会の組織率が60%で、あとは未加入。未加入の人たちのゴミの管理を、自治会会員が自ら会費を払ってやらなければならない。
男性	40歳代	加茂野	ソフトバレー・野球など偏った科目による体育振興を継続する時代ではない。運動会にとどめるべき。親善目的であることを忘れないで。
女性	40歳代	蜂屋	アパートなどが増え、加入しない人たちは、何もしない人たちもいる。
女性	50歳代	古井	運動会はなくてよい。出場者探しが大変すぎる。
女性	30歳代	下米田・牧野	運動会などはなくても、互いに支えあうことはできるのではないか。
女性	40歳代	加茂野	(3)に関連し、運動会は今の時代のニーズに合っていない。廃止すべき行事の一つ。
女性	70歳代	古井	高齢者福祉活動・運動会など本当に必要か疑問。
女性	40歳代	無回答	運動会など自由参加でよい。
女性	40歳代	加茂野	運動会は苦痛しかありませんでした。
女性	50歳代	加茂野	形骸化している。
男性	40歳代	無回答	体育振興活動も自分から進んで行きたいとは思わない。
女性	50歳代	古井	大きな自治会ならよいのですが、少人数の自治会ではいろいろな負担、例えば、5、6年に1回廻ってくる班長等大変です。互いに支え合いじゃなくて、昔はこうだったと言って、年長者からの押し付け、これが一番の問題だと思います。
男性	60歳代	古井	自治会長の負担が多すぎる、大きすぎる。
男性	40歳代	山之上	体育振興は若者の少ない地域ではただ負担だけです。廃止してほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	ゴミの分別がしっかりしていない。各自治会への住民の当番制を入れるとよい。
女性	70歳代	蜂屋	跡継ぎが居ない場合、70才定年制にしてほしい。炎天下での清掃はきつい。
女性	40歳代	太田	自治会加入が少ない。
男性	70歳代	山之上	ゴミ集積所が狭くカラスがつつく。
男性	50歳代	加茂野	自治会加入率をもっとアップしてほしい。
男性	50歳代	山之上	加入率のアップが重要だと思います。
男性	70歳代	太田	高齢者は作業から外してもらえないか。腰痛をこらえて出るのは厳しい。
男性	80歳以上	太田	マンネリ化、アパート住人対策不足。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	太田	自治会の加入率の低いのおどろきです。
女性	50歳代	古井	活動自体は重要と考えるが、昔からずっと同じことのくり返しで、もっと若い人にも参加してもらえるようなものも考えてほしい。
男性	60歳代	下米田・牧野	自治会の加入率の低さに考えさせられます。会費もその一因ではないでしょうか。
男性	60歳代	古井	加入率が非常に悪い。県職員(市)でも加入していない世帯があり、もっと行政が積極的に加入を進めるべき。
男性	80歳以上	加茂野	自治会加入率をもっと上がるように努力すべきである。
男性	30歳代	加茂野	どの活動・イベントもやらされている感が強い。もっと参加したくなるようなことを考えてほしい。
無回答	無回答	無回答	アパートが多く建っているので、アパートの人も自治会に入れるようにしたほうがよいと思います。いろいろな情報がアパートの住人には伝わっていませんので。
女性	60歳代	下米田・牧野	アパートなどの住人も自治会に入るべき。災害時など助け合うために、もう少し互いに支え合う組織づくりが必要。
男性	60歳代	加茂野	自治会加入率が大変低い。結果、自治会加入者が困っている(ゴミ他)。
男性	70歳代	伊深	移り住んでくる人に、協力性がない。
男性	40歳代	太田	自治会加入率向上が必要。
女性	60歳代	古井	自治会加入率を上げてほしい。
女性	60歳代	古井	もう少し見直す必要があるかと思うところもあります(個人的ですが)。
女性	20歳代	加茂野	自治会加入率が、もっと高くなるよう働きかけていく必要があると思う。
女性	70歳代	古井	ほとんどの人が自治会に加入しておられると思ったのでびっくりする。運動会、ソフトバレー、野球等は、ある一部の人だけが、喜んでみえるだけでするので考え直してください。
男性	70歳代	古井	自治会、ボランティアに頼りすぎ、市の地域別委託、専任者必要。
女性	50歳代	山之上	自治会加入率が低下する中、自治会のあり方が問われていると思います。自治会の自主活動があるとよいですが。
女性	20歳代	太田	自治会費の支払いの徹底。
女性	20歳代	下米田・牧野	ゴミ集積場に集められたゴミを、市の業者以外の人が、勝手に持ち去っている。本当にちゃんと管理できているのかと思います。
男性	60歳代	古井	自治会加入率が低すぎる。加入していなくても、何の不都合もない。自治会加入の特典を考えなくてはいけないかもしれない。
男性	60歳代	古井	自治会によって、ゴミ集積場が整備されているところと、そうでないところがあって統一されていない。(できないのか)
男性	20歳代	古井	福祉に力を入れて欲しい。切実に。女性と老人に。
女性	60歳代	古井	自治会に加入していない人もいるので、徹底してほしい。
男性	50歳代	下米田・牧野	福祉強化。
男性	50歳代	太田	協働を考えた時、市民である以上自治会にはもっと加入するべき。
男性	80歳以上	古井	ゴミ収集場の場所が道路上で不便。住民家屋も増加しているので準備が必要。交通安全の面もあり。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30 歳代	古井	自治会に加入していないため、地域のつながりが無い。
男性	30 歳代	蜂屋	重要だと思いますが、実際の活動はよくわかりません。
女性	20 歳代	蜂屋	よいこととは思いますが、自分は参加していないので。

(5) 水田で転作している農家への補助金交付

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	40歳代	古井	自給率を上げることは大切。
男性	50歳代	山之上	もっと充実向上して行ってほしい。
男性	70歳代	古井	休耕田にならないためならよいことと思う。
女性	70歳代	蜂屋	水田に草を生やしておくより、転作で少しでも良いものを作ることは、よいことと思う。
男性	20歳代	古井	補助金は大切。
男性	30歳代	蜂屋	将来的には、大切な取り組み。
男性	40歳代	三和	農家の人たちによいと思う。
男性	40歳代	太田	対策の向上を望む。
女性	80歳以上	古井	農家を維持するもの。
女性	70歳代	古井	正しい転作ならば必要。
女性	70歳代	古井	草が茂っているよりは、補助してでも、作物があったほうがよいと思う。
女性	70歳代	三和	大いに出してほしい。
女性	40歳代	古井	荒地にするよりよいと思います。
女性	20歳代	下米田・牧野	自給率をあげることはよいと思う。そのための補助金が必要であるならよい。
男性	60歳代	古井	いつか到来する食糧危機を考えて、もっともっと推奨するべき。
男性	20歳代	古井	とてもよいことだ。そのことに尽きる。
男性	50歳代	太田	地産地消で転作も必要である。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	全ての田、畑転作していても生産されていない、無駄だと思う。
男性	40歳代	蜂屋	成果があるか疑問。補助金目当てとかないのか。
男性	60歳代	太田	不要である。
女性	70歳代	蜂屋	大豆に転作していても収穫していない所がある。
男性	80歳以上	山之上	農業振興上極めて重要であるが、米が一番作りやすい。転作を今も進めるのは適当と思わない。
男性	50歳代	下米田・牧野	農家に対して補助金を交付するだけですむのだろうか。
男性	60歳代	下米田・牧野	補助金目当てで十分に管理されていない圃場を見ているから。
男性	50歳代	加茂野	補助金など必要ない。もっと皆が物を作ればよい。
女性	40歳代	古井	どのくらい恩恵があるか不明。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	80歳以上	伊深	米の備蓄があればよい。
女性	50歳代	太田	補助金は必要でしょうか。
女性	30歳代	加茂野	補助金を貰うために作っているのではないかと、というように見受けられる所もあると思う。
男性	60歳代	下米田・牧野	休耕で田を荒らすより良いくらいの評価です。
男性	80歳以上	下米田・牧野	補助金はありがたいが、実際現地を見て補助金が出ていますか。
女性	40歳代	加茂野	補助金は特定の品目(大豆・小麦等)にしか出さないのか。補助金を出すより、自由に種々の作物を作って、それを買い取る仕組みの方が重要と思う。
女性	40歳代	蜂屋	補助金は必要ない。
女性	50歳代	下米田・牧野	手入れが大変。
女性	70歳代	古井	種をまくだけで収穫せず、放置してあるだけならば不要。
男性	60歳代	下米田・牧野	自助努力が足りないと思う。
男性	70歳代	古井	計画や実績、評価がわからない。
男性	60歳代	加茂野	大豆は作付けするだけで、補助金目当て、実態調査が必要。行政は実態がわかっても補助金を出している。
女性	50歳代	蜂屋	米以外の転作物を作るのは大変。何故米を作ってはいけないのか。
女性	20歳代	太田	補助金がどのように役立っているのかわからない。
男性	70歳代	古井	農業の在り方について、何のための施策か目的がない。
女性	50歳代	太田	補助金をもらうために転作し、収穫しない人がいると、うかがいました。
女性	20歳代	下米田・牧野	補助金の交付額以上の効果が得られているのかわからない。ただ、補助金を交付するだけでは、意味がないと思う。
男性	80歳以上	古井	田に転作の大豆が作ってあったが、収穫することなく、耕運機で土の中に混ぜ込んであった、それでも、補助金を交付しているのか。このような田が多くあった。
男性	60歳代	太田	近くの田で大豆の転作されていますが、手入れが不十分で、全く収穫ゼロのようでした。補助金が出されているようでしたら、全くむだ使いですか。
男性	60歳代	古井	まだ休耕地がたくさんあるが。
男性	60歳代	加茂野	私もウォーキングでよく田畑見ているのですが、大豆、小麦を作って見えます。しかしそれが本当に収穫されて、どこで利用されているか疑問です。
女性	60歳代	蜂屋	大豆などほとんど手が入っていない。作っただけで補助金か。
女性	60歳代	古井	補助制度が理解できない。
女性	60歳代	古井	大豆などを作っているがそのまま放置している家がある。補助金をもらうためだけ。こんな補助金はやめてほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	水田が宅地に変わってってしまうのは少しさびしいので、農業にたずさわる方への補助は続けてもらい、農業に対する意欲づけをしてもらいたい。
男性	60歳代	下米田・牧野	将来、農家の高齢化が進み持続不可となる。大規模農家、企業化して農業でも生活できる様指導支援をする必要あり。
男性	50歳代	太田	他にも目を向け補助金アップが必要。
男性	20歳代	蜂屋	現状を改善するためには、金額が少ないように思える。より予算を割いて、まわしてほしい。
男性	60歳代	太田	危機感を皆が持つべきです。遊休地対策も必要。
女性	40歳代	蜂屋	今以上に、自給率を上げるための対策をした方がよい。
女性	50歳代	下米田・牧野	大切なのはわかります。大豆・小麦がその後どうなっているのかわかりません。他の、美濃加茂産になる作物はないのでしょうか。ナシ・柿以外のフルーツとか、繊維をつくるものとか。昔懐かしいものを作るとか。
男性	40歳代	太田	生産者と消費者のつながりが大切。安心した食の文化の追及。
女性	60歳代	古井	農家の人に耕作意欲がわくような政策を期待する。
女性	50歳代	山之上	将来的に、農地は、とても大切に、後継者のいない土地の活用方法を、検討されるとよいと思います。
女性	40歳代	古井	水田も大切、補助金以外の案も必要。
男性	50歳代	蜂屋	将来の農業を展望した米づくり政策を、前向きに検討して欲していくことである。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	太田	消費者に主食である米が安く手に入るような手立てはないのか。
男性	30歳代	蜂屋	よくわからない。
男性	80歳以上	太田	形だけの転作農地改革の結果が、現状をもたらした反省と対策が不足。土地の自由化が必要。
女性	50歳代	下米田・牧野	農家の方々のみに補助金です。
女性	50歳代	古井	農業問題の現状との関連が自分にはよくわかりません。
女性	20歳代	加茂野	知らなかったです。
女性	20歳代	太田	よくわかりません。
女性	30歳代	加茂野	一般市民にはあまり知られていない。
男性	40歳代	加茂野	国として考えるテーマ。
女性	30歳代	下米田・牧野	補助金額が妥当なのかわからない。
女性	20歳代	蜂屋	よいこととは思いますが、自分は参加していないので。
男性	20歳代	古井	その数字はわからない。
男性	80歳以上	加茂野	収穫量はいかがですか。
男性	40歳代	蜂屋	実態がよくわからない。
女性	60歳代	蜂屋	農業の事はわかりません。
男性	40歳代	古井	国産、しかも地産のものを消費したい。JAをよく利用します。
女性	60歳代	古井	食糧を自給してほしい。
女性	70歳代	古井	あまりわかりません。
女性	20歳代	太田	知らなかった。(交付)農家じゃないから。
女性	70歳代	古井	食料品・野菜が高くなっているの、農家の皆さんがんばってください。
男性	40歳代	無回答	よくわからない
男性	30歳代	蜂屋	適正な補助金額なのかわからない。
女性	30歳代	古井	よくわかりません。
男性	70歳代	古井	よくわかりません。
女性	20歳代	山之上	わかりません。

(6) 中国語版観光パンフレットの作成と活用

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	太田	環境整備と市の発展につながるよう工夫すれば、効果があると思います。
女性	50歳代	古井	重要なことだと思うので是非活用できるように進めてください。
女性	30歳代	蜂屋	作るのは必要。
男性	80歳以上	下米田・牧野	重要ではある。
男性	20歳代	古井	外国人観光客は重要。
女性	70歳代	三和	よいことだと思う。
女性	20歳代	加茂野	中国の方が日本を訪れる機会が増えているので、よいと思う。
男性	60歳代	太田	パンフレットがどんな内容か、一市民としても勉強し、関心を持ちたい。
女性	20歳代	古井	海外の人、観光客の方をあまり見かけません。でも、パンフレットはあった方がよいと思います。
女性	70歳代	太田	外国籍の人も多く住んでおられるので、どんどんPRして、美濃加茂市を知ってもらうのはよいことと思う。
男性	60歳代	古井	積極的に進めてください。
男性	50歳代	太田	中国の富裕層に日本に来て日本の良さと品質の良さを感じてほしい。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	中国の方がはたして、美濃加茂に来てくれるでしょうか。
男性	40歳代	蜂屋	観光って。太田宿は中途半端。
女性	30歳代	古井	中国からの観光客がいらっしゃるのでしょうか。
女性	70歳代	蜂屋	活用方法が見えてこない。
女性	30歳代	山之上	なぜ中国語だけなのですか。
男性	30歳代	加茂野	作成部数に対して半年間の使用部数は少ない気がする。
男性	80歳以上	蜂屋	市内には観光地が少なく充実していない。他にやることがあるのではないか。
女性	60歳代	加茂野	利用度が低いため無駄。
男性	30歳代	古井	中国人はどんな観光に来ているのでしょうか。
女性	20歳代	蜂屋	美濃加茂市に観光地はあるのでしょうか、わざわざ海外からこの市に来る人はいないのでは。英語版で充分だと思います。
女性	30歳代	太田	市民自身が観光について無知な気がします。
男性	70歳代	太田	あまり期待できない(成果が)。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50 歳代	蜂屋	市としての観光行政としては、かなり負担であると考えます。パンフレットよりも、もっと基本的なことを考えるべき。
男性	70 歳代	古井	使用部数が増すように魅力ある町にする事が先決。
男性	40 歳代	加茂野	年間どれぐらいの来訪者(海外)があるのか。
女性	20 歳代	加茂野	作成部数 1 万部に対して、使用部数 800 部は、少ないのでは。作成費用が無駄にならないのであればよいと思いますが。
女性	30 歳代	蜂屋	作成数が多すぎ。
女性	20 歳代	蜂屋	中国からの観光客を見込みとありますが、その理由は何ですか。中国人が増えているのか。
女性	70 歳代	蜂屋	市内では観光地らしきところはないような気がします。
男性	60 歳代	太田	中国観光客を増やそうとしなくてもよい。パンフレットよりも、実際の魅力をアップすることを第一に考えて予算を使ってほしい。実力をつける。パソコンでアウトプットし、カラーコピーすればよい。数万円で済む。
女性	40 歳代	太田	作成部数の割に使用部数が少なすぎです。観光地としての認知度が低いのでは。
男性	60 歳代	太田	名所がそんなにない。お金をかける必要がないと思います。
男性	60 歳代	古井	中国からの観光客誘致の見込みはあるのか。何をどの程度売込みができるのか。あるとは思えない。
男性	80 歳以上	下米田・牧野	作成部数を考えると半年間で 800 部、一度に作成しても無駄になると思います。
女性	20 歳代	太田	観光客があまり来るとは思えない。
女性	30 歳代	加茂野	観光に期待が持てない。
男性	30 歳代	蜂屋	中国の観光客は、将来的に重要ではないし、中国に頼信するのは、危険。
男性	40 歳代	加茂野	美濃加茂市は観光都市ではないはず。
女性	30 歳代	下米田・牧野	観光する場所として、売りになるところが、ほとんどないのに、中国人が呼び込めるのか。日本人さえ難しい。
女性	40 歳代	加茂野	市の観光地とは一体どこなのか疑問。
女性	60 歳代	山之上	美濃加茂市の魅力って。
女性	20 歳代	山之上	非効率的。ムダ。800 枚のために 100 万円は出せない。1 枚いくらになるのか考えてほしい。
男性	20 歳代	古井	英語でよいと思う。
女性	30 歳代	太田	パンフレット作成に力を入れる前に、どこに観光するところがあるのですか。あるとは思えませんが。
女性	70 歳代	古井	集客能力があるとは思えない。
女性	50 歳代	下米田・牧野	中国によい関心がない。サービス業でパートをしているがよい印象がない。
男性	20 歳代	太田	外国人のマナーが悪いため、観光客が増えてほしくない。
男性	20 歳代	古井	観光する所(魅力を感じる場所)がない。
男性	60 歳代	加茂野	作成はよいが実績が見込めないは、不要。再検討
女性	10 歳代	古井	もう少し作成部数を減らした方がよい。
女性	40 歳代	古井	観光スポットが正直無いと思います。なのにパンフレットですか。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	太田	年間の観光客数は、作成部数に対し使用部数が少ないように思う。中国人の観光客数はどれだけなのか。
女性	40歳代	太田	中国人は文学者(坪内逍遙)などに、興味を持つから買物は、便利なところで済ませると思う。
男性	70歳代	古井	定住者が誇れる町づくりが、第一であり、その域に達していない。
女性	50歳代	山之上	国際的な観光客を満足させるだけの観光地が、当市にどれだけありますか。
女性	20歳代	下米田・牧野	名古屋にさえあまり中国人が来ていないのに、この土地に観光客を見込む目的がわからない。それなら、ブラジル人(今住んでいる)大切にすべき。
男性	40歳代	無回答	私には、メリットが無いように思う。
女性	30歳代	古井	中国人は嫌いです。来たら困ります。本当に。
女性	20歳代	下米田・牧野	観光地がどこにありますか。まず日本人に知ってもらわなければならない。
女性	20歳代	山之上	98万。そんなに作るのか。
男性	60歳代	古井	呼び込む程の観光地であるか。(美濃加茂市が)
男性	40歳代	古井	中国人の観光誘致に反対。
男性	50歳代	蜂屋	世の中の流れで対処すれば良い。あまり力を入れ過ぎる必要はないと思われる。自然の成行きにまかせる。
男性	20歳代	古井	町が汚くなることを覚悟した方が良い。
男性	40歳代	古井	観光するようないところがないのでは。
女性	60歳代	太田	外国から来る程の観光施設がない。
女性	30歳代	加茂野	市内に住んでいる中国人は多数いますが観光客は実際にほとんど見かけないため。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	山之上	不安であるが観光客が増えたかどうか検討し、次の対策を考える必要がある。
男性	60歳代	下米田・牧野	美濃加茂市だけでなく、他の市とも協力して進める必要あり、交通アクセスも含めて。
男性	50歳代	太田	宿場の雰囲気が少ない、改善必要。
男性	50歳代	山之上	観光地の充実とともっとPRしてほしい。グーグルの掲載や特産品のネット販売を積極的に。TVへの出演。
女性	80歳以上	伊深	これからの来訪者により部数の増減も。
女性	50歳代	古井	観光客のためにも、駅前商店街の向上を考えてほしい。
男性	40歳代	太田	観光だけでなく、企業も含めた紹介。文化の紹介(例えば正眼寺など)発信。
男性	30歳代	下米田・牧野	治安には気をつけてほしい。
女性	30歳代	古井	パンフレットを作るだけでなく、交流の場や、つれていくようなことをすると、噂は広がって、客は来るのでは。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	20歳代	太田	観光の目玉がもっとあるとよいのでは。
女性	40歳代	古井	環境や治安を守るために、観光客に守ってもらう「ルール」や「マナー」もよくわかるよう、伝わるような工夫、盛り込みを。
男性	50歳代	太田	ライン下りの再構築・昭和村の再構築が必要。中国からの観光客も大事だが。
男性	60歳代	加茂野	もっと地元の人に知ってもらう為にPRしては。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	中山道会館の市民の負担を考えるだけで怒りを感じます。何故今あのような投資をするのか不思議です。
男性	80歳以上	加茂野	客数はどれ程ですか。
男性	70歳代	古井	内容がわからない(計画、実績、評価)。
女性	70歳代	古井	観光のためには必要なことだけど、何でも費用がかかります。よくわかりました。
女性	10歳代	古井	中国の方が何を目的に、美濃加茂へいらっしゃるのかよくわかりません。中国の方がいらっしゃるとしたら、国際交流でしょうか。美濃加茂は、交流できているでしょうか。それがよくわかりません。
女性	60歳代	蜂屋	パンフレットを見たことがないのでわかりません。
女性	70歳代	古井	パンフレットを作成されていることも知らなかったため、評価のしようもありません。
男性	60歳代	加茂野	すみません、あまり知りません。

(7) 防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主（地域）防災組織の組織率の向上

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	最重要である。
女性	50歳代	下米田・牧野	もっと実施してほしい。
女性	50歳代	古井	防災は重要と考えます。
女性	30歳代	蜂屋	もっと強化すべき。
女性	70歳代	蜂屋	これはよいことだと思います。
男性	30歳代	蜂屋	近々起こりうる災害に対しても重要。
男性	40歳代	三和	災害は怖いので守ってほしいです。
女性	40歳代	加茂野	東北の震災を踏まえ、力を入れるべき重要な課題。
女性	70歳代	古井	警察官の見回りが、なくなった現在は、重要である。
女性	50歳代	古井	防災は重要。
女性	70歳代	古井	防災について、どうしても費用がかかるし補助はするべきでしょう。
女性	70歳代	三和	皆のためになることをしてほしい。
女性	70歳代	太田	高齢者が多くなっているので、災害が起きた時の助け合いが大事だと思います。
女性	80歳以上	太田	災害に備え準備すること、訓練することは意味のあることと思う。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	古井	組織はあっても活動はしていない。市の消防訓練などを見ると参加者が少ない。
男性	80歳以上	太田	地域の状況に適した方法がとられているか、はっきりしない。
男性	80歳以上	下米田・牧野	重要ではあるがあまり役に立たないと思います。一度も訓練に出席していない。形式だけではないか。
女性	30歳代	下米田・牧野	夫が消防団に入団しているが、拘束時間が長すぎる。仕事も家庭も犠牲にしてまで、消防団の活動をしなくてはいけないのか甚だ疑問。火災や災害、防災の活動は大切なことなので理解できるが、毎年ある、操法の大会の練習のために、何故長時間の拘束をされるのか。昼間仕事をし、残業をとりやめ、夕方から消防へ行き、帰宅するのは日付が変わってから、ピーク時は休み無しで練習をさせられ、疲れた体と心で仕事に行く夫がかわいそうではありません。
男性	20歳代	古井	防災訓練を見たことはない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50歳代	下米田・牧野	組織率の向上について、訓練はどのように進歩しているのでしょうか。10年前と何が変わったのでしょうか。
女性	50歳代	古井	補助金はどのように使われたか。組織が防災とどのように関わっているのか不明。
女性	50歳代	古井	補助額の増、中途半端。
男性	30歳代	蜂屋	消防に入りたくない。
女性	50歳代	古井	誰がやるのですか。自治に丸投げなら問題です。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	蜂屋	市街地は高齢化により、迅速な初期活動をする要員が少ない。
女性	60歳代	加茂野	災害警報器などの無料配布設置など、全世帯に税金が使われるよう配慮すべき。
男性	50歳代	山之上	自主防災も大切ですが、消防団活動の充実が優先と思われる。団員の確保と育成。
男性	70歳代	太田	組織率のみならず実質、初期活動の充実を望みたい。
男性	50歳代	蜂屋	組織率の上昇を。
女性	80歳以上	太田	市の放送が駅裏では聞き取りにくい。何時も外に出て聞くが非常の場合困る。
男性	30歳代	古井	ペットブームにより、ペットの災害時への対策や、非難のための必要な教育等も必要。
男性	60歳代	下米田・牧野	自主という名の元に、消防団など地域の負担が増えます。まず消防団活動の簡素化を図るべきです。
男性	60歳代	太田	ゲリラ豪雨など、今後頻繁に発生すると考えられ、住民一人一人が準備する意識改革が必要。
男性	60歳代	古井	地域での活用が重要。団ばかりにまかせない。自治会・地区が多く参加することが大切であると思う。
女性	70歳代	古井	消防団員を引き受けていただく方が少なくなった。
男性	30歳代	下米田・牧野	個人宅に災害時の対応などのマニュアルがほしい。
男性	70歳代	伊深	今以上の組織化を目指してほしい。
男性	40歳代	太田	補助対象の拡大、具体的支援策のPR。
男性	60歳代	蜂屋	全部の自治会を順番にまわすべきだ。
男性	60歳代	古井	消火器による消火訓練等、もう少し資器材を充実してほしい。(水消火器・模擬火点的等)
男性	50歳代	蜂屋	最近の他市の集中豪雨の前後の自治会防災組織は、どのような対応が行なわれて、何ができなかったかの情報分析資料が知りたい。
男性	20歳代	古井	やりすぎ、やらなさすぎ、適度に。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	特になし。
女性	80歳以上	伊深	もう一度防災について見直したい。
女性	30歳代	太田	実際に関わりがないのでよくわからない。
女性	50歳代	古井	具体的にどのような支援なのかがよくわかりません。
女性	30歳代	下米田・牧野	金額が妥当なのか判断しかねる。
女性	30歳代	太田	知りませんでした。
男性	70歳代	古井	内容がわからない(特に、実際の活動について)。
男性	80歳以上	太田	組織数は何か基準がありますか。
女性	70歳代	古井	地域防災・防災訓練は必要だと思いますから、重要だと思いますが、自分たちには目に見えてないので、満足度についてはどう答えてよいか。
男性	40歳代	古井	夜中に火災の放送は必要なのか。うるさい。

(8) 無料の耐震診断と耐震工事費用の助成

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	安心して住み続けられるための、診断や工事に市からの助成があるのは、大変ありがたいと思う。
女性	20歳代	加茂野	知らなかったです。今住んでいる家が、とても古い木造で、見てもらえ嬉しいと思いました。
女性	70歳代	蜂屋	大切なことだからよいと思います。
男性	60歳代	古井	この地域は地震が起きないと、市民の危機感がないと思う。
女性	70歳代	古井	生命の安全のため補助は仕方ないと思う。
女性	70歳代	三和	大いにやってほしい。
男性	50歳代	蜂屋	我が家もできれば診断を、と家族で話し合っていた。このような制度はあってもよいのでは。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	蜂屋	数が少ない。
女性	40歳代	古井	診断数のわりに、事業費が高い。無駄なところに出費されていないか。
女性	30歳代	太田	耐震工事が高い。
女性	50歳代	太田	知らない人のほうが多いのでは。
男性	30歳代	蜂屋	あまり知られていない。
男性	50歳代	蜂屋	上限が低すぎると思います。とても60万円では施行できません。
男性	80歳以上	太田	住宅の状況によって対策が考えられているか不明。無駄もあるように思う。
女性	80歳以上	太田	希望しているがなかなか実現しない。
女性	30歳代	蜂屋	たった26件とは。1年でそれだけしかやらないのに200万円超はおかしい。
男性	60歳代	太田	診断を行いました、完全に倒壊防止にならないといわれ、また、費用も簡単に100万といわれ不審に思った。
男性	80歳以上	下米田・牧野	居宅も大事ですが、公共施設を完全にしてからでよいと思います。学校・公民館など。
女性	60歳代	古井	個人で工事をする。
男性	40歳代	太田	限度額が低い。
女性	30歳代	下米田・牧野	耐震事業をしていることをあまり知られていないのではないかと。診断数が少ない気がするが。
女性	60歳代	山之上	自己管理。
女性	20歳代	山之上	ほとんど利用されていない。不要。
女性	70歳代	古井	正しくこの費用が使われているか疑問。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50 歳代	古井	自己責任・自己負担が原則。一律に補助の趣旨がわからない。説明を加えるべき。
男性	60 歳代	下米田・牧野	自分の身は自分で守るのが大事と思う。
男性	70 歳代	伊深	希望者はどこに依頼してよいのか不明である。
女性	20 歳代	太田	補強するなら建て直す。60 万では不十分。
女性	60 歳代	古井	60 万円では足りません。
女性	50 歳代	古井	なぜ昭和 56 年以前なのでしょう。
女性	20 歳代	下米田・牧野	お金の負担があるので、家によっては助成金の金額を変えるべき。
男性	50 歳代	下米田・牧野	助成金が少ない。
男性	40 歳代	古井	対象者に伝わっているのかわからない。
男性	40 歳代	加茂野	平等といえない。
男性	80 歳以上	古井	個人で入口に防犯灯を設置、補助の検討。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	40 歳代	古井	助成金を増やしてほしい。
男性	20 歳代	古井	補助の方が良いと思う。
男性	60 歳代	下米田・牧野	耐震シェルター(約 25 万円)の設置を検討してみれば、安価で有効。
男性	50 歳代	山之上	もっと利用を増やせれば。
女性	20 歳代	蜂屋	対象となる世帯数を増やしてもらえませんか。
男性	50 歳代	加茂野	当該事業の存在を知らない。広報活動はどうなっているのか。
女性	50 歳代	山之上	診断対象はもっと広くしてほしい。
男性	40 歳代	加茂野	公共施設、避難所の耐震化、上水道の耐震化を進めてほしい。
女性	40 歳代	蜂屋	まだまだ、そうしたことを知らない人たちがいる。もっとアピールしたほうがよいと思います。特にひとり暮らしの方など。
男性	30 歳代	下米田・牧野	申し込みを知らず、診断を受けていない。もっとPRすべき。
男性	50 歳代	古井	対象年度の拡大、昭和 56 年以降の木造も。
男性	30 歳代	古井	平成 10 年ぐらいまで延ばしてください。
女性	60 歳代	古井	申し込みがややこしいから、もう少しスムーズにできるようにしてほしい。
男性	70 歳代	古井	実績が上がらないのはなぜか。本気で取組むなら、問題解析が必要。
女性	20 歳代	下米田・牧野	無料耐震の案内は出ているのか。対象範囲を拡大してほしい。
男性	30 歳代	蜂屋	周知不足。
男性	70 歳代	古井	助成金を増やしてほしい。(老人で年金生活のため)
女性	60 歳代	太田	婦女にもわかりやすく情報を出してほしい。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50 歳代	古井	建物の倒壊がない前提で。
女性	40 歳代	蜂屋	周知されていない(知らなかった)。
男性	70 歳代	古井	無料診断について、認識していなかった。
男性	70 歳代	山之上	事業そのものを知らなかった。
女性	70 歳代	太田	昭和 46 年建築の木造住宅に住んでいますが、耐震工事をやっていません。一応見てもらった方がよいか迷っています。

(9) 防犯灯の設置

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	加茂野	もっと力を入れるように。
女性	30歳代	下米田・牧野	やはり重要だと思う。夜道は危ないので。
女性	30歳代	太田	自宅の周りは満足していますが。
女性	80歳以上	太田	夜遅く帰宅する女の人たちにとってはとてもありがたい。
女性	20歳代	蜂屋	防止につながっているならよいと思います。
女性	70歳代	蜂屋	大切なことだから良いと思います。
女性	50歳代	蜂屋	被害にあったので。
男性	60歳代	太田	是非積極的に推進していただきたい。
女性	50歳代	山之上	市内には公園が多くその分、夜間は暗い。安全を守るためにお願いしたい。
男性	80歳以上	下米田・牧野	大変街が明るくなり安心しています。
男性	30歳代	蜂屋	治安維持は街づくりの基盤と考えます。
女性	60歳代	山之上	非常によいことだと思います
女性	20歳代	山之上	現地の人々の意見を取り入れ、今後も進めてほしい。
女性	70歳代	古井	自己管理が一番大切とは思うが、外部からの防衛は必要。
女性	40歳代	太田	木曽川堤防の防犯灯、増やしていただいてありがとうございます。安心してウォーキングができるようになりました。
男性	60歳代	太田	地下道のランプ切れを5年間放置されていましたが、先は取り替えていただきました。(山手町交差点の本地下道)。
男性	20歳代	古井	中国人等、海外の客を呼び込むなら、惜しまず作れ。
女性	80歳以上	太田	犯罪防止のための費用を惜しんではならない。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	住民モラルの問題。
男性	80歳以上	太田	自治会に頼った対策が多すぎるように思う。
女性	30歳代	下米田・牧野	希望は出したが防犯灯を設置してもらえなかった。家のまわりは、真っ暗です。
女性	60歳代	蜂屋	防犯灯は一切なく、真っ暗で後から来る車のライトで、道幅を確認して歩行しています。
男性	40歳代	山之上	山之上の地区は暗いところが多すぎる。前に市役所をお願いしたが聞き入れてもらえなかった。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	蜂屋	まだまだ暗い道がたくさんある。
男性	10歳代	古井	充分でないと感じる。
女性	70歳代	蜂屋	まだまだ防犯灯の数が少ないと思います。
男性	30歳代	加茂野	予算が少なすぎると思う。
女性	30歳代	古井	まだ暗い場所がある。すべて設置していないのでつけてほしい。
男性	60歳代	下米田・牧野	犯罪数と防犯灯の関係は、LED(太陽光)で電力量の低減を。
男性	60歳代	下米田・牧野	電気代の自治会負担が多い。
男性	80歳以上	蜂屋	まだ防犯灯の設置箇所が不足しているところがある。
女性	40歳代	古井	夜になると真っ暗な道があり、もう少し街灯があるとよい。
男性	50歳代	山之上	あくまでも自治会の申請となっているので、市からも調査して必要などころへのあっせんもしてよいのでは。
女性	20歳代	蜂屋	中部台は明るいですが、その他の蜂屋の道は暗い所が多くとても怖いです。
男性	70歳代	太田	まだまだ足りない、死角がある。
男性	30歳代	蜂屋	自分の家の周りにはない。
女性	50歳代	加茂野	もっと明るくしてほしい。
男性	40歳代	太田	美濃太田駅の北側は照明が足りない。
女性	50歳代	下米田・牧野	もっと実施して欲しい。
男性	40歳代	加茂野	まだまだ暗い場所が多い。
女性	20歳代	加茂野	防犯灯の設置はよいと思いますが、まだまだ十分ではないと思ったので。私の地区では、あまり見かけません。夜は怖いのもっと充実してほしいです。
女性	30歳代	蜂屋	駅とかの近くのみで、街外れでは暗いところが多い。事故が多いところについていない場所がある。
男性	60歳代	下米田・牧野	今年度防犯灯設置ゼロ・地域の要望はどこに行っているのでしょうか。
男性	20歳代	古井	夜に暗い道はまだまだ多い。
男性	50歳代	加茂野	まだまだ暗い場所もある。
女性	40歳代	蜂屋	まだまだ少ないと思う。
男性	40歳代	三和	山の木が大きくて、防犯灯が隠れてしまって、光が見えないところがある。
女性	20歳代	加茂野	満足だが、暗いところがあれば増加してほしい。
女性	20歳代	蜂屋	まだまだ暗い所はある。(夜の人通りは全くない所ですが)
女性	30歳代	太田	設置したい場所がある。
女性	50歳代	下米田・牧野	家が途切れるところが少ない。
女性	30歳代	太田	まだ全然足りていないのでは。
女性	50歳代	下米田・牧野	市外に行くとまだまだ暗いです。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	防災安全課の判断で、理由を説明しても却下される、距離が近いなどで。
無回答	無回答	無回答	近所では、そのような物を見たことはありません。真っ暗です。中高年の帰宅時がとて心配です。
女性	20歳代	加茂野	犯罪防止のため、防犯灯以外にもたくさん防止対策を考えてほしい。
男性	20歳代	古井	カーブミラーの設置もしてほしい。(川合町1丁目、アピタ駐車場出入口)。
男性	60歳代	蜂屋	平成21年度防犯灯の設置の申請をしましたが、すべて却下されました。市中心部に比べ農村部は極端に少ない。(予算がないとの答え)
女性	40歳代	無回答	もっと防犯灯を増やしてください。
男性	30歳代	下米田・牧野	まだまだ暗く怖い所がある。
男性	50歳代	古井	足りない。
男性	60歳代	加茂野	地域公平な設置検討。
女性	40歳代	加茂野	加茂野は暗い。
女性	80歳以上	加茂野	外国人が多くなり不安。
男性	70歳代	伊深	補修工事をしっかりやってほしい。
男性	30歳代	蜂屋	もっと増やしてほしい。
男性	30歳代	古井	後の面倒も見てください。
女性	70歳代	三和	山間部の方に大いにつけてほしい。
男性	40歳代	太田	防犯灯の管理維持。行政・自治会等のすみ分けと責任。
男性	80歳以上	太田	太田本町の通りは、商店なども少なくなり、暗い所が多くなり、必要性を感じます。
男性	40歳代	加茂野	道路の工事が進んでいない。
女性	60歳代	古井	自治会からの要・希望を速やかに実行していただきたい。
男性	40歳代	山之上	白色街路灯より、黄色街路灯にしてほしい。
女性	20歳代	太田	まだまだ暗いところがある。
女性	70歳代	古井	防犯灯、カメラなど必要な所は設置してください。
女性	20歳代	太田	木曾川沿いは人出が多いのに暗い。
女性	50歳代	古井	防犯灯の電気代、自治会に加入者が払っているのですが、アパートに住んでいて、自治会の未加入者はよいのですか。
女性	20歳代	下米田・牧野	まだまだ暗い所がいっぱい。
女性	20歳代	山之上	山之上、暗い。
女性	20歳代	山之上	灯がないと怖い。
男性	70歳代	古井	まだ少し少ないと思われる。
男性	60歳代	古井	自治会の要望が満たされていない。
男性	50歳代	蜂屋	当地域には未設置(要望に対して)が多いので、予算も考慮して、早期に取り付け希望をお願いします。
女性	40歳代	太田	家の近所も暗い所があるので設置してほしい。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	古井	まだ暗いところがたくさんある。
女性	60歳代	太田	私の住む所では防犯灯の間隔がありすぎ、暗いところがある。電柱全部につけてほしい。

【わからない・その他】

意見なし

(10) 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	元気な高齢者が増えれば医療費や介護費が抑えられる。体調不良となった後に金を使うよりも、そうならないための金の使い方が大切だと思う。
男性	60歳代	太田	予防に勝るものはありません。元気でいてそして、ポックリいくのが一番の幸せです。
男性	30歳代	蜂屋	高齢者が元気なまちは、すてきなまちになりえると思います。
男性	40歳代	加茂野	野球・ソフトバレーを廃止して、その予算をまわすべき。高齢化社会を見据えた対応ができていないのでは。
女性	60歳代	山之上	いずれはたどる道、大いに利用して行きたいと思います。
男性	70歳代	古井	さらに、地域に活動の輪が広がるとよいと思います。
女性	70歳代	古井	結構な事です。
女性	70歳代	三和	大いにやってほしい。
男性	80歳以上	太田	努力に対し感謝しています。できるだけ参加したいと思います。
女性	60歳代	古井	貯筋クラブなど、市報でみて知りました。参加者が増えて、病院通いが少しでも減らすことが望ましい。
女性	50歳代	山之上	高齢者の健康は、医療費の削減につながるので大切と考えます。
男性	70歳代	古井	これから参加して行きたいです。
女性	20歳代	下米田・牧野	皆が元気はよいこと。
女性	20歳代	山之上	運動はよいことです。
男性	20歳代	古井	今の老人はよいかもしれない。
女性	70歳代	太田	1月にはつつ教室に参加しました。
女性	80歳以上	太田	健康のため多くの人が参加されることを望みます。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	蜂屋	何回でなのか。延べ人数としたら少ないのでは。
女性	30歳代	古井	参加者数が少ないが、事業費用が高い。内訳が知りたい。
女性	30歳代	加茂野	事業費に対して参加人数が少なすぎるのでは。単純計算で1人5万円は高い。
男性	70歳代	古井	参加者数の割に事業費が多すぎる。
男性	60歳代	古井	自己管理が大切である。
女性	70歳代	古井	これも大切なこととは思うけれど、こんなにたくさんの費用を掛ける必要があるのか。年寄りが行政へ依存しすぎ。
女性	50歳代	古井	一人あたり5万円は高すぎないか。コストを減らすべき。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	蜂屋	教室に近い人はよいけれど。
男性	60歳代	古井	使いすぎ。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	太田	一人暮らしの歩行不自由者の訪問伺いも重点にして。
男性	60歳代	下米田・牧野	健康のためにはウォーキングが一番。医療費の低減(舗道の整備が必要)。
男性	60歳代	下米田・牧野	もっと多く利用するようPRしてください。
男性	80歳以上	蜂屋	あまり聞いたことがない。住民に伝達が不十分だ。
女性	60歳代	加茂野	高齢者より、これからの幼児等年少者を対象にする事業を優先すべき。
男性	50歳代	太田	一人暮らしが多い中、訪問活動にも力を入れるべき。
男性	50歳代	山之上	いきいきサロンや健寿会の寄り合いにもっと、出かけられるよう、PRしていったらどうか。
女性	30歳代	太田	参加者がもっと増えるとよい。
男性	70歳代	太田	ひとり暮らしの老人に目が行き届いているとは思えない。民生委員などの指導や組織を生かした活動を期待したい。
男性	30歳代	蜂屋	高齢の方にこそ体育行事に。
男性	80歳以上	太田	必要ない人を見分けることが大切だ。
女性	50歳代	古井	教室に行ける人はまだ意識の高い人だと考えますし、介護保険で引かかる人も目が届くと思いますが、その中間にいる人たちをどう拾っていきけるかが大切だと思います。引きこもりのような人はなかなか対応が難しいと思います。
女性	80歳以上	太田	とても良いことですが定員オーバーで入会できない人がいる。長年入会している人と交替するといった考えはいかがでしょうか。
女性	50歳代	山之上	地域ごとに多くの人を対象にしていただけだとおもいます。
男性	80歳以上	下米田・牧野	各地区又は、自治会単位で行ってほしい。各地区の自治会・老人クラブなどに呼びかける。
女性	30歳代	太田	参加者が同じ人に片寄っているような風があり、出前などで参加しやすいように、実施できたらよいと思います。
女性	40歳代	加茂野	このような事業で実績を上げている市町村が全国にある。参考にして効果を上げることをやるべき。
男性	40歳代	伊深	地区巡回など参加者増加対策が必要と思う。
女性	50歳代	下米田・牧野	参加者数が少ないのが気になります。参加しなくてはと考えるパンフ、高齢者対象だと参加しにくい人もいるのではないのでしょうか。
男性	60歳代	加茂野	事業費 1676 万円の内容の精査必要。
女性	70歳代	古井	無料でなくてもよいのではないですか。200 円、300 円くらいなら集金した方がよいと思う。
女性	70歳代	古井	重要だとは思いますが、どこでどのように行われているか、あまり知らない人も多いと思います。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	古井	日常重視を原則に、幅広く活動できるとよい(スポーツなど)。
男性	40歳代	無回答	関にあるような市民温水プールを作ってほしい。高齢の方が水中ウォーキングなどされるとよいと思う。冬場にも、安くプールが使えるとありがたい。
男性	30歳代	蜂屋	周知不足。
男性	70歳代	古井	回数を増やしてほしい。
男性	50歳代	蜂屋	人々、それぞれ個人の健康体での格差があると思うので、それなりに事業を展開されればよいと思います。
女性	40歳代	太田	温水プールを作ってほしい。坂祝のプールを市から助成して、温水にできないのでしょうか。
男性	40歳代	古井	バスが少ないので行きたくてもいけないのではないかな。
男性	60歳代	下米田・牧野	交通の便利さ。
女性	60歳代	太田	町内ごとに実施してほしい。
女性	60歳代	古井	近くの公民館等で行われればよいと思う。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	蜂屋	行ったことがないからわからない。
男性	40歳代	三和	利用したことがないからわかりません。
女性	30歳代	下米田・牧野	参加数はどうか。期間が書かれていない。
女性	60歳代	太田	参加するのに交通手段はあるのですか。
女性	60歳代	下米田・牧野	参加者がもう少し増えるとよい。
女性	10歳代	古井	行っていますだけでは、場所も分からない。
女性	60歳代	蜂屋	参加したことがないのでわかりません。
女性	80歳以上	太田	どこでやっていますか。

(11) 中学校卒業までの医療費無料化

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	ありがたいと思っています。
女性	30歳代	太田	子供はすぐに病気をするのでとても助かっています。
女性	30歳代	山之上	大変ありがたく思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	とても助かっています。子供はよく病気をしますし、この不景気の中、経済的にも助かっています。
男性	30歳代	蜂屋	これからも継続を。
男性	50歳代	蜂屋	とてもありがたいです。
女性	50歳代	古井	子育てのバックアップは重要(少子化対策)。
女性	50歳代	蜂屋	子どもがいるので助かります。
女性	30歳代	加茂野	大変ありがたいです。
男性	30歳代	蜂屋	子育て世代にとって大変助かります。
男性	40歳代	三和	利用者の人にはよいと思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	医療費の無料化は重要。
男性	40歳代	古井	無料で医療が受けられるのは、とても助かります。
無回答	無回答	無回答	インフルエンザ等、団体生活の必要な年齢の子どもがかかっても、病院代・検査代がかかるからと、我慢して病院へ行かずに、広まってしまうのは、怖いのでとてもよいと思います。
女性	70歳代	古井	次代を担う子どもたちが健やかであることは望ましい。
女性	30歳代	古井	美濃加茂は、子ども(一家族あたり)が、3人いるところが多いと思う。大きく成長すると、いろいろかかるので(お金)とてもありがたいことだと思う。
女性	70歳代	古井	子どもを大切に育てるという意味では、大切なこと。がんばってほしい。
女性	30歳代	加茂野	小さい子がいるので(3人)家計がとても助かります。
女性	30歳代	古井	とても助かっています。
男性	60歳代	蜂屋	当然のことだと思う。
女性	20歳代	下米田・牧野	助かっています。このまま続けて下さい。
男性	50歳代	蜂屋	私の子どもころ、医療費負担が大変で、少し熱が高くても病院へは連れて行けなかった話をよく聞いた。現在の子どもは正しい診断が受けることができ、今日の行政対応に感謝します。
女性	20歳代	古井	家計が苦しい現状なので、無料で受診できるのは、とても助かっています。
男性	60歳代	加茂野	孫たちが大変お世話になっております。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
女性	60歳代	古井	救急であればすぐに診療を受けられるのが当たり前では。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	太田	もう少し様子を見てから受診してもよいような場合でも病院を頼りすぎるきらいがある。
男性	80歳以上	古井	手軽に医療を受けられるのも考えものです。
男性	40歳代	蜂屋	安易に受診している。
男性	10歳代	古井	救急医療を阻害するのは好ましくない。
女性	30歳代	加茂野	無料だからと、保護者が頼りすぎているだろうが心配する。体づくりもまずは家庭から。
女性	30歳代	古井	下の文章を見ると考えてしまう。
女性	60歳代	加茂野	助成金増額のために高齢者の未払い医療費が増えるのは考えもの。
女性	30歳代	太田	無料はありがたいが、病院(小児科)が混みすぎている。安易に病院に行く人が増えた。多少は有料化してもよいのでは。
女性	30歳代	加茂野	医療費を受ける側にはありがたいと思うが、安易に受診する「コンビニ受診」もかなり多いと思う。
女性	80歳以上	太田	救急で行っても診てもらえずに別の病院へまわされることがあるため、命の尊さを実感してほしい。
女性	70歳代	蜂屋	子育てに手を差し延べすぎて、親の子育て自覚が、薄くなっているように思える。昔は自分の子どもは、親の責任でやりくりして育てたものです。
男性	60歳代	太田	少々の事で病院へ行ったりすることが見受けられます。
女性	30歳代	下米田・牧野	病院が救急には対応できないのでは。(小児の場合)
女性	80歳以上	古井	過保護になりすぎると心配。
男性	20歳代	古井	補助金のほうがよいと思う。
女性	70歳代	蜂屋	以前は、家族で子どもを育てあげたものです。限られた予算・生活水準を考慮して行すべきと思う。
男性	40歳代	伊深	所得制限を設けるべきだ。
女性	50歳代	下米田・牧野	恵まれていると思います。私の子どもは有料の時代で、老人になって、無収入になっても有料です。何だか不公平のような気がしています。
女性	50歳代	古井	収入に応じた補助でよいと思う。
女性	50歳代	蜂屋	無料化にすべきですか。ちょっとしたことでも病院に行くのではないか。
男性	60歳代	蜂屋	全て無料にしなくてもよい。
男性	40歳代	太田	コンビニ受診的傾向があり、無料だから何でも病院に。
男性	80歳以上	太田	無料化すると無駄(薬など)が多く、医療費が多くなりすぎる。
女性	60歳代	古井	子育てを行政に依存するのは、ありがたいことかも知れませんが、我々の年代では疑問です。親としての自覚責任がなくなるのでは。
女性	20歳代	加茂野	救急の方を優先できるよう、考える必要があると思う。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	40 歳代	古井	本当に必要な診療には、賛成ですが、無料ゆえの安易な受診もあると聞くので。
男性	80 歳以上	古井	100%負担でいかが。
男性	30 歳代	蜂屋	無料化は安易な病院の利用を引き起こす。過剰サービス。
男性	60 歳代	太田	救急患者さんが優先されるべきと思います。
女性	20 歳代	山之上	よいですが、病院が大変です。
男性	60 歳代	古井	子ども手当との関係はどうか。助成額が随分かかっている。
女性	20 歳代	蜂屋	安易にかかる人がいて、医療費の無駄。
女性	80 歳以上	太田	個人的意味ですが、全員に無料化がよいのか疑問に思います。
女性	60 歳代	太田	無料反対、安易にかかり過ぎる。初診料だけ取ってほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70 歳代	古井	救急医療も重要であると思います。
女性	60 歳代	太田	小学校低学年までくらいでよい。
女性	40 歳代	古井	中学生は必要ないと思う。
女性	50 歳代	古井	救急受診については、もっと親を教育したりきちんとした情報や何らかの相談窓口を作る事が大切だと思う。
男性	60 歳代	古井	その名のおり「乳幼児」だけでよいのでは。あまり「手軽」に医療を受けるのも、問題のような気がする。
男性	40 歳代	加茂野	タダより高いものはない。1 割程度負担により、必要のない受診が無くなり、適正な(本当に必要な人が、すぐに受診できる)形に戻ります。
男性	60 歳代	蜂屋	病気でなくても通院すれば混雑が。中学生は 1 割位の負担ではどうか。
女性	60 歳代	太田	無料化ではなく、多少の負担はあってもよい。
女性	30 歳代	太田	病気やケガの対処がわからないので、すぐ病院に行ってしまうので、早めに処置してほしいと思う。もっとみんなが、いろんな情報を知るべきでは。
女性	60 歳代	下米田・牧野	救急の病院ではなく、地域にあるかかりつけ医で、受診する人を無料化すればよい。かかりつけ医から大きな病院へ転院するように。
女性	40 歳代	加茂野	18 歳まで無料。
女性	80 歳以上	古井	中学生の無料化は、どうか再考されたい。
男性	30 歳代	蜂屋	無料化は利用している立場では、とてもよいのですが、中には、すぐに病院にかかる方が見えるのを、よく見かけます。
男性	40 歳代	蜂屋	重要と考えるが、安易な受診が増加していると聞く。対策が必要ではないか。
女性	60 歳代	蜂屋	子どもがいないのでわかりませんが、小学校までで充分なのは。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	三和	子どもにすることはよいことだと思う。老人にもしてほしい。
女性	70歳代	古井	乳幼児の無料化はわかりますが、小・中学生については、そこまでしなくても、親の責任でやってほしい。
男性	70歳代	古井	高校までは無料化推進すべき。
男性	50歳代	古井	中学生は必要なのか。
女性	50歳代	山之上	中学卒業までの無料化は必要ないと考えます。そのお金を教育の別の分野に使用してほしいものです。
女性	40歳代	太田	高校卒業までにしてほしい。
男性	10歳代	加茂野	無駄に使う人のチェックを。
女性	60歳代	太田	1割程度は徴収してよい。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	市民病院が必要。
男性	60歳代	下米田・牧野	病院が少ない。私も可児の社会保険病院へ行っている。
男性	50歳代	山之上	小児科の充実と、午後診療による0才～64才の受診可能の機会の充実。午前中は高齢者受診で一杯である
男性	80歳以上	古井	大切なことには違いありませんが、子どものない身にはなんともわかりません。
女性	60歳代	蜂屋	子ども手当てより給食費を無料に。
男性	20歳代	古井	それが日本で平均ならよい。馬鹿な親が増えているから、何とも言えない。

(12) ファミリーサポートセンター事業

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	山之上	美濃加茂は子育てしやすいと思います。
女性	30歳代	加茂野	大変ありがたい制度だと思う。実際の利用者やサポーターの声を聞いてみたい。
女性	30歳代	古井	利用したことはないが、子どもを預ける人がいない場合、手軽に利用できればよい。
男性	30歳代	蜂屋	これからも継続を。
男性	30歳代	蜂屋	高齢者の方々に見ていただけることは、預ける親にとって、大変安心です。
男性	40歳代	三和	利用者の人にはよいと思います。
女性	60歳代	古井	個人で困っている人もいます。大事だと思います。
女性	70歳代	古井	親世代、子世代がしっかりしていない現代、致し方ないのかもしれない。
女性	10歳代	古井	利用者はとても助かっていると思う。
女性	70歳代	古井	よい制度だと思います。
女性	70歳代	古井	ありがたいことだと思います。
女性	60歳代	古井	若い人が親と同居しないので仕方ないです。
女性	40歳代	古井	とてもよいことです。
男性	50歳代	蜂屋	それなりに対応されればよいことだと思います。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	山之上	親しまれているが疑問を持つ。管理者の資質と問題ありはしないか。
女性	80歳以上	古井	過保護になり過ぎると心配。
女性	50歳代	古井	利用者が少ないのではないか。
女性	50歳代	古井	利用者の少ないのはなぜか。
女性	80歳以上	加茂野	外国人が多くなり不安。
男性	70歳代	古井	親の責任まで「市」などに頼る風潮は現代病か。厳しく対応すべきである。
男性	60歳代	太田	子育ての援助を望まれる方の家庭環境がどうなのか。
女性	20歳代	下米田・牧野	母子なので利用したいが、高くて利用できません。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	太田	事業費の拡大が必要。
男性	60歳代	下米田・牧野	利用料金が安くなるよう保健所の充実。
女性	20歳代	蜂屋	事業を行うための場所が増えてほしいと思います。
女性	30歳代	太田	もう少しだけ安くしてほしい。急用の場合依頼しにくい。
男性	80歳以上	太田	幼・小保の関係で整理して一体化を考えたい。
男性	60歳代	太田	働きたい主婦の方をもっと応援してほしい。税収入にも反映されます。
男性	40歳代	太田	低所得者向けの、小中学校の学習補助が出来ないか。
女性	30歳代	古井	利用したことはありませんがとてもよいと思います。ただ時給が高いと感じてしまい、利用する勇気がありません。
男性	30歳代	蜂屋	利用料金が高いです。知っていてもなかなか使うことがありません。もっと、利用しやすい場所や料金にしてほしいです。
女性	20歳代	加茂野	実際に利用しづらい。費用も少し高い。
女性	50歳代	山之上	利用者がもっともっと増えるとよいです。
男性	70歳代	古井	利用料金少し高いのでは。
女性	20歳代	古井	1時間単位での利用料金もよいですが、例えば、1日(4時間以上)とかで〇円とかの制度があると負担にならず、お願いできるかと思っています。
女性	60歳代	古井	理由(利用)により料金変化が必要では。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	古井	大切な事には違いありませんが、子どものない身にはなんともわかりません。
女性	20歳代	古井	利用してみないと満足度はわからない。
女性	30歳代	太田	利用したことがない。
女性	40歳代	山之上	利用したことがないため。
男性	70歳代	古井	希望、実績、評価がわかりません。
男性	80歳以上	太田	実態がわかりません。
男性	60歳代	加茂野	あまり知りません。申し訳ありません。

(13) 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	古井	開館と同時から利用させていただいております。17年間感謝しております。
男性	30歳代	蜂屋	これからも継続を。
男性	50歳代	蜂屋	大切なことだと思います。
女性	50歳代	下米田・牧野	重要である。
男性	60歳代	太田	弱者に優しいまちづくりは、非常に結構なことと思います。
男性	80歳以上	下米田・牧野	週2~3回利用させてもらっています。
男性	30歳代	蜂屋	地域福祉の充実は、心の幸福度に欠かせないものだと思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	よく利用しています。
女性	60歳代	山之上	とても満足しています。
男性	40歳代	古井	子どもが小さかった時はよく利用させていただきました。
女性	10歳代	古井	お祭りなどがあって、市民と障害者の方が触れ合う機会もある。
女性	70歳代	古井	福祉会館の運営は大変だけど、よい制度です。
女性	60歳代	蜂屋	福祉活動でステージを利用させていただきましたが、とっても良い雰囲気の会館でした。
女性	70歳代	三和	大いに利用してほしい。
女性	50歳代	山之上	地域の憩いの場として、定着してきたと思います。
女性	20歳代	山之上	親しまれているならよいです。
男性	50歳代	蜂屋	現在の運営のより一層の取り組みの充実化を希望します。
女性	70歳代	太田	よく利用させていただいています。
女性	80歳以上	太田	福祉の拠点として活発な活動を望みます。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	利用できない人がいる。
男性	80歳以上	山之上	親しまれているか疑問を持つ。管理者の資質に問題ありはしないか。
男性	70歳代	太田	福祉会館を拠点とすることはよいが、現実、そこまでの行き来に関する援助が考えられていない。バスが不十分。
女性	50歳代	下米田・牧野	評価に信頼性を欠く。
女性	60歳代	太田	高齢者が利用したくても、交通手段がないように思う。あい愛バスは通っているのを見たことがない。
男性	70歳代	蜂屋	同一人物に限られてはいないか。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	古井	ここしか行き場のない人は大変お気の毒なこと。でも、いささかお金の使い過ぎと思われる。
女性	70歳代	太田	交通が不便。福祉バスは料金が高い(200円×2=400円)。
女性	60歳代	古井	器具の活用が、特定の人に偏りがち。
女性	50歳代	古井	原則、利用者の負担がよいのでは、利用できる人は限られているということはないか。
男性	40歳代	太田	負担額見直しも一考を要する(応分負担)。
男性	60歳代	太田	利用者が固定化されていて、新人は入りづらいとの話を伺います。
男性	60歳代	古井	多くの利用者に親しまれているという当局の単純な評価はおかしい。同じ人が(いつも)利用しているだけ。
女性	60歳代	太田	聞くところによるといつも利用している人が幅を利かせているとのこと。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	せっかく、たくさんの方が集える場なので、高齢者、障害者と幼児が交流できるとよいと思います。
男性	60歳代	下米田・牧野	知らなかった。施設を増やしてほしい。
男性	50歳代	山之上	整備以来、年数も経ち、修理・修繕が、財政難で進んでいない。
女性	30歳代	太田	よく利用させてもらっている。サンサンルームで託児を行ってもらえないか。(緊急でも預けられる所がほしい)
女性	30歳代	太田	どれぐらいの人が、利用されているのか知らない人が多いのでは。
男性	40歳代	伊深	利用が増えるよう改善に努力するように。
男性	30歳代	下米田・牧野	もっと場所を増やしてほしい。
男性	60歳代	加茂野	会館に近い(古井、太田主体)方は利用が日常多いと思うが、加茂野地区は遠方で利用しづらい。近くで利用出来る場所が必要。
女性	80歳以上	加茂野	交通の足が必要。
男性	70歳代	伊深	補修工事をしっかりやってほしい。
男性	80歳以上	太田	利用者数について利用者名を書かない人もありこれ以上でないのか、月に一度ぐらい指導したら。
女性	70歳代	古井	利用者が多くて嬉しいことですが、永く利用している方が多く、初めて行く人、時々行く人が少なくなっているような有様、独占しないように。
女性	80歳以上	太田	いなか路まで、バスが来ないので、行く事ができない。
女性	20歳代	太田	売店が少ない。
男性	40歳代	無回答	知らない人も多いと思う。
女性	20歳代	下米田・牧野	もっとアピールすべき。何かあるのかわからない。
女性	80歳以上	蜂屋	利用者からも少額でよいが、徴収するとよいと思う。
男性	40歳代	古井	駅の近くにもあるとよい。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	利用にたいして交通の便だと思います。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	太田	利用者数が市人口を大きく上回っているがリピーターでしょうか。
女性	60歳代	加茂野	利用者が身近にいないからよくわからない。
女性	50歳代	古井	実際の活動内容がわからないため。
女性	30歳代	加茂野	利用したことがない。
男性	60歳代	太田	まだ行ったことがない。
女性	50歳代	古井	以前、立体駐車場があったが(1基)今は、なくなっている。早く壊れたようだ。何のために作ったのかわからない。業者との癒着ですか。
女性	50歳代	下米田・牧野	利用したことがないから。
男性	80歳以上	加茂野	前年比があるとよい。
男性	70歳代	伊深	遠方につき利用したことがない。

(14) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	蜂屋	現状の景気では、必要不可欠だと考えます。
女性	70歳代	古井	よい方法だと思います。
女性	70歳代	古井	本当に低所得者だったらよいでしょう。
男性	40歳代	無回答	必要だと思う。
男性	60歳代	蜂屋	当然のことと思う。
女性	20歳代	山之上	貧乏は大変なのです。
女性	80歳以上	太田	高額な民間住宅マンションを利用できる人たちばかりではないので無理なく入居できる市営住宅は意味がある。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	維持管理費があまりにも高額で驚きました。
男性	60歳代	古井	外国人に利用させないでほしい。
男性	40歳代	蜂屋	本当に困っている人が優先されているのか。
女性	30歳代	古井	厳正な調査の上入居者を決定しているのであればよいのですが。
男性	40歳代	蜂屋	もう少し調べてみてもよい。
女性	30歳代	山之上	外国人が多すぎる。
男性	60歳代	太田	必要な人には家賃補助でよい。
男性	80歳以上	山之上	目的ですが近年充分活用されてないと聞いている。
男性	60歳代	下米田・牧野	管理費が高い。
男性	50歳代	加茂野	高所得者の方も、中にはいるのではないですか。
男性	50歳代	太田	しっかり管理されているのか。
女性	30歳代	太田	市の負担が多いような気がする。
女性	50歳代	太田	なぜそんなに維持費が必要なのですか。
男性	50歳代	蜂屋	低所得を受け入れて、人口が増えたとしても市にはメリットがない。
男性	80歳以上	太田	本当に市が行うことなのか。全体との関係において。
女性	20歳代	加茂野	266部屋の内、いったいどのくらい使用されているのでしょうか。それがわからないのでどちらともいえないです。もし空きが多いなら意味がないです。
男性	30歳代	加茂野	年1回程度、審査とかしているのか。本当に低所得者か。
女性	50歳代	下米田・牧野	低所得者の入れ替わりは、どのくらいあるのでしょうか。入ったらずっとだと、努力しないとかは無いのでしょうか。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50 歳代	古井	必要であると思うが、月 4 万円のアパート代を市が負担している計算になる(一部屋でも)。高すぎないか。
女性	60 歳代	蜂屋	実際に低所得者なのか、信用できない気持ちが、100%です。
男性	80 歳以上	太田	月約 4 万円の補助をしていることになるが、入居者は、理解されているのか。
女性	60 歳代	古井	維持管理費が、かかりすぎている。
女性	50 歳代	山之上	一部屋分の維持管理費が高いです。
女性	30 歳代	古井	所得があるのに入居している人がいます。おかしいと思います。
男性	40 歳代	加茂野	入りたくても入れない。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30 歳代	古井	入居条件や空き具合などよくわからない。
男性	50 歳代	山之上	もっと民間住宅を活用してはどうか。
男性	30 歳代	蜂屋	本当に必要としている人に入居を。
女性	70 歳代	下米田・牧野	すべての人が所得に応じた家賃とは思えません。自営の人はどうにでもなりそうです。本当の低所得の人に利用してもらえるように考えてほしい。
女性	20 歳代	太田	もっと必要。
女性	20 歳代	山之上	市の人口と収入において、この戸数は必要なのか。効率化を促進すべき。
男性	60 歳代	古井	家賃の更なる値下げが必要。
女性	70 歳代	古井	本当の低所得でしょうか。ここに住みながら、大きな車に乗ったりしていませんか。よく調査してください。偽装離婚者も多いと聞きます。あわせて調査をお願いします。
男性	30 歳代	下米田・牧野	見た目が古い。安くても見た目、中味を充実してほしい。
女性	40 歳代	加茂野	足りない。
女性	10 歳代	古井	待っている人が多い。
女性	60 歳代	下米田・牧野	高所得でも入居している方が多い。本当に困っている人が、入居できない人もいる。
女性	10 歳代	古井	これは外国人の方も入れますか。シングルマザーでは入れますか。ホームページ見ただけではわかりません。
女性	20 歳代	太田	老朽化が進んでいる。
女性	20 歳代	下米田・牧野	もっとキレイにしてほしい。増やして欲しい。空いているアパートを利用する。
男性	70 歳代	古井	もう少し部屋数を増やしてほしい。
男性	50 歳代	蜂屋	収支相償とはいかないまでも、ある程度のバランス感覚で、家賃の見直しも必要では。
男性	50 歳代	太田	維持管理費が多すぎます。自己負担をもう少し増額にしては。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60 歳代	太田	考えたことがない。
男性	50 歳代	加茂野	民間アパートが多い美濃加茂市だが、そんな中、市営住宅の入所率はどうか。
女性	40 歳代	蜂屋	私たちより、よい暮らしをしている人たちがいることなど。
男性	70 歳代	古井	ニーズと実績などがわかりません。
女性	40 歳代	古井	よいことですが、入居者の方が低所得者ではないような方も見えますが。
男性	40 歳代	古井	どこにあるか知らない。

(15) 妊娠・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	古井	重要である。
女性	30歳代	太田	地域の方々とも交流ができるので、教室があつてよかった。
男性	40歳代	三和	相談したい人にはよいと思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	サンサンルームや、赤ちゃん体操の先生に相談にのってもらふことで、やはり助かっています。総合な病院を作れば人が集まる。個人病院では、なんともならない。
女性	60歳代	山之上	新しく母になる人には必要だと思います。
女性	70歳代	古井	親世代、子世代がじっくりしていない現代、致し方ないのかもしれない。
女性	30歳代	古井	産後の赤ちゃん訪問は、とてもよかったです。とにかく、人と話したい頃なので、ぜひとも続けてください。
女性	70歳代	古井	育児・出産・妊娠は生活の基本ですから、是非お願いしたい。
女性	20歳代	太田	初出産で子育てに不安があつても、市の方の訪問などで質問できてとてもよかった。
女性	30歳代	加茂野	出産後、しばらくは母親が、孤立しがちなので、同じ立場の人と出会いの場があるのはよい。
女性	20歳代	下米田・牧野	子育て支援は助かります。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	太田	知識だけ押し付ける相談や教室は、不満を持つ人がいます。嫌です。もっと子育て経験もあり、親身になって相談を聞いてくれる方がいてほしいと思います。マニュアルだけの子育てはできません。
女性	20歳代	太田	出産2か月後に来てもらったが、とても簡単だった。可児市では、体重を量ったり、相談にのってくれたり、友達が言っていた。相談することを紙に書いて用意していたが聞けなかった。
女性	50歳代	山之上	1件あたりの費用が高いです。事業としては重要と考えますが。
男性	40歳代	無回答	必要な人でよいと思う。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	太田	国の将来を背負う宝です。きめ細かく進めてほしい。
男性	30歳代	蜂屋	もっと、子育て経験者と、若い未経験者をペアリングして充実させてほしい。
無回答	無回答	無回答	お金がかかるなら、と辞めてしまい、心に抱え込んでしまう人も多くいると思います。もう少し安ければと思います。
男性	30歳代	蜂屋	相談員の方の知識などが古い気がします。最新の情報をもっと知っていただいた方がよいのではないのでしょうか。
男性	50歳代	蜂屋	人口に対して市内に産婦人科がどれだけあり、出産等での問題は何かあるのか、そちらの問題を検討されては。質問の趣旨とは違うが。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	子供を増やすための方策も必要。
男性	70歳代	古井	妊娠・出産の前に、結婚を強力的に推進する対策が重要と思う。
男性	60歳代	蜂屋	近くに該当する人がいないのでどちらともいえないです。
男性	60歳代	古井	産婦人科医院が少なすぎます。(それ以前に)
男性	20歳代	古井	それも大切だが、一人当たりの子どもに、成人に育てるまで3000万かかるということを、高校までに教えておいた方がよい。

(16) 学童保育事業

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	核家族で、保護者が共働きであれば、必ず利用したいと思うはず。
女性	30歳代	古井	利用したことがないので満足度はわからないが、今後利用することがあると思うので続けてほしい。
男性	50歳代	山之上	安心して出産し、就労が可能な環境を整備することが、少子化の歯止めとなり、就労率の向上につながると思います。
女性	30歳代	太田	これからお世話になるので。
男性	60歳代	太田	是非必要です。
男性	30歳代	蜂屋	共働きの家庭には助かります。
男性	60歳代	古井	重要である。
女性	60歳代	古井	とても大切だと思います。
女性	30歳代	古井	利用したことはないがいつか必要になるかと。
女性	70歳代	古井	これはありがたいことです。
女性	70歳代	三和	必要だと思います。
男性	50歳代	蜂屋	1人家で留守番でいるより、共通の友人がいる時間が少しでも多くあれば、人間教育の面でも有効な施策であると思う。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	太田	事業費負担が大きすぎる。
男性	60歳代	下米田・牧野	私はずっと鍵っ子であったので、少々甘い気がする。時代が変わったといえばそれまでだが。
男性	50歳代	蜂屋	学童保育が子育て放棄になっています。現実を直視し、その場しのぎの行政は行うべきではないと思います。
男性	70歳代	古井	一人当たりの費用が高すぎではないか。
女性	30歳代	太田	仕事がない時でも、面倒だから学童に預ける、宿題をやってから楽だ、という話をよく聞きます。利用していない人にとったら不満です。
男性	60歳代	古井	もう少し親が見られないか。
女性	60歳代	古井	同居の場合は利用できないのは不満です。それぞれ病気の人がいったり、事情があります。何を基準にしているのですか。
女性	70歳代	古井	この年代までが一番親を必要とするのではありませんか。(12)に関連するかも。放りっぱなしでいる親の自覚が疑われます。
男性	40歳代	伊深	子供の自立を妨害する制度だ。小学1年生にもなれば、一人で過ごせる。
女性	30歳代	古井	外国籍の子どもたちと一緒にいるので、嫌がって行きません。先生の香水が臭いと言っています。
男性	50歳代	太田	家庭でみるべきだと思う。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	古井	小学3年生まででよいのか。4年生も加えてもらえたら子どもも親も助かると思います。体験から思います
男性	60歳代	古井	もっと充実してほしい。
男性	40歳代	蜂屋	時間が短い。
無回答	70歳代	太田	夏休み等は6年生まで保育していただけるとありがたいです。
女性	30歳代	加茂野	利用者が多くて環境整備が十分であるのかどうなのか。
男性	30歳代	山之上	6年生までがよい。
女性	40歳代	古井	6年生まで預かってほしい。
男性	70歳代	太田	利用料金が高すぎる。
女性	30歳代	蜂屋	実際、本当に助けが必要な人だけが利用しているとは思えません。そのせいで、定員オーバーです。もっとしっかり審査すべきです。
女性	80歳以上	太田	責任ある仕事ですから人選の必要あり。
女性	30歳代	加茂野	知人の話などを聞いて、小1～小3までしかないのは困ると思う。働いている親御さんが多いので小6くらいまでは行ってほしいと思いました。
女性	70歳代	下米田・牧野	4年生～6年生についても考えてもらいたい。(必要な人もいます)
女性	40歳代	蜂屋	もう少し上の学年まで対象にしてほしい。3年生と4年生であまり変わらない。
女性	40歳代	加茂野	我が家も学童にお世話になりました。3年生までというのは不満。せめて、夏休みの長期休暇だけでも、4年生以降も入れるようにしてほしい。
男性	20歳代	古井	必要最低限を追求してほしい。
無回答	無回答	無回答	先ほどの相談の費用と比べると安く思えるので、もう少し高くてもよいかと思います。
男性	20歳代	古井	月4,000円ぐらいになればうれしい。
女性	30歳代	太田	できれば小学4年生も対象にさせていただきたい。(一人で6時過ぎまで毎日留守番させるには、心配な年齢のため)
男性	30歳代	下米田・牧野	高学年でも対象ではダメか。
男性	30歳代	蜂屋	現在は、学童保育を利用していますが、月5,000円はとてもありがたいですが、3年生までしか見ていただけないことに困っています。せめて、長期の休み(夏休み、春休み)など、3年生以上でも見ていただけないかと思います。
男性	30歳代	蜂屋	4年生からの子どもを夏休みなどの休みに一日中留守番させるのは無理です。仕事は休めませんし、働く母親がどんどん増えているのに、3年生までしか見て頂けないのは問題です。
男性	40歳代	蜂屋	希望が多く、待機児童があると聞いている。
女性	20歳代	太田	4～6年生も対象にしては。
男性	30歳代	太田	長期休暇中は、小学4年生以上の児童にも、学童保育があるとよい。
男性	60歳代	太田	利用料金が安いので倍くらいで。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	20 歳代	下米田・牧野	未満児の施設も増やしてほしい。小学 6 年まではだめなのですか。
男性	40 歳代	古井	学童の枠を広げていただきたい。少子化対策にもなります。
女性	40 歳代	山之上	夏休み等、最終日が休みになるため困っていた。
女性	20 歳代	古井	近い内にお世話になると思うのですが、定員がいつもいっぱいとのこと。少し余裕があると預けやすく助かります。
男性	70 歳代	古井	小学校 6 年生くらいまで保育できないでしょうか。
女性	40 歳代	古井	3 年生まででなく希望すれば小学生を対応してほしい。中途からの保育を頼みたくてもなかなかできなかった。
女性	30 歳代	蜂屋	少し、月 5,000 円は安いと思う。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80 歳以上	山之上	重要だが実態がわからないから。
男性	80 歳以上	下米田・牧野	満足度はよくわかりません。
男性	70 歳代	古井	必要者数と実績、評価がわかりません。
女性	10 歳代	古井	よくわからない(活動内容)。
男性	60 歳代	蜂屋	必要だと思いますが、利用したことがないので、満足度はわかりません。
女性	20 歳代	下米田・牧野	やっている活動がよくわからない。
女性	20 歳代	山之上	留守番できますか。おにぎりくらい作れますか。

(17)「フロム0歳プラン」の推進

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	太田	今後も充実を期待する。
女性	30歳代	加茂野	子どもやその親にとって、とてもためになる事業だと思います。
男性	30歳代	蜂屋	毎日、学校の先生方は大変よくやってくださっていて、感謝、感謝です。
女性	70歳代	古井	是非続けてほしいです。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	太田	活動内容が周知されていない。
女性	40歳代	古井	参加する人が決まっているようでムダ。
男性	50歳代	蜂屋	子育ては家庭で行うのが基本であり、それができている状況での地域ぐるみによる子育てであると考えます。まず地域ぐるみでは納得できません。
男性	50歳代	加茂野	ネーミングはよいが、実態がよく伝わってこない。
男性	40歳代	加茂野	趣旨がはっきりしない。
女性	80歳以上	三和	講演会は必要なし、実質活動を。
女性	70歳代	古井	何で18歳までもですか。理解できません。子どもも甘やかされると苦しさには耐えられない大人になるのでは。
女性	50歳代	古井	必要を見極めた運用を。家庭外からの介入が必要な子どもの把握と、対応が求められていると思うが。
女性	50歳代	山之上	フロム0歳プランが地域に浸透しているか疑問です。
男性	30歳代	蜂屋	講演会よりも、実効性のあることにお金を使ってほしい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	山之上	どこまでこの事業が活用されているのか。もっと大きな事業となるように。
男性	70歳代	太田	一般市民の参加機会があるのか、どこでどんな風に行われているのかPRが足りない。
男性	60歳代	太田	もっとPRが必要。
男性	40歳代	太田	行政と教育現場が、連携した取り組みが見えづらい。
男性	50歳代	蜂屋	先進的取り組みであると思います。その経過分析結果等、不定期でもよいので、市民に情報提供してはどうか。
男性	20歳代	古井	道徳を教えるだけでよい。むしろ成人にも。老害が多くなりつつある。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	活動内容が不明。
女性	30歳代	山之上	保育園によってレベルが違いすぎて、1年生で大変です。とくに山之上は落ち着きがなくひどいです。授業が受けられるように山之上保育園では保育すべきです。
男性	60歳代	下米田・牧野	効果はどうか。知らなかった。
女性	20歳代	蜂屋	地域で育てていくための具体的な方法がわかりません。
男性	30歳代	蜂屋	できていないと思う。
女性	20歳代	加茂野	知らないのです。
男性	80歳以上	下米田・牧野	満足度はよくわかりません。
女性	30歳代	下米田・牧野	初めて知った。
女性	20歳代	山之上	実際何をしているのか全くわからない。
女性	30歳代	太田	フロム0歳プランの内容をよく知りません。
男性	60歳代	古井	保育園に乳幼児まで預けるとは、園の職員に多大な負担が掛かる。私立の保育園が行うのはよいが、検討を。
女性	20歳代	太田	子供がいますが、「フロム0歳プラン」って何ですか。
男性	30歳代	下米田・牧野	活動を知らない。
男性	70歳代	古井	計画、実績、評価がわかりません。
男性	60歳代	加茂野	知らない。
女性	10歳代	古井	よくわからない(活動内容が)。
男性	70歳代	伊深	中味がわからないので、評価は難しい。
女性	60歳代	古井	この制度があまりわからない。
女性	40歳代	古井	よくわかりません(内容が)。
男性	70歳代	古井	あまり知られていない。
女性	40歳代	古井	あまり詳しくないので。
男性	40歳代	無回答	わからない。
男性	60歳代	太田	活動の内容(カリキュラム)がわからない。
女性	20歳代	下米田・牧野	何でしょうか。
女性	40歳代	加茂野	具体的な内容がわからない。
女性	60歳代	蜂屋	わからない(フロム0オプラン)。
男性	50歳代	太田	地域ぐるみで育てるを、親はあまり勘違いをしないで。
男性	40歳代	加茂野	初めて聞いた。

(18) 青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	古井	大いに期待します。
女性	30歳代	山之上	ご苦労様です。
女性	30歳代	古井	具体的にどんな事をしているかわからないが続けてほしい。
女性	30歳代	太田	お見掛けすることがないのでわからないが、必要だと思う。
男性	60歳代	太田	素晴らしい活動です。もっとお金をかけてもよいと思います。
男性	30歳代	蜂屋	いつもパトロールありがとうございます。ゲームコーナーが多くあり心配です。
女性	60歳代	山之上	頭が下がります。ありがとうございます。
女性	70歳代	古井	ご苦労様です。是非続けてほしい。
女性	70歳代	三和	よいことだと思う。
男性	40歳代	太田	JR太田駅の活動等は有効。
女性	40歳代	古井	ありがとうございます。
女性	50歳代	山之上	パトロールの方々に頭が下がります。
男性	70歳代	古井	ご苦労様です。
女性	20歳代	下米田・牧野	昔お世話になりました。
男性	50歳代	蜂屋	必要最低限で有効的な活動日数であればよいと思われる。
女性	30歳代	太田	親として、とても心強く、ありがたい活動です。ありがとうございます。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	蜂屋	見たことがない。
女性	50歳代	山之上	ボランティアでの活動も可能ではないか。
女性	30歳代	太田	どこをパトロールしているのでしょうか。
女性	70歳代	古井	補導員の方にはご苦労様ですが、都会の方程では。
男性	40歳代	伊深	車で走るだけのパトロールでは意味がない。
女性	60歳代	古井	ただ車で走っているだけのような気がします。
男性	30歳代	蜂屋	最近、治安が悪くなってきている気がします。不審者の目撃も増えている気がします。
男性	70歳代	伊深	親が勤めている時間帯であるので、普及率が少ない。
女性	20歳代	山之上	意味があるのでしょうか。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	10歳代	古井	充分ではないと感じる。
男性	30歳代	古井	一人あたりでの報酬を減らしてでも人数を増やした方がよいと思う。
男性	50歳代	下米田・牧野	補導員の資質、権限強化。
男性	60歳代	下米田・牧野	パトロールだけでなく個々の事情を聞き非行防止をしていただきたい。
男性	50歳代	山之上	まだまだ若者がたむろする場面を屋外で見ます。声かけの機会が増えれば。
男性	70歳代	太田	指導委員の指導力向上を計るための施策が、充分行われているのかわからない。
男性	80歳以上	下米田・牧野	補導委員の活動日数117日×31人に対して予算が少ないと思います。
無回答	無回答	無回答	もっと、人員を増やしてほしいです。中高生などがたくさんいて、怖いと思うことがよくあります。
男性	20歳代	太田	美濃太田駅・サークルKなど、うるさい集団をよく見かけます。
男性	30歳代	下米田・牧野	もっと人数を増やしてほしい。
男性	50歳代	古井	足りない。
男性	70歳代	古井	防犯パトロールは、子どもにかぎらず、大人のモラルを高める為に、パトロール員の権限をアップすべき。
男性	80歳以上	古井	もっと報酬を。
男性	60歳代	古井	昼間のパトロールより夜間に重きをおいた方がよいと思います。失礼な発言かも知れませんが、お許しを。事業費をアップしても。
無回答	無回答	無回答	人員が少ない。
男性	10歳代	加茂野	もっと多くの人でやるべきだと思う(ボランティアで)。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	蜂屋	成果がわからない。
男性	50歳代	蜂屋	31人という人数が適正かどうか評価できない。
男性	70歳代	古井	計画、実績、評価がわかりません。
男性	60歳代	古井	成果はどうか。

(19) 人権施策推進指針による人権啓発活動の実施

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50歳代	下米田・牧野	重要と思います。
女性	70歳代	古井	見えないところですが、ぜひ続けてほしい。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	10歳代	古井	人権尊重は良いが、個人主義を強めすぎていると感じる。「公」の重要性こそ啓発すべきであると考える。
女性	30歳代	太田	反映されている様子がない。
男性	30歳代	蜂屋	市のやる事ではない。国のやること。
女性	50歳代	下米田・牧野	この程度で活動しているといえますか。
男性	80歳以上	下米田・牧野	啓発活動の中身がよくわからないですが、15万円の予算では。
女性	70歳代	古井	自分のことを管理できる人は他人をも尊重できるのでは。人や行政の「せい」にしない。
男性	50歳代	古井	指針を知っている人が少ない。
女性	20歳代	下米田・牧野	ポスター貼ったりするだけならやめた方がよい。
男性	40歳代	無回答	やりすぎもかえって悪いことがあるように思う。知らないことの方がよいときもある。私は差別があることすら知らなかった。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	活動内容が一般の人にはわかりにくいと思うので、表現方法に工夫を。
男性	60歳代	太田	よく意味がわからない面があります。もっとくだいた言葉でPR願います。
男性	40歳代	伊深	予算を増やし、活動を活発にするべきだ。
男性	50歳代	蜂屋	基本は家庭から、そして学校教育、地域からの日常的な生活、つながりの中で作り上げる必要を感じる。
男性	20歳代	古井	人の意見を受け入れる教養を。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	啓発活動とは、いつ、どこで、どのようにして行われているのですか。
女性	30歳代	古井	活動内容が不明。
女性	30歳代	山之上	知りませんでした。
男性	60歳代	下米田・牧野	わからない(何をしているのか)。
男性	50歳代	太田	活動の内容は。
女性	40歳代	古井	活動内容が不明。
男性	70歳代	太田	こんな質問を一般市民に投げかけられても答えようがない。中身がまったくわからない。
女性	50歳代	加茂野	わかりづらいです。
女性	50歳代	古井	活動内容がよくわからない。
女性	40歳代	蜂屋	よくわからない。知られていないと思う。(子どものいる家庭は、学校を通じ知っているが)
無回答	無回答	無回答	活動内容を知りませんでした。
男性	30歳代	下米田・牧野	知らない。
男性	70歳代	古井	計画、実績、評価がわかりません。
女性	10歳代	古井	よくわからない。
男性	70歳代	伊深	指針内容がわからない。
女性	20歳代	下米田・牧野	何でしょうか。
女性	20歳代	山之上	難しい。
女性	40歳代	古井	何をしているのかわからない。

(20) 外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	太田	外国人が多く必要な部署だと思う。
男性	30歳代	蜂屋	外国人の方との共生は大変大切なことです。
女性	70歳代	古井	必要だと思う。これからますます、グローバル化が進むと思うので。
男性	40歳代	無回答	必要だと思う。
男性	40歳代	古井	外人が多いので必要でしょう。
女性	80歳以上	太田	住みやすい町とは市民だけに限らない。外国からこられた方へのサービスも大切なことです。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	人件費が多すぎます。
男性	60歳代	古井	外国人をこれ以上増やさないで。
男性	50歳代	太田	8512/250日=34件/日 34/5人→7件/人 1600万/5→320万/人。きめこまかい相談はよいが、少し考えたほうがいいのかも知らない。
男性	50歳代	下米田・牧野	外国人は仕事がなくなれば移動し、税金の無駄になりませんか、美濃加茂での多文化共生はいかがなものか。
女性	40歳代	古井	人件費が高すぎる。
男性	50歳代	加茂野	人件費が多すぎるのではないか。
女性	30歳代	太田	内容が理解できません。費用が多すぎるように思います。
女性	80歳以上	三和	必要なし。
女性	70歳代	古井	人件費が少し多くありませんか。一人当たり3,200,000円くらいで平均的には多くありませんが、1年の実働日数に比較するといかがか。
女性	50歳代	古井	人件費高いです。内訳はどうなっているのか。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	10歳代	古井	充分ではないと感じる。
男性	30歳代	古井	日本の文化・習慣を理解できない人は何とかしてほしい。(少なくとも美濃加茂にはいてほしくない)
女性	30歳代	加茂野	外国人が市での生活に適応できないと日本人の生活にも影響を及ぼしてくると思われるので、サポートを今後もお願いしたい。
男性	50歳代	山之上	市としては、外国人の就労や定住を望むのか、出産・育児・教育を充実させて、人口増を想定するのかの指針を出してほしい。
男性	70歳代	太田	外国人を受け入れている以上、外国人の日本風のマナーに何らかの手を打ってほしい。
女性	50歳代	加茂野	まだ足りないのでは。
男性	60歳代	太田	美濃加茂市が「田舎っぺ」にならず、国際文化に通用する人材を育成してください。
無回答	無回答	無回答	人員を増やしてほしいです。支所で困っている人を見かけます。
男性	40歳代	伊深	市民ボランティアも積極的に活用して、共生社会を発展させるべきだ。
男性	20歳代	太田	外国人のマナーが悪い、しっかり対応してほしい。
男性	70歳代	古井	国際交流は他国をもっと知るべきで、そのための市民の外国視察を行うべき。
女性	40歳代	古井	様々なトラブルを避けるためにも大切、「ルール」や「マナー」を伝える橋渡し役もお願いしたい。
女性	20歳代	太田	人員が少なすぎでは。
女性	30歳代	蜂屋	外国の方は、マナー、ルール、全く理解されていない。路上駐車や、子どもをほったらかしにして、子どもが人の家に入る。庭で火をたく。ゴミ出しを守れない。日本に住むなら、日本のことを理解してからにしてほしい。注意すれば言葉がわからないという。共生というなら、できる人がするべき。
男性	30歳代	蜂屋	外国人が、市のルールを守れない。知らない。
男性	50歳代	蜂屋	言葉の違いによる社会生活の不安は、本人でなければ実感がわからないと思う。今後のより充実への対処を望みます。
男性	20歳代	古井	「郷に入れば郷に従え」これを教えることに徹してくれ。切実にそう思う。
男性	10歳代	加茂野	人件費をさげる。
男性	60歳代	古井	外国人との共生は難しすぎる(積極的に取り組んでいますが)。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	山之上	重要な事だが成果の実態がわからない。
女性	30歳代	太田	当人ではないのでわからない。
男性	50歳代	蜂屋	外国人を、積極的に受け入れることが、メリットなのかデメリットなのか、よくわからない。
男性	80歳以上	下米田・牧野	満足度はわかりません。

(21) 地元出身者の企画展の定期的な開催

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	良いこと。
男性	50歳代	太田	はじめて聞きました。開催数はどのくらいですか。
男性	60歳代	太田	市民の文化意識にはある程度つながります。
女性	70歳代	古井	地域の文化を理解するためには、よいのでは。(これ以上の出費になると疑問)
男性	70歳代	伊深	今後も続けられたい。
女性	70歳代	古井	重要なことです。
女性	70歳代	三和	いろいろとやってほしい。
女性	80歳以上	太田	多くの市民に親しんでいただけるとよいです。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	20歳代	蜂屋	地元出身者のことについて何度も見たいとは思いません。
女性	30歳代	太田	元々、文化の森の利用者が少なく、イベントも必要なかどうか。
男性	70歳代	太田	坪内・佐野といっても、もはや親しみが薄い。それよりも地域に残る祭りなどの行事、民話、伝説などの発掘、実態の把握、助成等に力を入れてほしい。
男性	50歳代	蜂屋	地元出身者に拘泥するのはいかなるものか。
女性	30歳代	太田	利用者が非常に少ないと思いますが、何度も行きたい内容ではない。
女性	20歳代	下米田・牧野	有料は、人が来ないと思う。
男性	60歳代	古井	文化の森はいつも閑散としています。必要なのか。
男性	20歳代	古井	文化を保存する程度でよい。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
無回答	70歳代	太田	文化の森直行便がなく、なかなか行かない(あい愛バス)。
女性	50歳代	古井	もっと人が多く集まる場所でやってみたらどうであろう。わざわざ文化の森へ足を運ぶのは、限られた人だけだと思う。
男性	20歳代	蜂屋	より広く告知できるとよい。知らない方が多い。
男性	60歳代	太田	良い企画をされているが、行かずに終わっていることが多い。サテライトギャラリー(出前一部でもよい)の活用はどうでしょうか。また、アールなど巡回したらどうか。市役所・図書館・アピタなど。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	20歳代	古井	地元出身者以外も、混ぜて行うとよいと思う。
男性	70歳代	古井	文化の森では、文化、芸術、趣味などの市民サークルの展示、発表の場として、広く使用できるように工夫されるとよいと思います。
女性	60歳代	古井	無料観覧を希望します。
女性	70歳代	古井	よいことではありますが、高齢者にとっては、なかなか足が運べません。
男性	50歳代	蜂屋	郷土の歴史及び偉人を知る上では、貴重な企画であると思われるが、定期的というのがよくわからない。年間を区切って常に地元出身者を紹介しているのか。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	無回答	質が高すぎてよくわからない(内容)。

(22) コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	山之上	保育園のコンサートで利用しています。いつも清掃されていてよい場所です。
男性	60歳代	下米田・牧野	文化意識向上にはよいこと。
女性	30歳代	太田	よく利用させてもらっている。
男性	30歳代	蜂屋	必要。
男性	50歳代	加茂野	地元で、いろいろなコンサートが開かれることはよいと思う。これからも期待する。
女性	70歳代	古井	利用する事が第一です。よいことです。
男性	50歳代	蜂屋	年1回利用するぐらいの私ですが、市内需要として1か所はあってもよい。
女性	70歳代	三和	大いに利用するとよい。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	蜂屋	文化行政を真剣に考えているとは思えない。多治見・春日井・可児などと比較するとあまりにも貧弱。
男性	60歳代	太田	ほとんど見に行っていない。
男性	50歳代	加茂野	可児市 ALA の活動に比べ見劣りがする。
女性	20歳代	山之上	アールを使えば済むこと。必要ない。
男性	40歳代	伊深	維持管理費が多い。民間委託などを考えよ。
女性	80歳以上	加茂野	維持管理費が高い。他施設との共用を考える。
女性	70歳代	古井	いろいろ開催されているようですが、参加したり、利用した事がほとんどありません。
男性	70歳代	古井	費用対効果(コストパフォーマンス)について、効果が少ない。
男性	50歳代	太田	文化会館利用者数が少ない割に維持管理費が多すぎる。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
無回答	70歳代	太田	収容人数(席)が少なく採算が取れなく大変だと思う。すくなくとも、1,200席くらいあったらよかったと思う。
女性	40歳代	古井	冷暖房の効きすぎがある。管理も削減考慮。
男性	50歳代	山之上	利用率の向上。有名アーティストの招致。
男性	70歳代	太田	各種実施されている内容に関するPRが足りない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	20 歳代	加茂野	中学時代部活動でよくお世話になりました。文化会館がもっと綺麗になってくれたらよいと思います。
男性	60 歳代	下米田・牧野	事業の拡大をしてください。このままでは会館の存在感も薄くなります。
男性	60 歳代	太田	可児市に負けずもっと活発化してほしい。
男性	40 歳代	太田	学生を動員するなど、活性化できないか(授業の一貫として)。
男性	60 歳代	古井	有名人、魅力あるイベントを行う。企画してほしい。
女性	70 歳代	古井	マイクの音がよく聞き取れませんでした。利用者の負担をもう少し大きくしてはいかがですか。
女性	60 歳代	下米田・牧野	美濃加茂市は、可児市、関市などに比べて、芸能人などのコンサート、講演などが少ないと思います。もっと、文化会館の行事を多くしてほしい。映画・落語など芸術文化の向上を目指してほしい。
男性	60 歳代	加茂野	加茂野地区からの高齢者は遠いため。
女性	60 歳代	蜂屋	コンサートや講演等まるで情報なし。
女性	60 歳代	蜂屋	1,500 人ぐらいのホールがあるとよいと思います。
男性	60 歳代	蜂屋	交通の利便性に欠ける。(不便)
女性	50 歳代	山之上	800 人収容は、中途半端な収容人数で、客を動員できる演目が、開けないのが残念です。
女性	20 歳代	太田	子どもが入りやすいイベントがほしい。(NHKキャラクターなど)。
男性	40 歳代	無回答	別な使い方もできると良いと思う(いろいろな使い方)。
男性	40 歳代	加茂野	もっと大物アーティストを呼んでほしい。
男性	50 歳代	蜂屋	年間通じて効率的な各フロアの利用を望みます。
男性	70 歳代	太田	喫茶(軽食含む)がない。
男性	20 歳代	古井	利用料が高い。スタジオ費が。
男性	60 歳代	加茂野	あまり知りません。お金の割には知られてないのでは。PR不足では。
男性	50 歳代	下米田・牧野	コンサート、講演が少ないと思う。
男性	40 歳代	加茂野	収容人数が少なすぎる。
男性	40 歳代	古井	あまり見に行きたいようなイベントがないのでは。(可児はいろいろやっているらしい)

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50 歳代	下米田・牧野	文化会館・公民館・体育館・福祉会館は、同一場所にあるべきである。
男性	40 歳代	三和	CCNet で見ます。
女性	30 歳代	太田	数年に一度しか利用しない。どのような活動があるのかも知らない。
女性	20 歳代	山之上	美濃加茂少年少女合唱団。
女性	70 歳代	蜂屋	話はずれますが、高台で水の来ない岐阜県生物産業研究所の跡地に中核施設を持ってきてはいかがでしょうか。

(23) あい愛バスの運行

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	高齢者にとっては便利な交通手段。ただ、私は利用したことがない。
男性	60歳代	下米田・牧野	利用したことはないが必要。
女性	20歳代	加茂野	車がある生活が普通の私にとってはあまり必要ないですが、老人の方の足としては必要だし重要だと思います。
男性	40歳代	三和	利用します。
男性	70歳代	伊深	利用者が少ないが是非続けてほしい。
女性	70歳代	古井	あい愛バスも、老人のために必要だと思います。
女性	70歳代	三和	大変ありがたいと思っています。
男性	40歳代	蜂屋	老人には必要。
男性	50歳代	太田	これからの社会では重要視。ただ、使用者に合った時間なのか。
女性	80歳以上	太田	継続されることを望みます。
女性	60歳代	古井	高齢化に伴い、需要が増すと考えられる。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	古井	あい愛バスは、いつ出会っても乗客は乗っていない。タクシー会社と提携し利用したい人に補助金を出した方が安くつくのではと常々思っております。
男性	60歳代	古井	一人の乗客もないあい愛バスをよく見ます。維持費が無駄ではないですか。タクシー会社と提携して安く利用できるようにしたら、税金の無駄もなく、タクシー会社も潤うのではないですか。
女性	40歳代	太田	利用者を見たことがない。
男性	50歳代	太田	事業費(支出)と収入の差が大きすぎる。
女性	80歳以上	太田	利用者が少なく、空で走っているバスを見かける。路線を考える必要がある。一般の人にわかりにくい。
男性	50歳代	加茂野	現体制では利用にあたわず。
女性	30歳代	加茂野	利用する人が少ないため、赤字になるばかりでは。
男性	20歳代	古井	皆利用しているのか疑問。
男性	50歳代	加茂野	確かに交通の便は悪いが、バスの利用者が少ないと思う。
女性	70歳代	古井	乗り場まで行くのが不便という声もあります。私はまだ自家用車を利用しているので、乗車の経験はありません。
女性	50歳代	古井	採算が取れなさ過ぎているのでは。
女性	40歳代	山之上	山之上では、バスの利用者が少ないため。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	古井	知人に聞いたところ、1回も使用したことがない人ばかりだった。
男性	60歳代	加茂野	あい愛バスの再検討をされたい。市事業費、1,950万円の他、人件費、車両費が掛かると思う。やめて利用者には、別対応が好ましい。
男性	70歳代	古井	路線バス、空車・回送中が多い。
女性	80歳以上	加茂野	あまり人が乗っていないバスが多い。何故ですか。
男性	60歳代	古井	利用者が少ない。
無回答	80歳以上	下米田・牧野	やめた方がよい。
男性	40歳代	加茂野	利用したい時に使えるか。
男性	70歳代	山之上	運行回数が少なく利用できない。
女性	70歳代	古井	利用される人があれば重要ですが、何時も空席が多いように見えます。
女性	50歳代	山之上	中途半端な路線運営で、利用者が増えない。改善しようにも費用が不足するし、やっかいです。
男性	60歳代	太田	利用者ゼロのバスを拝見します。もったいないです。
女性	40歳代	山之上	バスを走らせる運行費がけっこう高いようですが、タクシーとかで補助をつけたりしてはどうか。目的地まで行けるし。
男性	40歳代	古井	利用したい時間にバスが来ません。
男性	60歳代	古井	廃止。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50歳代	太田	利用者が少ないのが気になる。
男性	40歳代	蜂屋	利用する人にかたよりのある。便が少ない。
男性	30歳代	古井	市の負担を減らすため運賃を上げてよいと思う。いつも乗っている人が少ないと思うので、運用を見直すところもあるのでは。
女性	30歳代	山之上	利用者が増えるとよいです。
男性	80歳以上	山之上	重要だが利用者が少ない現状をみると残念である。工夫が必要ではないか。
女性	60歳代	加茂野	郊外の運行が少なすぎる。郊外⇄市街地間をもっと便利にする。
男性	50歳代	太田	使用者に合った時間なのか。
男性	50歳代	山之上	買物バスの路線化。案①三和・伊深⇄スーパー、②希望高齢者⇄スーパー。
女性	40歳代	古井	バスが大きすぎてもったいない。
男性	30歳代	蜂屋	明らかに本数が足りない。
男性	40歳代	太田	更新時の小型化。
女性	20歳代	山之上	利用率アップの必要あり。
男性	60歳代	古井	乗車人数が少ない。バスを小型にし、効果的な運用が必要。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	蜂屋	バスがいつも空の状態で行っているようですが、もう少し利用者が増えれば願っています。
男性	40歳代	伊深	高齢化が進む、バスは小さくても運行回数を増やして、使い勝手をよくしてほしい。
女性	60歳代	下米田・牧野	地域を一周しなければ美濃太田駅や、市役所へいけない。時間がかかり過ぎる。買物やレジャーに利用するなら、もう少し早くいける工夫も必要なのでは。
男性	60歳代	蜂屋	目的地に行くのに遠回りが多い。
女性	40歳代	無回答	もっと増やしてほしい。
男性	30歳代	下米田・牧野	もっと時間が増えたら満足。
男性	60歳代	蜂屋	回数を増やしてください。
女性	10歳代	古井	本数が少ない。
男性	30歳代	蜂屋	もう少し本数を増やしては。
男性	70歳代	加茂野	本当に使いやすいものにしてください。
女性	60歳代	加茂野	もう少し頻繁に欲しい。せめて1日4便ぐらい。
女性	20歳代	加茂野	利用者がもっと便利に乗れるよう、運行が増えるとういと思う。
男性	60歳代	加茂野	もう少し小さい車の方がよいのでは。乗る人も2人～3人です。
女性	40歳代	古井	乗客が少ないバスを、よく見かけます。利用しやすい工夫を市民から集める必要があると思います。
男性	80歳以上	古井	利用したいが、駐車場の運行表を見ても、バスの運行経路がわからない。もっと詳しく表示してください。
男性	70歳代	古井	便数を増やしてほしい。
女性	80歳以上	蜂屋	利用度が少ない様子であり、回数を少なくしたらよいと思います。
男性	50歳代	蜂屋	地域の高齢者の足としては、特に平日は重要であると思われる。今後も利用者が増加する施策の検討も必要では。他自治体の参考例も取り込んで。
男性	70歳代	古井	利用者が少ないので、なくなることはないか。
男性	40歳代	古井	家の近所は一日一本しかない。不便です。
男性	30歳代	太田	一日あたりの本数が少ない。
男性	10歳代	加茂野	台数をふやす。
男性	50歳代	太田	バスでなくてワゴン車くらいで充分ではないか。
男性	40歳代	加茂野	本数が少ない。
女性	20歳代	加茂野	事業費に対しての収入が少ないのは仕方がないのでしょうか。
男性	50歳代	古井	いつも空席が多い状態で走っているように見られます。車を小さくしてもいいのでは。
女性	20歳代	蜂屋	本数が少なく使う際不便です。
男性	60歳代	古井	乗用車くらいの車でよい。
男性	50歳代	蜂屋	重要ではあるが実際では利用頻度が少ない。受益者負担など再考すべき。
女性	30歳代	加茂野	家の近くにバス停がないため。また、時間も少なく(本数が少ない)ため、利用できない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30 歳代	山之上	運行日以外に出かける際の手段が必要です。案として地元タクシー会社の車両等をあい愛バスのルートを走らせるあるいは市の公用車を走らす。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30 歳代	太田	あまり人が乗っているところを見かけないのでわからない。
女性	60 歳代	太田	乗ったことがないので。
女性	50 歳代	古井	活用状況がわからない。
男性	60 歳代	太田	利用を考えたことがないので。
女性	30 歳代	太田	子ども連れ乗車したいと思ったが、バスがいつ来るのか知らない。どの路線に乗っても行こうと思ったところに行けないなど、利用したことがない。子どもはもっとバスに乗りたいと思っています。
男性	40 歳代	無回答	利用したことがない。
男性	70 歳代	太田	利用しにくい地域に住んでいる。
女性	20 歳代	山之上	いつ動いているかわかりません。でもおばさんが 3 人、いつもバスを待っていた。

(24) 沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	私自身、長良川鉄道で通学した。利用者が減少していても、残してほしい。
男性	60歳代	下米田・牧野	利用したことはないが必要。
女性	30歳代	太田	生活に必要な人いるので。
男性	70歳代	太田	大切なことだと思っています。なくてはいけない。維持してほしい。
女性	20歳代	加茂野	どうしても行かなくては行けない、でも車がないというときに活用しました。長良川鉄道は、ずっと市民の足として活躍してほしいです。
男性	60歳代	太田	必要とは思いますが。
男性	60歳代	太田	絶対必要です。八百津線みたいな、恥ずかしいことはできません。通学の生命線です。
男性	80歳以上	下米田・牧野	長い間利用したことがないのでわかりませんが、必要です。
男性	60歳代	古井	非常に難しい。なくせない鉄道と思います。
女性	70歳代	三和	ありがたいことです。
女性	40歳代	太田	美濃加茂市と関市は、交流すべきだから。
女性	50歳代	山之上	この路線は、今後高齢の観光客が増加にともない、利用者が増えると考えています。
女性	40歳代	古井	乗って残す工夫が必要。高齢で車に乗れない人が増えると、今以上に必要な足になる可能性もあるので。
女性	20歳代	山之上	通学に必要な。
男性	50歳代	蜂屋	地元に住んでいて、全く利用していないが、いざという時に公共手段がなければならない。現行運行を望みます。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	今後少子化でさらに運収は減り、補助金は増えると思う。存続が問われる前にやることがあると思う。
女性	50歳代	下米田・牧野	これだけのお金を使う事がよいことなのか。バスでもよいのでは。
女性	50歳代	古井	他の手段がなければ仕方ないと思うが、補助金の多さにびっくりしました。
女性	20歳代	山之上	市としてのメリットは何か考え直す必要あり。
男性	40歳代	伊深	長良川鉄道は、美濃加茂市民としては利用者が少ない。
男性	30歳代	下米田・牧野	使用する人は少ないのでは。
男性	60歳代	太田	市の補助金／市民利用者はどうなのか。
男性	60歳代	古井	廃止。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	80歳以上	蜂屋	自家用車があるので、市町村の負担が多いので、朝と帰りのみの運行でよいと思います。
女性	60歳代	加茂野	もっと利用できるよう考慮、検討すべき。
男性	50歳代	加茂野	料金が高い。
男性	20歳代	蜂屋	ただ、もう少し安くなれば、とは思う。
男性	30歳代	古井	JR東海も金を出すべき。
女性	30歳代	加茂野	運賃が高いです。
男性	40歳代	太田	活性化に向けて努力すべき。沿線でのイベントの広報にもっと工夫できないか。
男性	70歳代	伊深	地区住民に、PR不足であり、イベントを企画してほしい。
女性	70歳代	古井	どのくらい費用が必要なのかということ、初めて知りました。こういうことが大切だと思います。
女性	20歳代	下米田・牧野	通学者だけでなく、観光客を取り込む取り組みをすれば、補助金が減ると思う。もったいない。
女性	40歳代	太田	料金が高いのにびっくりした。
男性	40歳代	古井	料金が少々高い(仕方ないか)。本数が少ない。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	蜂屋	乗ったことがない。
女性	70歳代	古井	乗る機会が無いので、何ともコメントのできる立場にない。

(25) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	50歳代	下米田・牧野	直すべきところと、ただの無駄使いにしかみえない所が見えてくる。
女性	80歳以上	太田	お金のないときには我慢も必要です。他の市に比べればよく維持されています。
男性	50歳代	加茂野	道路側溝など改良はよいことだと思います。
男性	50歳代	太田	利便性、交通安全を考えたとき、必要だと思う。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	申し込みしてから期間が一年以上かかることに対して不満があります。
男性	40歳代	蜂屋	駅前だけ立派で驚いた。
女性	20歳代	加茂野	たまに「こんな場所の道路もきれいにする必要があるのか」と思うくらい工事が多いです。必要・不必要が私にはわからないときがあります。
男性	60歳代	下米田・牧野	防犯灯のコメントと同じく、どこへ事業費が流れているのか疑問です。
男性	50歳代	加茂野	我が地区では、10年前から同じ要望を出しているが、全く進んでいない。
男性	60歳代	蜂屋	申請場所や重要性を、市職員は確認が少ないように思う。
女性	40歳代	無回答	個人的に安全のため、側溝工事お願い、9年間言っていますが、聞いてもらえません。
男性	60歳代	加茂野	古井・太田地区が中心で、加茂野地区は大変不満である。
男性	70歳代	伊深	市会議員のつてもなく、自治会の要望のみでは不十分。市会議員は給料取りになっているため。
女性	60歳代	蜂屋	推進だけで行われているのでは。
女性	60歳代	古井	側溝の改良希望を提出しても、なかなか実行してもらえない。どうしてもよい所が改良されていて、どうしてもその所が、やってもらえない。これはどうしても納得できない。
女性	70歳代	古井	道路・側溝の改良は重要性が高いのですが、手をつけない箇所は、何時までもそのままです。
男性	40歳代	無回答	必要のないことはしなくてもよい。
女性	50歳代	古井	東図書館前から加茂高前の道路、何の意味があるのですか。税金の無駄使いです。他にやる所があると思います。
女性	30歳代	下米田・牧野	希望を出したが通らなかった。
女性	30歳代	太田	どこの工事をしているのですか。もっと、子どもも安全に歩ける道路づくり、衛生面を考えた生活道路にしてください。市役所側の回答もいつも同じです。悪臭がします。もっと住民の声を聞いてください。
女性	20歳代	下米田・牧野	きちんと見直すところが他にもあるのではと思う工事がありません。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	10 歳代	古井	デフレの今こそ、更なる拡大があってもよいと思う。電線の地中化等を進めるのもありではないか。
男性	50 歳代	加茂野	まだまだ、見直して、実行してほしい事業もあると思う。
男性	50 歳代	太田	事業費の 1/2 は影響が大きいと思います。生活市道への大型車乗り入れもあり傷みも大きい。
男性	60 歳代	下米田・牧野	長期(中期)計画を立て指導してほしい。
女性	60 歳代	加茂野	通学路を重点視する。
男性	50 歳代	山之上	脇道交差路のカラーリングへの市民の反応は。(エンジやブルーの路面舗装)
男性	30 歳代	蜂屋	大事とは思いますが最小限で。
男性	60 歳代	太田	本当に必要か否か、ムダはないか、検証、検証、検証。
男性	40 歳代	太田	自治会の、道直しや、溝さらいへの助成による活動の活性化。
女性	60 歳代	太田	歩道の整備推進をお願いしたい。高齢化になるため。車道ばかりで、歩道が少ない。
男性	40 歳代	伊深	厳しい財政なので無理は言えないが、優先箇所選定は慎重に。
男性	30 歳代	下米田・牧野	まだまだ、見直して、実行してほしい事業もあると思う。足りていない所が多くある。
男性	50 歳代	古井	配分がアンバランス。工事する所はよいが、やってもらえない所をどうするか。
男性	60 歳代	蜂屋	利便性の向上されていない道路が、多くあり、生活道路を抜け道に利用されている地域が目立つ。
男性	70 歳代	古井	交通安全は大切だが、やたらと信号機が多い。商業看板の乱立で、雑然としている。公共、私有の区分で公共を優先すべき。
女性	80 歳以上	太田	道路の段差をなくしてください。危ない。
女性	50 歳代	山之上	優先箇所の選定理由が、「見える」とよいです。
女性	20 歳代	太田	国道 21 号線、国道 41 号線交差点の混み具合が激しい。
女性	20 歳代	下米田・牧野	人口の割に道路がきれいすぎる。もっと減らしてほしい。
女性	80 歳以上	蜂屋	特に農道の整備をお願い。農業者であるため。
女性	40 歳代	太田	自転車や歩行者に配慮した通路を作ってほしい。
女性	70 歳代	三和	過疎地の道路などもっと目をかけてほしい。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30 歳代	太田	どう反映されているのかわからない。
女性	70 歳代	古井	何かにつけて金が必要な行政ご苦労様です。

(26) 河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	20歳代	蜂屋	より利用者が増えるとなおよいと思う。
男性	60歳代	太田	ゴミが散乱する場所をなくしたい思いが一杯です。市民の意識を土台にして推進してください。
女性	70歳代	古井	飛騨川があるので、かわまちづくりは、必要だと思います。
女性	70歳代	三和	きれいになるとよい。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	加茂野	河川・水辺空間はあまり利用されていないように思う。
男性	80歳以上	山之上	ふれあいの場、観光に十分役立っているかわからないから。
女性	30歳代	太田	現状で充分。
女性	70歳代	太田	あまりにも高い堤防にて川が見えなく残念です。
女性	20歳代	山之上	何をしているのか不明です。必要なし。
女性	30歳代	太田	あまり行きません。駐車ができないといけません。面白いと思うものもない。木曾川に関心がない。
男性	30歳代	加茂野	整備の名の元に、自然がどんどん少なくなっている。
女性	60歳代	古井	河川や水辺をきれいにするのは大変よいですが、利用する人がどうですか。
男性	40歳代	伊深	北部は木曾川に関係ない。
女性	60歳代	蜂屋	今のままでよいと思う。
男性	60歳代	蜂屋	堤防ができてから、木曾川が遠くなった気がする。以前は身近な川であった。最近には川に近寄り難い。
男性	40歳代	無回答	観光をアピールするほど、よい地域とは思えない。
女性	20歳代	山之上	それで何をやっているのですか。
女性	70歳代	三和	過疎地にもっと目をかけて。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	古井	整うことが事故につながることも多いので、ご注意を。自然を残すということは大変難しいことです。
女性	50歳代	下米田・牧野	目に見えるところばかりでなく、身近なところを整備してほしい。
男性	60歳代	下米田・牧野	是非推進してほしい。特に遊歩道を(太田線～青柳大橋)。
男性	50歳代	太田	駐車場不足。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	40歳代	古井	整備は必要だが、ムダな設備はよく考える。
男性	70歳代	古井	入川料を取らない、老人や子どもづれが、いつでも安全に釣ができる場所を作ってほしい。
男性	70歳代	太田	木曾川沿岸のみならず、美濃加茂を縦断する加茂川の景観に目を向けてもらいたい。カンヒザクラ、オオシマザクラ、オオヤマザクラなど特色のあるもので、散歩道にいろいろ考えてはどうか。
女性	50歳代	古井	もっとPRしてイベントなどもあるとよい。
女性	50歳代	山之上	緑を多くし、ほっとする空間であってほしい。
男性	40歳代	加茂野	本市における木曾川との結びつき、重要性をもっとアピールすべきでは。
男性	60歳代	古井	木曾・飛騨川両岸に遊歩道をもっと長くするとよい。
男性	70歳代	古井	計画、実績、評価がわかりません。親しまれる空間、町作りに力を入れてほしいと思います。
男性	80歳以上	太田	国の管理と思いますが、堤防の北側の側溝に異臭、夏は蚊が発生し環境が悪いので国に要望願います。
女性	70歳代	古井	かわまちづくり事業ときいても、ぴんときませんが、広報などに整備された年毎にお知らせがあったのでしょうか。
男性	60歳代	古井	ライン下り、中山道太田宿とあわせ、観光につながればよい。
男性	40歳代	古井	もっと整備して気軽に利用できるとよい。とてもきれいな景色なので。
男性	60歳代	古井	飛騨川右岸整備を進めてほしい。
男性	50歳代	太田	川と町をつなぐうえでゆったりとした空間、ライン下りの船着場をもっと下流に一か所あるとよい。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	事業内容を知りません。
女性	70歳代	蜂屋	遠くていけないものにはわかりません。
男性	70歳代	伊深	内容が不明。
男性	60歳代	太田	具体的事業を存じていません。
女性	20歳代	下米田・牧野	利用したいがよくわからない。

(27) クリーンパートナー制度の推進

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	太田	ボランティアに感謝。
男性	30歳代	蜂屋	何時もありがとうございます。
女性	30歳代	古井	公園などの掃除に頭が下がる思いです。
女性	70歳代	三和	よいことだと思う。
無回答	無回答	無回答	よいこと。
男性	50歳代	太田	市民の町をきれいにするという意識が芽ばえれば大切なこと。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	古井	ボランティアでなく、お金を払って仕事をしていただく(道路の草取りなど)。
男性	60歳代	蜂屋	費用の使い方が正しいかどうか不明。
男性	70歳代	古井	何でもボランティアでは、市民の負担大となり、予算計上して(シルバーなど)対応すべき。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	公共施設を汚す者には条例で厳罰を与えてもよいと思う。
男性	60歳代	下米田・牧野	ボランティア活動の必要性を市民に宣伝。
男性	70歳代	太田	美濃加茂健康の森という素晴らしい公園があるが存在が広く知られているとは思えない。ITで検索しても出てこないPRが足りない。
女性	70歳代	蜂屋	ある公園の桜の木に、葛づるが巻きつき、桜の木が半分死んだようで、花もあまり咲けないようです。植えた以上、そういうところも綺麗にしてほしいです。
男性	60歳代	太田	これは、よい活動です。どんどん暇な老人を使ってください。元気になれます。生きがいになります。
女性	50歳代	山之上	美しくしてある公園が多いと思う。もっとボランティアの募集を。
女性	70歳代	古井	あくまでも、ボランティアであれば賛成です。そのうち食事代が出たり、お車代として出費する事はいけない。
男性	30歳代	下米田・牧野	まだまだ汚い。
男性	50歳代	古井	足りない。
女性	70歳代	古井	ボランティアを有効に使用する方針が、今後重要だと思う。
男性	40歳代	太田	活動を広くPRしていく必要あり。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	古井	主公園だけでなく、地区公園にも配慮してもらいたい。汚れたトイレがある。
女性	50歳代	山之上	団体数が増えるとよいです。
男性	60歳代	太田	地下道の清掃をしていますが、市の援助があるとは知りませんでした。市報で周知を。
女性	80歳以上	蜂屋	公園の川に落ちないように柵を設置してもらいたい。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	活動について知りませんでした。
男性	70歳代	古井	計画、実績、評価がわかりません。
男性	60歳代	加茂野	知らなかった。池周辺の清掃活動を、3月より、月1回始めた。
男性	70歳代	伊深	内容が不明。
男性	70歳代	古井	アートボランティアに参加しています。
女性	20歳代	山之上	ボランティア。

(28) 旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	よく利用しているのですが、家庭のゴミが回収日までというとなまりすぎてしまうのでよいと思う。
男性	50歳代	蜂屋	評価しています。今後も積極的に実施していただきたい。
男性	60歳代	太田	必要な活動です。
女性	60歳代	古井	今は車に乗れるので助かります。家に置く場所がないので、だいたいの物を取ってくれるのでよいと思います。
女性	30歳代	古井	一気にすべてのものが出せて欠かせないものです。
女性	10歳代	古井	とても助かっている。
女性	70歳代	古井	いいことだと思います。
女性	20歳代	太田	とても助かっています。
女性	60歳代	古井	大変ありがたい。
女性	50歳代	古井	利用しています。よいことだと思います。
女性	70歳代	太田	シュロス駐車場のリサイクルを利用しています。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	60歳代	下米田・牧野	廃品回収との兼合いが難しい。
女性	30歳代	太田	遠いので持っていくのが大変。
男性	60歳代	太田	一度も利用していない。
女性	50歳代	山之上	定期的に回収されるので、便利だと思うが、回収場所が遠いので利用したことがない。
女性	20歳代	山之上	平日は効率が悪い。
女性	30歳代	太田	遠い、わざわざ行かない。アピタなどの回収場を利用した方が楽でよいので行かない。
女性	50歳代	古井	収益はどうなっているのだろうか。
男性	50歳代	古井	分別が不十分。
女性	60歳代	古井	小、中学校の回収で充分こと足りている。
男性	60歳代	加茂野	業者へ持ち込み(近いから)。
女性	40歳代	加茂野	シュロスは遠い。
女性	60歳代	蜂屋	各地域の資源、回収で充分なのでは。
女性	30歳代	加茂野	遠いのでそこまで行きません。
女性	70歳代	古井	リサイクル推進のため、資源回収を行っているのはいいが、そのため、学校の廃品回収のほうが大変少なくなったみたい。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	60歳代	加茂野	日本ラインの駐車場の利用方法がもったいないと思う。
女性	30歳代	太田	回収場所が遠い。
女性	30歳代	山之上	牧野を利用したら市役所の人(女性)対応が悪く、それ以来行っていない。分別は市役所の人にはわかっているが初めてはわからない。上から物を言うのは絶対やめて。
女性	60歳代	古井	シュロスの出入口が混雑して危険。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	蜂屋	クリーンパークへの直接持ち込みを認めていただきたい。多治見・土岐では処分場が混雑する事はまずない。
男性	40歳代	蜂屋	古着も回収してほしい。
女性	30歳代	加茂野	環境に関心があっても、それを定期的に行っている場がないと、立ち消えしまうので、今後も続けてほしい。
男性	80歳以上	山之上	利用したことがないから小中学校の資源回収に協力したい。
男性	50歳代	太田	環境学習を充実させてほしい。
男性	70歳代	太田	リサイクル資源回収はよいことだが、電気関係、機器とか、家具の不用品など大型のゴミ処理に困っている。
女性	80歳以上	太田	太田方面の老人はシュロスに遠い資源を、ゴミ袋に入れて出す方法をとっている人が多い。交通の危険を考えて、前平のグラウンドはどうでしょうか。
女性	30歳代	加茂野	プラスチックのゴミ分別も作っていただくと、もっとゴミが減らせると思っています。
女性	20歳代	古井	昨年まで可児市に住んでいました。可児市は、紙容器(スーパーで出せないもの)なども回収にまわっているので、回収場所まで持って行くことができず、(ゴミ置き場に置けばよい)子どもがいる私にとっては、助かったもので、できれば真似してほしいです。
男性	40歳代	太田	小学校と連携して活動し、回収日を増やし、ゴミの軽減を推進できないか。
女性	20歳代	加茂野	もう少し回収場所を増やしてほしい。
女性	50歳代	下米田・牧野	もっと近くでやってもらいたい。
女性	20歳代	太田	そういう情報はどこで入れればよいのですか。
女性	70歳代	古井	ボランティアですか。
女性	50歳代	山之上	ゴミの減量は必要です。リサイクルステーションが、本当に団体だけの運用になるとよいです。
女性	80歳以上	下米田・牧野	臨時でやっていた前平公園便利でした。シュロスまでは遠いので、西のほうに、もう一か所ほしいです。
男性	60歳代	蜂屋	今年の2月の中頃より3月2日までの水曜日に前平公園でもやられたが、1か月か2か月に1回くらいは前平公園でも。
女性	20歳代	下米田・牧野	ゴミ回収のもっと細かい事や、場所の案内をちゃんとしてほしい。
女性	40歳代	太田	アピタかバローで回収しているので、今は利用していない。粗大ゴミ、古着も回収してくれるとよいです。
女性	30歳代	蜂屋	もう少し日にちを増やしてほしい。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	加茂野	年通じ週2回にして下さい

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	伊深	重要であるが、遠方に付き利用したことない。
女性	70歳代	蜂屋	遠くて行けないものには、何ともいえません。
女性	20歳代	山之上	リサイクル。
男性	30歳代	下米田・牧野	知らなかった。

(29) ごみ袋料金に対する市の負担

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30 歳代	古井	川辺町から引っ越してきたのですが、安くて助かっています。
女性	70 歳代	蜂屋	大変助かります。
女性	50 歳代	古井	すべての人に必要なこと。
男性	70 歳代	伊深	継続を依頼します。
女性	40 歳代	古井	負担していただけるのがとてもありがたいことだと感謝しております。
女性	30 歳代	古井	安くてとても助かります。できるだけ水分を切って出すようにしています。
女性	20 歳代	下米田・牧野	値上げは困る。
女性	20 歳代	山之上	30 円って意外と安いです。
女性	40 歳代	山之上	いつもありがとうございます。ごみ袋が 30 円で助かっています。これからも、より一層ゴミ低減に努めていきたいと思えます。
男性	40 歳代	古井	市の負担が大きいけれどなんとかこのままで。
女性	30 歳代	加茂野	市が負担してくれるのはありがたい
女性	60 歳代	太田	美濃加茂市の 30 円はいつもありがたく思っている。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40 歳代	蜂屋	もう少し高くてもよいのでは。
女性	50 歳代	下米田・牧野	ごみ袋 1 枚の金額で、関市は何枚か無料でそれ以上使用の人のみ有料です。最初から 60 円いる訳ではないです。
男性	60 歳代	太田	もっと高くてもよい(50~100 円)。
男性	50 歳代	太田	負担金が多すぎる。市民の負担を増やしてもよいと考える。
女性	30 歳代	太田	ごみ袋を 50 円にしてもよいと思う。
男性	50 歳代	蜂屋	市民に自立を促すべき。受益者負担をもっと増やすべき。
女性	60 歳代	下米田・牧野	安いのは嬉しいですが処理費用が大変なので、もう少し袋の金額を上げてよいと思えます。
女性	60 歳代	太田	もう少し負担金を増やしたほうが、ごみ減量になってくると思えます。(資源・不燃物も同様)
女性	50 歳代	古井	個人(家庭)負担を増やしてもよいのでは。
女性	50 歳代	下米田・牧野	ごみ袋代金を高額にするとごみ減量意識が高まるかもしれない。
男性	30 歳代	蜂屋	ごみ袋料金は多少値上げしても可。値上げすることでごみ減量の意識につながる。
男性	40 歳代	加茂野	住民がもっと負担してもよい。1 袋 100 円にすると意識が変わると思う。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	太田	何がコスト増なのか。その対策は無いのか。
女性	20歳代	加茂野	もう少し市民が負担してもよいと思う。
女性	20歳代	山之上	市の負担が大きい。利用者の負担アップしてもよいのでは。
女性	70歳代	蜂屋	個人負担金は、1割ぐらいにしてもよいのでは。
男性	60歳代	古井	個人負担を多くする。ごみ減量作戦を展開する。
男性	40歳代	伊深	市民負担を、近隣市町平均まで上げるべきだ。
男性	20歳代	太田	自己負担を増やしてもらっても大丈夫です。
男性	30歳代	下米田・牧野	もっと負担を増やしてもよいと思う。
女性	10歳代	古井	もっと市民が負担してもよいと思う。
女性	60歳代	蜂屋	ごみ袋料金を値上げすれば、少しはゴミを減らせるのでは。
女性	40歳代	蜂屋	ごみ袋料金をもう少し上げてよいのではないのでしょうか。
男性	80歳以上	太田	袋1枚60円にしたらどうですか。食品の過剰包装を、少なくする運動はできないものか。(全国的な問題)
女性	60歳代	古井	市の負担金が軽減されるのなら、ごみ袋の値上げの検討も。
女性	70歳代	古井	市民は助かっているけど、市の負担が多いのにびっくりしました。
女性	50歳代	山之上	ごみ袋の個人負担を増やした方がよいです。(全国80円程度と思います)
女性	20歳代	下米田・牧野	美濃加茂市は、他の都市に比べ分別が甘いと思う。ごみ袋を高くして皆が分別するように、変えてみたらと思った。
男性	60歳代	太田	30円は安すぎる。倍額でもよい。
男性	60歳代	古井	市民の負担額を増やすことによって、ごみの分別もしっかりでき、処理費用も軽減できる。
女性	80歳以上	蜂屋	ごみ袋料金1袋50円が適当と思います。変更してほしい。
男性	60歳代	加茂野	ごみ袋料金をもう少し高くしてもよいと思います。(50~60円)
女性	80歳以上	太田	ごみ袋の金額の値上げを提案します。
男性	60歳代	古井	袋代値上げしてもよい。50円~60円。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50歳代	加茂野	住民皆がリサイクルに資源を出せば負担金も減るのに、住民の方々の意識の低さを感じます。これこそ啓発活動が必要です。
女性	30歳代	古井	もっと処理費用が削減できるように、具体的な数字を提示したり、削減方法を知らせてほしい。
女性	30歳代	山之上	プラスチックや紙でリサイクルを増やしてはどうですか。
女性	30歳代	加茂野	ゴミの減量化を推進する。取り組みを実施して、ごみ袋の利用数を減らすことも必要。
男性	60歳代	下米田・牧野	美濃加茂市のごみ袋を他の町村の人が買って収集所へ置いていくケースがある。
女性	60歳代	加茂野	無料化を希望。

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	加茂野	プラスチックのゴミ分別を作っただけだと、もっとゴミが減らせると思います。
男性	50歳代	加茂野	ゴミの量自体を減らす方策の指導などの不足を感じる。
女性	50歳代	山之上	安価で助かっていますが、市民のゴミの出し方の意識改革が必要ではないかと思う。
女性	30歳代	加茂野	なかなかゴミが減らない。分別などもっと厳しくする必要がある。
女性	30歳代	太田	ゴミの分別の情報をもっと出しては。生ゴミなどの対策をしては。
男性	30歳代	加茂野	ごみを減らすために、ごみ処理機などの補助金を増やすべきだ。
女性	70歳代	古井	各自が減らすことを心掛けることです。
男性	60歳代	下米田・牧野	我が家は、1袋に6kgも詰めていませんし、毎回出していません。多く出す人に負担してほしい。
男性	70歳代	古井	もっとPRしていただき、市民がゴミを減らす努力をする必要があると思います。
男性	60歳代	蜂屋	商品の過剰包装がまだ目立ちます。
男性	40歳代	加茂野	処理場を公開して知ってもらう方がよい。
男性	50歳代	蜂屋	市民アピールされてはどうか。
女性	20歳代	古井	市の財政が苦しいのなら、少しの値上げも仕方ないですが、景気がよくなってからにしてほしいです。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	70歳代	古井	お金がかかっていることを知りました。

(30) 事業選択による借金残高の削減

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	事業仕分けは必要だと思う。
男性	60歳代	太田	がんばってください。
男性	70歳代	太田	もっと減らすべきだ。事業縮小はやむを得ない。
女性	50歳代	古井	事業へ優先順位をつけることも大切だと思います。
女性	80歳以上	太田	大変ありがたいと思います。
女性	70歳代	蜂屋	しっかりがんばってください。
男性	60歳代	太田	努力と成果に感謝致します。
女性	60歳代	古井	よいことだと思います。
女性	40歳代	加茂野	借金は絶対にダメです。市政も家庭も同じ。収入の範囲でやらなければならない。
男性	60歳代	古井	負債を少なくすることは大切です。大賛成です。
女性	50歳代	古井	まずは、借金を減らしたい。
男性	30歳代	下米田・牧野	推進してください。
女性	80歳以上	加茂野	借金を減らさないと大変。
男性	70歳代	伊深	借金を減らす事は、時の為政者の努めである。
女性	70歳代	古井	重要な事業ばかりで大変だと思います。
女性	10歳代	古井	子どもや孫に生まれた時から背負わせる借金を、少しでも減らして下さい。よろしくお願いします。
女性	50歳代	山之上	サービスを提供しながらの、借金減額は大変難しいですが、重要と考えます。
女性	40歳代	古井	大切な事です。減らせたのはすごいことだと思います。
女性	20歳代	下米田・牧野	これから人口が減るから、無駄な借金をしてほしくない。
女性	20歳代	下米田・牧野	借金を次世代にまわすのは反対。
女性	20歳代	山之上	借金は嫌です。市民のせいですか。
女性	80歳以上	太田	借金を増やさないようお願いします。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	80歳以上	山之上	必要以上の道路整備が行われている感じがするので。
男性	60歳代	下米田・牧野	環境面より下水道の促進要(下水道が可能なのに実施していない世帯有)。
女性	50歳代	太田	余分な道路を作りすぎ。
女性	40歳代	古井	不必要な道路整備が行われていて、見直す必要があると思う。
男性	60歳代	下米田・牧野	そんな中、何故、中山道会館のような箱モノを作るのか疑問。史跡くらいに何故とめられないのでしょうか。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	加茂野	まだまだ不要な活動が多い。
男性	40歳代	加茂野	下水道はムダです。道の補修工事だけでも大変なことだ。
男性	60歳代	古井	当然のことです。
女性	60歳代	蜂屋	将来よりも現代生きている人が大事では。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	借金をしてしまった事業内訳の詳細をお知らせください。
男性	70歳代	太田	市として、及び市としては済まないものもあるのではないのでしょうか。その一部、全体の問題を分けて考える必要はあると思います。
女性	80歳以上	下米田・牧野	もっと早く実施してください。負担が増えても可。
男性	60歳代	太田	市の部署が多すぎるように思えますがどうでしょうか。垣根があり過ぎないか。多能工化していますか。
女性	70歳代	太田	借金がありすぎます。節約できるものは、なるべくやめてください。
女性	30歳代	加茂野	本当に上下水道代が高い。
男性	40歳代	加茂野	借金の利息はコストそのもの。国・県・市全ての機関で考えるべき。借金大国日本。
男性	40歳代	太田	自治会による道直し、溝さらえなども推進、助成。
女性	20歳代	山之上	もう少し速いペースで進めてほしい。
女性	60歳代	古井	借金は困ります。できるだけ我慢して必要に応じてしてください。
女性	70歳代	古井	お骨折りいただきありがとうございます。下水道料金などは、もう少し受益者負担を考えるべきでは。
男性	40歳代	伊深	議員報酬など、人件費を削減して1年でも早く借金をなくせ。
男性	60歳代	蜂屋	市町村合併とならないことを願います
女性	70歳代	古井	下水道整備を推進されてきましたが、今まだ、本管につなげず、下水を垂れ流しの家庭があちこちあるようですが、市側では進めることはできないのですか。
女性	60歳代	古井	借金返済のためとはいえ、美濃加茂は、水道代、下水道代が高い。
女性	40歳代	太田	事業の選択はどのように決めるのか。
女性	80歳以上	蜂屋	市のために、個人からもう少し多く徴収して、早く返済をするように。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	この間は一番最初に出すではないか。
女性	30歳代	太田	よくわからない。
男性	60歳代	太田	集合住宅で下水に切り替えていないものが多く存在する。
女性	40歳代	太田	よくわからない。

(31)「定住自立圏構想」の推進

【事業を評価している意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	70歳代	太田	短期間で完成できるものではありません。最後まで完全なものにするため、いろいろと立ち止まって考えてこそ将来の新しい良き美濃加茂市が見えてくると思います。
男性	70歳代	太田	どんどん進めてほしい。
男性	60歳代	太田	行政の改革につなげるのならよいです。
女性	20歳代	太田	もっと増やしてほしい。
男性	40歳代	三和	生活しやすい、住みよい町になってほしいです。
男性	60歳代	古井	お互いの市町村の特長を伸ばすことは重要である。
女性	60歳代	古井	皆で協力して、何かよい方向を見出して何かしていないと、と思います。
女性	70歳代	古井	お互いに助け合い補い合うことは、合併されなかつただけに必要と思われる。
女性	40歳代	太田	これからの活動に期待しています。
男性	60歳代	加茂野	効率化による財政改善ができればよい。
女性	70歳代	古井	協同事業などはよいことだと思います。
女性	60歳代	蜂屋	ずっと暮らしたいと思えるように、一日も早く推進していただくことを希望します。
男性	70歳代	古井	各町との連携を密にしていきたいものです。
女性	20歳代	下米田・牧野	慣れ親しんだ美濃加茂、もっと住み良い町にしてほしい。できればここにずっと住みたい。
男性	60歳代	古井	有効活用は大切なことです。
男性	30歳代	蜂屋	続けてほしいです。
男性	40歳代	加茂野	できる限り事業を一本化・広域化し、効率をよくしてほしい。
男性	40歳代	伊深	協同事業を増やすべきだ。
女性	20歳代	古井	ファミリーサポートセンターなど、子育て世代に助かることが広がるのは、ありがたいことだと思います。

【事業を評価していない意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	30歳代	古井	他の町にはあまり興味がわかない。
女性	40歳代	古井	坂祝、川辺と協定する事で当市へのメリットはあるのでしょうか。感じられません。
女性	20歳代	蜂屋	なぜ協定を結ぶ必要があったのかわかりません。事業費がかかりすぎている。
男性	30歳代	蜂屋	たぶんできない。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	50 歳代	蜂屋	坂祝・富加との合併を視野に入れた方が現実的。本市以東の町村とは一線を画すべき。
女性	20 歳代	山之上	メリットがない。不要。
女性	30 歳代	太田	美濃加茂市民は、坂祝、川辺町の施設などを、どれだけ利用するでしょうか。高齢者の方は、あまり遠いと利用しにくいのでは。
女性	70 歳代	三和	大きくなれば、十分に回ってもらえるか心配です。
女性	70 歳代	古井	坂祝・川辺と協定を結んだといわれますが、それは市民の要望だったのでしょうか。手を広げず、まずは、市のことを充分考えて美濃加茂市にしてほしい。
男性	70 歳代	古井	定住自立は、図書館、生涯学習に直結しない。活力ある町づくりのために、何をなすべきか考えるべきである。
女性	50 歳代	古井	合併が流れて、かわりに行ってみえるのですか。事業者は美濃加茂市が全額負担しているのですか。それなら大いに問題です。
男性	50 歳代	蜂屋	各自治体が努力目標を設定して行動すれば、おのずと標題目標に近づくのでは。あせらず実施すればよい。必要ないかもしれない。

【今後の事業の課題に関する意見】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30 歳代	太田	内容を知らないが必要だと思う。協定を結ぶ事に意味があるのか。
男性	80 歳以上	山之上	重要だが、先の合併失敗のような結果にならないように。
男性	60 歳代	下米田・牧野	スピーディに推進してもらいたい。可児市を含めて効率化し、予算削減をしてほしい。
女性	80 歳以上	下米田・牧野	将来の町村合併を見据えて実施してください。加茂郡・美濃加茂市。
男性	80 歳以上	蜂屋	行政の担当者だけでなく、地域住民の意識を高める必要がある。
男性	50 歳代	太田	これから、結の精神で進めるべきです。
男性	70 歳代	古井	合併を促進し大美濃加茂市を早期実現。
女性	40 歳代	蜂屋	協定を結び協力していくことはよいが、市の合併は反対。
男性	40 歳代	太田	合併すべき。
女性	30 歳代	古井	近辺市町村とは、何かと仲良くしていた方がよい。少しずつ慎重に進めてほしい。
男性	80 歳以上	三和	道路事情。車線部分が多い。
男性	80 歳以上	太田	3 町は、平坦地で合併する方向で、推進したらよいと思います。
女性	20 歳代	下米田・牧野	生涯学習を充実してほしい。毎度同じ内容で、参加できるのも、昼間とかが多い気がします。
男性	50 歳代	太田	将来の坂祝・川辺町・富加町・七宗町など、大型合併する整備事業は必要。
女性	80 歳以上	蜂屋	市に合併させ、事業の推進を拡大させる方法を考えるとよい。
女性	40 歳代	太田	温水プールを作ってほしい。
男性	70 歳代	太田	広域でアピールできるものがほしい。

性別	年齢別	居住地区別	意見
男性	40歳代	古井	よいことだと思う。バスもつなげてほしい。
男性	30歳代	下米田・牧野	メリットを明確にしてほしい。
女性	80歳以上	太田	市町村の合併はできなかったことは残念でした。新しい結びつきの方法を考えてください。

【わからない・その他】

性別	年齢別	居住地区別	意見
女性	30歳代	古井	事業費の内訳詳細を知らせてください。
女性	80歳以上	伊深	便利になることもあるが、不便な事もあり、どちらともいえない。
女性	50歳代	古井	事業内容、利用状況がわからない。
男性	70歳代	古井	事業費の内容がわからない。
男性	70歳代	伊深	今一つ内容が不明。
女性	40歳代	古井	合併には反対ですが、どの辺りが合併の時の話とどう違うのかわかりません。どの町がどんな具合にどの程度「役割・負担」するのか見えません。
男性	60歳代	太田	除、七宗町。

平成 22 年度 美濃加茂市市民満足度調査
自由意見報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp

平成22年度美濃加茂市市民満足度調査対応集

●調査事項の結果における各課の対応について

市民満足度調査の回答をいただいた663人から寄せられた重要度・満足度の結果や自由意見を基礎資料として、それぞれの調査事項に対する市の考えや今後の取り組みについて、市民満足度調査対応集として取りまとめました。

●重要度・満足度結果及び自由意見の取り扱いについて

重要度・満足度調査の結果や寄せられた自由意見は、今後の市政運営への参考とするように担当課へ送付しました。

また、送付を受けた担当課は、調査の結果や寄せられた自由意見をよく検討し、活用いたします。

◆市民満足度調査対応集◆

・調査させていただいた31項目について、市の考えや今後の取り組みを報告します。

・重要度、満足度調査は、3つの選択肢の中から回答していただき、回答結果を「重要」「満足」は5点、「どちらともいえない」は3点、「重要ではない」「満足ではない」は0点（無回答は計算対象外）で得点化しました。各質問事項に対する重要度得点、満足度得点はその回答の平均点を表しています。

◆ご意見を募集します◆

「市民満足度調査対応集」で市の考えや今後の取り組みに対する意見を募集しております。

今後の市政運営の参考にしていきますので、たくさんのご意見をお待ちしております。

E-mail kouhou@city.minokamo.lg.jp

(1) 「市政懇談会」の開催

重要度得点 4. 03

満足度得点 3. 14

【調査事項】 今年度から、市長が市内8地区を訪問し、参加された方から意見をもらい、今後の市政運営の参考にするなど、開かれた市役所を進めるために、「市政懇談会」を行いました。

【考えや今後の取り組み】

■ 市政懇談会は、市民の皆さんからこれからのまちづくりに関する提案や地域の課題などのご意見をいただき、今後の市政運営の参考にするなど、市民の皆さんと協働でまちづくりを推進することを目的に、平成22年度から市内8地区を訪問し、実施しております。

調査結果からは、重要度のわりに、満足度は低く、「参加者が少ない」、「PR不足である」、「市政にどのように反映されたのか明確でない」など、市政懇談会の手法に対するご意見を多くいただきました。

その反面、「市民のために必要なことである」、「一般の市民の声が一番大切です」、「市民目線の市長で大変すばらしい。今後も継続してほしい」など、継続を望む声も多くいただきました。

平成22年度からスタートした第5次総合計画の核になる共通目標は、「みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまちづくり」であり、これを達成する主役は市民の皆さんです。

市政懇談会は、その達成に向けたひとつの取り組みとして行っているものであり、市政懇談会を、市民の皆さんが本当に望まれる施策を実現していくための意見をいただく機会ととらえ、アンケートのご意見を踏まえ、開催方法を見直しながら、今後も継続して定着させたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

回答課：市政情報課

(2) 2箇所（中央・東図書館）での図書館運営

重要度得点 4. 19

満足度得点 3. 46

【調査事項】 市には、2箇所の図書館（中央、東図書館）があり、本やCDなどの貸し出しやホールの貸し出し及び閲覧機を利用した自習などに利用されています。

【考えや今後の取り組み】

■ 図書館の役割として、「人間は文化的な、うるおいのある生活を営む権利を有する。公立図書館は、住民がかかえているこれらの必要と要求に応えるために自治体が設置し運営する

図書館」(「公立図書館の任務と目標 解説」(日本図書館協会))とあるように、市民のすべての自己教育に資する場と考えます。

また、住民はだれでも、どこに住んでいても、図書館サービスを受ける権利を有しており、行政は、区域内の隅々まで図書館サービスが均質に行き渡るように努めなければなりません。

美濃加茂市立図書館は、こうした図書館の役割を認識し、市民の方々にも多く利用していただくよう努力しています。

更に、平成23年4月から、定住自立圏協定の関連事業として、坂祝町中央公民館図書室と図書資料のデータを統合し、利用の拡大を図っているところです。この統合により、資料の貸出し・返却が4箇所どこでも可能になりました。更に、図書カードを、美濃加茂と坂祝を共通にすることにより利用者の利便性を向上させました。

なお、図書館は図書館資料を活用するところであり、そのための席は当然必要と考えますが、席借りのみの自習は、図書館の本質機能ではございません。したがって、自習用の席の設置については、図書館として必要と考える席数しか用意しておりません。

また、市民が互いに交流し、人々が集まって話しを聞く、あるいは一冊の本を読み合い、共に学び、文化を創り出せる場所として施設のホール、集会室、会議室等の場所を提供していきます。

今後は、地域の市民の暮らしに役立ち、本を読む楽しみに応えられるように、新鮮で魅力ある「暮らしの中に図書館を」を目指し、財政的に非常に厳しい環境ですが、図書館運営に努めたいと考えます。

回答課：生涯学習課

(3) スポーツによる自治会親善や地域活性化

重要度得点 3. 14

満足度得点 2. 95

【調査事項】 スポーツにより自治会親善や地域活性化を図るため、1チーム2,000円の参加料をいただき、自治会親善野球大会を開催しています。

(レディースソフトボール、バレーボール、ソフトバレーボールも同様の方法で開催しています)

【考えや今後の取り組み】

■ スポーツにより自治会親善や地域活性化、健康増進を目的に、自治会親善のスポーツ大会を開催しておりますが、今後も市民の皆さんが楽しんで参加していただけるために、スポーツの種類、大会のあり方、運営方法、参加料などについて、大会運営に協力していただいている美濃加茂市体育協会の各種目団体や、運営に直接携わっている美濃加茂市体育指導委員協議会と協議を重ねながら開催していきたいと思っております。

また、より多くの方がスポーツに親しんでいただけるように、個人や自治会単位以外で参加できる大会についても美濃加茂市体育協会の各種目団体と連携して開催していきたいと

思います。

回答課：スポーツ振興課

(4) 自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり

重要度得点 4. 3 6

満足度得点 3. 5 1

【調査事項】 自治会では、ゴミ集積場や防犯灯の管理、清掃活動のほか、子ども、高齢者への福祉活動や運動会、ソフトボール、野球などの体育振興活動により、日常生活の中で住民が協力して、互いに支えあい、住みよい地域づくりがされています。

【考えや今後の取り組み】

■ 問12「今後の暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと」の設問を見ると、トップの「健康であること」の次に、「老後の生活への準備」、「人間関係を大切にすること」となっています。

その一方で「社会的奉仕活動をする事」は具体的項目の選択肢の中では全体で下から2番目の低さであり、世代別では30歳代、40歳代については50歳代、60歳代の半分ほど（5%未満）と20歳代（5.9%）よりも低い結果になっており、仕事と家庭、地域のバランスが取れていないことが分かります。

「人間関係」については、70歳代の方のほぼ半数が大切であると考えており、地域での支えを必要としています。

これらの結果からは、「人の繋がり、地域の絆を大切にしたい」という思いが強い一方で、「自らが奉仕すること」には関心が低いという姿が垣間見られ、これが現在の自治会活動、地域活動にも表れ、自治会加入率の低さに繋がっているものと思われます。

重要度調査結果としては、「自治会活動による、支えあいと住みよい地域づくり」の設問で63.5%の方が重要であると考えてみえる一方で、満足度調査結果としては34.1%の満足度に留まっています。

地域の繋がり的重要性を認識しつつも、行動に移せないのには、自治会や地域活動の役割の負担感などもあります。

市としては、今回の東日本大震災を一つの教訓として、地域での防災意識の向上を図るため、地区ごとでの防災訓練の開催や、自治会活動を通じた地域の繋がり大切さや自治会活動の内容などをホームページにてお知らせしていきます。

また、自治会への入会金や会費などの金銭的負担感については、各自治会の現状を調査し、各地区自治会長を通してご報告させていただくことで各自治会での話し合いを促し、若い世代、母子家庭や父子家庭、高齢者なども参加しやすい環境を整えていきます。

合わせて、自治会交付金などの財政的支援、自治会野球や自治会運動会などのイベントに安心して参加いただくための自治会保険の加入も行っていきます。

最後に、問14「美濃加茂市にずっと住みたいか」の質問に対しては、「ずっと」、「できれば」を合わせると75%ほどの方が「住みたい」と答えてみえます。

安心して長く美濃加茂市に住んでいただくためにも、地域の助け合い、地域の繋がりを大切にしていきたいと思えます。

回答課：地域振興課

(5) 水田で転作している農家への補助金交付

重要度得点 3.76

満足度得点 3.15

【調査事項】 水田で米以外の食料を生産し、食料自給率を向上させるために、20,000㎡以上の面積で、大豆や小麦などに転作している農家に補助金を交付しています。

【考えや今後の取り組み】

■ 現在、日本の食料自給率は40%とされていますが、主食用のお米に関して言えば食料自給率は100%です。これは、農地を管理する上で一番作りやすい作物でもあるからで、そのため米の価格が下落しないように政府も政策を行っているところですが、それ以外の作物、特に大豆や麦などは海外からほとんど輸入をしている状況です。

これは、手間の割に収入が少なく、また、機械設備などが必要でコストがかかるため、大豆や麦の生産を敬遠してしまうためです。

日本中の農家で担い手不足や高齢化が深刻化し、農業離れが進んでいくと、国内の安全で安心な農作物自体が供給されなくなります。

そのため、食料自給率の向上を第一と考え、更に担い手の確保などを目的して、市ではある程度の規模の経営をされ、更に市の奨励する転作を行い収穫した農家に交付金を交付しています。

回答課：農政課

(6) 中国語版観光パンフレットの作成と活用

重要度得点 3.06

満足度得点 2.73

【調査事項】 観光客を増やすために、市の観光地を紹介するパンフレットを日本語版と英語版で作成しています。今年度は、中国からの観光客を見込み、中国語版の観光パンフレットを作成し、来訪者への配布や中国人ガイド研修資料などで活用しています。

【考えや今後の取り組み】

- 観光行政において、外国人観光客の誘客は重要な課題と考えますが、国内の経済情勢等観光事業を取り巻く環境は大変厳しくなっております。今回の取り組みは、パンフレットの整備をすることにより中国人に美濃加茂市を少しでも身近なものに感じてもらうために始めましたが、今後は国内からの誘客をはじめ、外国人からも魅力的であると感じられる観光地となるよう施策を考えていきます。

回答課：商工観光課

(7) 防災施設整備や防災訓練費用の補助などによる自主（地域）防災組織の組織率の向上

重要度得点 4. 54 満足度得点 3. 39

【調査事項】 地域防災施設の整備や地域防災訓練の費用を補助することなどで、防災時に迅速な初期活動が行える地域づくりの支援をして、自主（地域）防災組織の組織率の向上を図っています。

【考えや今後の取り組み】

- 東海・東南海・南海地震等の大地震が発生するおそれが日増しに高まっています。そのため、災害時に地域住民が互いに助け合うことができる連帯感や地域の自主防災力を強化することが大切になってきます。
また、3月11日に発生した東日本大震災のような大災害においては、消防署などの行政が行う救援活動（公助）には限界があります。このようなときには、住民の皆さん一人一人が、自分の身は自分の努力によって守る（自助）とともに、地域や近隣の人々が集まって、互いに協力しながら、防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が必要となってきます。
市としましては、防災意識の高揚及び防災体制の万全を期するため、自主防災組織や自治会などが行う防災訓練や防災施設の整備に係る事業に対し補助金を交付するなどし、地域を中心とした地域の防災活動を活発にし、自主防災組織の組織率の向上を図っていきたくと考えています。
また、平成23年度は「日ごろの備え」、「早めの避難」を市の統一テーマとし、地域の状況に適した方法で防災訓練を行います。
防災訓練などに参加して、防災についていろいろと地域の皆さんで考えていただき、地域の防災力をより強化していただきたいと思っております。

回答課：防災安全課

(8) 無料の耐震診断と耐震工事費用の助成

重要度得点 4. 3 4

満足度得点 3. 2 4

【調査事項】 居宅の安全性を確保するため、昭和 5 6 年以前の木造住宅を対象に、申込者に無料で耐震診断をして、診断後の耐震工事費用の 1/2(6 0 万円を限度)を助成する耐震事業を行っています。

【考えや今後の取り組み】

- この事業は、地震発生時における既存建物の倒壊による災害を防ぐため、建築物の耐震性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めることを目的としています。

無料の耐震診断は、住宅のどの部分がどの程度地震に対応できるか判断できることや建物を耐震化するきっかけとして行います。

皆様から、PR 不足や補助額が少ないなどの意見をいただきました。従来の広報紙やホームページによる周知に加えて平成 2 2 年度から戸別訪問による PR 活動も始めました。

今後も多くの方に事業内容をお知らせし、この制度を活用して、耐震診断及び耐震化工事を行い、安心・安全なまちづくりを行います。そして、耐震化工事の助成枠も申請に応じて対応していきます。

回答課：都市計画課

(9) 防犯灯の設置

重要度得点 4. 8 3

満足度得点 3. 3 7

【調査事項】 犯罪防止や交通事故防止のため、夜間特に暗い場所に防犯灯を設置しています。(2 2 年度設置基数 = 3 9 基、防犯灯総設置数 = 3, 5 7 1 基)

【考えや今後の取り組み】

- 防犯灯の設置については、市民の皆さんが重要であり必要であると強く感じてみえることが調査結果からも伝わってきます。設置は、夜間の犯罪などを未然に防止するため、自治会からの要望に基づき、既設の防犯灯との距離が原則として 8 0 メートル以上ある場合に設置をしています。

また、維持管理は自治会が行い、市は電気料の 3 分の 2 を補助金として自治会に交付しています。ただし、小中学生の通学路に指定されている道路で、付近に民家がほとんど無い場合や、どの自治会にも属さない場所である場合は、市が維持管理をしています。

今後、満足度を高めていくために自治会要望に基づき、順次設置や修理を進めていきたいと考えています。

また、今年度から新設する際にはLED防犯灯を採用し、地球環境に配慮するとともに電灯の長寿命化や省電力化により自治会の維持管理の負担軽減等を図っています。

地域防犯対策としまして、道路に面している家の玄関灯を点けることによる犯罪防止にご協力をお願いします。

回答課：防災安全課

(10) 健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業

重要度得点 4. 27

満足度得点 3. 38

【調査事項】 高齢の方に健康で長生きしていただけるよう、健康増進教室や筋力アップ教室などの介護予防事業を行っています。

【考えや今後の取り組み】

■ 高齢化が進展する中、介護を必要とする高齢者も増加しており医療費や介護保険給付費も年々増加傾向にあります。そこで、少しでも介護保険利用への移行を食い止めるため、「自分の健康は自分で守る」を基本とし、平成22年度から長寿支援センターに介護予防係を新設し介護予防事業を強化しております。

主な事業は、65歳以上の高齢者で要支援・要介護状態になるおそれのある、2次予防高齢者の把握事業をはじめ、2次予防高齢者を対象とした、「筋力アップ教室」・「脳健康教室」・「健口歯つらつ教室」等を実施しています。

また、2次予防高齢者に該当しない高齢者を対象に、筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせた、「つくばウエルネス事業」や介護予防講座、「はつらつ教室」・「元気いきいき転倒予防教室」・「筋力アップ教室」・「脳健康教室」等を実施しています。

健康を保つためには、普段から「自分の健康」について意識することが大切です。

今後、市民の皆さんが健康づくりや介護予防事業に関心を持っていただくよう事業のPRに努めると共に、楽しく日常的に取り組める健康増進・介護予防事業を展開したいと考えていますのでよろしくをお願いします。

回答課：長寿支援センター

(11) 中学校卒業までの医療費無料化

重要度得点 4. 07

満足度得点 3. 58

【調査事項】 乳幼児医療費の無料化を中学校卒業までの子どもを対象に実施しています。無料化は、手軽に医療を受けられますが、病院では救急で医療が必要な方をすぐに受診できないこともあります。

【考えや今後の取り組み】

■ この事業は、将来のまちづくりの担い手を育成するための大切な投資のひとつであり、若年層の定住を促進するうえにおいても、極めて重要な取り組みです。

しかしながら、一部で、不要不急の受診による救急医療への影響も指摘され、この点が「重要度」の評価を下げていると思われまますので、当面は、この制度を継続しつつも、適切な受診啓発を徹底していきたいと考えております。

回答課：福祉課

(12) ファミリーサポートセンター事業

重要度得点 4. 26

満足度得点 3. 45

【調査事項】 ファミリーサポートセンター事業は、子育ての援助をしてほしい人（利用者）と援助をしたい人（サポーター）が会員になり、託児など子育ての連携をしています。（利用料金 → 平日1時間600円、土日・祝日700円）

【考えや今後の取り組み】

■ ファミリーサポートセンター事業は、重要度の割合が高く子育て支援に対する事業の重要性を感じています。

この事業は、困った時のお互い様といった助け合いの会員組織で、心豊かな子どもが育つ、人間として心温かい環境の中で子どもが育つよう地域で子育てに携わり、昔、子どもがお世話になったので、今度は、自分が何らかの貢献がしたいといった方たちがサポーターとなり、この事業の原動力になっています。

利用については、安易な利用ではなく本当に困った時に、ご近所の人や地域の人など普段から子どもを見守っているサポーターさんに、安心して預かっていただけるといった子育て支援を行っています。

また、預かっていただいている時だけでなく、普段は地域の中の子どもを見守っていただいているといったご意見もあり、地域づくり、地域の絆づくりができていているものと考えております。

現在、定住自立圏構想により坂祝町に続き川辺町が加わり広域実施を進めています。

これには、新たな「地域で支える」サポーターの養成を行うための研修会を計画しており、サポーターの育成に努めて参ります。

回答課：こども課

(13) 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館の運営

重要度得点 4. 43

満足度得点 3. 71

【調査事項】 総合福祉会館（新池町）は、高齢者をはじめ、障がい者、幼児などが集える地域福祉活動の拠点として整備されて以来、多くの利用者に親しまれています。

【考えや今後の取り組み】

■ 総合福祉会館は、高齢者をはじめ、障がい者、母子寡婦、幼児、ボランティア関係者、福祉関係団体の皆さんが一体となって利用でき、「ふれあいと生きがいのある」地域福祉活動の拠点として平成6年に建設され、平成22年度は82,000人の方にご利用いただきました。

総合福祉会館は築17年を経過し施設の老朽化も進んでいるため、快適な環境でご利用いただけるよう計画的に修繕に努めています。

会館利用にあたっては、利用料は無料で一部受益者負担をいただいております。

利用者が自分の目的に合った自由な過ごし方が出来ることが特徴となっており、健康相談をはじめ、ふれあいホールでは健康体操やヨガ教室、音楽の広場なども開催しており、利用者の皆さんと楽しく交流を図っていただけます。

交通手段の確保については、「あい愛バス」が週2回各地域を巡回しますのでご利用いただければと思います。

皆様のご要望に対し、すべてにお応えすることはできませんが、優先順位をつけながら改善すべきところは改善したいと思っておりますので、これからも「ふれあいと生きがいづくり」の場として総合福祉会館をご利用いただきたいと思います。

回答課：長寿支援センター

(14) 低所得者向け住宅としての市営住宅の活用

重要度得点 3. 92

満足度得点 3. 22

【調査事項】 市内には、12箇所（266部屋）の市営住宅があり、低所得者向けの住宅として、所得に応じて算定した家賃で入居者に利用していただいております。

【考えや今後の取り組み】

- 入居については、今後も市営住宅入居者選考委員会で協議し、所得等に応じて入居者を決定していきます。

また、「維持管理費が高い。」「民間住宅を活用してはどうか。」などの意見をいただきました。今後は、民間の賃貸住宅に低所得者が入居できる手法を民間事業者と協議して、住宅施策の検討をしていきます。

回答課：総務課

(15) 妊婦・出産・育児に関する訪問相談や各種教室の実施

重要度得点 4. 4 8

満足度得点 3. 7 4

【調査事項】 健やかな子どもを産み、育てるために必要な妊娠・出産・育児に関する正しい知識を普及するために、訪問相談や各種教室を行っています。

【考えや今後の取り組み】

- 少子化、核家族化が進展する中で、妊娠・出産・育児に不安を抱える人に対して、今後も継続して相談や教室を開催していきます。

回答課：健康課

(16) 学童保育事業

重要度得点 4. 4 1

満足度得点 3. 5 1

【調査事項】 学童保育は、保護者が仕事などで家庭にいない小学1～3年生の児童に対し、放課後や長期休暇中などに、保護者に代わって保育を行っています。

(使用料金は、月曜から金曜日利用の場合、月5, 000円です)

【考えや今後の取り組み】

- 学童保育については、東日本大震災の影響による電力需給対策として土日操業を行う企業があることから、平成23年8月から平成24年3月までの間、土曜日及び日曜日に児童を預かる、「日曜学童保育等支援事業」を実施するとともに、この事業と並行して、現行の学童保育の待機児童の受け入れを実施するなど、子育て環境の一層の充実を図るための施策を進めていきます。

また、自由意見で要望の高かった小学校4年生以上の学童保育についても、本年度、一地区のまちづくり協議会において、地域で児童を預かろうという試みが始まり、市としても側面的なバックアップをしながら、新しい学童保育のスタイルとして確立できないか更に研究を進めていきたいと考えております。

回答課：教育総務課

(17) 「フロム0歳プラン」の推進

重要度得点 3. 84

満足度得点 3. 18

【調査事項】 市では、0歳から18歳までの子どもを地域ぐるみで育てることに重点をおいた、「フロム0歳プラン」を進めています。

【考えや今後の取り組み】

■ 「フロム0歳プラン」の推進については、平成21年度は、重要度得点3. 73 満足度得点3. 09でしたので、結果としてはそれぞれに若干上昇しました。

年代別では、この事業に直接的に関わっておられると思われる世代の方々に限定して考えると、満足度は全体としては大きく上昇しています。具体的には以下のとおりです。

- ・10歳代 13. 3% (H21年度) → 35. 7% (H22年度) 結果 22. 4%上昇
- ・20歳代 13. 2% (H21年度) → 21. 6% (H22年度) 結果 8. 4%上昇
- ・30歳代 20. 4% (H21年度) → 28. 4% (H22年度) 結果 8. 0%上昇
- ・40歳代 12. 6% (H21年度) → 12. 3% (H22年度) 結果 0. 3%下降
- ・50歳代 14. 9% (H21年度) → 18. 0% (H22年度) 結果 3. 1%上昇

これは、各学校と市の取り組みが、直接的に子育てに関わっておられると思われる世代の方々に浸透し、少しずつ定着しつつある結果だと思われます。

しかし、子育てと直接的に関わっておられないと思われる世代の方々の満足度は、下降しています。60歳代は7. 3%下降、70歳代は9. 6%下降、80歳代は9. 9%下降です。

自由意見では、「毎日、学校の先生方は大変よくやったださっていて感謝、感謝です」「子どもやその親にとって、とてもためになる事業だと思います」との意見を頂き、大変ありがたいと思っています。一方、「活動内容が周知されていない。」「もっとPRが必要である」などの意見が多く、認知度が低いようです。

以上のことから、今後もより一層、「フロム0歳プラン」として実施している行事や活動などの周知を図るとともに、行事や活動を充実させていきたいと考えています。

回答課：学校教育課

(18) 青少年の非行防止と健全育成のための防犯パトロール活動

重要度得点 4. 5 9

満足度得点 3. 6 7

【調査事項】 地域で青少年の非行防止と健全育成をはかるため、31人の補導員により、定期的な防犯パトロール活動を行っています。

【考えや今後の取り組み】

■ 美濃加茂市では、青少年の健全な育成を図り、未然に非行化を防止する目的で、美濃加茂市少年センターを設置し、街頭補導・啓発活動・情報収集などの活動を市長から委嘱された補導委員により行っています。

補導委員は、地区の人口規模に応じ、太田、古井については6名、加茂野については4名、それ以外の地区については3名の合計31名で構成され、原則として毎週火曜日と金曜日に各地区の輪番制で、美濃太田駅や不審者情報が出される場所を中心として、主に小中学校の下校時間帯に声かけを行いながら巡回補導を行っています。

また、夏休み期間中や花火大会開催時などには特別に巡回補導の日数を増やして対応しています。

パトロールについては、補導委員の連絡会議において、その方法等について再度、周知徹底させていただきます。

また、防犯の観点から補導委員の権限を強化してはどうかとの意見もありますが、地域において未然に非行防止するための自主的な活動であることを理解していただくようお願いいたします。

回答課：生涯学習課

(19) 人権施策推進指針による人権啓発活動の実施

重要度得点 3. 6 4

満足度得点 3. 0 8

【調査事項】 一人ひとりが日常生活の中で人権を尊重することの大切さを正しく理解して、あらゆる人の人権に配慮した社会を築くために、「人権施策推進指針」を作り、啓発活動をしています。

【考えや今後の取り組み】

■ 平成22年度は、ポスター掲示や市役所玄関でのパネル展示のほか、各種行事でチラシや啓発物品の配付を行い啓発してきました。

また、美濃加茂市人権施策推進指針を策定しました。この指針は、人権施策の基本的な考え方、方向性を示すものです。本市が進める各種個別政策・今後策定される関連の個別計画については、この指針との整合性に留意しながら、取り組んでいきます。

人権啓発については、各種行事でチラシや啓発物品の配付を行い、住民の皆さんに幅広く理解や共感を得られるように啓発活動を行います。

人権教育については、岐阜県の委託事業を受託し、西中学校を人権推進校に指定し、命の大切さや相手への思いやりの精神を身につけることを目的とした、「人権の花運動」を実施します。

回答課：地域振興課

(20) 外国人向けの通訳の配置による多文化共生社会の推進

重要度得点 4. 03

満足度得点 3. 34

【調査事項】 多文化共生社会をつくるためには欠かせない、正確な情報を伝えるため、市役所に国際交流員を配置し、外国人向けに通訳による相談などを行っています。

【考えや今後の取り組み】

- 国際交流員を5名配置し、来庁者の通訳業務のほか、市役所への電話や市が提供するサービスの説明等の通訳、通知文など市からのお知らせ文書の翻訳、市広報(ポルトガル語版)の作成、ポルトガル語による同報無線放送などの業務を行っており、今後も継続していきます。そのほかには、国籍や文化の違いに関係なく共に暮らせるよう、多文化共生推進プランの進捗管理、外国人児童生徒への放課後学習支援、定住自立支援センター委託業務、下米田地区での多文化共生推進座談会事業に取り組んでいきます。

回答課：地域振興課

(21) 地元出身者の企画展の定期的な開催

重要度得点 3. 47

満足度得点 3. 21

【調査事項】 地域への愛着や郷土の理解を深め、育んでいただくために、文化の森で地元出身者の企画展を定期的を開催しています。

【考えや今後の取り組み】

- みのかも文化の森では郷土の博物館として、市民に親しみのもてる展覧会や催しを行っています。ひと口に文化といってもさまざまな分野があり、興味・関心のある事ながらも違います。

今回の問いの、「地元出身者の企画展の定期的な開催」ですが、坪内逍遙、津田左右吉といった教科書にも名前が登場する偉人から、この地域の礎をなした有力者や文化人等多様なテーマを設定することができます。このため、定期的に企画展を行い、先人の軌跡をたどりながら美濃加茂の魅力的な部分とともに発見できればと考えております。これまでに坪内逍遙、津田左右吉、佐野一彦・えんね、坂井範一、大矢峻嶺、白隠等をテーマに企画展を行ってまいりました。調査研究を進めると知っているようで知らない事柄に出会います。少しずつですが研究成果を蓄積し、美濃加茂の文化力の向上に努めてまいります。

回答課：文化振興課

(22) コンサートや講演、各種団体の活動に利用される文化会館の運営

重要度得点 4. 0 2

満足度得点 3. 2 7

【調査事項】 文化会館は、800人収容のホールをはじめ、音楽スタジオ、会議室などでコンサートや講演などの実施や各種団体の活動に利用されています。

【考えや今後の取り組み】

■ 文化会館の運営に関し、10代から30代の若い世代で「重要」と答えていることはたいへん心強い結果となりましたが、一方で40-50代のアンケート結果から「満足していない」方があることから、今後よりいっそう利用者の増加につながるよう文化会館での各種催事に関しPR強化に努めていきたいと考えています。

個人の意見でも「実施する内容のPRが足りない」等があることから、市の広報をはじめ会館だより、ホームページ、ポスター、チラシ等の周知はもちろんのこと、各種関係団体や学校等に積極的に口コミによるPRを行ったり、人目に触れる機会の多い大型店舗等でのポスター掲示やチケット販売などにより窓口の拡大を図りながら、利用者増加につなげたいと考えています。

回答課：文化振興課

(23) あい愛バスの運行

重要度得点 4. 1 5

満足度得点 2. 9 9

【調査事項】 高齢者をはじめ、移動に制約のある方の交通手段として、また、買い物やレジャーにご利用いただくため、2台のあい愛バス（市が運行する路線バス）が11路線で運行しています。

【考えや今後の取り組み】

■ 問15 「美濃加茂市にずっと住み続けるために必要なこと」の質問に対して、「医療や福祉」、「治安」の次に「交通の利便性がよいこと」となっており、32.3%の方が必要と答えてみえます。20歳代の方々にとっては「医療や福祉」、「治安」より高く、全項目の中でトップであり約半数（47.1%）が必要と考えてみえます。

交通にはご自身で運転する車での移動の利便性を高める道路整備、あい愛バスや高山本線、太多線、長良川鉄道といった鉄道などの公共交通整備があります。

道路網の整備については、国や県、他市町村との連携を図りながら主要幹線道路やバイパスの整備を進める一方で、既存の道路については、拡幅工事や歩道の設置、交差点改良、舗装替えなどを進め、安心かつ便利な道路整備を進めています。

また、鉄道における公共交通については、高校生の通学手段の確保として重要な位置を占める第3セクターによる長良川鉄道の運行を沿線市町と連携して支援していきます。

JR に対しては、岐阜県や富山県、沿線市町村と共に、高山本線強化促進や東海環状鉄道整備促進の要望活動を続けています。

あい愛バスについては、利用者減少により次々と撤退していった民間の定期バスに代わって、コミュニティバスとして平成12年から導入し、毎年2万3千人前後の方々に病院や総合福祉会館への交通手段としてご利用いただいております。

重要度調査結果としては、「あい愛バスの運行」の設問では59.7%の方が重要であると考えてみえ、特に三和地区では93.8%の方が重要と答えてみえます。その一方で、満足度調査結果としては25.9%という低さとなっています。

高齢化社会において活力ある老後生活を送っていただくためには、自宅に留まるのではなく、健康福祉増進のために総合福祉会館へ出掛けて多くの方々と交流を図っていただいたり、定期的に検診や治療を受けていただくために医療機関へ通院していただくことが必要です。

自由意見の中でもご指摘いただいている便数や時間帯の問題、人が乗っていないという課題については、デマンドバス（事前予約による配車）などの新たな手段も研究を進め、より一層の充実を図り、利便性を高めるよう努力してまいります。

回答課：地域振興課

(24) 沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行

重要度得点4.32

満足度得点3.61

【調査事項】 美濃太田駅から郡上市北濃駅を結ぶ長良川鉄道（延長72.1km）は、高校生の通学など主に地域住民の交通手段として、沿線の市町から補助金を受けて運行しています。

【考えや今後の取り組み】

- 問15 「美濃加茂市にずっと住み続けるために必要なこと」の質問に対して、「医療や福祉」、「治安」の次に「交通の利便性がよいこと」となっており、32.3%の方が必要と答えてみえます。20歳代の方々にとっては「医療や福祉」、「治安」より高く、全項目の中でトップであり約半数（47.1%）が必要と考えてみえます。

交通にはご自身で運転する車での移動の利便性を高める道路整備、あい愛バスや高山本線、太多線、長良川鉄道といった鉄道などの公共交通整備があります。

鉄道における公共交通については、JRに対しては、岐阜県や富山県、沿線市町村と共に、高山本線強化促進や東海環状鉄道整備促進の要望活動を続けています。

美濃加茂市が財政支援をしている長良川鉄道については、利用者の減少だけではなく、鉄道車両の老朽化など、存続するためにはいくつもの課題があります。

重要度調査結果としては、「沿線市町からの補助金による長良川鉄道の運行」の設問では、あい愛バスより多い61.5%の方が重要であると考えてみえる一方で、満足度調査結果としては33.0%という低さとなっています。

自由意見の中でいただいた「大切である」、「維持して欲しい」というご意見の一方で、「費用対効果」、「イベントなどと抱き合わせての沿線での工夫」などのご指摘に対して、沿線市町及び長良川鉄道と共に、企画列車の運行や沿線市町のイベントとの抱き合わせなど、より多くの方にご乗車いただくと共に、岐阜や名古屋だけではなく、高山からも繋がる鉄道としての価値を高める工夫も検討していきます。

長良川鉄道は高校生の通学手段の確保として重要な位置を占めており、今後も沿線市町と連携して支援していきます。

回答課：地域振興課

(25) 優先箇所を選定して実施する道路や側溝などの新設改良

重要度得点4.26

満足度得点3.13

【調査事項】 市の財政状況や市民ニーズの多様化もあり、事業費が縮小傾向の中で、生活道路や側溝などの新設や改良、維持修繕を優先箇所を選定して行い、利便性の向上や交通安全対策の推進をしています。

【考えや今後の取り組み】

- 今後、限られた予算の中で、緊急度の高い箇所を選定し順次施工していきます。
アダプトプログラム制度を活用し、維持管理計画等を策定し、維持管理に努めます。

回答課：土木課

(26) 河川や水辺の整備を行う、「かわまちづくり事業」の推進

重要度得点 3. 73

満足度得点 3. 13

【調査事項】 木曾川の景観や文化、観光などを生かして、河川や水辺の整備を行い、ふれあいの場所として親しまれる良好な空間をつくる、「かわまちづくり事業」を推進しています。

【考えや今後の取り組み】

- 「かわまちづくり計画」が提言され、計画書に沿って、市民の皆さんはもとより、各方面からの観光客を誘致し、賑わいのある憩いの空間を、関係各団体等の意見を伺いながら、順次整備していきます。

回答課：土木課

(27) クリーンパートナー制度の推進

重要度得点 4. 30

満足度得点 3. 65

【調査事項】 ボランティア団体により、身近な公共施設（道路、公園など）などをきれいにしてもらい、クリーンパートナー制度（公共施設をわが子に見立て、世話をしてもらい）を推進しています。

【考えや今後の取り組み】

- 「まちづくりの第1歩は、自分達の街を自分達の手できれいにする」をスローガンに、今後もボランティアの輪を広げてまいります。

回答課：土木課

(28) 旧日本ラインシュロスや牧野西会館での定期的な資源回収

重要度得点 4. 55

満足度得点 4. 01

【調査事項】 リサイクル推進や環境学習などのために、資源回収を旧日本ラインシュロス駐車場（毎週水曜日と第1日曜日）と牧野西会館駐車場（第2・第4日曜日）で行っています。

【考えや今後の取り組み】

- 旧日本ラインシュロスや牧野西会館で定期的に市内のボランティア団体が資源回収を

行っています。いただいた貴重なご意見を関係団体にお伝えさせていただきますのでよろしく申し上げます。

回答課：環境課

(29) ごみ袋料金に対する市の負担

重要度得点 4. 67

満足度得点 4. 19

【調査事項】 家庭から出る可燃ごみ1袋(6kg)の処理費用は、405円です。そのうち皆さんの負担は、ごみ袋料金として30円で、残り375円は市が負担しています。

【考えや今後の取り組み】

■ 市では、ごみの減量や処理量を毎月広報等にて周知や、生ごみ処理機等に補助を行いごみの減量を図っており、生活系可燃ごみの処理量は平成18年度の9,480トンピークに若干減少しておりますが、まだまだ減量が必要です。

今回の調査では、「ゴミ袋が30円で助かっています。」「これからも、より一層ゴミ低減に努めたい。」「市民負担を近隣市町平均まで引き上げるべきだ。」「もっと処理費用が削減できるように具体的な数字を提示したり、削減方法を知らせてほしい。」などの意見が出されています。

今後も広報等により具体的な数字を示すなど、ごみの減量化やリサイクルのPRを行いながら、合わせてごみ袋の価格についても検討いたします。

回答課：環境課

(30) 事業選択による借金残高の削減

重要度得点 4. 56

満足度得点 3. 82

【調査事項】 市では、道路整備や下水道事業などの事業を借金して推進してきました。現在は、将来世代の負担を軽減するため、事業を選択することにより、借金の返済を進め、借金残高を減らしています。

【考えや今後の取り組み】

■ 市では、平成17年度末時点での市債残高(約475億円)を「10年間で100億円削減」することを、市の経営方針に掲げ健全な財政運営の推進をしています。

今回の調査結果によると、69.2%の皆さんから事業選択による借金残高の削減は重要

であると高い評価をいただきました。今後も中長期的な視点に立って、収入と支出のバランスを考えた財政運営を行ってまいります。

また、事業を評価していない意見の中には、「将来よりも現代生きている人が大事では」というご意見もいただきました。

限られた財源をどのように使えば皆さんの幸せにつながるのかを考え、節約ばかりでなく、事業選択によって今必要な事業や将来を考えた新たな事業を計画的に進めていきます。

回答課：行政経営課

(31) 「定住自立圏構想」の推進

重要度得点4.01

満足度得点3.27

【調査事項】 美濃加茂市が中心になり、坂祝町・川辺町と協定を結び、それぞれの市町が役割を分担して、ずっと暮らしたいと思える魅力ある地域づくりをするために、「定住自立圏構想」（共同で事業を行う）を推進しています。

(今後、富加町、七宗町とも協定を結び共同事業を行う予定です。)

【考えや今後の取り組み】

■ 「定住自立圏構想」は、少子高齢化、人口の減少、経済のグローバル化、地球温暖化など、かつて経験したことのない大きな変革・変動の時代において、生活機能が確保され、安心して定住できる圏域＝定住自立圏をつくりあげていく構想です。

これは、市町村合併とは異なり、それぞれの自治体にとって、メリットがあると考えられる分野について研究を重ね、お互いの納得の中で一对一の協定を結びます。つまり、周辺のすべての町村と全く同じ基準を決めるのではなく、地域の強みをさらに高めようとするものです。

坂祝町との形成協定後、現在は、川辺町、富加町そして七宗町と協定を締結しました。今後も他の町村と話し合いを重ね、協定を締結していくこととしています。

また、定住自立圏は、「共生ビジョン」に基づき事業を進めますが、「共生ビジョン」は、原案づくりの段階から、地域の住民・事業者の方の意欲と発想を積極的に引き出し、つくっています。市町村の壁や、民間と行政との垣根を取り払い、地域の構成員が一体となって、連携と役割分担により具体的な取り組みをはじめています。

具体的には、休日急患診療事業や、子育てをお手伝いするファミリー・サポート・センター広域事業、広域的な図書システムの構築、生涯学習計画の調査策定、災害情報等の携帯メール配信事業、合同研修会、職員交流事業等を平成22年から進めています。

皆さんからの意見にありますように、地域住民の方の意識を高めるために、定住自立圏マスコットキャラクター「かも丸」を選定し、着ぐるみで特産品販売の促進にも活躍しています。

また、平成23年度からは、共生ビジョンに基づく住民・事業者の方からの提案事業もはじまり、新しい公共の担い手として、活躍が期待されています。

●将来像●

住み続けたい地域には、必ずその地域に誇りがあります。地域の誇りを持って、全国どこへ行っても、自信を持って「みのかも」の名前を出せる地域にしていきたいと思います。

<将来像のキャッチフレーズ>

ここに住むしあわせ。 H  T エリアみのかも。

回答課：地域振興課